

令和6年度 山形県看護協会

通常総会

令和6年6月14日(金) 山形県看護協会 看護研修センター



山形県 **かんごちゃん** 

「看護の日」キャラクター

公益社団法人 山形県看護協会

令和6年度 山形県看護協会

通常総会要綱

目 次

山形県看護協会基本理念・基本姿勢	1
看護職の倫理綱領（日本看護協会）	2
令和6年度通常総会の開催にあたって・会長挨拶	3
令和6年度通常総会プログラム・職能合同研修会プログラム	4

報告事項

報告事項1 令和5年度 常務理事会・理事会報告	5
報告事項2 令和5年度 支部長・副支部長会報告	11
報告事項3 令和5年度 その他の会議・委員会報告	12
報告事項4 令和5年度 重点事業・事業報告	15
報告事項5 令和5年度 他機関への委員等の派遣	25
報告事項6 令和6年度 山形県看護協会看護功労者表彰並びに感謝状贈呈者	27
報告事項7 令和5年度 委員会活動報告	29
報告事項8 令和5年度 決算報告・監査報告	36
報告事項9 令和6年度 重点事業・事業計画	59
報告事項10 令和6年度 収支予算	68

山形県看護協会4支部事業

令和5年度 事業報告・決算報告	82
令和6年度 事業計画・収支予算	90

山形県看護協会訪問看護ステーション事業・居宅介護支援事業

令和5年度 事業報告・決算報告	98
令和6年度 事業計画・収支予算	108

提出議題

議決事項 第一号議案 令和6年度改選役員・推薦委員、令和7年度日本看護協会代議員・予備代議員 並びに令和6年度支部改選役員の選挙について	114
第二号議案 山形県看護協会役員の報酬等の総額上限改定（案）について	115

令和5年度 山形県看護協会事業実施報告

地域の看護力強化支援事業	116
「出前授業」講師派遣事業	120
訪問看護ステーション新庄サテライトまむろ川運営事業	121

令和5年度 委託及び補助事業実施報告

日本看護協会等委託事業

自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント	122
看護補助者の確保に向けたキャンペーンウィーク事業	123
新型コロナなど新興感染症等に係る看護職員等確保事業	124

山形県委託事業

助産師活用推進事業	125
やまがた子育て応援サイトメール相談業務	126
新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設健康管理・相談等事業	127
新型コロナウイルス感染症対応のための看護職員の応援派遣に係る調整業務	127
新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材（IHEAT）の運用業務	128
山形県訪問看護総合支援センター事業	129

山形市委託事業

新型コロナウイルスワクチン接種に係る集団接種等業務	131
---------------------------	-----

福島県委託事業

福島県外避難者の心のケア業務	132
----------------	-----

山形県在宅医療推進事業（補助事業）

	133
--	-----

令和5年度 教育研修実施報告

教育研修実施録・図書整備状況	134
----------------	-----

令和5年度 調査・学会報告

山形県内病院における令和4年度看護職員就業状況及び勤務環境調査	154
山形県内病院における令和5年3月離職看護職の実態調査	157
第64回山形県国保地域医療学会発表 訪問看護による有料老人ホームでのクラスター発生事例への対応	161

山形県看護協会運営関連資料

定款・定款細則・支部規則	162
総会運営規則・選挙規則	177
日本看護協会名誉会員・山形県看護協会年度別会員数、会費・令和5年度支部別会員数	184
都道府県別会員数と入会率	185
令和5年度看護研修センター使用状況	187
令和5年度役員・推薦委員・職能委員・令和6年度日本看護協会代議員・予備代議員名簿	188
令和5年度常任・特別・認定委員名簿	189
令和5年度4支部役員・委員名簿	190
令和6年度役員・推薦委員及び候補者・職能委員名簿	191
令和6年度常任・学会・認定委員名簿	192
令和6年度4支部役員・委員及び候補者名簿	193
組織図・事務局役職員名簿	194
日本看護協会歌	195

山形県看護協会 基本理念

基本理念とは、価値判断の基準であり、組織の方向性を示し、「使命」「活動理念」「基本戦略」から構成される。

「使命」とは、山形県看護協会の目的を示すものであり

「活動理念」とは、使命を達成するための活動方針を示し

「基本戦略」とは、使命を効果的に達成していくための実現手法を示すものである

I 使命

山形県看護協会は、看護活動を通して、人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。そのため、

- 一 教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る。
- 一 看護職が生涯を通し安心して働き続けられる環境づくりを推進する。
- 一 人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図る。

II 活動理念

- 一 看護職の力を変革に向け結集する。
- 一 自律的に行動し協働する。
- 一 専門性を探求し新たな価値を創造する。

III 基本戦略

看護の質の向上、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の三つの使命に基づく事業領域において、「社会貢献」「自主規制」「支援事業」「開発・経営」「広報」「政策形成」の6つの実現手法を用いて、人々の健康な生活の実現を図るための支援をしていくものである。

これまで山形県看護協会では、看護の質の向上に向け、日本看護協会の看護職の倫理綱領や看護業務基準等を基に「自主規制」を行ない、継続教育や学会開催等の「支援事業」に力を注いできた。さらに、「人々の健康な生活の実現」に向けて、看護職がさらに力を発揮する状況を作るには、制度改革への提言や政策決定過程への参画等、行政などに対し働きかける「政策形成」の手法を強化する必要がある。

併せて、業務上の権能の拡大、看護提供システムのモデル事業や訪問看護ステーション等の「開発・経営」といった取り組みも極めて重要である。

加えて、会員・マスコミ・県民・関係者に看護の価値や課題等の理解を促す「広報」の手段、及び、県民への有益な健康情報の提供や災害支援等の手法を確立し、効果的な事業展開を図る必要がある。

山形県看護協会のあるべき姿（基本姿勢）

『地域とともに築く看護』



Yamagata → Y は “夢”

Nursing → N は “ナーシング”

Association → A は “愛”

看護職の倫理綱領

前文

人々は、人間としての尊厳を保持し、健康で幸福であることを願っている。看護は、このような人間の普遍的なニーズに応え、人々の生涯にわたり健康な生活の実現に貢献することを使命としている。

看護は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象としている。さらに、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通して最期まで、その人らしく人生を全うできるようその人のもつ力に働きかけながら支援することを目的としている。

看護職は、免許によって看護を実践する権限を与えられた者である。看護の実践にあたっては、人々の生きる権利、尊厳を保持される権利、敬意のこもった看護を受ける権利、平等な看護を受ける権利などの人権を尊重することが求められる。同時に、専門職としての誇りと自覚をもって看護を実践する。

日本看護協会の『看護職の倫理綱領』は、あらゆる場で実践を行う看護職を対象とした行動指針であり、自己の実践を振り返る際の基盤を提供するものである。また、看護の実践について専門職として引き受ける責任の範囲を、社会に対して明示するものである。

条文

1. 看護職は、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重する。
2. 看護職は、対象となる人々に平等に看護を提供する。
3. 看護職は、対象となる人々との間に信頼関係を築き、その信頼関係に基づいて看護を提供する。
4. 看護職は、人々の権利を尊重し、人々が自らの意向やその価値観にそった選択ができるよう支援する。
5. 看護職は、対象となる人々の秘密を保持し、取得した個人情報とは適正に取り扱う。
6. 看護職は、対象となる人々に不利益や危害が生じているときは、人々を保護し安全を確保する。
7. 看護職は、自己の責任と能力を的確に把握し、実施した看護について個人としての責任をもつ。
8. 看護職は、常に、個人の責任として継続学習による能力の開発・維持・向上に努める。
9. 看護職は、多職種で協働し、よりよい保健・医療・福祉を実現する。
10. 看護職は、より質の高い看護を行うために、自らの職務に関する行動基準を設定し、それに基づき行動する。
11. 看護職は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。
12. 看護職は、より質の高い看護を行うため、看護職自身のウェルビーイングの向上に努める。
13. 看護職は、常に品位を保持し、看護職に対する社会の人々の信頼を高めるよう努める。
14. 看護職は、人々の生命と健康をまもるため、さまざまな問題について、社会正義の考え方をもち社会と責任を共有する。
15. 看護者は、専門職組織に所属し、看護の質を高めるための活動に参画し、よりよい社会づくりに貢献する。
16. 看護職は、様々な災害支援の担い手と協働し、災害によって影響を受けたすべての人々の生命、健康、生活をまもることに最善を尽くす。

令和6年度 通常総会の開催にあたって

公益社団法人 山形県看護協会

会長 若月裕子

平素より協会事業の推進につきましてご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

1月1日に発生しました能登半島地震において被災された方々及び関係者の皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。また、県や関連組織等の派遣要請を受け、厳寒の中、被災者に寄り添い支援くださった関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。

災害支援ナースについては、この4月より国による広域派遣・養成・登録の仕組みとなり、法律のもとで、安全に活動できる環境がようやく整いました。今後は災害および新興感染症への対応も含め、より一層の活躍が期待されます。

さて、今年は、6年に一度の診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス報酬同時改定が行われ、社会の動向を見据えたサービス提供体制や人材確保の必要性を意識した内容も含まれました。また、「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が30年ぶりに改訂され、看護師確保を政策的に推進するという国の姿勢がみられます。

さらに、第8次山形県保健医療計画、やまがた長寿安心プラン（第10次山形県老人福祉計画、第9次山形県介護保険事業支援計画）が策定され、めざす方向性が示されました。新たなステージが始まり、医療と生活の双方をみる看護職には、住民への切れ目のないケアの提供、地域・多職種との協働・連携が鍵となり、看護職のネットワークが効果を発揮していく事が期待されます。

一方、現在県内の各施設において、看護師確保が大きな課題となっております。

夜勤可能な看護師が減少し、病棟閉鎖など経営にも深刻な影響が出ていると聞いています。その背景の一つとして、3交替勤務が当県は7割、全国では2割と大きな差があることが指摘されています。2交替勤務を経験した人は、3交替勤務に戻れないという意見や、就業相談では2交替勤務を選択する方々が増えています。そのため、多様な働き方、看護師確保について組織全体での検討が必要となりますので、これからも協会から情報提供を続けてまいります。

令和6年度の事業は、引続き4つの重点事業について取り組みますが、3年間の取り組み最終年度となりますので、令和7年度以降の新たな重点事業の策定に向けた課題整理と検討も行う予定です。

また、地域包括ケアシステムの構築を推進し、専門性を発揮できるよう“地域とつながる看護実践”に向け、今年は開催を庄内、最上、村山、置賜の各地域に拡充して、多職種を交えた在宅療養支援の研修を企画しております。

会員のみならず、関係機関の皆様にも役立つ協会活動に取り組むとともに、県民の健康ニーズに応える看護をともに提供して参りましょう。

今年度も、どうぞよろしく願いいたします。

山形県看護協会では、LINEやFacebook、X(旧Twitter)、InstagramなどSNSにて、お知らせや様々な取組み、日々の活動などの最新情報を随時発信しております。是非ご覧ください。

友だち登録 フォロワー いいね よろしく願いいたします！

山形県看護協会LINE公式アカウント



山形県ナースセンターLINE公式アカウント



令和6年度 通常総会プログラム

日時 令和6年6月14日(金) 9:45~12:15 場所 山形県看護協会 看護研修センター 3階第1研修室

9:00 受付

9:40 オリエンテーション

9:45 開 会
物故会員への黙とう
会 長 挨拶
山形県看護協会看護功労者表彰及び感謝状贈呈
叙勲・日本看護協会会長表彰受賞者の紹介
来 賓 祝 辞
来 賓 者 紹 介
祝 電 披 露

10:25 議事開始
総会成立宣言
議長団選出
議事録署名人選出

10:30 報告・議決事項
理事会報告
支部長・副支部長会報告
その他の会議・委員会報告
令和5年度重点事業・事業報告並びに決算及び監査報告
職能・常任・特別・認定・推薦委員会活動報告
令和6年度重点事業・事業計画並びに収支予算報告
令和6年度日本看護協会通常総会代議員報告

11:30 審議・議決事項[提出議題]
第一号議案 令和6年度改選役員・推薦委員、令和7年度日本看護協会代議員・予備代議員
並びに令和6年度支部改選役員の選挙について（選挙管理委員の紹介、候補者
紹介、選挙）
第二号議案 公益社団法人山形県看護協会役員の報酬等の総額上限改定(案)について

12:00 新役員の紹介
新役員代表挨拶
旧役員への謝辞
旧役員代表挨拶

12:15 閉 会

令和6年度 職能合同研修会プログラム

日時 令和6年6月14日(金) 13:30~15:30 場所 山形県看護協会 看護研修センター

13:30 開 会
講 演 「医療倫理の歴史的背景について」
京都大学大学院 人間・環境学研究科 佐藤泰子 氏

15:30 閉 会

報告事項 1 常務理事会報告

第1回 令和5年4月14日(金) 16:00~17:00 山形県看護協会またはWeb参加
出席者：会長、副会長2名、常任理事3名、
理事(書記担当)1名、監事3名、
事務局1名

[審議事項]

1. 山形県看護協会委員会の再編について
2. 支部関係について
3. 理事会・常務理事会の開催について
4. 山形県との業務推進懇談会について

第2回 令和5年8月25日(金) 15:00~16:00 山形県看護協会またはWeb参加
出席者：会長、副会長2名、常任理事3名、
理事(書記担当)1名、監事2名、
事務局1名

[審議事項]

1. 令和5年度山形県との業務推進懇談会について
2. 常任・特別・認定委員会の見直しについて
3. 新パンフレットの案について

理事会報告

第1回 令和5年5月22日(月) 10:00~12:45 山形県看護協会 3階第1研修室
出席者 理事16名 監事1名 事務局1名
オブザーバー1名

[審議事項]

1. 令和4年度事業報告・決算及び監査報告について
 - ①事業報告(承認)
 - ②決算及び監査報告(承認)
2. 令和4年度各支部の事業報告及び収支報告について(承認)
3. 令和5年度公益社団法人山形県看護協会外部監事の選任(案)について(承認)
4. 令和5年度職能・常任・特別・認定委員会の委員選出(最終)について(承認)
5. 令和5年度選挙管理委員会の構成メンバー(案)について(承認)
6. 令和5年度山形県看護協会通常総会及び職能合同研修会の運営について
 - ①役割分担表(承認)
 - ②進行表(承認)

7. 山形県看護協会職員給与規定及び訪問看護ステーション職員給与規程改正について（承認）

[報告事項]

1. 山形県看護協会事業

- ①三職能4委員会活動報告（保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ）
- ②4支部の活動報告（山形・最北・庄内・置賜）
- ③山形県看護協会訪問看護ステーションの活動報告
- ④2023年度「看護の日・看護週間」について
- ⑤山形県看護協会「地域の看護力強化支援事業」成果報告
- ⑥山形県新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設健康管理・相談等事業の業務報告
- ⑦令和4年度新型コロナウイルス感染症等に係る対応（IHEAT）の運用業務報告
- ⑧山形市保健所新型コロナウイルスワクチン接種に係る集団接種等業務状況報告
- ⑨山形市保健所新型コロナ陽性者に対する疫学調査及び健康観察業務委託について
- ⑩2023年度「今野フサ子記念奨学金」給付奨学生募集について
- ⑪トルコ地震に対する寄附について

2. 日本看護協会事業

- ①第1回理事会・法人会員会報告

3. その他

- ①書面報告 令和4年度山形県看護協会第9回理事会議事録
- ②会長及び常任理事の職務執行状況について（令和5年1～3月）
- ③山形県周産期医療協議会（3月20日）について
- ④山形県との業務推進懇談会までのスケジュール(案)

第2回 令和5年6月16日(金) 総会終了後

山形県看護協会 2階第2研修室

出席者 理事18名 監事3名 事務局1名

[審議事項]

第一号議案 会長選定の件

- ・満場一致で若月裕子氏が選定され、本人は就任を承諾した。

第二号議案 常任理事選定の件

- ・満場一致で後藤道子氏、菅野弘美氏が選定され、本人は就任を承諾した。

第三号議案 会長代行及び常任理事の優先順位の件

- ・満場一致で次のとおり選定された、本人は代行順位を承諾した。

会長代行 第一順位 吉岡良子氏 第二順位 岸 幸世氏

常任理事 第一順位 田瀬裕子氏 第二順位 後藤道子氏 第三順位 菅野弘美氏

第3回 令和5年7月14日(金) 13:30～16:30

山形県看護協会またはWeb参加

出席者 理事18名 監事3名 事務局1名

[審議事項]

1. 令和5年度理事会の日程について（承認）

2. 令和5年度山形県との業務推進懇談会について

開催日時 令和5年9月12日(火) 13:30~16:00(承認)

会場 山形県看護協会 3階第1研修室(承認)

- ①業務推進懇談会までのスケジュール(承認)
- ②情報交換の議題の検討

[報告事項]

1. 山形県看護協会事業

- ①重点政策・重点事業に取り組み状況について
- ②三職能4委員会活動報告(保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ)
- ③4支部の活動報告(山形・最北・庄内・置賜)
- ④山形県看護協会訪問看護ステーションの活動報告
- ⑤「地域の看護力強化支援事業」採択報告について
- ⑥令和5年度受託事業の契約状況について
- ⑦2023年度「今野フサ子記念奨学金」給付奨学生応募状況について
- ⑧山形県看護協会通常総会等について

2. 日本看護協会事業

- ①看護労働担当者会議について

3. その他

- ①書面報告 令和5年度山形県看護協会第1回常務理事会議事録
- ②書面報告 令和5年度山形県看護協会第1回理事会議事録
- ③書面報告 令和5年度山形県看護協会通常総会議事録
- ④書面報告 令和5年度山形県看護協会第2回理事会議事録
- ⑤会長及び常任理事の職務執行状況(令和5年4~6月)

第4回 令和5年9月12日(火) 10:00~12:10

山形県看護協会 3階第1研修室

出席者 理事19名 監事3名 事務局1名

[審議事項]

1. 令和5年度山形県との業務推進懇談会について

- ・情報交換の議題(案)(承認)

テーマ1 「夜勤可能な看護職員の減少—持続可能な夜勤体制の構築—」

テーマ2 「在宅療養推進に向けた医療と介護の連携強化(看護師とケアマネジャー)」

2. 常任・特別・認定委員会の見直しについて(承認)

[報告事項]

1. 山形県看護協会事業

- ①重点政策・重点事業の取り組み状況について
- ②三職能4委員会活動報告(保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ)
- ③4支部の活動報告(山形・最北・庄内・置賜)
- ④令和5年度ナースセンター事業運営委員会について

- ⑤山形県公衆衛生学会第1回運営委員会について
- ⑥山形県看護協会訪問看護ステーションの活動報告
- 2. 日本看護協会事業
 - ①第3回理事会について
 - ②会員情報管理情報交換会について
 - ③認定看護管理者教育機関担当者会議について
- 3. その他
 - ①山形県看護研究学会について
 - ②第1回山形県周産期医療会議について
 - ③書面報告 山形県看護協会第3回理事会議事録
 - ④会長及び常任理事の業務執行状況（令和5年7～8月）
 - ⑤パンフレット作成状況と見直しについて、パンフレット(案)の説明

第5回 令和5年10月26日(木) 14:00～16:00 山形県看護協会またはWeb参加
出席者 理事18名 監事3名 事務局1名

[審議事項]

- 1. 令和6年度山形県看護協会通常総会の日程について（承認）
＜提案＞令和6年6月14日（金）
- 2. 山形県看護協会図書室運営規則の一部改正(案)について（承認）

[報告事項]

- 1. 山形県看護協会事業
 - ①重点政策・重点事業の取り組み状況について
 - ②三職能4委員会活動報告（保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ）
 - ③4支部の活動報告（山形・最北・庄内・置賜）
 - ④山形県看護協会訪問看護ステーションの活動報告
 - ⑤令和5年度山形県看護協会支部別会員数（9月30日現在）報告
- 2. 日本看護協会事業
 - ①政策責任者会議について
 - ②第4回理事会・第2回法人会員会について
 - ③地区別法人会員会について
- 3. その他
 - ①書面報告 山形県看護協会第2回常務理事会議事録
 - ②書面報告 山形県看護協会第4回理事会議事録
 - ③書面報告 山形県との業務推進懇談会会議録
 - ④会長及び常任理事の業務執行状況（令和5年9～10月）
 - ⑤その他 ①～④についての説明

第6回 令和5年12月18日(月) 13:30～16:30

山形県看護協会またはWeb参加

出席者 理事19名 監事2名 事務局1名

[審議事項]

1. 令和5年度山形県看護協会上半期事業報告(承認)
2. 令和5年度山形県看護協会上半期決算並びに監査報告(承認)
3. 令和6年度山形重点事業(案)について(承認)
4. 令和6年度職能・常任・特別・認定委員会の目的(案)について(承認)
5. 令和6年度教育計画(案)(承認)
 - ①令和5年度参加状況
 - ②令和6年度教育計画(案)
6. 令和6年度職能・常任・特別・認定委員会委員の選出について(承認)
7. 山形県看護協会職員給与規定の改定8案)及び山形県看護協会訪問看護ステーション職員給与規定の改定(案)について(承認)
8. 山形県看護協会役員等の報酬規則の改定(案)について(承認)
9. 令和6年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について(承認)
10. 令和6年度日本看護協会会長表彰候補者の推薦について(承認)

[報告事項]

1. 山形県看護協会事業
 - ①重点政策・重点事業の取り組み状況について
 - ②三職能4委員会活動報告(保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ)
 - ③4支部の活動報告(山形・最北・庄内・置賜)
 - ④山形県看護協会訪問看護ステーションの活動報告
 - ⑤令和5年度山形県看護研究学会について
 - ⑥令和5年度会館建設積立金納入状況(11月30日現在)報告
2. 日本看護協会事業
 - ①広報担当役員会議について
 - ②第53回日本看護学会学術集会について
 - ③医療事故調査制度情報交換会について
 - ④都道府県看護協会・訪問看護連絡協議会合同会議について
 - ⑤第5回理事会・第4回法人会員会について
 - ⑥自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベントについて
3. その他
 - ①山形県看護師等確保推進会議について
 - ②書面報告 山形県看護協会第5回理事会議事録
 - ③会長及び常任理事の職務執行状況報告(令和5年11～12月)

第7回 令和6年3月15日(金) 13:30~16:30

山形県看護協会またはWeb参加

出席者 理事18名 監事3名 事務局1名

[審議事項]

1. 令和6年度山形県看護協会事業計画(案)について(承認)
2. 令和6年度収支予算(案)について(承認)
3. 令和6年度支部事業計画(案)・予算(案)について(承認)
4. 令和6年度教育研修一覧(案)について(承認)
5. 令和6年度日本看護協会名誉会員候補者の推薦について(承認)
6. 山形県看護協会看護功労者表彰並びに感謝状贈呈規定の改正(案)について(承認)
7. 令和6年度山形県看護協会看護功労者表彰並びに感謝状贈呈候補者(案)について(承認)
8. 令和6年度山形県看護協会通常総会並びに職能合同研修会プログラム(案)について(承認)
9. 令和6年度事業スケジュール(案)について(承認)
10. 令和6年度山形県看護協会通常総会要綱の印刷部数と配布先(配布数)の見直しについて(承認)
11. 山形県看護協会役員等の報酬規程の改正(案)について(承認)
12. 令和6年度職能・常任・学会・認定委員会の委員選出(案)について(承認)
13. 山形県看護協会職員給与規程の改正(案)について(承認)
14. 山形県看護協会旅費規程の改正(案)について(承認)
15. 山形県看護協会役員報酬等の上限(案)について(承認)
16. 山形県看護協会会館建設積立金の資産運用(案)について(承認)
17. 山形県看護協会事務局の組織改正(案)について(承認)

[報告事項]

1. 山形県看護協会事業
 - ①重点政策・重点事業の取り組み状況について
 - ②三職能4委員会活動報告(保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ)
 - ③4支部の活動報告(山形・最北・庄内・置賜)
 - ④山形県看護協会訪問看護ステーションの活動報告
 - ⑤令和5年度蔵書点検実施報告
 - ⑥県内分娩取扱施設における看護管理者・産科看護管理者・助産師等交流会
2. 日本看護協会事業
 - ①第6回理事会・第4回法人会員会
 - ②全国看護基礎教育担当役員会議
 - ③日本看護サミット
3. その他
 - ①書面報告 山形県看護協会第7回理事会議事録
 - ②第50回山形県公衆衛生学会
 - ③山形県高齢者・障がい者虐待防止会議
 - ④東日本大震災追悼・復興祈念事業キャンドルナイト
 - ⑤会長及び常任理事の職務執行状況報告(令和5年12月~令和6年3月)

報告事項2 支部長・副支部長会報告

第1回支部長会議 日 時 令和5年4月24日（月） 15：00～17：00
開催方法 ZoomによるWeb会議
出席者 支部長4名 事務局3名

[審議事項]

1. 山形県看護協会と4支部との確認事項について
2. 支部長会の運営について

第2回支部長会議 日 時 令和5年7月14日（金） 16：30～17：30
開催方法 ZoomによるWeb会議
出席者 支部長4名 事務局5名

[審議事項]

1. 支部活動の見直し（課題）について
2. 第8次保健医療計画の策定について（看護職能団体としての意見・要望・発言など）

第3回支部長会議 日 時 令和5年11月13日（月） 17：00～18：00
開催方法 ZoomによるWeb会議
出席者 支部長4名 事務局2名

[審議事項]

1. 次年度研修について

報告事項3 その他の会議・委員会報告

1. 山形県との業務推進懇談会

日 時：令和5年9月12日（火）13：30～15：30

場 所：山形県看護協会 3階第1研修室

出席者：山形県9名 役員22名 事務局6名

健康福祉部：医療統括監、地域医療支援課長、課長補佐、看護師確保対策主査、主査、
高齢者支援課長、がん対策・健康長寿日本一推進課長、障がい福祉課長
しあわせ子育て応援部：子ども成育支援課長

内 容：1) 情報交換・意見交換

(1) 夜勤可能な看護職員の減少～持続可能な夜勤体制の構築～

(2) 在宅療養推進に向けた医療と介護の連携強化（介護職とケアマネージャー）

2) 情報提供事項

(1) 看護師等確保対策の推進

(2) 看護補助者の確保

(3) 医療的ケア児の就園、就学支援体制の強化

(4) 高齢者施設における看取り

(5) 医療・介護分野におけるDX

(6) 母子のための包括的支援の推進

2. 令和5年度日本看護協会通常総会代議員・予備代議員等研修会

日 時：令和5年5月22日（月）14：00～15：30

場 所：山形県看護協会 3階第1研修室

出席者：役員6名 代議員8名 予備代議員8名 協会・支部推薦一般参加者8名

研修内容：講師：日本看護協会 常任理事 森内みね子氏

1) 代議員・予備代議員の役割について

2) 令和5年度日本看護協会通常総会について

(1) プログラム

(2) 提出議題

(3) その他

3) 質疑・意見交換

3. 山形県ナースセンター事業運営委員会

日 時：令和5年8月3日（木）13：00～15：00

開催方法：ZoomによるWeb開催

出席者：31名（事務局11名） 欠席2名

内容：1）報告および協議事項

（1）令和4年度山形県ナースセンター事業報告について

（2）令和5年度山形県ナースセンター事業計画について

2）情報提供

（1）山形県内病院における令和4年度看護職員就業状況及び勤務環境調査の結果

（2）看護師確保に向けて一多様な勤務形態の構築が必須—

4. 山形県看護協会役員・委員会運営に関する説明会

[第1回]

日時：令和5年6月20日（火）15：30～17：00

開催方法：ZoomによるWeb開催

出席者：役員9名 副支部長8名 推薦委員4名

職能委員21名 常任委員45名 特別委員5名 認定委員4名 事務局21名

内容：1）令和5年度山形県看護協会重点事業について

2）委員会運営、活動計画について

3）看護協会からのお知らせ

[第2回]

日時：令和6年1月23日（火）15：00～17：00

開催方法：ZoomによるWeb開催

出席者：役員11名 副支部長8名 推薦委員5名

職能委員21名 常任委員40名 特別委員6名 認定委員3名 事務局15名

内容：1）令和5年度支部・委員会活動報告（中間評価）

2）令和6年度重点事業と委員会の統廃合について

3）令和6年度委員会活動計画（案）

4）その他

5. 選挙管理委員会

選挙管理委員会名簿

氏名	職能	勤務先
阿部芳江	看護師	篠田総合病院
大滝昭一	看護師	公立高島病院
高山紀代	看護師	山形県立新庄病院
浅井千佳	看護師	山形県立こども医療療育センター
渡邊千春	看護師	山形徳洲会病院
五十嵐みづほ	看護師	鶴岡協立リハビリテーション病院

[第1回]

日 時：令和5年10月30日（月）13：30～14：10

場 所：山形県看護協会 2階第2研修室

出席者：委員6名 田瀬常任理事 伊藤事務局長

- 内 容：1) 令和6年度改選役員、支部役員、推薦委員について
2) 令和7年度日本看護協会代議員、予備代議員選出について
3) 広報誌への掲載記事（公示）について
4) その他

[第2回]

日 時：令和6年4月17日（水）13：30～15：00

場 所：山形県看護協会 2階第3研修室

出席者：委員6名 田瀬常任理事 伊藤事務局長

- 内 容：1) 令和6年度改選役員、支部役員、推薦委員並びに令和7年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者の確認について
2) 広報誌「山形いぶき」通常総会特集号及びホームページへの改選役員候補者一覧の掲載について
3) 令和6年度山形県看護協会通常総会における選挙の進め方について
4) 次期選挙管理委員会について

6. 山形県訪問看護総合支援センター事業運営委員会

[第1回]

日 時：令和5年7月25日（火）17：30～19：00

開催方法：ZoomによるWeb会議

出席者：委員13名 事務局4名 欠席2名

- 内 容：1) 山形県訪問看護総合支援センター事業運営委員会要綱について
2) 令和4年度山形県訪問看護総合支援センター事業報告
3) 令和5年度山形県訪問看護総合支援センター事業計画
4) 令和4年度山形県訪問看護ステーション実態調査報告
5) その他

[第2回]

日 時：令和6年3月14日（木）17：30～19：00

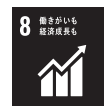
開催方法：ZoomによるWeb会議

出席者：委員14名 事務局4名 欠席1名

- 内 容：1) 令和5年度訪問山形県看護総合支援センター事業中間報告
2) 令和6年度山形県訪問看護総合支援センター事業計画（案）
3) 令和5年度訪問看護ステーション実態調査中間報告
4) その他

報告事項4 令和5年度重点事業報告

1. 全世代を支える看護機能の強化
2. 専門職としてのキャリア継続の支援
3. 地域を支える看護職の裁量発揮
4. 地域の健康危機管理体制の構築



1. 全世代を支える看護機能の強化

- 1) 地域包括ケアシステムの強化を支援する
 - (1) 地域の看護職間のネットワークの拡大と資質向上の支援
 - (2) 訪問看護の機能強化に向けた訪問看護総合支援センターの事業運営
 - (3) 包括的な母子支援のための機能強化
- 2) 地域の人々の健康づくりへの貢献
- 3) ICTを活用した連携強化・効率的な情報共有
- 4) 看護職の人材確保推進
 - (1) ナースセンターの事業運営
 - (2) 2025年に向けた看護需給計画を踏まえた看護師等確保対策への取り組み

2. 専門職としてのキャリア継続の支援

- 1) 看護職の資質向上と人材育成
 - (1) 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育の充実
 - (2) ラダーと連動した継続教育
 - (3) 看護管理者の力量形成への支援
 - (4) 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた人材育成
 - (5) 資格認定教育
- 2) 持続可能な働き方の実現に向けた支援
 - (1) 勤務環境改善の支援
 - (2) 医療勤務環境改善支援センター・労働局との連携

3. 地域を支える看護職の裁量発揮

- 1) 特定行為研修修了者の確保と活動の拡大
- 2) 専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の育成と活用
- 3) タスク・シフト/シェアにおける看護職と多職種との協働推進

4. 地域の健康危機管理体制の構築

- 1) 新型コロナウイルス感染症への対応
 - (1) 関係機関と連携した看護職員の育成と派遣
 - (2) 看護職の安全な活動のための支援
- 2) 大規模災害発生時の看護支援活動
 - (1) 災害支援ナースの育成及び登録体制の整備
 - (2) 災害支援ナース派遣マニュアルの整備
 - (3) 災害受援マニュアルの整備
- 3) 県協会のBCP（事業継続計画）の策定
 - (1) BCPの基本方針の作成

令和5年度事業報告

☆事業計画は、定款第4条の7つの事業の枠組みで立案

1. 教育等看護の質の向上に関する事業
2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業
3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業
4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業
6. 施設の貸与に関する事業
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

1. 教育等看護の質の向上に関する事業

1) 看護職の継続教育に関する事業【重・2・3】

(1) 継続教育の充実・強化

①教育計画の実施・評価 90研修

教育計画に基づいた研修運営

・新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修 53研修

看護実践能力を支援する研修 自己教育・研究能力を支援する研修

・診療報酬に関連した研修 5研修

・ラダー活用のための研修 1研修

・看護管理者、これからの看護管理を担う人々の力量形成のための研修 16研修

・施設内教育充実に向けた研修 8研修

・認定看護管理者育成のための研修 3研修

・その他（山形県看護研究学会、他団体との共催研修等） 4研修

・総会要綱内研修実施録の掲載

②教育計画の策定・広報

教育ニーズ調査と情報収集、研修企画調整、研修計画に関する意見収集、研修一覧の作成・発送

広報誌、ホームページ・キャリアナース・manaable・LINEで随時情報更新と新規発信

③看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）活用の推進

看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）オンデマンド研修推進

日本看護協会からの情報収集と発信

④行政との連携による看護師等の資質向上

山形県委託研修の実施 24研修

⑤その他

・キャリアナースへの登録推進とポートフォリオの利用促進、受講履歴の入力・管理、キャリアナース登録 4,747名

・研修受講管理システムmanaableの運用、manaable登録者5,475名

IT導入補助金の効果報告、manaableサイトリニューアルに伴う各施設への周知

・JNAと都道府県協会が協働して行う研修会開催に関する説明会の参加、研修企画・運営（4研修6回）

・看護管理者懇談会 7月27日開催 情報交換（多様な働き方・看護職の処遇改善について）参加者47名

(2) 専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の活動支援

①継続教育における講師の登用 県内の専門看護師・認定看護師（A課程 B課程） 認定看護管理者

②認定看護管理者の委員・演習支援者としての活用

認定看護管理者教育課程教育運営委員、職能委員会及び常任委員会、ファースト・セカンドレベル演習支援者

③専門看護師、認定看護師の委員としての活用 職能委員会及び常任委員会

(3) 小規模施設で働く看護職への学習支援

①研修の開催と参加者の情報交換の場づくり

研修、介護・福祉・在宅領域で働く看護職への情報提供

認定看護師等活用事業 出前研修7件・集合研修1回、参加者50名

(4) 委員会企画の研修のスムーズな運営

①委員会の研修運営 31研修

(5) 介護・福祉・在宅領域で働く看護職の研修充実

①委員会、訪問看護ステーション、事務局連携による研修企画

・訪問看護ステーション管理者研修 8月26日 参加者33名

・医療的ケア児等連携推進委員会による研修会開催 3月2日開催 参加者61名

・「訪問看護eラーニング～訪問看護の基礎講座～」を活用した訪問看護師養成講習会（山形県委託）

6月2日～11月17日 23名修了

<p>(6) 支部と連携した研修運営</p> <p>①各地区での研修開催 三川町なの花ホールで認知症対応力向上研修の開催（8月23日～25日）</p> <p>(7) 非会員への学習支援</p> <p>①研修の公開（非会員の受講受け入れ） 県内保健・医療・福祉施設へ教育計画送付、県内診療所へ研修案内送付、介護福祉系会議での研修PR、ホームページ・LINE・SNSを活用したPR</p> <p>(8) 研修環境の整備・充実</p> <p>①長期研修（7日以上）時の開館時間延長 開館時間8時30分～18時（1時間延長） ②AV機器・パソコン・文具等の定期点検と整備 長期研修前のチェック、研修前の準備、最新機器対応に向けた検討、Web研修を含めた研修運営マニュアル整備 ③訪問看護会館研修室の整備と活用（定期チェックと研修前点検・準備） ④職員の研修運営スキルの獲得と向上 全職員による認定看護管理者教育課程セカンドレベル公開講座（オンライン研修）の運営</p>
<p>2) 施設内教育充実を支援する事業【重・2】</p> <p>(1) 医療機関院内教育充実への支援</p> <p>①教育担当者・責任者研修の充実 継続教育の基準Ver2活用ガイドラインの活用、日看協ラダー活用による院内教育体制整備の推進、オンデマンド研修活用の推進 JNA 6月公表「看護職の生涯学習ガイドライン」の周知実施（委員会・研修オリエンテーションを活用）</p> <p>(2) 新人看護職の臨床研修体制の強化</p> <p>①新人研修の開催による支援 新人研修 3コース7回開催 ②新人育成に携わる担当者研修 実地指導者研修2回 研修責任者研修1回 教育担当者研修1回</p>
<p>3) 認定看護管理者教育に関する事業【重・2・3】</p> <p>(1) 認定看護管理者教育の推進</p> <p>①専任教員を中心とした認定看護管理者教育の実施・評価 ・ファーストレベル運営 19日間 分散研修 定員80名 : 6月29日～8月8日 83名修了 ・セカンドレベル運営 33日間 分散研修 定員30名 : 9月6日～11月22日 32名修了 ・ファーストレベル、セカンドレベルの公開講座運営 ・演習企画と認定看護管理者の活用による運営、受講者への学習支援、講師等との連絡調整と講義のサポート、研修運営の評価</p> <p>②セカンド、サードレベル修了者実践報告の機会提供 認定看護管理者教育課程教育運営委員会企画・運営による看護管理実践報告会開催 10月21日 めぐす看護のハーモニー開催 参加者41名</p> <p>③令和6年度研修企画 ファーストレベル、サードレベルの開催要項作成</p> <p>④認定看護管理者教育課程教育運営委員会の運営 適正な受講者選考と受講修了審査、看護管理実践報告会の企画・運営、研修企画・運営支援 専任教員の資質向上のための学会参加 8月25・26日 看護管理学会 専任教員2名参加</p> <p>⑤日本看護協会認定部との連携 認定看護管理者教育機関申請情報の入力手続き、積極的な情報収集と専任教員の連携 8月2日 認定看護管理者教育機関担当者会議（Web） 会長・教育研修担当理事出席</p> <p>(2) 看護管理者のスキルアップ支援</p> <p>①プログラムの一部公開（前掲の通り） 開講期間中にファーストレベル4講座を公開 参加者55名 セカンドレベル7講座を公開 参加者112名</p> <p>②セカンド・サードレベル教育課程修了者実践報告会の開催 セカンド・サードレベル修了者への実践報告募集（再掲）、看護管理者への参加呼びかけ</p>
<p>4) 医療安全教育に関する事業</p> <p>(1) 医療安全管理者養成研修の開催</p> <p>①医療安全管理者養成研修の実施・評価 ・研修の運営 JNAオンデマンド研修+本会集合研修 9月28日 修了者47名 ・受講者の学習支援、研修運営の評価 ・令和6年度研修企画</p> <p>(2) 医療安全推進活動</p> <p>①医療安全管理者の学習支援 7月18日 医療安全スキルアップ研修開催 参加者42名 ②医療・看護安全対策委員会による研修会 医療安全スキルアップ研修（再掲）、11月2日小規模施設対象研修 参加者50名 医療安全やまがたフォーラムの企画運営 12月9日オンライン開催 参加者148名 ③医療・看護安全対策委員会による医療安全管理対策に関するアンケートの実施 回答37施設 回収率59.9%</p>

5) 図書室運営に関する事業

(1) 図書・文献サービスの充実

- ①図書室の充実
- ②文献検索機能の向上
 - ・パソコンによる文献検索の普及 長期研修での文献検索法の活用ガイドを研修室に設置
 - ・蔵書原簿の更新
- ③図書室運営規則、図書室整備の取り決め事項改正

2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業

1) 山形県看護研究学会に関する事業【重・2】

(1) 山形県看護研究学会の開催

- ①学会の企画と運営 11月16日開催 日本精神科看護協会山形支部協力2名

(2) 看護研究の推進

- ①学会委員のスキルアップ 第53回日本看護学会学術集会への参加 大阪：9月29・30日、職員2名参加
- ②看護研究支援と研修会開催 6月23日 看護研究基礎研修開催 参加者88名、2月16日研究助言1件実施

3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業

1) 看護業務に関する事業【重・1】

(1) 職能委員会活動の活性化

- ①日本看護協会職能委員会との連携
 - ・日本看護協会通常総会への出席 6月7・8日 幕張メッセ 会長、常任理事、事務局長、職員1名出席
 - ・全国職能委員長会議への出席 第1回：7月28日 各職能委員長出席 第2回：3月1日 各職能委員長出席
 - ・地区別職能委員長会への出席 (北海道10月6日) 各職能委員長出席
 - ・調査活動への協力、日本看護協会職能委員会事業推進のための情報発信と山形県看護協会職能委員会での取組み
- ②保健師職能委員会活動 (P29委員会活動報告参照)
 - ・保健師の力量形成のための現任教育の充実
 - ・助産師職能と連携した母子県活動を推進する地域ケアの構築
 - ・保健師職能としての活動を再認識し、様々な事業を推進する
- ③助産師職能委員会活動 (P29委員会活動報告参照)
 - ・母子のための地域包括ケア推進における助産師の役割発揮と地域連携の推進
 - ・研修会企画及び運営 (8月・10月)
 - ・助産実践能力習熟段階 (CLoCMiP®) の普及・推進および更新・申請の支援
 - ・助産師活用推進事業の推進 助産師に関する実態調査、助産師出向への参加促進
 - ・山形県看護協会三職能の情報交換と連携
- ④看護師職能委員会Ⅰ活動 (P30委員会活動報告参照)
 - ・看護師職能を取り巻く現状と課題の明確化及び対策の検討
 - ・病院看護師の在宅療養支援力と地域につなげる看護の強化
 - ・「タスクシフト・タスクシェア」アンケート実施・集計・分析
- ⑤看護師職能委員会Ⅱ活動 (P30委員会活動報告参照)
 - ・高齢者の日常生活援助に関わる看護職としての質の向上
 - ・地域包括ケアの推進における多職種連携の強化
 - ・地域での看護力強化 (看看連携)
 - ・高齢者施設へのアンケート調査実施・集計・分析予定
- ⑥保健師・助産師・看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会 通常総会後の研修会開催 6月16日 (金)
- ⑦三職能4委員会に関する情報の発信
職能に関する情報収集と情報発信、広報誌へ「職能だより」掲載、山形県との業務推進懇談会への課題提起、職能委員会間の情報交換

(2) 助産師活用推進事業の展開 (山形県委託事業)

- ・助産師出向 (研修) のマッチング
- ・医療機関における助産師の実態調査 県内分娩取扱医療機関への助産師就業に関する実態・意向調査 6月実施
- ・短期交流研修の実施 7月から実施 受入施設：6病院1助産所 受講者25名
- ・院内助産・助産師外来の普及・理解促進のための研修会開催
- ・分娩取り扱い医療機関の看護管理者・助産所管理者等意見交換会開催 12月22日 参加者17名
- ・分娩取り扱い医療機関の看護管理者・助産師等の交流会開催 2月9日 参加者27名
- ・助産師活用推進事業協議会開催 年2回 第1回：10月18日 第2回：2月9日

2) 看護制度に関する事業【重・3】

(1) 准看護師への進学支援及び学習支援

- ①奨学金制度の活用
広報誌やホームページ等での公募、山形県看護協会の奨学金授与者の選考・公表、日本看護協会の奨学金の活用推進
- ②准看護師への学習支援
小規模施設、介護・福祉施設で働く看護職、診療所で働く看護職対象の研修会開催
- ③准看護師からの進学相談対応 (随時対応)

- (2) 看護職を目指す中・高校生、社会人への対応
- ①看護職への道をPRする
 中学校・高等学校での出前講座、ハローワークにおける進路相談、ナースセンターにおける進路相談
- (3) 日本看護協会との連携
- ①全国准看護師問題担当役員会議への出席 制度改革に伴う情報収集と理事会及び准看護師へ情報発信 開催なし
 ②日本看護協会通常総会への出席 制度に関する日本看護協会の動向を知り、准看護師へ情報発信
- (4) 看護職の教育制度見直しに関する情報発信
 日本看護協会からの情報を受け会員へ情報発信 必要時、行政へ提言
 7月26日 生涯学習ガイドライン説明会 (Web) 職員18名出席、各委員会・研修会開催時に会員へ情報発信
 9月15日 ナース・プラクティショナー (仮称) 制度に向けた勉強会 (Web) 職員14名出席
- (5) 特定行為の研修制度法制化の周知
 看護管理者対象に特定行為研修修了者活用の研修開催 11月30日 参加者67名

4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

1) 看護職を取り巻く環境改善に関する事業【重・1・2】

- (1) 看護職の離職防止及び看護職確保定着事業の推進
- ①令和4年度看護職員就業状況及び勤務環境調査
 6月に調査実施、調査結果をHPで公表、データの活用
- ②潜在看護師等復職研修
 受入れ病院募集後5月から受講者募集、受入れ施設の確保、未就業者対象のeラーニングを活用した研修開催、LINE公式アカウント活用したナースセンター登録者・届出登録者・ハローワーク相談者への情報提供、研修・セミナー運営評価
 ・病院等施設実地研修 6月～1月の期間で7回実施 参加者28名
 ・eラーニングを活用した復職支援研修 通年 参加者24名
- ③働き続けられる職場づくりの推進
 ・勤務環境改善の継続
 ・勤務環境改善推進委員会による支援活動、看護の業務改善事例の紹介・推進（「看護の業務改善in山形」開催）
 ・勤務環境改善推進委員会の活動推進、夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの活用推進
 看護職のキャリアと連動した賃金モデルの周知、短時間正職員制度や多様な勤務形態導入の推進、
 県内病院離職者実態調査実施・結果の活用
 ・山形県医療勤務環境改善支援センターとの連携
- ④看護師等職場説明会開催
 7月29日 庄内産業振興センター マリカ東館（1回） 8月26日 イオンモール天童イオンホール（2回）
 参加施設：延べ62病院（2日間合計） 参加人数：延べ99名（2日間合計）
- ⑤日本看護協会、関係団体、行政との連携強化
 ・都道府県労働問題担当者会議への参加 6月2日（Web開催）
 ・日本看護協会オンデマンド配信研修活用の推進、労働と看護の質向上のためのデータベースDiNQL事業の活用推進
 ・都道府県ナースセンター地区別意見交換会開催、地域に必要な看護職確保推進事業意見交換会への参加
 ・山形県との業務推進懇談会へ課題提起
 ・「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」への参画、県の修学資金の利用促進
 ・「山形県医療勤務環境改善支援センター」との連携
 ・山形労働局との協力体制の構築
 連携によるハローワークでの「看護の仕事相談会」の利用者拡大・就業支援の強化、「医療労務管理相談コーナー」活用の周知、「WECやまがた」への参加、福祉のしごとフェア参加
 「WECやまがた」：会議5回参加、施設見学1回 福祉のしごとフェア：4ヶ所（山形、新庄、酒田、米沢）参加
- (2) ナースセンター事業運営の強化
- ①ナースセンター事業の充実
 ・求職・求人相談の充実 Zoomを使用したオンライン就業相談の実施
 ・LINE公式アカウントのチャット機能を活用した就業相談の実施
 ・離職者へのナースセンター届出制度周知と代行登録推進 登録者への情報提供と復職支援の充実
 ・相談件数、再就業率のアップ 事業成果の可視化とデータの活用
 ・「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」の目標達成
- ②看護職員就業支援事業
 ・施設訪問による求人登録の推奨 施設訪問80施設
 ・NCCSシステムの周知と普及活動
 ・ハローワークとの連携継続の強化
 9月20日 第1回看護師業務・求人説明会：6施設17名参加
 11月29日 第2回看護師業務・求人面談会：4施設8名参加
 ・県内各地域でUターンによる就業相談 Uターン就職者の就業状況調査を実施し、Uターン就業支援に繋げる
 8月10日 「看護への道セミナー」開催：中高校生・保護者合計46名参加
 ・県Uターン情報センター等と連携し、定期的な情報発信と県内ならびに首都圏等での相談ニーズに対応する（LINE等）
 ・離職者の実態調査とデータの活用

③看護業務啓発促進事業

- ・「ふれあい看護体験」の開催 令和5年5月、7～8月実施（43病院参加 高校生参加者316名）
- ・「看護の出前授業」の実施（通年実施）
- ・「看護の日・看護週間」のPR
- ・「看護の日・看護週間」における「みんなで話そうー看護の出前授業」の実施
7月26日 県立上山明新館高等学校（看護の仕事）

④潜在看護師掘り起こし事業

- ・「令和5年度山形県看護職『就職ガイドブック』」作成、関係機関及び「看護師等職場説明会」参加者へ配布
- ・マスコミ等のメディアを活用したナースセンター登録に関する情報発信（ホームページ更新、LINE公式アカウント）
LINE公式アカウント情報発信（登録者1,205名：令和6年3月末）
- ・登録者への情報発信と復職相談の対応 eナースセンター・とどけるん登録者へEメール配信
- ・地域に必要な看護職確保推進 地域の看護管理者会との連携推進（ナースセンター運営委員会への参加）
- ・セカンドキャリア等研修会の開催 ナースカフェ開催 10月24日：参加者6名、2月7日：参加者2名
- ・YouTubeチャンネルの開設、動画作成・投稿・周知 4本投稿

⑤ナースセンター利用促進事業

- ・県内ハローワーク（8カ所）における看護の仕事相談会開催 開催回数91回 参加者241名
- ・ハローワークやまがたとの連携強化 連携調整会議開催 5月10日 参加者4名
- ・ハローワークでの相談強化、施設訪問によるナースセンター事業の周知活動と利用促進
施設訪問報告を兼ねた「私たちの職場自慢！」のLINE掲載（26施設）

⑥ナースセンターの運営に関すること

- ・ナースセンター事業運営委員会開催（年1回）8月3日（木）Web開催 参加者31名
- ・事業報告書300部作成、ナースセンターだより年3回発行

(3) 看護職の健康増進

①看護職のメンタルサポート

- ・相談窓口の周知・広報
- ・相談員のスキルアップ
職業紹介責任者講習会4月14日・5月24日 高年齢者雇用・障害者雇用のための助成金制度説明会6月19日・26日
都道府県ナースセンター就業相談員研修9月13日 キャリアコンサルティング研修11月9日・29日
- ・実績評価

(4) 「看護職賠償責任保険制度」の普及

①会員への「看護職賠償責任保険制度」の周知 加入の促進

2) 県民の健康・福祉の増進に関する事業【重・1・4】

(1) 県民の健康づくり支援

①県民への相談事業「まちの保健室」の開催

- ・「まちの保健室」推進委員会活動の推進、開催要綱、運営マニュアルの見直し
- ・支部、常任委員会「まちの保健室」推進委員会との連携 合同委員会11月10日開催
- ・支部「まちの保健室」の常設化検討 地域住民を対象とした常設型「まちの保健室」開催
- ・ボランティア運用要綱の周知と利用者拡大、ボランティア育成研修会開催 10月17日 参加者10名
- ・子どもと子育て世代を対象とした山形支部による常設型「まちの保健室」開催
- ・他団体、事業所依頼の「まちの保健室」開催への対応
山形新聞・山形放送8大事業「県民健康講座」5月11日山形市 7月6日長井市 10月12日酒田市で実施
- ・やまがた健康フェア2023での「まちの保健室」9月23日・24日実施
- ・アルカディアソフトパーク・南沼原地区対象の「まちの保健室」3回開催 南沼原地区「文化祭」での「まちの保健室」11月5日
- ・関連団体との共催 「まちの保健室」連絡協議会の開催

②看護に関するイベント事業 「看護の日・看護週間」のPR

③医療安全フォーラム 「医療安全やまがたフォーラム」研修会開催の企画、運営 12月9日開催（再掲）

④次世代育成支援事業

- ・やまがた子育て応援サイトメール相談業務（山形県委託）
- ・いのちの教育・性の健康教育講師派遣、実践者の育成、研修開催、「性の健康支援ネットワーク活動指針」の活用
- ・性の健康支援ネットワーク会員登録者の増員
- ・山形市男女共同参画推進担当との連携

⑤電話相談事業

健康相談、自殺対策、青少年関係

⑥県民及び看護職の禁煙推進活動【重・2】

山形県四師会共催による禁煙活動事業開催、関係機関との連携、受動喫煙防止宣言の普及（チラシ配布・協会内掲示）
四師会禁煙推進委員会の運営 第1回：4月25日 第2回：9月11日（メール活用の連携随時） 第3回：2月26日
5月31日（世界禁煙デー）～6月6日 イエローグリーンキャンペーン実施

(2) 新興感染症等のパンデミックへの対応体制の整備【重・4】

①新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設健康管理・相談等事業へ看護職派遣事業 5月8日事業終了

- ・宿泊療養施設看護職派遣事業の運営（山形県委託） 村山地域（天童） 庄内地域（鶴岡） 置賜地域（米沢）
- ・派遣看護職の勤怠管理等

- ②新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材派遣 5月7日事業終了
 - ・看護職員の県内応援派遣に係る業務調整（山形県委託）
 - 発生事例に関する対策Web会議参加、調整本部Web会議参加
- ③新型コロナウイルスワクチン接種看護師派遣
 - ・山形市新型コロナウイルスワクチン接種に係る集団接種業務（山形県委託）
 - 山形市保健所における集団接種業務4月～12月看護師派遣、12月28日事業終了
- ④新型コロナウイルス感染症等対応人材（IHEAT）研修と運用
 - 山形県IHEAT新規登録者対象の研修開催、登録者情報更新の周知と確認、保健所応援要請の人材調整
 - IHEAT新規登録者研修 11月25日開催 参加者5名

(3) 災害支援体制の整備

- ①山形県看護協会災害支援体制の整備・周知
 - ・事業継続計画（BCP）策定、災害支援活動要綱・災害支援ナース必携マニュアルの見直しと検討、受援マニュアル整備、事務局内災害対応マニュアル整備、災害支援体制の周知
- ②災害支援ナース育成の強化
 - ・災害看護対策委員のスキルアップ
 - ・支援ナースの育成・スキルアップ研修の開催
 - 日本看護協会委託新型コロナなど新興感染症に係る看護職員等確保事業災害支援ナース養成研修
 - 9月15日～10月19日（オンデマンド研修）
 - 10月24日・25日（集合研修） 53名修了
 - 11月21日 災害支援ナースフォローアップ研修 参加者18名
 - 12月6日 防災力アップセミナー 参加者41名
 - ・支援ナース連絡体制の模擬訓練への参加 実施なし
 - ・山形県・市町村合同総合防災訓練参加 9月10日 天童市開催 災害支援ナース16名参加
- ③看護職の災害看護の意識高揚
支援ナース登録者の拡大
 - 「山形県看護研究学会」で災害支援活動や支援ナースのPR展示
- ④県民に対する防災意識の啓発 災害時の対応、災害支援活動等の館内展示
 - 8月26日 「山形市防災フェスティバル」で災害支援活動・支援ナースのPR展示、写真撮影会実施
- ⑤災害看護支援体制のネットワークづくり
 - ・日本看護協会との連携 災害看護対策担当者会議出席
 - ・県内医療関係団体連携による支援活動の検討
 - ・行政等との連携 関連会議・研修会出席、山形県・市町村合同総合防災訓練参加

(4) 東日本大震災支援活動

- ①被災看護職への支援
 - 研修受講の受け入れ、避難地域の就業支援、県内避難の看護職の入会負担金免除
- ②県内避難者の心のケア業務（福島県委託事業）
 - ・山形市、米沢市における「まちの保健室」開催 10月5日（山形市）参加者14名 11月9日（山形市）参加者18名
 - ・各市町村避難者支援担当と連携した「まちの保健室」開催
 - ・支援者のスキルアップ、研修会開催（ボランティア育成研修会） 10月17日実施（再掲）
- ③県内避難者支援ネットワーク関連
 - ・県内避難者支援ネットワーク会議とイベントへの参加、避難者支援協働ネットワーク意見交換会
 - 今後の暮らし応援のつどい「まちの保健室」 7月8日（山形市）参加者12名 7月9日（米沢市）参加者3名
 - ・「避難者生活相談支援事業」被災者生活支援調整会議への出席 年4回
 - ・行政、関係団体との連携

5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業

1) 在宅ケア等に関する事業【重・1】

(1) 地域包括ケアシステムの推進

- ①地域包括ケアにおける看護職の役割・機能の周知・普及
 - ・地域包括ケアシステム構築推進の取組み 研修会開催、退院支援・地域連携の推進、県内病院看護管理者懇談会開催
 - ・4職能委員会及び在宅ケア推進委員会の連携
 - 地域包括ケアシステムにおける看護の役割（地域につなぐ看護研修）、地域と施設の看護職ネットワーク構築
 - 11月9日 保健師職能、看護師職能Ⅰ、Ⅱの職能合同委員会開催
 - 12月6日 看護師職能Ⅱ、在宅ケア推進委員会との合同委員会開催
 - ・支部活動の活性化
 - 合同委員会時の支部長会へ副支部長出席、地域の会議内容の共有と意見交換、
 - 地域の在宅医療推進協議会（地域医療構想調整会議）への支部長出席と発言（オブザーバーとの連携）
 - ・地域における看護管理者のネットワーク構築
 - 「地域の看護力強化支援事業」の実施5団体、地域単位での看護管理者ネットワークと多職種連携の強化
 - ・母子のための安心安全な地域ケアの推進
 - 医療的ケア児等の体制整備等の会議出席
 - 医療的ケア児等の研修会開催 3月2日 小児在宅医療研修会 参加者61名

(2) 訪問看護総合支援センター事業（県委託）

①事業所運営基盤整備支援

訪問看護の総合相談窓口 平均23件/月
訪問看護事業所経営安定化研修 10月12日 参加者31名
個別経営相談
訪問看護普及活動 健康フェア・キッズやまがたでチラシ配布
訪問看護総合支援センター事業運営委員会 年2回（Web）実施 第1回：7月25日 第2回：3月14日

②人材確保 就労相談件数 174件

・潜在看護師、プラチナナースへの就業及び転職促進 ナースセンターと連携し情報提供、個別就労マッチング
・訪問看護担い手創出事業 入門コース（1日体験）、実践コース（2から5日体験） 入門：41名 実践：4名
・新卒看護師採用に向けた取組 看護学生の訪問看護実習支援 1事業所が今年度育成中、情報収集

③訪問看護の質の向上

・教育体制の組織化
訪問看護師養成講習会開催 eラーニング活用研修：6月2日～11月17日 集合研修 申込25名（11月17日 23名修了）
専門看護師、認定看護師派遣研修事業 11か所実施
訪問看護事業所管理者研修 8月26日 参加者33名
訪問看護技術研修（2回） 第1回：8月5日 参加者29名 第2回：10月28日 参加者27名
ICT導入研修（ポケットエコー活用研修2回）
第1回：9月9日（山形市）参加者7名 第2回：9月30日（村山市）参加者20名 補助金を利用して購入
訪問看護師とケアマネジャー合同研修 11月20日 参加者73名
・訪問看護に関する情報収集と分析
訪問看護ステーション連絡協議会との合同会議（隔月開催） 6月22日 8月17日 10月19日 12月21日 2月15日
ブロック会議（4地域で毎開催） 村山：8月22日 17名 置賜：8月29日 8名
庄内：9月13日 11名 最北：9月30日 8名
訪問看護ステーション実態調査 12月実施

④新型コロナウイルス感染症克服

・感染予防対策の徹底 事業所訪問
県内訪問看護事業所巡回 75/86か所 感染対策確認、BCPの進捗確認
・事業の継続体制の組織化 地区ごとの支援体制の構築（ブロック会議）
村山：8月22日 17名 置賜：8月29日 8名 庄内：9月13日 11名 最北：9月30日 8名（再掲）

6. 施設の貸与に関する事業

1) 施設運営に関する事業

(1) 施設の賃貸運営

- ①会館、研修センターの賃貸契約及び貸出
・事務所としての賃貸契約先：日本精神科看護協会山形県支部
・研修室の外部貸出、自動販売機設置2・3階 2階自動販売機撤去、研修室外部貸出 7施設 16件
- ②看護協会駐車場の貸出 1件
- ③訪問看護会館の貸出 研修室、会議室の積極的な貸出

7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

1) 組織に関する事業

(1) 協会組織の強化

- ①公益社団法人の円滑な運営 定款の遵守
- ②協会事業組織の検討 各種パンフレットの見直し・作成と活用、事務局の役割強化
パンフレット見直し検討会4回開催 発行
- ③支部活動の活性化
・支部運営の強化
支部担当執行理事のサポート体制構築、支部規則・本協会との確認事項の周知と徹底、支部活動の効率化、地域密着の活動推進
・支部長・副支部長会議の開催 支部運営の情報交換、副支部長の参加（合同委員会時）
・支部長の地域内会議への出席 会議内容の共有
・地域内の看護職ネットワーク構築 看護管理者会議・職能間の連携会議等、看護管理者懇談会開催と支部長の出席
・教育委員会の企画による研修会開催
・「まちの保健室」運営委員会の企画による「まちの保健室」開催
常任委員会「まちの保健室」推進委員会との連携、開催要項・運営マニュアルの活用と見直し
ボランティアの育成と活用、地域密着型「まちの保健室」の推進
・日本看護協会通常総会への一般参加者派遣 参加報告の共有 山形支部1名、庄内支部4名、協会3名派遣
- ④会員拡大対策の強化
新「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導、協会事業のPRによる会員拡大、各職能委員会による会員拡大の呼びかけ、施設訪問による会員拡大の呼びかけ

(2) 会員意識の高揚と会員拡大

① 会員拡大への働きかけ

新「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導、施設未加入者への働きかけ（入会案内チラシ等の活用・送付）
事業案内パンフレット・教育計画等の送付、ホームページでの広報
施設へ未入会者通知88名入会、非会員施設874ヶ所へ入会案内チラシ等送付

② 看護学生への働きかけ

看護教育機関への働きかけ（パンフレットの活用及び送付）、職能団体活動の講話等、入学式・戴帽式・卒業式等への出席
入学式：出席2校、祝電9校 戴帽式：出席3校、祝電4校 卒業式：出席6校、祝電9校
看護学校での会長講話：3校

③ 新会員情報管理システム（ナースシップ）の運用

日本看護協会との契約締結・維持、会員登録システム変更の周知、ナースシップシステムによる会員管理、
会員専用Webページ「キャリアナース」への登録推進、退会届の周知
会員施設へ次年度入会手続き方法をメール・文書・ホームページで周知 キヤリナース登録者4,907名

2) 組織の運営に関する事業

(1) 組織運営の円滑化

① 総会開催 総会運営規則に則った総会運営、総会要綱作成、選挙規則に則った役員改選

② 役員等の推薦 改選役員等候補者の推薦 推薦委員会4回開催

(2) 組織運営に関する会議

① 総会 年1回 6月16日（金）

② 理事会 6～7回開催予定 <参集開催3回> 5月22日 6月16日 9月12日
<Web開催4回> 7月14日 10月26日 12月18日 3月15日

③ 常務理事会 2～3回開催予定 2回開催 4月14日 8月25日（Web開催）

④ 支部及び委員会活動運営に関する会議 年2回（6月・1月） 6月20日Web開催 参加者118名
1月23日Web開催 参加者109名

⑤ 各職能・常任・特別・認定委員会 活動計画の提示と活動支援

(3) 日本看護協会との連携

① 日本看護協会通常総会・全国職能別交流集会 年1回（6月7・8日：千葉幕張メッセ）

代議員派遣、各支部の一般参加への支援 代議員7名・予備代議員1名、一般参加8名

代議員・予備代議員等研修会（5月22日） 代議員8名・予備代議員8名、一般参加8名、役員10名

② 日本看護協会理事会 年6回程度 会長出席 5月17日 6月7日 7月20・21日 9月22日 11月21・22日 2月21・22日

③ 法人委員会 年5回程度 会長出席 7月21日 9月22日 11月21日 2月22日

④ 都道府県看護協会職能委員長会 年2回（9月・3月）

第1回：7月28日 4職能理事出席 第2回：3月1日 4職能理事出席

⑤ 地区別法人会及び職能委員長会 年1回（10月5・6日：北海道）

会長、常任理事1名、職能理事3名、保健師職能副委員長出席

⑥ 都道府県看護協会政策責任者会議 年1回（9月21日） 会長、常任理事1名

⑦ 都道府県看護協会看護労働担当者会議 年1回（5月24日） 常任理事1名、Web参加 常任理事2名

⑧ 会員情報管理情報交換会 年1回（7月5日） 常任理事1名、事務局長、総務課課長補佐1名

⑨ 看護協会・訪問看護連絡協議会合同会議 年1回（11月17日） 常任理事1名

⑩ 都道府県ナースセンター事業担当者会議 年1回（6月2日） 常任理事1名、ナースセンター2名

⑪ 都道府県看護協会広報担当役員会議 年1回（11月6日） 常任理事1名、事務局長、職員5名

⑫ 都道府県看護協会図書室担当者会議 年1回 開催なし

⑬ 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 年1回（12月14日） 常任理事1名、事業課1名出席

⑭ 全国看護基礎教育担当役員会議 年1回（12月20日） 常任理事1名

⑮ 認定看護管理者教育機関担当者会議 年1回（8月2日） 常任理事1名

⑯ 日本看護サミット 年1回（2月14日） 会長、常任理事3名、事務局長、職員1名

⑰ 訪問看護サミット 年1回（11月11日） 会長、常任理事1名

⑱ その他会議

看護職の生涯学習ガイドライン説明会（7月26日）Web開催 常任理事3名、職員15名

自治体保健師の活動内容や魅力発信イベント説明会（8月3日） 常任理事2名、職員1名

北海道・東北地区看護協会長・事務局長連絡協議会（8月28日） 山形県開催 会長、常任理事3名、事務局長

ナースプラクティショナー（仮称）制度創設に向けた勉強会（9月15日） 常任理事2名、事務局長、職員11名

都道府県看護協会事務担当者会議 年1回（10月2日） 事務局長、訪問看護ステーション事務担当1名

院内助産・助産師外来推進フォーラム（11月12日） 常任理事1名 事業課職員3名参加

医療事故調査制度情報交換会（11月15日）Web開催 常任理事1名

政策力育成のための都道府県看護協会職員研修（3月18日）Web開催 常任理事3名、職員15名

災害支援ナース派遣調整合同訓練 実施なし

(4) 他団体との連携

管理運営会議・事務局

3) 広報活動に関する事業

(1) 県民、看護職及び会員への情報提供の充実

- ① ホームページ及びLINEによる情報提供 看護関連情報及び看護協会の事業計画・活動状況の更新
- ② 広報誌「山形いぶき」の編集と発行
年4回発行、マスコミ関係・公立図書館等へ送付 5月7,800部、7・11・1月8,400部発行
- ③ 行政、関係団体と連携した広報活動
記者クラブへの投げ込み、ニュースリリース発行、県高齢者支援課へ介護福祉関係施設に対する情報発信協力依頼、山形県老人保健施設協会・山形県老人福祉施設協議会との連携
- ④ 山形県看護協会事業案内パンフレットの見直し 非会員施設等へ配付し入会促進を図る 11月完成 1,500部発行
- ⑤ 日本看護協会ニュースの活用 日本看護協会より毎月15日発行

4) 会館管理・運営に関する事業

(1) 会館管理・運営に関する事項

- ① 資金計画の円滑な運用 会館維持管理費の適正運用、長期資金計画の見直し検討
- ② 会館管理の運営 建物・駐車場の維持管理、施設利用状況把握、使用規程に関する検討
- ③ 機器類の管理 機器及び諸設備の整備・保守、機器類の貸出

(2) 施設の整備・保守・管理

- ① 施設の維持管理
 - ・法定保守点検 電気設備（隔月）、火災報知機（年2回）、エレベーター（毎月）
 - ・任意保守点検 空調機、自動ドア、AV機器
 - ・業務委託関係 警備保障、緑地帯の維持管理、館内外清掃、駐車場除雪（冬季必要時）、会計管理（消費税、法人税等の税務処理）、ホームページ等の保守・管理
- ② 「訪問看護会館」の維持管理 具体的な計画策定と実施

(3) 防災意識等の高揚

- ① 山形県看護協会での防災訓練等 AEDを含む訓練実施（年1回） 4月21日実施

(4) 関係団体との連携

- ① アルカディアソフトパーク山形クラブとの連携
アルカディアソフトパーク内の一斉清掃、樹木の消毒、清掃年2回（4月・10月）、消毒年1回、その他親睦会等開催

5) 渉外活動に関する事業

(1) 看護についての諸問題の解決

- ① 国・山形県等への陳情 政策・要望等の陳情（看護関係予算、看護教育・継続教育の充実、看護職員の増員、看護制度等）
- ② 山形県看護連盟との連携 合同会議の検討、合同研修会の企画と実施

(2) 関係機関との協力と連携

- ① 関係機関・団体への参画
関係機関・団体等との連携・参加・名義後援、山形県との業務推進懇談会（再掲）、山形県四師会との連携、諸会議への参加、諸施策審議会への参加
- ② 行政への働きかけ 要望書の提出

6) 会員の相互扶助に関する事項

(1) 会員の福利厚生への推進

- ① 会員の福利厚生へのPR
 - ・表彰候補者の推薦並びに表彰
日本看護協会会長表彰候補者推薦のための調査と推薦、山形県看護協会看護功労者表彰及び感謝状贈呈候補者推薦
令和5年度日本看護協会会長表彰受賞2名 令和6年度日本看護協会会長表彰推薦2名
令和5年度山形県看護協会看護功労者表彰1名 感謝状109名受賞
 - ・規定による会員への見舞い 災害見舞、慶弔見舞 弔慰金5名
 - ・会員特典の検討
 - ・ハウスメーカーの斡旋

報告事項5 他機関への委員等の派遣

委員会等	任期	役名	出席役員名	本会役職名
山形県医療審議会	R5.2.1～R7.1.31	委員	若月 裕子	会長
山形県看護職等確保推進会議	R5.10.1～R7.9.30	委員	若月 裕子	会長
山形県保健医療推進協議会	R4.4.1～R6.3.31	委員	若月 裕子	会長
山形県保健医療推進協議会 医療専門部会	R5.7.6～R6.3.31	委員	若月 裕子	会長
山形県高齢者保健福祉推進委員会	R4.4.1～R6.3.31	委員	若月 裕子	会長
山形県臓器移植推進機構評議員会	R3年度第2回評議員会～ R5年第2回評議員会終結時	評議員	若月 裕子	会長
山形県社会福祉審議会	R4.4.1～R7.3.31	委員	若月 裕子	会長
山形県衛生団体連合会	-	常任理事	若月 裕子	会長
山形県公衆衛生学会運営委員会	-	委員	若月 裕子	会長
山形県社会福祉協議会	R5.6～R7年度定時評議員会終結時	理事	若月 裕子	会長
山形県がん診療連携協議会	-	委員	若月 裕子	会長
山形県周産期医療協議会	R4.4.1～R6.3.31	委員	若月 裕子	会長
次期「健康やまがた安心プラン」策定委員会	R5.6～R6.3.31	委員	若月 裕子	会長
次期「健康やまがた安心プラン」策定委員会歯科口腔保健部会	R5.6～R6.3.31	委員	若月 裕子	会長
第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会山形県実行委員会	R4.6.24～R6.3.31	委員	若月 裕子	会長
社会福祉法人恩賜財団済生会支部山形県済生会	R4.4.1～R6.3.31	支部理事	若月 裕子	会長
山形大学蔵王協議会	R3.6.19～	会 員	若月 裕子	会長
山形大学地域医療医師適正配置委員会	R3.6.19～	委員	若月 裕子	会長
やまがた健康フェア実行委員会	-	委員	若月 裕子	会長
やまがた特命観光・つや姫大使	R4.7.25～	大使	若月 裕子	会長
山形市社会福祉協議会	R3.6.19～R6年度 定時評議員会終結時	評議員	若月 裕子	会長
山形市水防協議会	R4.4.1～R6.3.31	委員	若月 裕子	会長
山形市防災会議	R4.4.1～R6.3.31	委員	若月 裕子	会長
やまがた性暴力被害者サポートセンター運営協議会	R3.6.19～	委員	若月 裕子	会長
日本医療マネジメント学会	R3.8～R5年度総会終了時	評議員	若月 裕子	会長
東北がん評議会	R5.4.1～R6.3.31	評議員	若月 裕子	会長
山形県医療安全支援協議会	R5.4.1～R6.3.31	委員	若月 裕子	会長
山形県糖尿病対策推進会議	R4.6.17～	委員	吉岡 良子	副会長
糖尿病等対策検討会	R4.6.17～	委員	吉岡 良子	副会長
山形県保健医療推進協議会 医療費適正化部会	R5.7.6～R6.3.31	委員	吉岡 良子	副会長
オールむらやま若者定着推進会議	R4.6.17～	委員	岸 幸世	副会長
次期「健康やまがた安心プラン」策定委員会循環器病対策部会	R5.6～R6.3.31	委員	田瀬 裕子	常任理事
山形労働局人材確保対策推進協議会（福祉分野）	R4.6.17～	委員	田瀬 裕子	常任理事
山形県介護保険審査会	R4.4.1～R7.3.31	委員	田瀬 裕子	常任理事
山形県福祉サービス運営適正化委員会	R4.4.1～R6.3.31	委員	田瀬 裕子	常任理事
山形県福祉人材センター運営委員会	R5.4.1～R7.3.31	委員	田瀬 裕子	常任理事
山形県社会福祉士会成年後見センターぱあとなあ山形業務監査委員会	R3.6.19～	委員	田瀬 裕子	常任理事
今後の暮らし応援のつどい実行委員会	R3.6.19～	委員	田瀬 裕子	常任理事
「東日本大震災追悼・復興記念事業」実行委員会	R3.6.19～	委員	田瀬 裕子	常任理事
避難者生活相談支援連絡協議会	R3.7～	情報提供者	田瀬 裕子	常任理事
もがみ看護師確保推進ネットワーク幹事会	R3.8～R5.12	幹事	田瀬 裕子	常任理事
山形県母性衛生学会	-	理事	後藤 道子	常任理事
山形県青少年育成県民会議	R4.6～R6.5	理事	後藤 道子	常任理事
山形県青少年健全育成審議会	R5.4.1～R7.3.31	委員	後藤 道子	常任理事
山形県献血推進協議会	R5.3.10～R7.3.9	委員	後藤 道子	常任理事
山形県合同輸血療法委員会	R5.6.19～	委員	後藤 道子	常任理事
山形県薬事審議会	R5.12.1～R8.1.3	委員	後藤 道子	常任理事
次期「健康やまがた安心プラン」策定委員会がん対策部会	R5.6～R6.3.31	委員	後藤 道子	常任理事
（山形県）医療安全やまがたフォーラム実行委員会	-	委員	後藤 道子	常任理事
やまがた受動喫煙防止宣言実行委員会	-	委員	後藤 道子	常任理事
山形県受動喫煙防止対策推進委員会	-	委員	後藤 道子	常任理事
山形市救急救命業務検証委員会	R3.8～	委員	後藤 道子	常任理事
地元ナース懇談会	R6.1.18～R6.3.31	委員	後藤 道子	常任理事

山形県高齢者・障がい者虐待防止会議	R3.6.19～	委員	菅野 弘美	常任理事
山形県慢性疾病児童等地域支援協議会	R5.4.1～R7.3.31	委員	菅野 弘美	常任理事
山形県小児慢性特定疾病対策地域協議会	R3.6.19～	委員	菅野 弘美	常任理事
山形県自殺対策推進会議	R3.6.19～	委員	菅野 弘美	常任理事
山形県健康長寿推進協議会	R4.4.1～R6.3.31	委員	菅野 弘美	常任理事
山形県難病医療等連絡協議会	R5.10.1～R7.9.30	委員	菅野 弘美	常任理事
山形県精神保健福祉協会	R5年度総会～R7年度総会	理事	菅野 弘美	常任理事
(一社)山形県地域包括支援センター等協議会	-	参与	菅野 弘美	常任理事
山形市地域包括ケア推進協議会	-	委員	菅野 弘美	常任理事
山形市社会福祉審議会	R4.4.1～R7.3.31	委員	菅野 弘美	常任理事
山形市社会福祉審議会 高齢者福祉専門分科会	R4.4.1～R7.3.31	委員	菅野 弘美	常任理事
山形市健康福祉医療事業団	R3.6.19～	委員	菅野 弘美	常任理事
全国健康保険協会山形支部 健康保険委員	R3.6.19～	委員	菅野 弘美	常任理事
尾花沢市中央診療所あり方検討委員会	R5.6.30～R6.6.29	委員	菅野 弘美	常任理事
山形県臓器移植推進機構	R5.4.1～R6.3.31	監事	伊藤 義一	事務局長
日本年金機構 年金委員	R5.5.8～	委員	伊藤 義一	事務局長
山形県介護支援専門員協会	R5～6年度	理事	鈴木真祐美	まいる居宅介護支援事業所
山形市立病院済生館地域医療連携推進協議会	R4.10.1～R6.9.30	委員	山川 一枝	訪問看護ステーションやまがた
山形市介護人材確保推進協議会		委員	山川 一枝	訪問看護ステーションやまがた
山形県がん総合相談支援センターアドバイザリーボード	R5.1.1～	委員	山川 一枝	訪問看護ステーションやまがた

◆四師会関連会議

委員会等	任期	役名	出席役員名	本会役職名・所属
医療安全やまがたフォーラム実行委員会(四師会+臨床工学技士会)	R3.6.19～	委員	後藤 道子	常任理事
四師会禁煙推進委員会	R4.4.1～R7.3.31	委員	後藤 道子	常任理事
		委員	長岡 静子	置賜保健所
		委員	梅津 美保	篠田総合病院
		委員	大関 千香	教育研修課課長補佐
禁煙推進小委員会	R3.6.19～	委員	後藤 道子	常任理事

◆地域における会議

委員会等	任期	役名	出席役員名	本会役職名・所属
山形市社会福祉事業団	R5.10.25～R7定時評議員会 会終結時まで	評議員	高橋真理子	山形支部副支部長
村山地域保健医療協議会	R5.6.16～R7.1.31	委員	保立美枝子	山形支部長
村山地域保健医療協議会 在宅医療専門部会	R5.2.1～R7.1.31	委員	若月 裕子	会長
村山地域医療情報ネットワーク協議会	R5.12～	委員	若月 裕子	会長
最上地域保健医療協議会	R5.4.1～R7.3.31	委員	成沢 純子	最北支部長
最上地域保健医療協議会 在宅医療専門部会	R5.4.1～R7.3.31	委員	成沢 純子	最北支部長
庄内地域保健医療協議会	-	委員	中村 美穂	庄内支部長
庄内地域保健医療協議会 在宅医療専門部会	-	委員	信夫 松子	順仁堂遊佐病院
米沢市防災会議委員会	R4.6.17～R6.3.31	委員	伊藤加代子	置賜支部長
置賜地域保健医療協議会	R4.6.18～	委員	伊藤加代子	置賜支部長
置賜地域保健医療協議会 在宅医療専門部会	R5.4.1～R7.3.31	委員	安部 淳子	米沢市立病院
地域医療連携推進法人よねざわハルスケアネット地域医療連携推進評議会		評議員	伊藤加代子	置賜支部長

◆協会推薦による就任

委員会等	任期	役名	出席役員名	所属
山形市介護認定審査委員	R5.4.1～R7.3.31	委員	渡邊 健	訪問看護ステーションいぶき
		委員	平 由美子	済生会山形訪問看護ステーション
		委員	庄司 祐	個人
		委員	田川由美子	個人
		委員	後藤 順子	個人
		委員	滝口佐知子	個人
		委員	本橋いづみ	個人
		委員	山川 一枝	訪問看護ステーションやまがた
		委員	佐藤 美香	訪問看護ステーションやまがた
		委員	須藤 京子	訪問看護ステーションむらやま
天童市介護認定審査委員	R5.4.1～R7.3.31	委員	村山 弘美	個人
		委員	氏家 由佳	天童訪問看護ステーション
		委員	伊藤 満生	訪問看護ステーションやまがた
天童市介護保険運営協議会等委員	R3.4.1～R6.3.31	委員	須藤美和子	訪問看護ステーションまいる

**報告事項6 令和6年度山形県看護協会看護功労者表彰
並びに感謝状贈呈者**

看護功労者表彰（2名）

支部	氏名	職能	勤務先
最北	佐藤春美	看護師	町立真室川病院
庄内	佐藤清美	助産師	日本海総合病院

感謝状贈呈（91名）

支部	氏名	職能	勤務先
山形	武田紀子	保健師	大江町役場
山形	堤木綿	看護師	東北中央病院
山形	若木優子	看護師	東北中央病院
山形	笹原美恵子	保健師	寒河江市役所
山形	鈴木郁子	看護師	山形大学医学部附属病院
山形	會田晴美	看護師	山形大学医学部附属病院
山形	遠藤順子	看護師	山形大学医学部附属病院
山形	菅原麻里子	助産師	山形済生病院
山形	村山由美子	助産師	山形済生病院
山形	鈴木幸子	看護師	山形済生病院
山形	狩野亜紀子	看護師	山形済生病院
山形	仲野真希	看護師	寒河江市立病院
山形	保立美枝子	看護師	寒河江市立病院
山形	高橋吉弘	看護師	山形県立こども医療療育センター
山形	松田英理	保健師	天童市役所
山形	栗原典子	保健師	山形市役所
山形	佐藤恵	看護師	山形県立中央病院
山形	廣田麻実	看護師	山形県立中央病院
山形	矢萩勝	看護師	山形県立中央病院
山形	秋場えみ	看護師	山形県立中央病院
山形	押野敏子	看護師	山形県立中央病院
山形	飛塚里香	看護師	山形県立中央病院
山形	青柳直美	看護師	山形県立中央病院

支部	氏名	職能	勤務先
山形	堀野祐子	看護師	山形市立病院済生館
山形	杉本美由紀	看護師	山形市立病院済生館
山形	須藤可奈	看護師	山形市立病院済生館
山形	山口しのぶ	看護師	山形市立病院済生館
山形	大沼由紀子	看護師	山形市立病院済生館
山形	海野さつき	看護師	山形市立病院済生館
山形	青柳陽子	看護師	山形市立病院済生館
山形	黄木由美	看護師	山形市立病院済生館
山形	澁谷文江	看護師	山形市立病院済生館
山形	佐藤幸子	看護師	篠田総合病院
山形	鈴木由美子	看護師	篠田総合病院
山形	佐藤貴美子	看護師	山形県立河北病院
山形	田宮信子	看護師	山形県立河北病院
山形	葉山文子	看護師	山形県立河北病院
山形	松田弥生	看護師	山形県立河北病院
山形	岸尚子	看護師	山形県立河北病院
最北	花輪みちる	看護師	北村山公立病院
最北	原田香	看護師	北村山公立病院
最北	寺崎邦子	看護師	北村山公立病院
最北	井上典子	看護師	町立真室川病院
最北	沼澤佐織	看護師	山形県立新庄病院
最北	加藤美和	看護師	山形県立新庄病院
最北	沼澤綾	看護師	山形県立新庄病院

支部	氏名	職能	勤務先
最北	沼澤 かおり	看護師	山形県立新庄病院
最北	伊藤 代利子	看護師	山形県立新庄病院
最北	海藤 広海	看護師	山形県立新庄病院
最北	森 昌子	看護師	山形県立新庄病院
最北	中鉢 由美子	看護師	山形県立新庄病院
最北	木村 由美	看護師	山形県立新庄病院
最北	奥山 憲子	看護師	山形県立新庄病院
最北	伊藤 真知子	看護師	山形県立新庄病院
最北	小林 紀美子	看護師	山形県立新庄病院
最北	安彦 恵理子	看護師	山形県立新庄病院
最北	長堀 理代	助産師	山形県立新庄病院
最北	伊藤 和子	看護師	山形県立新庄病院
最北	丹 貴子	看護師	山形県立新庄病院
最北	石田 美穂子	看護師	山形県立新庄病院
最北	三嶋 千里	看護師	山形県立新庄病院
庄内	石井 真由美	看護師	鶴岡市立庄内病院
庄内	辻村 りか	看護師	鶴岡市立庄内病院
庄内	齋藤 由美	看護師	鶴岡市立庄内病院
庄内	後藤 千詠子	看護師	鶴岡市立庄内病院
庄内	林 理絵	看護師	鶴岡市立庄内病院
庄内	高橋 美恵	看護師	鶴岡市立庄内病院
庄内	村田 克子	看護師	鶴岡市立庄内病院
庄内	川井 悦子	看護師	日本海酒田リハビリテーション病院
庄内	藤田 和香子	看護師	日本海酒田リハビリテーション病院
庄内	松浦 信	看護師	日本海総合病院
庄内	阿彦 由美	看護師	日本海総合病院
庄内	齋藤 恵美	看護師	日本海総合病院
庄内	村井 節子	看護師	日本海総合病院
庄内	阿部 みゆき	看護師	日本海総合病院
置賜	太田 真理子	看護師	公立置賜長井病院
置賜	齋藤 さおり	助産師	米沢市立病院
置賜	小澤 陽子	看護師	米沢市立病院
置賜	須貝 真基子	助産師	米沢市立病院

支部	氏名	職能	勤務先
置賜	富田 京子	看護師	米沢市立病院
置賜	高橋 文江	看護師	米沢市立病院
置賜	佐藤 玲子	看護師	米沢市立病院
置賜	尾形 千夏子	看護師	公立置賜南陽病院
置賜	高橋 祐子	看護師	公立高島病院
置賜	秋生 希代子	看護師	公立高島病院
置賜	新藤 陽子	看護師	公立高島病院
置賜	渡部 理恵	看護師	白鷹町立病院
置賜	高橋 敦子	看護師	公立置賜総合病院
置賜	安彦 仁美	看護師	公立置賜総合病院
置賜	田中 明美	看護師	公立置賜総合病院
置賜	平 順子	看護師	公立置賜総合病院

報告事項 7 委員会活動報告

＜職能委員会＞

保健師職能委員会（7名） 委員会開催回数 7回

目的	活動内容（令和5年度）	具体的な活動内容
1. 地域における看護職による健康・療養支援に関する課題発見および意見を集約する	1. 日本看護協会職能委員会との連携・情報収集と問題抽出 1) 地域における看護職による健康・療養支援に関する取り組みについて実態把握・課題整理を行い、保健師の役割について検討 2) 保健師のネットワークおよび組織強化・会員拡大への取り組み	1. 日本看護協会職能委員会に参加 1) 第1回全国保健師職能委員長会 7月28日東京都 第2回全国保健師職能委員長会 3月1日 保健師の活動指針の改定に向けて統括保健師の役割遂行 2) 地区別保健師職能委員長会 10月5～6日北海道
2. 包括的な母子保健推進における保健師の役割発揮	2. 保健師職能の力量形成のための現任教育の充実・キャリア形成の支援 1) 保健師職能研修会の企画 3. 関係機関（県・市町村・保健師長会）との連携・情報交換および地域における健康・療養の支援の強化 1) 地域包括ケアシステムの推進における看護職間の連携 2) 様々な組織および山形県看護協会三職能との連携・情報交換 4. 「山形県保健師活動指針」「山形県保健師人材育成ガイドライン」の理解・普及及び保健師活動の質を向上できるような情報の発信（「保健師職能だより」他）	2. 保健師職能研修会の実施 1) 第1回 10月7日Web開催 参加者28名 「行動変容に活かすナッジ理論」 2) 第2回 11月11日Web開催 参加者15名 「看護職のためのアンガーマネジメント」 3. 山形県との協同による人材育成の検討 1) 山形県との業務推進懇談会 9月12日 2) 理事会参加による多職種との連携等 3) 看護師職能Ⅰ、Ⅱ、保健師職能合同委員会 11月9日 4) 自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント 12月2日 参加者14名 4. 保健師活動の質の向上・情報発信 1) 「山形いぶき」vol.163「保健師職能だより」の掲載 2) 保健師職能委員会時の情報交換等

助産師職能委員会（7名） 委員会開催回数 6回

目的	活動内容（令和5年度）	具体的な活動内容
1. 助産師の活躍推進策および女性の支援に必要な体制の検討に向け、意見を集約する	1. 日本看護協会助産師職能委員会との連携・情報収集と問題抽出 1) 助産師の活躍推進策の検討に向けた意見集約・課題発見 2) 女性の支援に必要な体制の検討に向けた意見集約・課題発見	1. 日本看護協会からの依頼を基に情報収集と課題抽出 全国職能委員長会（年2回）東北地区別職能委員長会（年1回）都道府県母子のための地域包括ケアシステム推進会議（年1回：今年度開催なし）に出席、情報提供とともに問題や課題について検討、県委員会で情報共有、会議出席、委員会で情報収集・報告
2. 母子のための地域包括ケアシステムの推進における助産師の役割発揮	2. 助産師活用推進事業に関する実態・意向調査結果の情報共有と事業への参画 3. 院内助産、助産師外来、産後ケアの情報共有とアドバンス助産活用の推進	2. 山形県助産師活用推進協議会への委員長参加と職能委員会での情報共有・発信 10月18日、2月19日協議会出席 3. 山形県周産期セミオープンシステムに関連する情報共有

<p>4. 助産師職能の力量形成に向けた教育の充実</p> <p>1) 助産師職能研修会の企画</p> <p>5. 関係機関（病院、診療所、市町村保健師、助産院）との連携強化</p> <p>1) 妊娠初期から子育て期にわたる切れ目のない助産・看護提供体制について検討</p> <p>2) 産後うつに関する情報収集を行い、支援体制の検討及び情報発信</p> <p>3) 山形県看護協会三職能との連携・情報交換</p>	<p>4. 助産師の実践能力向上のための研修会開催</p> <p>1) ①8月4日 産科病棟のマネジメント研修（Zoom）参加者28名 「ユニットマネジメントについて」 講師：神戸大学 齋藤 いずみ氏</p> <p>②10月27日 妊産婦継続支援研修（集合）参加者14名 第1部：「妊娠中から産後における若年妊婦への支援を考える」 講師：丸山産婦人科医院 渡邊智子医師</p> <p>第2部：「若年夫婦の現状と事例紹介」 酒田市こども未来課こども家庭センターぎゅっと 調整主任 佐藤美恵子氏 日本海総合病院 産婦人科外来主任 佐藤清美氏</p> <p>5. 地域包括ケアシステムを推進し、関係機関との情報交換と情報共有</p> <p>1) 妊娠初期から子育て期にわたる切れ目のない助産・看護提供体制における好事例の収集と発信</p> <p>2) 病院、診療所、市町村保健師、助産院と産後うつに関する支援体制について情報共有、情報交換</p> <p>3) 理事会での情報共有と委員会での情報共有と発信</p>
---	---

看護師職能委員会 I (8名) 委員会開催回数 8回

目的	活動内容 (令和5年度)	具体的な活動内容
<p>地域包括ケア推進に向けて各病床機能に求められる看護職の役割発揮に向けた活動を行う</p>	<p>1. 日本看護協会職能委員会との連携・情報収集と課題抽出</p> <p>1) 看護の専門性を発揮できる体制整備に向けた状況を把握し課題を明らかにする</p> <p>2) 県内の職能が抱えている病床機能に応じた課題抽出と解決策の検討</p> <p>2. 看護師職能の力量形成に向けた教育の充実</p> <p>1) 看護師職能 I 研修会の企画、運営</p> <p>3. 関係機関および山形県看護協会委員会との連携・情報交換</p> <p>1) 地域との関係機関との連携・情報交換</p> <p>2) 山形県看護協会二職能との連携・情報交換</p>	<p>1. 日本看護協会職能委員会との連携・情報収集</p> <p>1) 7月28日 第1回全国職能委員長会 出席 3月1日 第2回全国職能委員長 出席 10月5日 地区別職能委員長会 出席 会議テーマ「多様で柔軟な働き方の現状」について県内施設から情報収集し報告。委員会会議で検討、課題抽出と情報共有を行った。</p> <p>2) タスクシフト/シェアに関するアンケート調査実施、県内57施設(86.6%)より回答あり。委員会で課題の抽出を行った。</p> <p>2. 研修会の企画運営</p> <p>1) 12月5日「レジリエンス」オンライン開催 参加者64名 講師：オフィスナースナレッジ代表 江口 智子 氏</p> <p>3. 関係機関との連携、情報交換</p> <p>1) 山形県との業務懇談会に出席、委員会にて情報共有を行う。</p> <p>2) 11月9日保健師職能、看護師職能Ⅱとの合同委員会開催。参加者22名、テーマ「在宅療養の現状と情報交換」について各職能より1事例ずつ報告（計3事例）、意見交換、情報共有を行った。</p>

看護師職能委員会 II (7名) 委員会開催回数 5回

目的	活動内容 (令和5年度)	具体的な活動内容
<p>看Ⅱ領域における看護管理者・看護職員の教育体制整備に向け、意見集約し課題を発見する</p>	<p>1. 日本看護協会職能委員会との連携・情報収集と課題抽出</p> <p>1) 看Ⅱ領域における看護管理者の育成および看護職の専門知識・技術の習得について情報収集し、教育体制整備に向けた課題の明確化</p> <p>2. 看護職の力量形成のための現任教育の充実</p>	<p>1. 日本看護協会職能委員会に参加</p> <p>1) 7月28日 第1回全国職能委員長会 「暮らしの場における看取りの現状と課題」について情報収集と課題発見 3月1日 第2回全国職能委員長会</p> <p>2) 10月6日 地区別看護師職能委員会Ⅱ 「地域における連携・協働の推進に向けた情報収集・課題発見」、 「看取りへの対応の充実に向けた体制整備に関する情報収集・課題発見」</p> <p>2. 看護の資質向上、働き方支援のあり方について 検討や対策についての基礎資料を得ることを目的に、山形県の特別養護老人ホームおよび介護老人保健施設138施設の看護職員へ実態調査実施。</p>

	<p>3. 関係機関との連携・情報交換</p> <p>1) 老健協、老施協看護部に情報発信・情報交換</p> <p>2) 訪問看護総合支援センターとの連携</p> <p>3) 山形県看護協会三職能との連携・情報交換</p>	<p>3. 山形県との業務推進懇談会参加</p> <p>1) 山形県老健協看護研究会との情報発信・実態調査について依頼</p> <p>2) 在宅ケア推進委員会との合同委員会 12月6日 (Web開催) 「困難事例について事例検討会」 「在宅ケア推進委員会としての現状と課題について情報共有」 保健師職能、看護Ⅰ・Ⅱ委員会との合同委員会 (Web開催) 11月9日 「移行支援の好事例について」</p>
--	---	--

<常任委員会>

教育委員会 (6名)

委員会開催回数 8回

目的	活動内容 (令和5年度)	具体的な活動内容
<p>継続教育の充実のための教育計画に参画し、主に看護職の実践能力開発のための研修企画・運営・評価を行う</p>	<p>1. 看護職の実践能力開発のための研修企画・運営・評価</p> <p>1) 令和5年度研修運営・評価 (コース研修)</p> <p>2) 看護職の実践能力開発のための研修企画</p> <p>(1) アンケート結果を基にした令和6年度研修企画</p> <p>(2) 研修企画理由の明確化と研修のねらいの具体化、経費を考慮した研修計画</p> <p>(3) ラダーレベルに合わせた研修企画の検討</p> <p>(4) 教育研修課との連携</p> <p>2. 教育委員としての企画力開発と情報収集</p> <p>1) 「継続教育基準Ver.2」活用のためのガイドラインの理解を深める</p> <p>2) 山形県看護協会の研修への参加</p> <p>3) 日本看護協会ニュースより看護界の動向を知り、研修企画に活かす</p> <p>4) 「令和5年度公益社団法人山形県看護協会教育計画」に関する懇談会への出席</p>	<p>1. 左記同様</p> <p>1) 事前作成の行動計画をもとに13コース17研修中の運営・評価を実施した。</p> <p>2) 左記同様</p> <p>(1) 研修終了直後のアンケートや直接の意見、社会背景などから受講者のニーズを把握し令和6年度教育計画は10コース13本のオンライン研修を計画した。</p> <p>(2) 企画意図を明確に言語化し、目標・内容まで一貫性のある企画。経費について教育研修課に確認しながら研修計画を立案した。</p> <p>(3) 日本看護協会クリニカルラダー4つの実践能力を教育計画に示し、看護実践能力の向上を目指す研修企画とした。</p> <p>(4) コミュニケーションを密にし、研修運営打ち合わせ・評価は教育研修課と内容を共有した。</p> <p>2. 左記同様</p> <p>1) 「生涯学習ガイドライン」(継続教育基準ver.2が包含)の公表に伴い、定例委員会時にガイドラインの読み合わせと動画を視聴し、新たな方針について情報共有をした。</p> <p>2) 委員それぞれ希望する研修を聴講し、研修運営やニーズの把握、自己研鑽に努めた。</p> <p>3) 看護界の動向について情報を得、社会の動向や看護の動向を把握し、次年度の企画に活かした。</p> <p>4) 教育計画懇談会の開催がなく、委員会開催時に教育研修課からR6年度教育計画方針と全体像について情報提供を受けた。</p>

広報委員会 (5名)

委員会開催回数 7回

目的	活動内容 (令和5年度)	具体的な活動内容
<p>健康と福祉向上に向けての情報を収集し、広く情報提供を行い看護協会活動のPRをする</p>	<p>1. 会員拡大に向けての広報活動</p> <p>1) ホームページやSNS等による情報発信</p> <p>2) 広報誌の送付</p> <p>3) 事業案内パンフレットの検討</p> <p>2. 協会だより「山形いぶき」発行</p> <p>1) 「山形いぶき」を年4回発行</p> <p>2) 読者が興味を引く紙面作り</p> <p>3) 取材活動</p>	<p>1. 左記同様</p> <p>1) 特色ある取り組みを行っている施設をピックアップし表紙に掲載</p> <p>2) マスコミ関係、市町村の図書館や非会員の訪問看護ステーションへ送付</p> <p>3) 事業案内パンフレット見直しの内容の検討</p> <p>2. 左記同様</p> <p>1) 「山形いぶき」を年4回発行した (5・7・11・1月、第161~164号)</p> <p>2) ①第163号からプレゼント企画を開始し読者アンケート回答者から抽選で20名にQUOカードを贈呈 ②「私の自慢」の募集・掲載した ③他県の看護協会広報誌を参照し、読みたくなるような掲載方法等を工夫した</p> <p>3) 5月11日 県民健康講座取材 第161号掲載 6月16日 通常総会取材 第162号掲載</p>

学会委員会（6名） 委員会開催回数 8回

目的	活動内容（令和5年度）	具体的な活動内容
看護研究を推進し、研究的視点で看護の専門性を高め、質向上を図る	<ol style="list-style-type: none"> 令和5年度山形県看護研究学会の企画・運営・評価 山形県看護研究学会要綱の検討 看護研究支援による会員の研究の質の向上 <ol style="list-style-type: none"> 研修会の企画・運営・評価 研究助言 	<ol style="list-style-type: none"> 左記同様 <ol style="list-style-type: none"> 演題募集、ポスター・プログラム作成、開催案内送付、前日リハーサル・学会、当日運営 口演発表演題応募17題 8月22日査読を行い17題採択決定（日本精神科看護協会から口演発表演題2題） 11月16日ハイブリッド開催 参加者101名 口演発表17題 特別講演「妖怪人間ベムは永遠に笑わない —生きる意味は間（あわい）に—」 講師：京都大学大学院 研究員 佐藤泰子氏 今年度評価に基づき、次年度開催内容の検討 今年度初めて「山形県看護研究学会要綱」を作成、次年度に向け内容を検討 看護研究について研修会開催 <ol style="list-style-type: none"> 6月23日「はじめてみよう看護研究—論文のまとめ方—」 参加者88名 講師：山形県立保健医療大学 山田カオル氏 2月16日開催1実施

医療・看護安全対策委員会（4名） 委員会開催回数 6回

目的	活動内容（令和5年度）	具体的な活動内容
安全で、安心できる看護サービスを提供するための教育、啓発活動を行う	<ol style="list-style-type: none"> 看護職の医療安全に関する教育及び事故発生予防・再発防止のための啓発 <ol style="list-style-type: none"> 看護職のための研修の企画運営 最新の情報収集と広報 関係機関との連携を図り、チームで取り組む医療安全を推進 <ol style="list-style-type: none"> 小規模施設で働く看護職に対する啓もう活動 「医療安全やまがたフォーラム」企画・運営への協力 医療安全管理対策についての状況把握 <ol style="list-style-type: none"> 医療安全対策加算Ⅰ・Ⅱに関する施設間の医療安全向上に向けて、医療安全管理者の活動実態調査 	<ol style="list-style-type: none"> 左記同様 <ol style="list-style-type: none"> 7月18日 医療安全スキルアップ研修 参加者42名 「訴訟に耐えられる看護記録とは」 講師：弁護士法人東京パブリック法律事務所 白鳥秀明 氏 転倒転落によるインシデント防止のため、「転倒予防チェックポイント」のポスターを作成し各施設へ配布 左記同様 <ol style="list-style-type: none"> 11月2日 参加者50名 「中小規模施設で働く看護職のための研修—摂食嚥下障害のある患者の看護—」 講師：山形大学医学部附属病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 伊藤麻里 氏 12月9日 参加者148名 「医療の中でのハラスメント～心理的安全性について～」 講師：株式会社TMC経営支援センター 新保健二 氏 左記同様 <ol style="list-style-type: none"> 11月65施設へアンケート調査実施37施設より回答

災害看護対策委員会（5名） 委員会開催回数 7回

目的	活動内容（令和5年度）	具体的な活動内容
災害時の看護支援活動を推進する	<ol style="list-style-type: none"> 災害看護の教育・啓発と災害支援ナースの育成と増員 <ol style="list-style-type: none"> 災害看護研修の企画 日本看護協会による研修及び演習の実施 必携マニュアル改訂および周知 日本看護協会の災害支援ナースの動向等について情報収集・共有 	<ol style="list-style-type: none"> 左記同様 <ol style="list-style-type: none"> 11月22日フォローアップ研修受講者18名 10月24・25日災害支援ナース養成研修 委員の参加、要請に応じてファシリテーターの支援を行った。 災害支援ナースの動向がはっきりせず着手できなかった。 左記同様

	<p>1) 災害看護関連会議出席し、災害支援ナースに関する情報収集と情報共有を図る</p> <p>3. 災害支援ナース派遣訓練参加</p> <p>1) 日看協との災害支援ナース派遣訓練参加</p> <p>2) 県内外の災害関係団体・組織、市町村の訓練参加</p>	<p>1) 災害支援ナースの体制がはっきりせず情報収集まで至らなかった。</p> <p>3. 左記同様</p> <p>1) 実施なし</p> <p>2) 9月10日 山形県・市町村合同防災訓練 委員5名 災害支援ナース11名 参加</p>
--	---	---

いのちの教育推進委員会（6名） 委員会開催回数 7回

目的	活動内容（令和5年度）	具体的な活動内容
<p>全ての人々が「いのち」を考える機会が得られるように、普及・啓発を図る</p>	<p>1. 県民及び小中高等学校への「いのちの教育」の広報・普及活動</p> <p>1) 「いのちの教育」出前授業の実施</p> <p>2. 性の健康支援ネットワーク会員の拡大</p> <p>1) 協会会員、管理者への普及啓発活動</p> <p>2) 性の健康支援ネットワーク活動指針の見直し</p>	<p>1. 左記同様</p> <p>1) 出前授業申し込み：年3回 実施件数：合計32講座 参加者3,384名</p> <p>2) 10月6日開催 参加者18名 「はじめよう！考えよう！いのちの教育」 講師：立教大学名誉教授 浅井春夫 氏 「出前授業の流れ」 講師：天童市民病院 助産師 結城けい子 氏</p> <p>2. 左記同様</p> <p>1) 普及啓発活動の実施 ・協会ホームページに普及啓発について掲載 ・性の健康支援ネットワーク会員募集動画をYouTubeに掲載 ・普及啓発ポスターを協会内に掲示 ・出前授業に興味がある方の見学募集をホームページに掲載した ・広報誌「山形いぶき」に活動内容を掲載 第163号(11月)：ネットワーク会員活動報告 第164号(1月)：研修会実施報告 性の健康支援ネットワーク会員登録者51名 ・委員会作成動画を活用し、協会主催の研修受講者に対しPRを実施した ・未登録者見学の評価実施 見学者3名 ・性の健康支援ネットワーク会員登録証の作成</p> <p>2) 活動指針にLGBTQ・HPVワクチンを追加。 ・「出前授業」実施の流れについて見直し修正</p>

「まちの保健室」推進委員会（7名） 委員会開催回数 6回

目的	活動内容（令和5年度）	具体的な活動内容
<p>地域住民に対し、看護の心を伝え、健康づくりへ寄与する</p>	<p>1. 「まちの保健室」事業の推進</p> <p>1) 「まちの保健室」事業の広報活動</p> <p>2) 「まちの保健室」の企画・運営・実施</p> <p>3) 支部の「まちの保健室」運営委員会との連携の推進</p> <p>4) 「まちの保健室」ボランティアの登録者の増員・育成</p> <p>5) ボランティア育成研修の企画</p>	<p>1. 左記同様</p> <p>1) 広報誌「山形いぶき」11月号 「まちの保健室」の活動紹介とボランティア募集についての掲載 ボランティア育成研修会での「まちの保健室」の活動紹介実施</p> <p>2) 「やまがた健康フェア2023（9月23・24日）」参加。新生児人形とのふれあい体験、聴診器体験、白着用記念撮影を実施。高齢者から子どもまで幅広い年齢層の方が関心を持ち、体験され、看護の心を伝えることができた。 11月10日看護協会にてアルカディアソフトパークの企業・地域住民対象の「まちの保健室」開催。参加者33名。企業や地域の方の参加が少なかった。開催場所や時間、広報の検討が必要。</p> <p>3) 11月10日支部「まちの保健室」運営委員との合同委員会を開催。各支部でも感染対策をしながら活動を再開しており、情報共有が図られた。 今年度で「まちの保健室」推進委員会は終了するが、今後も事務局や支部間での連携を図り、地域に根差した活動を展開していく必要がある。</p> <p>4) 今年度「まちの保健室」ボランティア継続確認を実施（5年毎実施）。コロナ禍で活動中止が要因となり、半数近くが登録辞退。新規登録者3名、登録者数34名（3月31日時点）。活動の充実を図るため、今後も登録者増員に向けPRしていく必要がある。</p> <p>5) 10月17日「まちの保健室」ボランティア育成研修会（Web開催）参加者10名 テーマ「自分を癒すハンドトリートメント&アロマ」 参加者は少なかったが、アンケート結果からも満足度の高さがうかがえた。参加者のうち1名がボランティア登録に繋がった。</p>

在宅ケア推進委員会（5名） 委員会開催回数 4回

目的	活動内容（令和5年度）	具体的な活動内容
地域包括ケアシステムの推進に向けて看護の連携を図りくらしの場の療養生活を支える。	<ol style="list-style-type: none"> 1. くらしの場につながる連携について現状把握と課題の明確化 2. 看護職能Ⅰ、職能Ⅱとの連携 3. 課題解決に向けた研修会の企画 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研修会の企画運営 9月9日（オンライン開催） 参加者98名 「あなたの患者さんもきっと家で最期を迎えられる-在宅看取りを実現する病院在宅の連携-」 講師：アイノア訪問看護ステーション管理者 在宅看護専門看護師 三澤裕美氏 アンケート（回答54件）による参加動機は、79.6%自分の希望、83.3%研修内容がニーズに合致、94.4%看護実践に活用できそうだと回答。在宅看取りの実現に向けて新たな知見や気づきが得られた。 アンケートの自由記載をカテゴリ化し、病院と在宅の連携における現状把握および課題の明確化を行い、協会内で課題共有した。 2. 看護師職能Ⅱとの合同委員会オンライン開催。各委員会1例の事例提供、検討した。 テーマ①「外来通院から在宅への移行」 テーマ②「地域のつながりを絶たれてしまうため退院先の決定に難渋した事例」 事例提供者のケアの振り返りとともに、積極的な意見交換を行った。ケアへの肯定意見に加え、システム上、診療の補助業務を行うことが困難になっている外来看護の現状や苦悩を共有し、これらが適切な看護介入を阻害する要因になっていることを相互理解した。今後は介護施設やその他事業所などの事例や看護上の問題、課題の共有なども重要と思われる。また、地域におけるACPの実施の現状や今後の情報発信の予定を共有。委員の所属組織における役割を知る機会になり、地域ケア実践では多職種連携が不可欠であることを再認識した。 3. 研修会のアンケート結果「今後受講したい研修」を看護師職能Ⅱ委員会と共有した。

勤務環境改善推進委員会（6名） 委員会開催回数 6回

目的	活動内容（令和5年度）	具体的な活動内容
看護職がより専門性を発揮できる働き方の推進や看護サービスの質の向上を図る	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護職の働き方改革の推進 <ol style="list-style-type: none"> 1) 県内就業状況及び勤務環境調査結果の分析と共有 2) 「看護の業務改善in山形」開催に向けた企画・運営 3) 医療勤務環境改善支援センター・労働局との連携 4) 広報活動及び行政や他団体との連携 2. 処遇改善の現状把握 <ol style="list-style-type: none"> 1) 処遇改善の現状調査と分析の共有 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 左記同様 <ol style="list-style-type: none"> 1) 「県内病院の看護職員就業状況及び勤務環境調査」に加えて調査を実施。結果を前年度と比較、評価し、まとめ「看護の業務改善in山形」開催時に発表し、共有。 2) 「看護の業務改善in山形」の開催 <ol style="list-style-type: none"> ①看護の業務改善in山形を令和5年12月2日オンライン開催。応募・発表施設は5施設。参加者84名。 ②応募事例スライドの点検と修正。 ③表彰式（賞状・景品）の準備。 3) 山形県看護協会長・山形県健康福祉部地域医療支援課・山形県社会保険労務士会の方に書面で賞案・コメントを依頼。表彰の際に、講評あり。 4) 県内各施設への募集要項及びチラシを配布。ホームページ・SNS等で周知。 山形いぶき11月号・1月号に掲載。 2. 左記同様 <ol style="list-style-type: none"> 1) 「県内病院の看護職員就業状況及び勤務環境調査」に加えた処遇改善の現状項目結果を分析し、勤務環境調査に加え、発表・共有した。

<認定委員会>

認定看護管理者教育課程教育運営委員会（7名） 委員会開催回数 5回

（委員会活動は山形県看護協会認定看護管理者教育課程規程・細則に基づく）

目的	活動内容（令和5年度）	具体的な活動内容
認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上を図る	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各教育課程の実施や改善のための検討及び、規定や各教育課程カリキュラムに基づく運営の審議 <ol style="list-style-type: none"> 1) 課題レポートの各レベルにおける評価基準の検討 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 山形県看護協看護管理者教育課程規程細則の一部変更について協議管理運営会議に提出、理事会の承認待ち <ol style="list-style-type: none"> 1) 認定教育各レベルの課題レポート評価基準と看護管理実践計画評価基準を変更し今年度より使用開始 2) 「セカンド・サードレベル研修の単年修了の運営について」を作成

<p>2. 各教育課程の受講者、修了者の審査</p> <p>1) ファーストレベル・セカンドレベルの受講者選考及び修了審査</p> <p>3. セカンド・サードレベル修了者の実践報告会の企画・運営・評価</p>	<p>2. ファーストレベルとセカンドレベル開催</p> <p>1) ファーストレベル 受講生83名 修了審査の結果全員修了 セカンドレベル 受講生32名 教科目受講生1名 修了審査の結果全員修了</p> <p>3. セカンド・サードレベル修了者看護管理実践報告会～めざす看護のハーモニー～ 開催日：10月21日10：30～11：45 演題数：4題 参加者数：一般39名 セカンド受講生19名 認定委員7名 発表時間6分を急遽7分に変更し報告会を運営したことでゆとりある発表となった</p>
---	---

<特別委員会>

医療的ケア児等連携推進委員会（6名）

委員会開催回数 5回

（定款第38条により設置、期間は3年間）

目的	活動内容（令和5年度）	具体的な活動内容
<p>医療的ケア児に対して切れ目のない支援ができるように関係職種、関係機関と連携を図る体制整備を構築する。</p>	<p>1. 医療的ケア児へ支援体制について情報収集</p> <p>2. 病院と在宅の連携に有効な情報共有の検討</p> <p>3. 小児在宅移行支援に関する研修の企画</p> <p>4. 令和6年度以降の医療的ケア児等連携推進委員会のあり方について検討</p>	<p>1. 医療的ケア児に対する支援体制の現状として、レスパイト入院拡充に向けた取り組みや成人移行支援の不足、バイタルリンクの活用状況、保育園や小学校など教育現場での受け入れ体制の構築等、課題を情報共有した。</p> <p>2. 「小児在宅移行支援連携シート」の活用 山形大学医学部附属病院・山形県立中央病院・山形県立こども医療療育センター・鶴岡市立荘内病院で、電子カルテに文書を取り込み活用</p> <p>3. 3月2日「教育現場で働く看護職の役割と課題」研修会開催 講師：NurseFight代表 植田 陽子氏 参加者：61名</p>

推薦委員会（6名）

委員会開催回数 4回

目的	活動内容（令和5年度）	具体的な活動内容
<p>改選される役員・推薦委員等を推薦するにあたり、その任務を担い得るに適正な人を推薦する。</p>	<p>1. 改選される役員、推薦委員及び令和7年度代議員・予備代議員候補者の推薦</p> <p>1) 「山形いぶき」およびホームページ等に令和6年度役員・推薦委員及び令和7年度代議員・予備代議員の推薦の広報を掲載</p> <p>2) 会長・常任理事・職能理事・支部長と情報交換し、役員推薦についての情報共有と共通理解</p> <p>3) 推薦委員会活動マニュアルを基に、各支部と各職種のバランスを考慮し候補者を推薦</p> <p>2. 推薦委員会活動マニュアル及び手引きを選挙規則と照合</p> <p>1) 定款及び定款細則並びに選挙規則や、委員会の役割についての理解</p> <p>2) 活動マニュアル及び手引きの確認を行い、令和6年度改選役員等の推薦に係る手続きとスケジュールを検討</p>	<p>1. 左記同様</p> <p>1) 広報誌「山形いぶき」11月号およびホームページにて候補者推薦の募集の公示を行った</p> <p>2) 10月26日に合同打ち合わせ会議を開催し、令和6年度改選について、執行役員及び支部長との情報交換と情報共有を図った</p> <p>3) 総会開催2ヶ月前までに手引きに沿って候補者を推薦し、推薦名簿にて選挙管理委員会に報告を行った</p> <p>2. 左記同様</p> <p>1) 委員会の役割の再確認を行った</p> <p>2) 8月に活動マニュアル・手引きの見直しを行い、改選役員・推薦委員等の推薦に係る手順とスケジュールを確認した</p>

報告事項 8 令和 5 年度決算報告

令和 5 年度一般会計決算の概要

1 事業活動収支について

（事業活動収入	162,523千円)
（事業活動支出	165,199千円)
事業活動収支差額	△2,676千円
投資活動収支差額	△795千円
財務活動収支差額	△3,376千円
当期収支差額	△6,847千円

次期繰越収支差額は、前期繰越収支差額101,916千円を加算し、95,069千円となりました。

2 事業収入の内訳について

会費収入	71,639千円 (44%)
事業収入	26,844千円 (17%)
補助金等収入	58,824千円 (36%)
その他収入	5,216千円 (3%)
事業活動収入計	162,523千円 (100%)

(1) 会費収入は、会員数の微減により、前年度比144千円の減収となりました。

(2) 事業収入は、研修受講者の減などにより、前年度比3,002千円の減収となりました。

(3) 補助金等収入は、県受託収入が37,592千円、山形市受託収入が9,331千円、日本看護協会助成金等が11,065千円、その他受託収入等が836千円の合計で58,824千円でした。新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行されたことで、関連の委託業務が大幅に減少したことから、昨年度と比較して、149,082千円の減収となりました。

(4) その他収入は、負担金収入780千円、寄付金収入300千円、雑収入2,877千円、他会計からの繰入金1,259千円となっています。

(5) 雑収入の主なものは、会館使用料2,681千円です。

3 事業活動支出の内訳について

事業費支出	163,668千円
他会計繰出金支出	1,531千円
事業活動支出計	165,199千円

(1) 事業費支出は、新型コロナウイルス感染症関連委託業務に係る支出が大幅に減ったことから、昨年度に比べて128,202千円の減となりました。

令和5年度決算のポイント（1）

事業活動収益（科目別内訳）

科 目	決 算 額	%
受取会費	71,639千円	(13)
事業収益	26,844千円	(5)
受託・助成金等収益	58,824千円	(11)
訪問看護事業収益	363,921千円	(66)
その他収益	25,616千円	(5)
事業活動収益計	546,844千円	(100)

- ・事業活動収益は546,844千円で、その科目別内訳は、受取会費が71,639千円（13%）、研修会等の受講料などの事業収益が26,844千円（5%）、県や山形市からの受託事業と日本看護協会助成金収益が58,824千円（11%）、訪問看護事業収益が363,921千円（66%）でした。
- ・その他収益には、受取負担金、受取寄付金、事業外収益、受取利息、雑収益などです。

令和5年度決算のポイント（2）

事業活動収益（科目別・会計区分別内訳）

(千円)

科 目	合 計	公益会計	収益等会計	法人会計
受取会費	71,639	—	21,492	50,147
事業収益	26,844	26,844	—	—
受託・助成金等収益	58,824	58,824	—	—
訪問看護事業収益	363,921	363,921	—	—
その他収益	25,616	22,072	3,346	198
事業活動収益計	546,844	471,661	24,838	50,345

- ・受取会費71,639千円のうち21,492千円（30%）を「収益等会計」の収入に、50,147千円（70%）を「法人会計」の収入として割り振っています。

令和5年度決算のポイント（3）

事業活動費用（会計区分別内訳）

合 計	公益会計	収益等会計	法人会計
589,174千円	540,713千円	15,458千円	33,003千円
100%	92%	3%	5%

- ・事業活動費用の合計は、589,174千円となっています。
- ・会計区分別の内訳は、公益目的事業会計が540,713千円（92%）、その他本会の目的を達成するために必要な収益事業等会計が15,458千円（3%）、理事会・委員会等、本会の運営に必要な法人会計が33,003千円（5%）となっています。

令和5年度決算と財務三基準

（正味財産増減計算書を基に算定）

公益法人の財務三基準

- ① 収支相償：公益目的事業に係る収益が費用を超えないこと
・収益（472百万円）＜ 費用（541百万円）
- ② 公益目的事業費比率：50%以上
$$\frac{\text{公益目的事業の経常費用（541百万円）}}{\text{全事業の経常費用（589百万円）}} \approx 92\%$$
- ③ 遊休財産額：法人の純資産のうち、用途の定まらないものの額が公益目的事業に係る費用を超えないこと
・遊休財産額（384百万円）＜ 費用（541百万円）

公益社団法人の移行に伴い、山形県看護協会は公益法人として次の財務三基準を満たすことが要求されます。

- ①収支相償（公益目的事業に係る収益が費用を超えないこと、すなわち、実施に必要な費用を上回る収益をあげてはいけないこと、言い換えれば、収益は事業に費やすべきで、資金を貯蓄してはいけないということ。）
・公益目的事業の経常収益（472百万円）が公益目的事業の経常費用（541百万円）を超えないため、基準を満たしています。
- ②公益目的事業費比率が、収益事業と法人費用とを加えた事業費全体の50%以上であること。
・全事業の経常費用（589百万円）に対する公益目的事業の経常費用（541百万円）の比率が約92%と、50%を超えるため、基準を満たしています。
- ③遊休財産額（用途の定まらない蓄積した財産）が、公益目的事業を行うのに必要な1年分の額を超えないこと。
・遊休財産額は、384百万円で、公益目的事業の経常費用541百万円を超えないため基準を満たしています。

したがって、山形県看護協会の令和5年度決算は、これら三基準をすべてクリアしたものとなっています。

一般会計資金収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
		施設の貸与事業 (収益事業)	計				
			その他、本会の目的を達成する ために必要な事業(収益事業)	計			
I 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入	0	0	0	0	57	57	57
(1) 特定資産運用収入	0	0	21,491,550	21,491,550	50,146,950	50,146,950	71,638,500
(2) 会費収入			21,491,550	21,491,550	0	0	26,844,100
(3) 事業収入	26,844,100	0	0	0	0	0	26,844,100
(4) 補助金等収入	26,844,100	0	0	0	0	0	58,824,322
(5) 日看協受託収入	37,591,754	0	0	0	0	0	37,591,754
(6) 他受託収入	9,331,184	0	0	0	0	0	9,331,184
(7) 雑収入	2,906,444	0	0	0	0	0	2,906,444
(8) 日看協受託収入	836,620	0	0	0	0	0	836,620
(9) 日看協助成金収入	8,158,320	0	0	0	0	0	8,158,320
(10) 負担金収入	0	780,000	0	780,000	0	0	780,000
(11) 負担金収入	0	780,000	0	780,000	0	0	780,000
(12) 寄付金収入	300,000	0	0	0	0	0	300,000
(13) 雑収入	286,909	2,530,013	8,805	2,538,818	52,357	52,357	300,000
(14) 雑収入	286,909	2,530,013	8,805	2,538,818	1,386	1,386	2,878,084
(15) 他会計からの繰入金収入	314,531	0	314,531	314,531	50,971	50,971	1,386
(16) 訪問看護ステーションからの繰入金収入	314,531	0	314,531	314,531	629,063	629,063	2,878,084
事業活動収入計	86,569,862	3,310,013	21,814,886	25,124,899	50,828,427	50,828,427	162,523,188
2. 事業活動支出							
(1) 事業費支出	3,567,998	129,603	2,225,811	2,225,811	6,081,817	6,081,817	11,875,626
(2) 役員報酬支出	38,809,554		1,662,715	1,792,318	9,625,412	9,625,412	50,227,284
(3) 臨時雇賃金支出	15,016,496						15,016,496
(4) 役員退職慰労金支出							0
(5) 退職給付費支出							0
(6) 賞与引当金支出	1,289,555	9,487	235,819	245,306	723,949	723,949	2,258,810
(7) 法定福利費支出	8,377,819	42,879	504,048	546,927	2,091,448	2,091,448	11,016,194
(8) 福利厚生費支出	623,951	3,954	265,747	269,701	192,864	192,864	1,086,516
(9) 旅費交通費支出	3,249,867	203	3,459,093	3,459,296	499,361	499,361	7,208,524
(10) 通信運搬費支出	3,735,666	3,545	1,221,171	1,224,716	263,303	263,303	5,223,675
(11) 支払手数料	954,364		107,350	107,350	8,114	8,114	1,069,828
(12) 図書費支出	493,137						493,137
(13) 消耗什器備品費支出	174,973	879	11,283	12,162	65,315	65,315	252,450
(14) 消耗品費支出	3,077,051	5,633	768,245	773,878	443,023	443,023	4,293,952
(15) リース料支出	1,937,611	11,543	148,089	159,632	857,281	857,281	2,954,524
(16) 修繕費支出	372,456	2,391	30,669	33,060	177,539	177,539	583,055
(17) 食糧費支出	240,448	208	107,416	107,624	111,946	111,946	460,018
(18) 印刷製本費支出	2,780,413	629	815,366	815,995	1,079,743	1,079,743	4,676,151
(19) 光熱水料費支出	4,206,081	29,506	346,844	376,350	1,439,159	1,439,159	6,021,590

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合 計
		施設の貸与事業 (収益事業)	その他、本会の目的を達成する ために必要な事業(公益事業)	計			
②①広告宣伝費支出	358,600	0	980,000	980,000	0		1,338,600
②②賃借料支出	4,491,539	62	11,560	11,560	4,623		4,507,722
②③保険料支出	354,454	66	193,657	193,657	4,869		552,980
②④諸謝金支出	11,651,090		42,840	42,840			11,693,930
②⑤租税公課支出	7,999,248	53,771	396,977	450,748	1,647,178		10,097,174
②⑥負担金支出	353,992	1,641	187,596	189,237	80,063		623,292
②⑦業務委託費支出	2,565,033	17,994	211,519	229,513	877,656		3,672,202
②⑧保守管理費支出	2,425,602	17,016	200,021	217,037	829,948		3,472,587
②⑨助成金支出	229,898		0	0			229,898
②⑩寄付金支出	1,000,000		0	0			1,000,000
②⑪奨学金支出	608,748	207	190,118	190,325	962,636		1,761,709
③雑支出							
(2)他会計への繰出金支出	1,455,096		0	0	76,584		1,531,680
①顧問看護ステーションへの繰出金支出							
事業活動支出計	122,400,730	331,217	14,323,826	14,655,043	28,143,831	0	165,199,604
事業活動収支差額	△ 35,830,868	2,978,796	7,491,060	10,469,856	22,684,596	0	△ 2,676,416
II 投資活動収支の部							
I. 投資活動収入	1,000,004		0	0			1,000,004
(1)特定資産取崩収入							
①役員退職慰労引当資産取崩収入							0
②退職給付引当資産取崩収入							0
③今野フサ子記念奨学金取崩収入							0
投資活動収入計	1,000,004	0	0	0	0	0	1,000,004
2. 投資活動支出							
(1)特定資産取得支出							
①役員退職慰労引当資産取得支出	44,640		3,570	3,570	101,790		150,000
②退職給付引当資産取得支出	785,358	5,509	64,763	70,272	268,720		1,124,350
③今野フサ子記念奨学金取得支出	4		0	0			4
(2)固定資産取得支出							
①什器備品取得支出	332,368	2,133	27,368	29,501	158,431		520,300
投資活動支出計	1,162,370	7,642	95,701	103,343	528,941	0	1,794,654
投資活動収支差額	△ 162,366	△ 7,642	△ 95,701	△ 103,343	△ 528,941	0	△ 794,650
III 財務活動収支の部							
I. 財務活動収入							
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出							
(1)リース債務返済支出	2,156,295	13,840	177,553	191,393	1,027,852		3,375,540
財務活動支出計	2,156,295	13,840	177,553	191,393	1,027,852	0	3,375,540
財務活動収支差額	△ 2,156,295	△ 13,840	△ 177,553	△ 191,393	△ 1,027,852	0	△ 3,375,540
IV 予備費支出							
当期収支差額							△ 6,846,606
前期繰越収支差額							101,915,725
次期繰越収支差額							95,069,119

貸 借 対 照 表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	399,719,149	431,739,030	△ 32,019,881
未収金	27,140,649	39,867,587	△ 12,726,938
前払金	6,360,570	7,100,570	△ 740,000
立替金	1,751,605	246,813	1,504,792
事業未収金	58,725,467	67,021,996	△ 8,296,529
前払費用	89,020	121,236	△ 32,216
流動資産合計	493,786,460	546,097,232	△ 52,310,772
2. 固定資産			
1) 特定資産			
土地	150,000,000	150,000,000	0
構築物	1	1	0
退職給付引当資産	53,679,350	53,908,832	△ 229,482
会館建設積立資産	274,288,017	260,351,342	13,936,675
役員退職慰労引当資産	400,000	250,000	150,000
建物等修繕引当資産	16,683,012	16,682,847	165
建物再取得資金	146,326,204	126,677,660	19,648,544
今野フサ子記念奨学金	0	1,000,000	△ 1,000,000
ソフトウェア	2,507,999	3,299,999	△ 792,000
特定資産合計	643,884,583	612,170,681	31,713,902
2) その他固定資産			
土地	194,086,300	194,086,300	0
建物	349,009,468	358,469,817	△ 9,460,349
建物附属設備	13,730,488	16,566,842	△ 2,836,354
構築物	1,828,781	1,621,384	207,397
什器備品	3,181,549	2,132,077	1,049,472
電話加入権	290,600	290,600	0
敷金	60,000	60,000	0
リース資産	2,733,390	6,108,930	△ 3,375,540
その他固定資産合計	564,920,576	579,335,950	△ 14,415,374
固定資産合計	1,208,805,159	1,191,506,631	17,298,528
資産合計	1,702,591,619	1,737,603,863	△ 35,012,244
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	26,327,745	13,637,825	12,689,920
未払法人税等	222,000	222,000	0
未払金	2,403,924	9,406,907	△ 7,002,983
前受金	70,729,500	74,048,500	△ 3,319,000
未払消費税	1,010,500	6,659,800	△ 5,649,300
預り金	2,370,690	2,019,703	350,987
リース債務	1,271,160	3,375,540	△ 2,104,380
役員賞与引当金	955,500	0	955,500
賞与引当金	21,833,995	20,090,514	1,743,481
流動負債合計	127,125,014	129,460,789	△ 2,335,775
2. 固定負債			
長期リース債務	1,462,230	2,733,390	△ 1,271,160
役員退職慰労引当金	400,000	250,000	150,000
退職給付引当金	53,679,350	56,008,840	△ 2,329,490
長期未払金	390,870	0	390,870
固定負債合計	55,932,450	58,992,230	△ 3,059,780
負債合計	183,057,464	188,453,019	△ 5,395,555
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
会館建設積立金	274,288,017	260,339,454	13,948,563
土地	150,000,000	150,000,000	0
構築物	1	1	0
今野フサ子記念奨学金	0	1,000,000	△ 1,000,000
ソフトウェア	1,516,833	1,995,833	△ 479,000
指定正味財産合計	425,804,851	413,335,288	12,469,563
(うち特定資産への充当額)	(425,804,851)	(413,335,288)	△ 12,469,563
2. 一般正味財産	1,093,729,304	1,135,815,556	△ 42,086,252
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(164,000,382)	(144,676,561)	△ 19,323,821
正味財産合計	1,519,534,155	1,549,150,844	△ 29,616,689
負債及び正味財産合計	1,702,591,619	1,737,603,863	△ 35,012,244

貸借対照表内訳表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I. 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	183,701,634	39,406,678	176,610,837		399,719,149
未収金	27,140,649	0	0		27,140,649
前払金	60,570	0	6,300,000		6,360,570
立替金	1,741,605	0	10,000		1,751,605
事業未収金	58,725,467	0	0		58,725,467
居宅勘定	0	0	11,540,102	△ 11,540,102	0
仮払金	0	0	0		0
前払費用	89,020	0	0		89,020
流動資産合計	271,458,945	39,406,678	194,460,939	△ 11,540,102	493,786,460
2. 固定資産					
1) 特定資産					
土地	95,820,000	8,505,000	45,675,000		150,000,000
構築物	1	0	0		1
役員退職慰労引当資産	119,040	9,520	271,440		400,000
退職給付引当資産	50,774,708	735,130	2,169,512		53,679,350
会館建設積立資産	175,215,185	15,552,131	83,520,701		274,288,017
建物等修繕引当資産	16,683,012	0	0		16,683,012
建物再取得資金	93,473,179	8,296,695	44,556,330		146,326,204
ソフトウェア	2,108,039	187,110	212,850		2,507,999
特定資産合計	434,193,164	33,285,586	176,405,833	0	643,884,583
2) その他固定資産					
土地	130,182,796	10,031,364	53,872,140		194,086,300
建物	261,614,268	13,719,014	73,676,186		349,009,468
建物附属設備	12,801,101	145,892	783,495		13,730,488
構築物	1,828,781	0	0		1,828,781
什器備品	2,831,380	54,968	295,201		3,181,549
リース資産	1,746,090	154,983	832,317		2,733,390
電話加入権	290,600	0	0		290,600
長期貸付金	0	0	3,375,000	△ 3,375,000	0
敷金	60,000	0	0		60,000
その他固定資産合計	411,355,016	24,106,221	132,834,339	△ 3,375,000	564,920,576
固定資産合計	845,548,180	57,391,807	309,240,172	△ 3,375,000	1,208,805,159
資産合計	1,117,007,125	96,798,485	503,701,111	△ 14,915,102	1,702,591,619
II. 負債の部					
1. 流動負債					
未払費用	26,327,745	0	0		26,327,745
未払法人税等	0	222,000	0		222,000
未払消費税	938,400	0	72,100		1,010,500
未払金	0	0	2,403,924		2,403,924
前受金	0	19,328,850	51,400,650		70,729,500
預り金	2,096,826	41,341	232,523		2,370,690
リース債務	812,017	72,075	387,068		1,271,160
役員賞与引当金	0	0	955,500		955,500
賞与引当金	20,640,803	301,982	891,210		21,833,995
訪看勘定	0	0	11,540,102	△ 11,540,102	0
流動負債合計	50,815,791	19,966,248	67,883,077	△ 11,540,102	127,125,014
2. 固定負債					
長期リース債務	934,073	82,908	445,249		1,462,230
役員退職慰労引当金	119,040	9,520	271,440		400,000
退職給付引当金	50,774,708	735,130	2,169,512		53,679,350
長期未払金	0	0	390,870		390,870
長期借入金	0	0	3,375,000	△ 3,375,000	0
固定負債合計	51,827,821	827,558	6,652,071	△ 3,375,000	55,932,450
負債合計	102,643,612	20,793,806	74,535,148	△ 14,915,102	183,057,464
III. 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
会館建設積立金	175,215,185	15,552,131	83,520,701		274,288,017
土地	95,820,000	8,505,000	45,675,000		150,000,000
構築物	1	0	0		1
ソフトウェア	968,952	86,007	461,874		1,516,833
指定正味財産合計	272,004,138	24,143,138	129,657,575	0	425,804,851
(うち特定資産への充当額)	(272,004,138)	(24,143,138)	(129,657,575)		(425,804,851)
2. 一般正味財産	742,359,375	51,861,541	299,508,388	0	1,093,729,304
(うち特定資産への充当額)	(111,295,278)	(8,397,798)	(44,307,306)		(164,000,382)
正味財産合計	1,014,363,513	76,004,679	429,165,963	0	1,519,534,155
負債及び正味財産合計	1,117,007,125	96,798,485	503,701,111	△ 14,915,102	1,702,591,619

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用益	866	877	△ 11
受取会費	71,638,500	71,782,500	△ 144,000
研修会事業収益	26,844,100	29,846,270	△ 3,002,170
県受託収益	37,591,754	77,064,408	△ 39,472,654
山形市受託収益	9,331,184		9,331,184
日看協受託収益	2,906,444	12,440,654	△ 9,534,210
他県受託収益	836,620	759,454	77,166
県補助金収益	0	0	0
日看協助成金収益	8,158,320	8,156,990	1,330
受取負担金	780,000	780,000	0
受取寄付金	800,000	300,000	500,000
受取寄付金振替額	1,000,000	1,234,149	△ 234,149
受取補助金振替額	479,000	999,167	△ 520,167
看護療養費収益	145,979,104	158,081,610	△ 12,102,506
介護報酬収益	184,133,122	192,224,364	△ 8,091,242
介護給付費収益	33,809,084	34,497,221	△ 688,137
その他事業収益	4,178,031	4,486,050	△ 308,019
事業外収益	14,470,433	13,891,762	578,671
受取補助金・助成金	1,026,000	4,906,600	△ 3,880,600
受取利息	4,745	4,667	78
雑収益	2,876,698	3,919,670	△ 1,042,972
	0		0
経常収益計	546,844,005	615,376,413	△ 68,532,408
(2)経常費用			
事業費			
役員報酬	9,760,676	7,710,033	2,050,643
給料手当	40,601,872	40,519,087	82,785
役員賞与引当金繰入額	905,240	0	905,240
賞与引当金繰入額	1,889,476	1,534,862	354,614
臨時雇賃金	15,016,496	43,028,788	△ 28,012,292
役員退職慰労引当金繰入額	48,210	48,210	0
退職給付費用	855,630	263,762	591,868
法定福利費	8,924,746	8,158,493	766,253
福利厚生費	893,652	1,133,424	△ 239,772
旅費交通費	6,709,163	4,567,056	2,142,107
通信運搬費	4,960,372	5,666,821	△ 706,449
支払手数料	1,061,714	953,042	108,672
建物減価償却費	4,869,889	4,869,889	0
建物附属設備減価償却費	430,679	217,508	213,171
構築物減価償却費	0	162,850	△ 162,850
什器備品減価償却費	125,103	37,412	87,691
リース資産減価償却費	2,347,688	2,702,602	△ 354,914
ソフトウェア減価償却費	550,836	459,031	91,805
図書費	493,137	510,623	△ 17,486
消耗什器備品費	187,135	289,555	△ 102,420
消耗品費	3,850,929	4,637,324	△ 786,395
リース料	2,097,243	1,651,749	445,494
修繕費	405,516	298,946	106,570
食糧費	348,072	237,848	110,224
印刷製本費	3,596,408	2,716,728	879,680
光熱水料費	4,582,431	5,441,429	△ 858,998
広告宣伝費	1,338,600	2,232,821	△ 894,221
賃借料	4,503,099	6,184,307	△ 1,681,208

保険料	548,111	445,033	103,078
諸謝金	11,693,930	12,286,031	△ 592,101
租税公課	8,429,996	21,232,531	△ 12,802,535
負担金	543,229	614,142	△ 70,913
業務委託費	2,794,546	2,754,385	40,161
保守管理費	2,642,639	2,655,563	△ 12,924
助成金	229,898	252,264	△ 22,366
寄附金	0	50,000	△ 50,000
奨学金	1,000,000	1,000,000	0
雑費	799,073	1,901,771	△ 1,102,698
管理費			
役員報酬	6,324,600	5,747,363	577,237
給料手当	9,625,412	7,516,974	2,108,438
役員賞与引当金繰入額	50,260	0	50,260
賞与引当金繰入額	891,209	723,948	167,261
役員退職慰労引当金繰入額	101,790	101,790	0
退職給付費用	268,720	82,838	185,882
法定福利費	2,091,448	1,935,408	156,040
福利厚生費	192,864	162,574	30,290
旅費交通費	465,361	544,240	△ 78,879
通信運搬費	263,303	338,736	△ 75,433
支払手数料	8,114	4,481	3,633
建物減価償却費	2,132,108	2,132,108	0
建物附属設備減価償却費	188,557	95,228	93,329
構築物減価償却費	0	71,299	△ 71,299
什器備品減価償却費	54,773	16,379	38,394
リース資産減価償却費	1,027,852	1,183,238	△ 155,386
ソフトウェア減価償却費	241,164	200,970	40,194
消耗什器備品費	65,315	16,245	49,070
消耗品費	443,023	388,230	54,793
リース料	857,281	723,160	134,121
修繕費	177,539	130,884	46,655
食糧費	111,946	94,271	17,675
印刷製本費	1,079,743	988,678	91,065
光熱水料費	1,439,159	1,708,938	△ 269,779
賃借料	4,623	110,369	△ 105,746
保険料	4,869	5,427	△ 558
租税公課	1,647,178	1,607,851	39,327
負担金	80,063	90,180	△ 10,117
業務委託費	877,656	865,044	12,612
保守管理費	829,948	834,008	△ 4,060
雑費	962,636	1,153,306	△ 190,670
事業費			
給料手当（訪問看護）	257,968,294	268,583,926	△ 10,615,632
法定福利費（訪問看護）	45,754,727	45,711,954	42,773
医薬品費（訪問看護）	87,230	232,434	△ 145,204
福利厚生費（訪問看護）	3,761,413	2,669,744	1,091,669
旅費交通費（訪問看護）	437,153	130,998	306,155
職員被服費（訪問看護）	337,709	424,365	△ 86,656
通信費（訪問看護）	5,742,915	6,594,188	△ 851,273
支払手数料（訪問看護）	1,889,371	0	1,889,371
消耗品費（訪問看護）	2,188,275	2,665,675	△ 477,400
事務費（訪問看護）	3,280,731	827,842	2,452,889
車輛費（訪問看護）	3,666,467	3,586,388	80,079
光熱水料費（訪問看護）	3,042,128	4,057,956	△ 1,015,828
賃借料（訪問看護）	3,967,632	3,739,970	227,662
リース料（訪問看護）	14,856,862	14,527,876	328,986
保険料（訪問看護）	2,161,730	2,616,530	△ 454,800
交際費（訪問看護）	282,051	225,944	56,107
諸会費（訪問看護）	100,400	94,400	6,000

租税公課（訪問看護）	2,420,500	1,719,365	701,135
図書費（訪問看護）	164,109	252,693	△ 88,584
広告宣伝費（訪問看護）	132,000	182,300	△ 50,300
研修費（訪問看護）	376,530	253,480	123,050
修繕費（訪問看護）	417,058	41,800	375,258
諸謝金（訪問看護）	1,795,589	1,428,136	367,453
退職金（訪問看護）	0	1,588,500	△ 1,588,500
会議費（訪問看護）	11,066	6,041	5,025
退職給付費用（訪問看護）	11,390,715	2,800,600	8,590,115
建物減価償却費（訪問看護）	2,458,352	2,500,178	△ 41,826
建物附属設備減価償却費（訪問看護）	2,217,118	2,165,522	51,596
構築物減価償却費（訪問看護）	360,481	341,503	18,978
什器備品減価償却費（訪問看護）	730,988	793,945	△ 62,957
雑費（訪問看護）	177,928	11,707,797	△ 11,529,869
賞与引当金繰入（訪問看護）	19,053,310	17,831,704	1,221,606
印刷製本費（訪問看護）	104,956	0	104,956
役員退職慰労金（訪問看護）	0	0	0
維持管理費（訪問看護）	5,330,436	0	5,330,436
支払負担金（訪問看護）	9,469,165	0	9,469,165
管理費			
法定福利費（訪問看護）	124,869	114,525	10,344
福利厚生費（訪問看護）	1,205	1,093	112
修繕費（訪問看護）	212	0	212
印刷製本費（訪問看護）	2,592	0	2,592
維持管理費（訪問看護）	131,636	0	131,636
支払負担金（訪問看護）	233,842	0	233,842
経常費用計	589,173,693	619,419,457	△ 30,245,764
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 42,329,688	△ 4,043,044	△ 38,286,644
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 42,329,688	△ 4,043,044	△ 38,286,644
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
山形市受託事業	0	106,490,200	△ 106,490,200
什器備品受贈益	465,437	0	465,437
経常外収益計	465,437	106,490,200	△ 106,024,763
(2) 経常外費用			
山形市受託事業	0	88,010,640	△ 88,010,640
什器備品売却損	1	0	1
雑損失	0	26,538	
経常外費用計	1	88,037,178	△ 88,010,639
当期経常外増減額	465,436	18,453,022	△ 18,014,124
税引前当期一般正味財産増減額	△ 41,864,252	14,409,978	△ 56,274,230
法人税・住民税・事業税	222,000	810,200	△ 588,200
当期一般正味財産増減額	△ 42,086,252	13,599,778	△ 55,686,030
一般正味財産期首残高	1,135,815,556	1,122,215,778	13,599,778
一般正味財産期末残高	1,093,729,304	1,135,815,556	△ 42,086,252
II 指定正味財産増減の部			
会館建設積立金	13,866,000	16,269,000	△ 2,403,000
受取利息	82,563	76,005	6,558
受取補助金	0	2,995,000	△ 2,995,000
一般正味財産への振替額	△ 1,479,000	△ 2,233,316	754,316
当期指定正味財産増減額	12,469,563	17,106,689	△ 4,637,126
指定正味財産期首残高	413,335,288	396,228,599	17,106,689
指定正味財産期末残高	425,804,851	413,335,288	12,469,563
III 正味財産期末残高	1,519,534,155	1,549,150,844	△ 29,616,689

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	会計区分		公益目的事業会計			収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合 計
	公 1	共 通	小 計	施設の貸与・事業 (収益事業)	その他本会の施設等に対する たがひ収益事業(供養事業)	共 通	小 計					
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益	809		809					21,491,550		57		866
特定資産運用収益			0									
受取会費	26,844,100		26,844,100									71,638,500
研修会事業収益	37,591,754		37,591,754									26,844,100
県受託収益	9,331,184		9,331,184									37,591,754
山形市受託収益	2,906,444		2,906,444									9,331,184
日看協受託収益	836,620		836,620									2,906,444
他県受託収益			0									836,620
県補助金収益	8,158,320		8,158,320									0
日看協助成金収益			0									8,158,320
受取負担金	800,000		800,000				780,000					780,000
受取寄付金	1,000,000		1,000,000									800,000
受取寄付金振替額	305,985		305,985									1,000,000
受取補助金振替額	145,979,104		145,979,104				1,964	25,195		145,856		479,000
看護療養費収益	184,133,122		184,133,122									145,979,104
介護報酬収益	33,809,084		33,809,084									184,133,122
介護給付費収益	4,178,031		4,178,031									33,809,084
その他の事業収益	14,470,433		14,470,433									4,178,031
事業外収益	1,026,000		1,026,000									14,470,433
受取補助金・助成金	3,143		3,143				2,530,013	8,805		1,602		1,026,000
受取利息	286,909		286,909							50,971		4,745
雑収益												2,876,698
経常収益計	471,661,042	0	471,661,042	3,311,977			3,311,977	21,525,550		50,345,436	0	546,844,005
(2) 経常費用												
役員報酬	7,534,865		7,534,865					2,225,811		6,324,600		16,085,276
給料手当	38,809,554		38,809,554	129,603			129,603	1,662,715		9,625,412		50,227,284
臨時雇賃金	15,016,496		15,016,496							0		15,016,496
役員賞与引当金繰入額	891,099		891,099	11,679			11,679	14,141		50,260		955,500
賞与引当金繰入額	1,587,493		1,587,493					290,304		891,209		2,780,685
役員退職慰勞引当金繰入額	44,640		44,640					3,570		101,790		150,000
退職給付費用	785,358		785,358	5,509			5,509	64,763		268,720		1,124,350
法定福利費	8,377,819		8,377,819	42,879			42,879	504,048		2,091,448		11,016,194
福利厚生費	623,951		623,951	3,954			3,954	265,747		192,864		1,086,516
旅費交通費	3,249,867		3,249,867	203			203	3,459,093		465,361		7,174,524
通信運搬費	3,735,656		3,735,656	3,545			3,545	1,224,716		263,303		5,223,675
支払手数料	954,364		954,364					107,350		8,114		1,069,828
建物附属設備減価償却費	4,472,876		4,472,876	28,708			28,708	368,305		2,132,108		7,001,997
建物付属設備減価償却費	395,568		395,568	2,539			2,539	32,572		188,557		619,236
什器備品減価償却費	114,905		114,905	737			737	9,461		54,773		179,876
リース資産減価償却費	2,156,295		2,156,295	13,840			13,840	177,553		1,027,852		3,375,540
ソフトウェア減価償却費	505,930		505,930	3,247			3,247	41,659		241,164		792,000
図書費	493,137		493,137							0		493,137

科	会計区分		公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計
	科目	公1	共通	小計	施設の貸与事業 (収益事業)	その他本会の財政活動に 対しての事業(供事業)	共通	小計			
消耗什器備品費											
消耗品費	174,973			174,973	879	11,283	12,162	65,315		252,450	
り一ス料	3,077,051			3,077,051	5,633	768,245	773,878	443,023		4,293,952	
修繕費	1,937,611			1,937,611	11,543	148,089	159,632	857,281		2,954,524	
食糧費	372,456			372,456	2,391	30,669	33,060	177,539		583,055	
食糧費	240,448			240,448	208	107,416	107,624	111,946		460,018	
印刷製本費	2,780,413			2,780,413	629	815,366	815,995	1,079,743		4,676,151	
光熱水料費	4,206,081			4,206,081	29,506	346,844	376,350	1,439,159		6,021,590	
広告宣伝費	358,600			358,600	0	980,000	980,000	0		1,338,600	
賃借料	4,491,539			4,491,539	62	11,498	11,560	4,623		4,507,722	
保険料	354,454			354,454	66	193,591	193,657	4,869		552,980	
諸謝金	11,651,090			11,651,090		42,840	42,840	0		11,693,930	
租税公課	7,999,248			7,999,248	33,771	396,977	430,748	1,647,178		10,077,174	
負担金	353,992			353,992	1,641	187,596	189,237	80,063		623,292	
業務委託費	2,565,033			2,565,033	17,994	211,519	229,513	877,656		3,672,202	
保守管理費	2,425,602			2,425,602	17,016	200,021	217,037	829,948		3,472,587	
助成金	229,898			229,898			0	229,898		229,898	
寄附金	1,000,000			1,000,000			0	0		1,000,000	
奨学金	608,748			608,748	207	190,118	190,325	962,636		1,761,709	
雑費											
給料手当(訪問看護)	257,968,294			257,968,294			0	0		257,968,294	
法定福利費(訪問看護)	45,754,727			45,754,727			0	124,869		45,879,596	
医薬品費(訪問看護)	87,230			87,230			0	87,230		87,230	
福利厚生費(訪問看護)	3,761,413			3,761,413			0	1,205		3,762,618	
旅費交通費(訪問看護)	437,153			437,153			0	437,153		437,153	
職員被服費(訪問看護)	337,709			337,709			0	337,709		337,709	
通信費(訪問看護)	5,742,915			5,742,915			0	5,742,915		5,742,915	
消耗品費(訪問看護)	2,188,275			2,188,275			0	2,188,275		2,188,275	
事務費(訪問看護)	3,280,731			3,280,731			0	3,280,731		3,280,731	
車輛費(訪問看護)	3,666,467			3,666,467			0	3,666,467		3,666,467	
光熱水料費(訪問看護)	3,042,128			3,042,128			0	3,042,128		3,042,128	
賃借料(訪問看護)	3,967,632			3,967,632			0	3,967,632		3,967,632	
り一ス料(訪問看護)	14,856,862			14,856,862			0	14,856,862		14,856,862	
保険料(訪問看護)	2,161,730			2,161,730			0	2,161,730		2,161,730	
交際費(訪問看護)	282,051			282,051			0	282,051		282,051	
諸会費(訪問看護)	100,400			100,400			0	100,400		100,400	
租税公課(訪問看護)	2,420,500			2,420,500			0	2,420,500		2,420,500	
図書費(訪問看護)	164,109			164,109			0	164,109		164,109	
広告宣伝費(訪問看護)	132,000			132,000			0	132,000		132,000	
研修費(訪問看護)	376,530			376,530			0	376,530		376,530	
修繕費(訪問看護)	417,058			417,058			0	417,270		417,270	
諸謝金(訪問看護)	1,795,589			1,795,589			0	1,795,589		1,795,589	
会議費(訪問看護)	11,066			11,066			0	11,066		11,066	
退職給付費用(訪問看護)	11,390,715			11,390,715			0	11,390,715		11,390,715	
建物減価償却費(訪問看護)	2,458,352			2,458,352			0	2,458,352		2,458,352	
建物附属設備減価償却費(訪問看護)	2,217,118			2,217,118			0	2,217,118		2,217,118	
構築物減価償却費(訪問看護)	360,481			360,481			0	360,481		360,481	
什器備品減価償却費(訪問看護)	730,988			730,988			0	730,988		730,988	

科 目	会計区分			公益目的事業会計				収益事業等会計				内部取引控除	合 計
	公 1	共 通	小 計	施設の貸与事業 (収益事業)	その他本会の目的達成に ために必要な事業(公益事業)	共 通	小 計	法人会計					
雑費(訪問看護)	177,928		177,928										177,928
賞与引当金繰入額(訪問看護)	19,053,310		19,053,310										19,053,310
印刷製本費(訪問看護)	104,956		104,956										107,548
支払手数料(訪問看護)	1,889,371		1,889,371										1,889,371
維持管理費(訪問看護)	5,330,436		5,330,436										5,462,072
支払負担金(訪問看護)	9,469,165		9,469,165										9,703,007
経常費用計	540,712,499	0	540,712,499	367,989	15,090,335	0	15,458,324	33,002,870	0	589,173,693			589,173,693
評価損益等調整額	△ 69,051,457	0	△ 69,051,457	2,943,988	6,435,215	0	9,379,203	17,342,566	0	△ 42,329,688			△ 42,329,688
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
2. 経常外増減の部	△ 69,051,457	0	△ 69,051,457	2,943,988	6,435,215	0	9,379,203	17,342,566	0	△ 42,329,688			△ 42,329,688
(1) 経常外収益													
什器備品受贈益	465,437		465,437										465,437
経常外収益計	465,437	0	465,437	0	0	0	0	0	0	465,437			465,437
(2) 経常外費用													
什器備品売却損	1		1										1
経常外費用計	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1			1
当期経常外増減額	465,436	0	465,436	0	0	0	0	0	0	465,436			465,436
他会計振替額(公益事業2分の1)		2,769,882	2,769,882	△ 2,769,882			△ 2,769,882			0			0
他会計振替額(公益事業2分の1起部分)		2,769,882	2,769,882	△ 2,769,882			△ 2,769,882			0			0
他会計振替額(収益事業2分の1)		1,461,076	1,461,076	△ 1,461,076			△ 1,461,076			0			0
他会計振替額(収益事業2分の1起部分)		1,461,076	1,461,076	△ 1,461,076			△ 1,461,076			0			0
他会計振替額(上記以外)				△ 21,836			△ 21,836			21,836			0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 68,586,021	8,461,916	△ 60,124,105	0	895,451	0	895,451	17,364,402	0	△ 41,864,252			△ 41,864,252
法人税・住民税・事業税			0	222,000			222,000			222,000			222,000
法人税等調整額			0							0			0
当期一般正味財産増減額	△ 68,586,021	8,461,916	△ 60,124,105	△ 222,000	895,451	0	673,451	17,364,402	0	△ 42,086,252			△ 42,086,252
一般正味財産期首残高			802,483,480				51,188,090	282,143,986		1,135,815,556			1,135,815,556
一般正味財産期末残高			742,359,375				51,861,541	299,508,388		1,093,729,304			1,093,729,304
指定正味財産増減の部													
会館建設費立金	8,857,601	0	8,857,601	56,851	729,352		786,203	4,222,196		13,866,000			13,866,000
受取利息	52,741	0	52,741	339	4,343		4,682	25,140		82,563			82,563
一般正味財産への振替額	△ 1,305,985	0	△ 1,305,985	△ 1,965	△ 25,196		△ 27,161	△ 145,854		△ 1,479,000			△ 1,479,000
当期指定正味財産増減額	7,604,357	0	7,604,357	55,225	708,499	0	763,724	4,101,482	0	12,469,563			12,469,563
指定正味財産期首残高			264,399,781				23,379,414	125,556,093		413,335,288			413,335,288
指定正味財産期末残高			272,004,138				24,143,138	129,657,575		425,804,851			425,804,851
正味財産期末残高			1,014,363,513				76,004,679	429,165,963		1,519,534,155			1,519,534,155

正味財産増減計算書内訳表（公益目的事業会計）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	会 計 区 分	教育等看護 の質の向上に 関する事業	看護研究会の 開催等、学術研究の 振興に関する事業	看護業務・ 看護制度の改善等に 関する事業	看護と関わり深い看護の発展及び 福祉の向上による国民の健康及び 福祉の増進に関する事業	在宅看護の増進等の 取り組みを通して公衆 衛生の向上を図る事業	公益目的事業共通	訪問看護 ステーション事業	合 計
1 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
1) 経常収益									
(1) 特定資産運用利益		0	0	0	0	0	0	809	809
① 特定資産利息		0	0	0	0	0	0	809	809
(2) 受取会費								0	0
① 受取会費									
(3) 事業収益		26,260,100	309,000	0	0	275,000	0	0	26,844,100
① 研修会事業収益		26,260,100	309,000			275,000			26,844,100
(4) 補助金等		14,902,282	0	1,097,884	40,753,060	134,216	1,936,880	0	58,824,322
① 県受託収益		6,094,695	0	983,533	30,369,310	134,216			37,591,754
② 山形市受託収益			0		9,331,184				9,331,184
③ 日看協受託収益		749,267	0	104,351	115,946		1,936,880	0	2,906,444
④ 他県受託収益			0		836,620				836,620
⑤ 日看協助成金収益		8,058,320	0	0	100,000		0	0	8,158,320
(5) 受取負担金		0	0	0	0	0	0	0	0
① 受取負担金		0	0	0	0	0	0	0	0
(6) 受取寄付金		0	0	1,000,000	300,000	0	0	500,000	1,800,000
① 受取寄付金		0	0	1,000,000	300,000	0	0	500,000	1,800,000
(7) 受取寄付金振替額									
① 受取補助金		0	0	0	0	0	305,985	0	305,985
② 受取補助金振替額		0	0	0	0	0	286,456	3,596	290,052
(8) 雑収益		0	0	0	0	0	286,456	3,143	3,143
① 受取利息								453	286,909
② その他の雑収益									
(9) 訪問看護事業収益		0	0	0	0	0	0	383,595,774	383,595,774
① 看護療養費収益								145,979,104	145,979,104
② 介護報酬収益								184,133,122	184,133,122
③ 介護給付費収益								33,809,084	33,809,084
④ その他事業収益								4,178,031	4,178,031
⑤ 事業外収益								14,470,433	14,470,433
⑥ 受取補助金・助成金								1,026,000	1,026,000
経常収益計		41,162,382	309,000	2,097,884	41,053,060	409,216	2,529,321	384,100,179	471,661,042
2) 経常費用									
(1) 事業費									
役員報酬				449,668	16,572,749		7,534,865		7,534,865
給料手当		1,594,318					20,192,819		38,809,554
役員賞与引当金繰入額							891,099		891,099
賞与引当金繰入額							1,587,493		1,587,493
臨時雇賃金		4,188,148			10,828,348		44,640		15,016,496
役員退職慰労金引当金繰入額									44,640

科	会 計 区 分	教育等看護 の質の向上に 関する事業	看護研究学会の 開催等、学術研究の 振興に関する事業	看護業務・ 看護制度の改善等に 関する事業	看護を取り巻く環境の改善が 福祉の向上による国民の健康及び 福祉の増進に関する事業	在宅看護の増進等の 取り組みを通して公衆 衛生の向上を図る事業	公益目的事業共通	訪問看護 ステーション事業	合 計
	退職給付費用				2,265,364		785,358		785,358
	法定福利費				60,289		6,112,455		8,377,819
	福利厚生費		137,004		804,933	17,334	563,662		623,951
	旅費交通費	2,193,513	86,823		1,593,609	19,876	33,681		3,249,867
	通信運搬費	1,455,817	1,265		172,490	8,635	552,373		3,735,656
	支払手数料	535,651					227,963		954,364
	建物減価償却費						4,472,876		4,472,876
	建物の附属設備減価償却費						395,568		395,568
	構築物減価償却費						0		0
	什器備品減価償却費						114,905		114,905
	リース資産減価償却費						2,156,295		2,156,295
	ソフトウェア減価償却費						505,930		505,930
	図書費	487,197			1,109,708	45,240	137,023		493,137
	消耗什器備品費	37,950	19,197				877,710		174,973
	消耗品費	1,013,542					1,798,461		3,077,051
	リース料	139,150					372,456		1,937,611
	修繕費						32,463		372,456
	食糧費	171,997	13,216		22,272		240,448		240,448
	印刷製本費	987,815	103,900		1,585,171	2,583	97,972		2,780,413
	光熱水料費						4,206,081		4,206,081
	広告宣伝費				358,600		358,600		358,600
	賃借料	2,249,996			2,102,426	43,900	9,697		4,491,539
	保険料	18,240			303,920	22,080	10,214		354,454
	諸謝金	10,240,134	89,096		627,972	251,548	233,992		11,651,090
	租税公課				3,183,214		4,814,034		7,999,248
	負担金				120,000		256,033		353,992
	業務委託費						2,565,033		2,565,033
	保守管理費						2,425,602		2,425,602
	助成金					229,898			229,898
	寄附金						0		0
	奨学金						1,000,000		1,000,000
	雑費	220,461	1,630		354,394		32,263		608,748
	給料手当 (訪問看護)							257,968,294	257,968,294
	法定福利費 (訪問看護)							45,754,727	45,754,727
	医薬品費 (訪問看護)							87,230	87,230
	福利厚生費 (訪問看護)							3,761,413	3,761,413
	旅費交通費 (訪問看護)							437,153	437,153
	職員被服費 (訪問看護)							337,709	337,709
	通信費 (訪問看護)							5,742,915	5,742,915
	消耗品費 (訪問看護)							2,188,275	2,188,275
	事務費 (訪問看護)							3,280,731	3,280,731
	車輜費 (訪問看護)							3,666,467	3,666,467
	光熱水料費 (訪問看護)							3,042,128	3,042,128
	賃借料 (訪問看護)							3,967,632	3,967,632
	リース料 (訪問看護)							14,856,862	14,856,862
	保険料 (訪問看護)							2,161,730	2,161,730
	交際費 (訪問看護)							282,051	282,051
	諸会費 (訪問看護)							100,400	100,400

科	目	教育等看護 の質の向上に 関する事業	看護研究学会の 開催等、学術研究の 振興に関する事業	看護業務・ 看護制度の改善等に 関する事業	看護を取り巻く環境の改善び 福祉の向上による患者の満足び 福祉の増進に関する事業	在宅看護の増進等の 取り組みを通して公衆 衛生の向上を図る事業	公益目的事業共通	訪問看護 ステーション事業	合 計
I	租税公課 (訪問看護)							2,420,500	2,420,500
	図書費 (訪問看護)							164,109	164,109
	広告宣伝費 (訪問看護)							132,000	132,000
	修繕費 (訪問看護)							376,530	376,530
	諸謝金 (訪問看護)							417,058	417,058
	会議費 (訪問看護)							11,066	11,066
	退職給付費用 (訪問看護)							11,390,715	11,390,715
	建物減価償却費 (訪問看護)							2,458,352	2,458,352
	建物附属設備減価償却費 (訪問看護)							2,217,118	2,217,118
	構築物減価償却費 (訪問看護)							360,481	360,481
	什器備品減価償却費 (訪問看護)							730,988	730,988
	雑費 (訪問看護)							177,928	177,928
	賞与引当金繰入額 (訪問看護)							19,053,310	19,053,310
	印刷製本費 (訪問看護)							104,956	104,956
	支払手数料 (訪問看護)							1,889,371	1,889,371
維持管理費 (訪問看護)							5,330,436	5,330,436	
支払負担金 (訪問看護)							9,469,165	9,469,165	
II	経常費用計	25,533,929	452,131	2,099,514	42,065,459	641,094	63,784,983	406,135,389	540,712,499
	当期経常増減額	15,628,453	△ 143,131	△ 1,630	△ 1,012,399	△ 231,878	△ 61,255,662	△ 22,035,210	△ 69,051,457
	2. 経常外増減の部								
	1) 経常外収益								
	什器備品受贈益						465,437	0	465,437
	経常外収益計	0	0	0	0	0	465,437	0	465,437
	1) 経常外費用								
	什器備品売却損								
	経常外費用計	0	0	0	0	0	1	0	1
	当期経常外増減額	0	0	0	0	0	465,436	0	465,436
	他会計振替額								
	当期一般正味財産増減額	15,628,453	△ 143,131	△ 1,630	△ 1,012,399	△ 231,878	△ 52,328,310	△ 22,035,210	△ 60,124,105
	一般正味財産期首残高								802,483,480
	一般正味財産期末残高								742,359,375
	II 指定正味財産増減の部								
会館建設積立金							8,857,601	8,857,601	
受取利息							52,741	52,741	
一般正味財産への振替額			△ 1,000,000				△ 305,985	△ 1,305,985	
当期指定正味財産増減額	0	0	△ 1,000,000	0	0	8,604,357	0	7,604,357	
指定正味財産期首残高								264,399,781	
指定正味財産期末残高								272,004,138	
III 正味財産期末残高	0							0	1,014,363,513

(注) 本会は、その公益目的事業のすべてをひとつの公益目的事業として公益社団法人への移行認定を受けている。そのため、公益目的事業会計内の個々の定款事業には、当該年度の一般正味財産増減額及び指定正味財産増減額のみを記載し、一般正味財産及び指定正味財産の期首残高及び期末残高は公益目的事業会計の合計額に記載する。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券……………取得原価によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- ① 有形固定資産（リース資産を除く）
・建物……………定額法によっている。
・建物附属設備、構築物、什器備品……………定率法または定額法によっている。
- ② 無形固定資産（リース資産を除く）
・ソフトウェア……………利用可能期間（5年）に基づく定額法によっている。
- ③ リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産……………リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
- ① 役員退職慰労引当金
役員退職慰労金の支給に備えるため、理事報酬規則に基づく期末要支給額を計上している。
- ② 退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。
- ③ 役員賞与引当金
役員に対する賞与の支給に備えるため、理事報酬規則に基づく支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- ④ 賞与引当金
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特 定 資 産				
（一般会計・会館建設積立金）				
土地	150,000,000	0	0	150,000,000
退職給付引当資産	5,644,800	1,124,350		6,769,150
役員退職慰労引当資産	250,000	150,000		400,000
今野フサ子記念奨学金	1,000,000	0	1,000,000	0
ソフトウェア	3,299,999	0	792,000	2,507,999
会館建設積立資産	260,351,342	13,948,563	11,888	274,288,017
構築物	1	0	0	1
（訪問看護ステーション）				
建物等修繕引当資産	16,682,847	165	0	16,683,012
退職給付引当資産	48,264,032		1,353,832	46,910,200
建物再取得資産	126,677,660	19,648,544		146,326,204
合 計	612,170,681	34,871,622	3,157,720	643,884,583

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に 対応する額）
特 定 資 産				
（一般会計・会館建設積立金）				
土地	150,000,000	(150,000,000)	(0)	(0)
退職給付引当資産	6,769,150	(0)	(0)	(6,769,150)
役員退職慰労引当資産	400,000	(0)	(0)	(400,000)
ソフトウェア	2,507,999	(1,516,833)	(991,166)	(0)
会館建設積立資産	274,288,017	(274,288,017)	(0)	(0)
構築物	1	(1)	(0)	(0)
（訪問看護ステーション）				
建物等修繕引当資産	16,683,012	0	(16,683,012)	
退職給付引当資産	46,910,200	0		(46,910,200)
建物再取得資産	146,326,204		(146,326,204)	
合 計	643,884,583	(425,804,851)	(164,000,382)	(54,079,350)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
特 定 資 産			
(一般会計)			
土地	150,000,000	0	150,000,000
構築物	23,415,000	23,414,999	1
ソフトウェア	3,960,000	1,452,001	2,507,999
その他の固定資産			
(一般会計)			
土地	176,920,000	0	176,920,000
建物	388,999,855	147,041,937	241,957,918
建物附属設備	105,934,370	103,361,315	2,573,055
構築物	16,915,500	16,915,499	1
什器備品	50,814,840	49,845,381	969,459
有形リース資産	20,751,840	18,018,450	2,733,390
その他の固定資産			
(訪問看護ステーション)			
土地	17,166,300	0	17,166,300
建物	136,820,765	29,769,215	107,051,550
建物附属設備	48,837,430	37,679,997	11,157,433
構築物	12,772,826	10,944,046	1,828,780
什器備品	9,882,495	7,670,407	2,212,088
(居宅介護支援事業所)			
什器備品	342,870	342,868	2
合 計	1,163,534,091	446,456,115	717,077,976

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は次のとおりである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	帳 簿 価 額	減 価 償 却 累 計 額	評 価 損 益
債券 (会館建設積立資産)			
第187回20年国債	68,478,621	67,970,000	△ 508,621
第6回三井住友FG劣FR(永久社債)	97,516,191	95,410,000	△ 2,106,191
合 計	165,994,812	163,380,000	△ 2,614,812

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	金 額
経 常 収 益 へ の 振 替 額	
減価償却費計上による振替額	479,000
公益目的事業支出による振替額	1,000,000
合 計	1,479,000

8. 重要な後発事象
 該当なし

9. その他

- (1) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

- ① リース資産の内容

その他の固定資産

印刷機、パソコン、サーバー

会館内w i f i 及びw e b 会議関連機器、ビジネスホン一式

- ② リース資産の減価償却の方法

重要な会計方針「(1)固定資産の減価償却の方法」に記載のとおりである。

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記「3. 特定資産の増減及びその残高」に」記載しているため省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目的使用	そ の 他	
(一般会計)					
役員賞与引当金	0	955,500	0	0	955,500
賞与引当金	2,258,810	2,780,685	2,258,810	0	2,780,685
役員退職慰労引当金	250,000	150,000	0	0	400,000
退職給付引当金	5,644,800	1,124,350	0	0	6,769,150
(訪問看護ステーション)					
賞与引当金	17,831,704	19,053,310	17,831,704	0	19,053,310
退職給付引当金	50,364,040	0	3,453,840	0	46,910,200

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金 普通預金	手許有高 庄内銀行 山形営業部 きらやか銀行 小臼川支店 GMOあおぞらネット銀行	運転資金として 運転資金として 運転資金として 公益目的事業 令和6年度看護師等職場説明会 令和6年度看護への道セミナー 施設利用料 令和6年度看護師等職場説明会 会費申請金(日本看護協会) 令和5年度会費(2名分) 令和5年度山形県受託事業委託費 令和5年度他県受託事業委託費 令和5年度分消費税還付金 自動販売機設置販売手数料	3,088 148,956,735 165,928 292,726
前払金			33,600 4,970 22,000 10,000 18,000
立替金			4,394,262
未収金			326,620 8,423,500 233
現金 普通預金	手許有高 庄内銀行 山形営業部 庄内銀行 山形営業部 庄内銀行 天童中央支店 庄内銀行 楯岡支店 庄内銀行 新庄支店 きらやか銀行 新庄支店 山形銀行 楯岡支店 山形銀行 東山形支店 ゆうちょ銀行 ゆうちょ銀行	運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として 運転資金として	187,687 8,622,703 30,957,782 3,753,831 1,707,084 3,204,759 3,756,492 141,264,100 31,097,544 137,998
未収金	令和5年度山形県訪問看護総合支援センター-業務委託料他	令和5年度山形県補助金、居宅むらやま3月人件費・経費他	13,978,034
事業未収金	令和6年2月、3月分国保連合会他請求額、一部負担金	訪問看護ステーション4事業所 国際連合会他2、3月分請求及び一部負担金外	52,542,349
前払金	令和6年度半期分運営資金	STまいづる、むらやま、新庄 令和6年度上期運転資金	6,300,000
前払費用	令和6年度会費、4月分警備料他	コピー機・パソコンリース料	89,020
立替金	居宅介護支援事業所入件費、経費他	居宅やまがた3月人件費、経費 健診オプショナル料金	1,741,605
普通預金	庄内銀行 天童中央支店 庄内銀行 楯岡支店 山形銀行 東山形支店	運転資金として 運転資金として	319,583 842,924 24,448,185
事業未収金	令和6年2月、3月分国保連合会他請求額及び一部負担金	居宅介護支援事業所3事業所 国際連合会2、3月分請求他	6,183,118 493,786,460
(固定資産) 特定資産			
土地	山形市松栄一丁目3番16号 (地積 4,698.16㎡) (地積 3,001.185㎡) (地積 266.386㎡) (地積 1,430.589㎡) 山形県看護協会館・看護研修センターの駐車場舗装一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 収益事業の用に供して 管理運営の用に供して 公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの	95,820,000 8,505,000 45,675,000 1
構築物	山形銀行 山形営業部 庄内銀行 山形営業部 研修管理システムmanaable	役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの	400,000 6,769,150
役員退職慰労引当資産			1,602,110
退職給付引当資産			142,203
ソフトウェア			763,686
流動資産合計			6,183,118 493,786,460

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
会館建設積立資産	大和ネクスト銀行 山形営業部 庄内銀行山形営業部 きらやか銀行小川支店 山形銀行本店営業部 ゆうちょ銀行 利付国庫債券(20年) 有価証券 三井住友FG任意償還条項付無担保永久社債	山形県看護協会会館・看護研修センターの建替えに備えたもの 山形県看護協会会館・看護研修センターの建替えに備えたもの 山形県看護協会会館・看護研修センターの建替えに備えたもの 山形県看護協会会館・看護研修センターの建替えに備えたもの 山形県看護協会会館・看護研修センターの建替えに備えたもの 山形県看護協会会館・看護研修センターの建替えに備えたもの	100,000,000 740,821 7,447,707 57,711 46,966 68,478,621 97,516,191
その他の固定資産	山形市松栄一丁目3番18号(地積 3,610.63㎡) (地積 2,306.470㎡) (地積 204.723㎡) (地積 1,099.437㎡) 山形県看護協会会館・看護研修センター	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 収益事業の用に供して 管理運営の用に供して	113,016,496 10,031,364 53,872,140
建物	電気・冷暖房・給排水・エレベーター設備 等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 収益事業の用に供して 管理運営の用に供して	154,562,718 13,719,014 73,676,186
建物附属設備		公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 収益事業の用に供して 管理運営の用に供して	1,643,668 145,892 783,495
構築物	山形県看護協会会館・看護研修センターの 構内舗装一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	1
什器備品	A V機器・LAN工事・電話設備工事 等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 収益事業の用に供して 管理運営の用に供して	619,291 54,968 295,200
有形リース資産	会館内wifi及びweb会議関連機器、ビジネスホーン一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 収益事業の用に供して 管理運営の用に供して	1,746,090 154,983 832,317
(訪問看護ステーション) 特定資産	普通預金 山形営業部 定期預金 山形銀行 定期預金 庄内銀行 定期預金 山形銀行 定期預金 山形銀行	職員に対する退職金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの	32,702,775 3,027,933 1,000,951 5,069,756 5,109,685
退職給付引当資産	普通預金 山形銀行 定期預金 山形銀行 定期預金 山形銀行 普通預金 山形銀行	訪問看護会館の建替えに備えたもの	146,326,204
建物再取得資産	定期預金 山形銀行 定期預金 山形銀行 普通預金 山形銀行	特別目的事業達成による積立金 特別目的事業達成による積立金 特別目的事業達成による積立金	5,037,741 5,096,102 6,549,169
建物等修繕引当資産	場所・物量等	使用目的等	金額
土地	山形市松栄一丁目3番39号(地積 395.94㎡)	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	17,166,300
建物	訪問看護ステーションむらやま事務所・訪問看護会館	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	107,051,550
建物附属設備	電気・空調・給排水・プラインド工事等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	11,157,433
構築物	舗装アスファルト・境界・フェンス工事等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	1,828,780
什器備品	移動ラック・器械戸棚・エアコン・研修室机、椅子等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して 管理運営の用に供して	2,212,088
電話加入権	訪問看護ステーション電話4台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して	290,600

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(居宅介護支援事業所) 固定資産合計	訪問看護ステーション新庄事務所 パソコン2台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して る 公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して る	60,000 2 1,208,805,159 1,702,591,619
(流動負債)			
未払金	電気・水道・ガス料、たより送料、事務消耗品 電話料、3月分時間外手当、社会保険料等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して る 収益事業の用に供して る 管理運営の用に供して る 収益事業に対する未払法人税 共益事業及び管理運営の支出に供する会費の前受け	426,604 37,640 1,939,680 20,000 64,429,500 705,619 23,500 812,017 72,075 387,068
未払法人税 前受金 預り金	令和6年度山形県看護協会費(7,159名) 社会保険料 職員福利厚生費	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して る 収益事業の用に供して る 管理運営の用に供して る	955,500 2,780,685
リース債務	会館内wifi及びweb会議関連機器、ビジネスホン一 式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して る	21,137,642 6,300,000
役員賞与引当金 賞与引当金	令和5年度負担額 令和5年度負担額	収益事業に対する未払法人税	202,000 938,400 1,641,571
未払費用 前受金	水道料、衛生用品代、コピー代、職員3月分給料等 令和6年度ステーションまいつる、むらやま、新庄 上期運営資金	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して る	19,053,310
未払法人税 未払消費税 預り金	令和5年度法人税 令和5年度消費税 雇用保険料他	ガソリン代他経費	5,190,103 72,100 127,125,014
賞与引当金	令和5年度負担額		
未払費用 未払消費税	居宅職員給与他 令和5年度消費税		
流動負債合計 (固定負債)			
(居宅介護支援事業所)			
長期リース債務	会館内wifi及びweb会議関連機器、ビジネスホン一 式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供して る 収益事業の用に供して る 管理運営の用に供して る 役員に対する退職給付金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの	934,073 82,908 445,249 400,000 6,769,150
役員退職給付引当金 退職給付引当金	期未要支給額 期未要支給額		
退職給付引当金 長期未払金	期未要支給額 LED照明器具工事費用		
固定負債合計			
負債合計			
正味財産			
			55,932,450 183,057,464 1,519,534,155

監 査 報 告 書

令和6年5月15日

公益社団法人山形県看護協会

会 長 若 月 裕 子 様

監事 長岡 淳司 

監事 佐藤 貴美 

私たち監事は、公益社団法人山形県看護協会定款第25条にもとづき、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の財産の管理状況、並びに業務執行について、令和5年度第1回監査を令和5年11月10日、第2回監査を令和6年5月15日看護協会会館において行ったので下記のとおり報告します。

記

1 監査の方法

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧等監査に必要な手続きにより、書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査については、理事会に出席して理事の業務報告を聴取し、会議資料等の関係書類の閲覧により業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書、財産目録は会計帳簿の記載と一致し、財産の管理は正確かつ適正に処理されていると認める。
- (2) 事業報告の内容は適正であり、理事の職務執行に関する不正行為、または定款に違反する事項はないと認める。

報告事項9 令和6年度重点事業・事業計画

1. 全世代を支える看護機能の強化
2. 専門職としてのキャリア継続の支援
3. 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮
4. 地域の健康危機管理体制の構築



1. 全世代を支える看護機能の強化

- 1) 地域における健康・療養支援体制の強化に向けた取り組み
 - (1) 在宅療養支援体制に向けた取り組み
 - (2) 訪問看護の機能強化に向けた訪問看護総合支援センターの事業運営
 - (3) ICTを活用した連携強化と効率化
- 2) 地域における看護職の確保と活躍推進
 - (1) ナースセンターの事業運営
 - (2) 三職能の地域における活躍推進

2. 専門職としてのキャリア継続の支援

- 1) 看護職の生涯学習支援
 - (1) 専門職としての活動の基盤となる研修
 - (2) 看護・医療政策に関する研修
 - (3) 人材育成や教育支援担当者対象の研修
 - (4) 看護管理者を対象とした研修
 - (5) 資格認定教育
- 2) 看護職の働き方改革の推進
 - (1) 看護職員の処遇改善の推進
 - (2) 夜勤・交代制勤務の在り方について検討

3. 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮

- 1) 特定行為研修修了者、専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の確保と活動推進
 - (1) 特定行為研修修了者、専門看護師、認定看護師、認定看護管理者に関する情報収集および課題発見
- 2) 看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト／シェアの推進
 - (1) タスク・シフト／シェアに関する調査結果から課題発見

4. 地域の健康危機管理体制の構築

- 1) 感染症拡大及び災害発生時における看護提供体制の整備
 - (1) 関係機関と連携した看護職員の育成と派遣体制の整備
 - (2) 災害支援ナースの派遣に関する訓練への参加
 - (3) 看護職の安全な活動のための支援
- 2) 県協会のBCP（事業継続計画）の策定
 - (1) BCPの基本方針の作成

令和6年度事業計画

☆事業計画は、定款第4条の7つの事業の枠組みで立案

1. 教育等看護の質の向上に関する事業
2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業
3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業
4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業
6. 施設の貸与に関する事業
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

1. 教育等看護の質の向上に関する事業

1) 看護職の研修（生涯学習支援）に関する事業【重・2・3】

(1) 研修の充実・強化

①研修計画の実施・評価

研修計画に基づいた研修運営

1. 専門職としての活動の基盤となる研修
2. 看護・医療政策に関する研修
3. 人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修
4. 看護管理者を対象とした研修
5. 資格認定教育
6. その他（他団体との共催研修等）

総会要綱内研修実施録の掲載

②研修計画の策定・広報

教育プログラム開発能力向上に係る予算化（教育研究開発費）

教育ニーズ調査と情報収集、研修企画調整、研修計画に関する意見収集、研修一覧の作成・発送

ホームページ・広報誌への掲載、研修管理システムmanaableへの掲載

③看護職の生涯学習ガイドラインの普及促進

「看護職の生涯学習ガイドライン」・「看護師のまなびサポートブック」の活用推進

日本看護協会からの情報収集と発信

④行政との連携による看護師等の資質向上

山形県委託研修の実施

⑤その他

キャリアナースへの登録推進とポートフォリオの利用促進、受講履歴の入力・管理

研修受講システムmanaable運用

(2) 専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の活動支援

①研修における講師の登用

②認定看護管理者の委員・認定教育における演習支援者としての活用

③職能委員会及び常任委員会の委員として活用

(3) 小規模施設で働く看護職への学習支援

①研修の開催と参加者の情報交換の場づくり

研修、介護・福祉・在宅領域で働く看護職への情報提供、認定看護師等活用事業（出前研修、集合研修）

(4) 介護・福祉・在宅領域で働く看護職の研修充実

①委員会、事務局連携による研修企画

「訪問看護eラーニング～訪問看護の基礎講座～」を活用した訪問看護師養成講習会（山形県委託）

認定看護師活用事業（山形県委託）

施設看護職を対象とした認知症看護研修（山形県委託）

在宅療養支援能力向上研修（外来看護職員対象・地域支援者・管理者対象、全看護職対象）

②訪問看護総合支援センターによる研修企画

(5) 非会員への学習支援

県内保健・医療・福祉施設へ研修一覧送付、県内診療所へ研修案内送付、外部会議・ホームページ・SNSによるPR

(6) 研修環境の整備・充実

①長期研修（7日以上）時の開館時間延長 開館時間8時30分～18時（1時間延長）

②A V機器・パソコン等の定期点検と整備

長期研修前のチェック、研修前の準備、最新機器対応に向けた検討、Web研修を含めた研修運営マニュアル整備

③訪問看護会館研修室の整備と活用（定期チェックと研修前点検・準備）

<p>2) 施設内教育充実を支援する事業【重・2】</p> <p>(1) 医療機関院内教育充実への支援</p> <p>①教育担当者・責任者研修の充実 JNAオンデマンド研修活用の推進 「看護職の生涯学習ガイドライン」の普及促進、「看護師のまなびサポートブック」の活用促進 保健師助産師看護師実習指導者講習会（特定分野）科目の一部公開</p> <p>(2) 新人看護職の臨床研修体制の強化</p> <p>①新人研修の開催による支援 新人研修 ②新人育成に携わる担当者研修 実地指導者研修・研修責任者研修・教育担当者研修</p>	
<p>3) 認定看護管理者教育に関する事業【重・2・3】</p> <p>(1) 認定看護管理者教育の推進</p> <p>①専任教員を中心とした認定看護管理者教育の実施・評価 ファーストレベル運営19日間、分散研修、定員80名。 サードレベル運営32日間、分散研修、定員20名。 演習企画と認定看護管理者の活用による運営、受講者への学習支援、講師等との連絡調整と講義のサポート、研修運営の評価</p> <p>②セカンドレベル、サードレベル修了者実践報告の開催 認定看護管理者教育課程教育運営委員会企画・運営による看護管理実践報告会開催</p> <p>③令和7年度研修企画 ファーストレベル、セカンドレベルの開催要項検討</p> <p>④認定看護管理者教育課程教育運営委員会のスムーズな運営 適正な受講者選考と受講修了審査、看護管理実践報告会の企画・運営、研修企画・運営支援 専任教員の資質向上のための研修、学会参加</p> <p>⑤日本看護協会認定部との連携 教育機関審査・申請システム入力と認定教育に関する最新情報収集</p> <p>(2) 看護管理者のスキルアップ支援</p> <p>①認定看護管理者教育課程ファーストレベル・サードレベルの公開講座の開催 ②セカンド・サードレベル教育課程修了者実践報告会の開催</p>	
<p>4) 医療安全教育に関する事業</p> <p>(1) 医療安全管理者養成研修の開催</p> <p>①医療安全管理者養成研修の実施・評価 ・研修の運営 JNAオンデマンド研修+本会集合研修 ・受講者の学習支援、研修運営の評価</p> <p>②令和7年度研修企画 日看協と連携し、集合研修の企画</p> <p>(2) 医療安全推進活動</p> <p>①医療安全スキルアップ研修開催 ②医療・看護安全対策委員会と連携した事故・再発防止の啓発活動 ③「医療安全やまがたフォーラム」の共催開催 ④日本看護協会との連携 医療安全推進会議（開催未定）への出席</p>	
<p>5) 図書室運営に関する事業</p> <p>(1) 図書・文献サービスの充実</p> <p>①図書室の充実 図書・定期購読雑誌・その他刊行物・DVDの入荷、管理、広報、貸出し、蔵書点検</p> <p>②文献検索機能の向上 ・パソコンによる文献検索の普及 長期研修での文献検索法の活用ガイドを研修室に設置</p>	
<p>2. 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業</p>	
<p>1) 山形県看護研究学会に関する事業【重・2】</p> <p>(1) 山形県看護研究学会の開催</p> <p>①学会の企画と運営 11月21日開催 日本精神科看護協会山形支部との協力体制による山形県看護研究学会規則に則った運営</p> <p>(2) 看護研究の推進</p> <p>①学会委員のスキルアップ 第55回日本看護学会学術集会への参加（熊本：9月27日～29日） ②看護研究支援と研修会開催</p>	

3. 看護業務・看護制度の改善等に関する事業

1) 看護業務に関する事業【重・1】

(1) 職能委員会活動の活性化

- ①日本看護協会職能委員会との連携
 - ・日本看護協会通常総会への出席（6月6・7日 東京国際フォーラム）
 - ・全国職能委員長会議への出席（7月28日・3月1日）
 - ・地区別職能委員長会への出席（10月4日 宮城県）
 - ・調査活動への協力、日本看護協会職能委員会事業推進のための情報発信と山形県看護協会職能委員会での取組み
- ②保健師職能委員会活動
 - ・保健師の力量形成のための現任教育の充実
 - ・助産師職能と連携した母子県活動を推進する地域ケアの構築
 - ・保健師職能としての活動を再認識し、様々な事業を推進する
- ③助産師職能委員会活動
 - ・母子のための地域包括ケア推進における助産師の役割発揮と地域連携の推進
 - ・研修会企画及び運営 9月13日
 - ・助産実践能力習熟段階（CLOCMiP®）の普及・推進および更新・申請の支援
 - ・助産師活用推進事業の推進 助産師に関する実態調査、助産師出向・短期交流研修への参加促進
 - ・山形県看護協会三職能の情報交換と連携
- ④看護師職能委員会Ⅰ活動
 - ・看護師職能を取り巻く現状と課題の明確化及び対策の検討
 - ・病院看護師の在宅療養支援力と地域につなげる看護の強化
- ⑤看護師職能委員会Ⅱ活動
 - ・高齢者の日常生活援助に関わる看護職としての質の向上
 - ・地域包括ケアの推進における多職種連携の強化
 - ・地域での看護力強化（看看連携）
- ⑥保健師・助産師・看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同研修会 通常総会後の研修会開催 6月14日（金）
- ⑦三職能4委員会に関する情報の発信
職能に関する情報収集と情報発信、広報誌へ「職能だより」掲載、山形県との業務推進懇談会への課題提起、職能委員会間の情報交換

(2) 助産師活用推進事業の展開（山形県委託事業）

- ・助産師出向（研修）のマッチング
- ・分娩取り扱い医療機関における助産師就業に関する実態・意向調査
- ・短期交流研修の実施
- ・院内助産・助産師外来の普及・理解促進のための研修会開催
- ・分娩取り扱い医療機関の看護管理者意見交換会開催
- ・助産師活用推進事業協議会開催 年2回
- ・事業の啓発チラシの作成

2) 看護制度に関する事業【重・3】

(1) 准看護師への進学支援及び学習支援

- ①奨学金制度の活用
ホームページ等での公募、日本看護協会の奨学金の活用推進
- ②准看護師からの進学相談対応（随時対応）

(2) 看護職を目指す中・高校生、社会人への対応

- ①看護職への道をPRする
中学校・高等学校での出前講座、ハローワークにおける進路相談、ナースセンターにおける進路相談

(3) 日本看護協会との連携

- ①日本看護協会通常総会への出席 制度に関する日本看護協会の動向を知り、准看護師へ情報発信

(4) 看護職の教育制度見直しに関する情報発信

日本看護協会からの情報を受け会員へ情報発信 必要時、行政へ提言

(5) 特定行為の研修制度法制化の周知

すべての医療職を対象に特定行為研修修了者活用の研修開催、広報誌等での活動の周知

4. 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

1) 看護職を取り巻く環境改善に関する事業【重・1・2】

(1) 看護職の離職防止及び看護職確保定着事業の推進

- ①令和5年度看護職員就業状況及び勤務環境調査
6月に調査実施、調査結果をホームページで公表、データの活用

②潜在看護師等復職研修

病院等施設実施研修開催 受入れ病院決定後受講者募集、eラーニングを活用した復職支援研修開催
LINE公式アカウント活用したナースセンター登録者・届出登録者・ハローワーク相談者への情報提供、研修・セミナー
運営評価

③働き続けられる職場づくりの推進

- ・勤務環境改善の継続
- ・勤務環境改善推進委員会による支援活動、看護の業務改善事例の紹介・推進（「看護の業務改善in山形」開催）
- ・勤務環境改善推進委員会の活動推進、夜勤・交代制勤務に関するガイドラインの活用推進
- 看護職のキャリアと連動した賃金モデルの周知、短時間正職員制度や多様な勤務形態導入の推進
- 県内病院離職者実態調査実施・調査結果をホームページで公表・結果の活用
- ・山形県医療勤務環境改善支援センターとの連携

④看護師等職場説明会開催 5月3日 山形テルサ 対面形式の病院個別説明会&看護師国家試験対策セミナー

⑤日本看護協会、関係団体、行政との連携強化

- ・都道府県労働問題担当者会議への参加
- ・日本看護協会オンデマンド配信研修活用の推進、労働と看護の質向上のためのデータベースDiNQL事業の活用推進
- ・都道府県ナースセンター地区別意見交換会開催、地域に必要な看護職確保推進事業意見交換会への参加
- ・山形県との業務推進懇談会へ課題提起
- ・「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」への参画、県の修学資金の利用促進
- ・「山形県医療勤務環境改善支援センター」との連携
- ・山形労働局との協働体制の構築
- 連携によるハローワークでの「看護の仕事相談会」の利用者拡大・就業支援の強化、「医療労務管理相談コーナー」
活用の周知、「WECやまがた」への参加、福祉のしごとフェア参加

(2) ナースセンター事業運営の強化

①ナースセンター事業の充実

- ・求職・求人相談の充実 Zoomを使用したオンライン就業相談の実施
- ・LINE公式アカウントのチャット機能を活用した就業相談の実施
- ・離職者等へのナースセンター届出制度周知と代行登録推進 登録者への情報提供と復職支援の充実
- ・「マイナンバー制度を活用した看護職の人材活用システム」の周知・活用
- ・相談件数、再就業率のアップ 事業成果の可視化とデータの活用
- ・「山形方式・看護師等生涯サポートプログラム」の目標達成

②看護職員就業支援事業

- ・施設訪問による求人登録増加
- ・NCCSシステムの周知と普及活動
- ・ハローワークとの連携継続の強化（看護師業務・求人説明会の開催）
- ・県内各地域でUターンによる就業相談 Uターン就職者の就業状況調査を実施し、Uターン就業支援に繋げる
- ・県Uターン情報センター等と連携し、定期的な情報発信と県内ならびに首都圏等での相談ニーズに対応する。(LINE等)
（看護への道セミナー開催 7月29日 山形テルサ アプローチズ、移住・定住フェアへの参加）

③看護業務啓発促進事業

- ・「ふれあい看護体験」の開催 ①5月9日～5月23日 ②7月24日～8月2日
- ・「看護の出前授業」の実施（通年実施）
- ・「看護の日・看護週間」のPR
- ・「看護の日・看護週間」における「みんなで話そうー看護の出前授業」の実施
- ・かんごちゃん幼稚園・保育園訪問

④潜在看護師掘り起こし事業

- ・令和6年度山形県看護職『就職ガイドブック』作成、関係機関、「看護師等職場説明会」参加者へ配布
- ・マスコミ等のメディアを活用したナースセンター登録に関する情報発信（ホームページ更新、LINE公式アカウント）
LINE公式アカウント情報発信
- ・登録者への情報発信と復職相談の対応 eナースセンター・とどけるん登録者へEメール配信
- ・地域に必要な看護職確保推進 地域の看護管理者会との連携推進
- ・セカンドキャリア等研修会の開催（ナースカフェの開催）
- ・「看護の人材確保のためのセミナー」の開催
- ・協会SNS（Facebook、X、Instagram）を活用したナースセンターに関する情報発信
- ・YouTubeチャンネルの動画作成・投稿・周知

⑤ナースセンター利用促進事業

- ・県内ハローワーク（8カ所）における看護の仕事相談会開催
- ・ハローワークやまがたとの連携強化 連携調整会議開催
- ・ハローワークでの相談強化、施設訪問によるナースセンター事業の周知活動と利用促進
施設訪問報告を兼ねた「私たちの職場自慢！」のLINE掲載

⑥ナースセンターの運営に関すること

- ・ナースセンター運営会議開催（年1回） 8月予定
- ・事業報告書300部作成、ナースセンターだより年3回発行

(3) 看護職の健康増進

①看護職のメンタルサポート

- ・相談窓口の周知・広報
- ・相談員のスキルアップ（職業紹介従事者講習会、キャリアコンサルティング研修等）
- ・実績評価

(4) 「看護職賠償責任保険制度」の普及

- ①会員への「看護職賠償責任保険制度」の周知 加入の促進

2) 県民の健康・福祉の増進に関する事業【重・1・4】

(1) 県民の健康づくり支援

①県民への相談事業「まちの保健室」の開催

- ・「まちの保健室」運営マニュアルの見直し
- ・各支部との連携
- ・支部「まちの保健室」の常設化検討 地域住民を対象とした常設型「まちの保健室」開催
- ・ボランティア育成研修会開催 ボランティア登録者の拡大
- ・他団体、事業所依頼の「まちの保健室」開催への対応 山形新聞・山形放送 8大事業「県民健康講座」
- ・やまがた健康フェア2024での「まちの保健室」9月
- ・南沼原地区「文化祭」での「まちの保健室」11月
- ・関連団体との共催 「まちの保健室」連絡協議会の開催（必要時）

②看護に関するイベント事業 「看護の日・看護週間」のPR

③医療安全フォーラム 「医療安全やまがたフォーラム」の共催開催

④次世代育成支援事業

- ・やまがた子育て応援サイトメール相談業務（山形県委託）
- ・いのちの教育・性の健康教育講師派遣、実践者の育成、研修開催、「性の健康支援ネットワーク活動指針」の活用
- ・性の健康支援ネットワーク会員登録者の増員

⑤電話相談事業

健康相談、自殺対策、青少年関係

⑥県民及び看護職の禁煙推進活動【重・2】

山形県四師会共催による禁煙活動事業開催、関係機関との連携、受動喫煙防止宣言の普及（チラシ配布・協会内掲示）
5月31日世界禁煙デーから6月6日までの禁煙週間にイエローグリーンキャンペーン実施

(2) 新興感染症等のパンデミックへの対応体制の整備【重・4】

①新型コロナウイルス感染症等対応人材（IHEAT）研修と運用

山形県IHEAT新規登録者対象の研修開催、登録者情報更新の周知と確認、保健所応援要請の人材調整

(3) 災害支援体制の整備

①山形県看護協会災害支援体制の整備・周知

事業継続計画（BCP）策定

事務局内災害対応マニュアル整備、災害支援体制の周知

②災害支援ナース育成の強化

- ・災害支援ナース養成研修会の開催
- ・支援ナース連絡体制の模擬訓練への参加
- ・山形県・市町村合同総合防災訓練参加

③看護職の災害看護の意識高揚

支援ナース登録者の拡大

山形県看護研究学会や研修等での支援ナース募集のPR活動

④県民に対する防災意識の啓発 災害時の対応、災害支援活動等の館内展示

⑤災害看護支援体制のネットワークづくり

- ・日本看護協会との連携 災害看護対策担当者会議出席、（災害支援ナース派遣調整合同訓練参加）
- ・県内医療関係団体連携による支援活動の検討
- ・行政等との連携 関連会議・研修会出席、山形県・市町村合同総合防災訓練参加、山形市防災フェスティバル参加
- ・災害支援ナース派遣コーディネーターの役割発揮

(4) 東日本大震災支援活動

①県内避難者の心のケア事業（福島県委託事業）

- ・山形市、米沢市における「まちの保健室」開催
- ・各市町村避難者支援担当と連携した「まちの保健室」開催、戸別訪問につなげていく
- ・支援者のスキルアップ、研修会開催（ボランティア育成研修会）

②県内避難者支援ネットワーク関連

- ・県内避難者支援ネットワーク会議とイベントへの参加、避難者支援協働ネットワーク意見交換会
- ・「避難者生活相談支援事業」被災者生活支援調整会議への出席
- ・行政、関係団体との連携

5. 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業

1) 在宅ケア等に関する事業【重・1】

(1) 地域包括ケアシステムの推進

①地域包括ケアにおける看護職の役割・機能の周知・普及

- ・地域包括ケアシステム構築推進の取組み 研修会開催、退院支援・地域連携の推進、県内病院看護管理者懇談会開催
- ・3職能4委員会の連携
地域包括ケアシステムにおける看護の役割（地域につなぐ看護研修）、地域と施設の看護職ネットワーク構築
- ・支部活動の活性化
合同委員会時の支部長会へ副支部長出席、地域の会議内容の共有と意見交換、
地域の在宅医療推進協議会（地域医療構想調整会議）への支部長出席と発言（オブザーバーとの連携）
- ・地域における看護管理者のネットワーク構築
「地域の看護力強化支援事業」の実施（6か所実施）、地域単位での多職種連携強化
- ・母子のための安心安全な地域ケアの推進
医療的ケア児等の体制整備等の会議出席

(2) 訪問看護総合支援センター事業（県委託）

①事業所運営基盤整備支援

- 訪問看護の総合相談窓口
- 訪問看護事業所経営安定化研修
- 訪問看護普及活動
- 訪問看護総合支援センター事業運営委員会

②人材確保 就労相談件数

- ・看護職の就業及び転職促進 ナースセンターと連携し情報提供、相談対応、就労斡旋
- ・訪問看護担い手創出事業 入門コース（1日体験）、実践コース（2～5日体験）
- ・新卒看護師採用に向けた取組 看護学生に訪問看護の周知

③訪問看護の質の向上

- ・教育体制の組織化
訪問看護師養成講習会開催 eラーニング活用研修：7月1日～11月22日
専門看護師、認定看護師派遣研修事業15か所
訪問看護事業所管理者研修
訪問看護技術研修 3回
- ・訪問看護に関する情報収集と分析
訪問看護事業所実態調査

④地域での連携強化

- ・ブロック会議、連携推進
- ・感染症拡大及び災害発生時における訪問看護提供体制の整備、BCP

6. 施設の貸与に関する事業

1) 施設運営に関する事業

(1) 施設の賃貸運営

①会館、研修センターの賃貸契約及び貸出

- ・事務所としての賃貸契約先：日本精神科看護協会山形県支部
- ・研修室の外部貸出、自動販売機設置3階

②看護協会駐車場の貸出

③訪問看護会館の貸出 研修室、会議室の積極的な貸出

7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業

1) 組織に関する事業

(1) 協会組織の強化

①公益社団法人の円滑な運営 定款の遵守

②協会事業組織の検討 各種パンフレットの見直し・作成と活用、事務局の役割強化

③支部活動の活性化

- ・支部運営の強化
支部担当執行理事のサポート体制構築、支部規則・本協会との確認事項の周知と徹底、支部活動の効率化、
地域密着の活動推進
- ・支部長・副支部長会議の開催 支部運営の情報交換、副支部長の参加（支部及び委員会に関する会議時）
- ・支部長の地域内会議への出席 会議内容の共有
- ・地域内の看護職ネットワーク構築 看護管理者会議・職能間の連携会議等、看護管理者懇談会開催と支部長の出席
- ・教育委員会の企画による研修会開催
- ・「まちの保健室」運営委員会の企画による「まちの保健室」開催
運営マニュアルの活用、ボランティアの活用、地域密着型「まちの保健室」の推進
- ・日本看護協会通常総会への一般参加者派遣 参加報告の共有

④会員拡大対策の強化

新「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導、協会事業のPRによる会員拡大、各職能委員会による会員拡大の呼びかけ、施設訪問による会員拡大の呼びかけ

(2) 会員意識の高揚と会員拡大

①会員拡大への働きかけ

ホームページの全面リニューアル、新「会員情報管理体制」のスムーズな手続きへの誘導、非会員施設・会員施設未加入者への働きかけ（入会案内チラシ等の活用・送付）事業案内パンフレット・研修一覧等の送付、ホームページ・SNSでの広報

②看護学生への働きかけ

看護教育機関への働きかけ（ガイドブック等の活用及び送付）、職能団体活動の講話等、入学式・戴帽式及び卒業式等への出席（祝電）

③新会員情報管理システム（ナースシップ）の運用

日本看護協会との契約締結・維持、ナースシップシステムによる会員管理、会員専用Webページ「キャリアナース」への登録推進

2) 組織の運営に関する事業

(1) 組織運営の円滑化

①総会開催 総会運営規則に則った総会運営、総会要綱作成、選挙規則に則った役員改選

②役員等の推薦 改選役員等候補者の推薦

(2) 組織運営に関する会議

①総会 年1回 6月14日（金）

②理事会 6～7回開催予定

③常務理事会 2～3回開催予定

④支部及び委員会活動に関する会議 年2回（6月・1月）令和6年度重点事業と支部・委員会活動について

⑤各職能・常任・学会・認定委員会 活動計画の提示と活動支援

(3) 日本看護協会との連携

①日本看護協会通常総会・全国職能別交流集会 年1回（6月6・7日：東京国際フォーラム）

代議員派遣、各支部の一般参加への支援

代議員・予備代議員等研修会（5月20日）

②日本看護協会理事会 年6回程度 会長出席

③法人会員会 年5回程度 会長出席

④都道府県看護協会職能委員長会 年2回（8月2日・3月7日）

⑤地区別法人会及び職能委員長会 年1回（10月3～4日：宮城県）

⑥都道府県看護協会政策責任者会議 年1回（9月19日）

⑦都道府県看護協会看護労働担当者会議 年1回（7月18日）

⑧会員情報管理情報交換会 年1回（7月4日）

⑨看護協会・訪問看護連絡協議会合同会議 年1回（11月22日）

⑩都道府県ナースセンター事業担当者会議 年1回（5月21日）

⑪都道府県看護協会広報担当役員会議 年1回（11月7日）

⑫都道府県看護協会図書室担当者会議 年1回（9月12日）

⑬都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 年1回（12月19日）

⑭全国看護基礎教育担当役員会議 年1回（1～2月）

⑮認定看護管理者教育機関担当者会議 年1回（8月8日）

⑯医療事故調査制度に関する情報交換会 年1回（9月）

⑰日本看護サミット 2年1回

⑱訪問看護サミット 年1回（11月30日）

⑲その他会議

都道府県看護協会事務担当者会議 年1回

北海道・東北地区看護協会長・事務局長連絡協議会

災害支援ナース派遣調整合同訓練

(4) 他団体との連携

管理運営会議・事務局

3) 広報活動に関する事業

(1) 県民、看護職及び会員への情報提供の充実

①ホームページ及びSNSによる情報提供 看護関連情報及び看護協会の事業計画・活動状況の更新

②広報誌「山形いぶき」の編集と発行 年4回発行、マスコミ関係・公立図書館等へ送付

③行政、関係団体と連携した広報活動

記者クラブへの投げ込み、ニュースリリース発行、県高齢者支援課へ介護福祉関係施設に対する情報発信協力依頼、山形県老人保健施設協会・山形県老人福祉施設協議会との連携

④山形県看護協会ホームページ全面リニューアル

⑤日本看護協会ニュースの活用 日本看護協会より毎月15日発行

4) 会館管理・運営に関する事業

(1) 会館管理・運営に関する事項

- ①資金計画の円滑な運用 会館維持管理費の適正運用、長期資金計画の見直し検討
- ②会館管理の運営 建物・駐車場の維持管理、施設利用状況把握、使用規程に関する検討
- ③機器類の管理 機器及び諸設備の整備・保守、機器類の貸出

(2) 施設の整備・保守・管理

- ①施設の維持管理
 - ・法定保守点検 電気設備（隔月）、火災報知機（年2回）、エレベーター（毎月）
 - ・任意保守点検 空調機、自動ドア、AV機器
 - ・業務委託関係 警備保障、緑地帯の維持管理、館内外清掃、駐車場除雪（冬季必要時）、会計管理（消費税、法人税等の税務処理）、ホームページ等の保守・管理
- ②訪問看護会館の維持管理 具体的な計画策定と実施

(3) 防災意識等の高揚

- ①山形県看護協会での防災訓練等 AEDを含む訓練実施（年1回）

(4) 関係団体との連携

- ①アルカディアソフトパーク山形クラブとの連携
アルカディアソフトパーク内の一斉清掃 年2回（4月・10月）、樹木の消毒 年1回、その他親睦会等開催

5) 渉外活動に関する事業

(1) 看護についての諸問題の解決

- ①国・山形県等への陳情 政策・要望等の陳情（看護関係予算、看護教育・継続教育の充実、看護職員の増員、看護制度等）
- ②山形県看護連盟との連携 合同会議の検討、合同研修会の企画と実施

(2) 関係機関との協力と連携

- ①関係機関・団体への参画
関係機関・団体等との連携・参加・名義後援、山形県との業務推進懇談会（再掲）、山形県四師会との連携、諸会議への参加、諸施策審議会への参加
- ②行政への働きかけ 要望書の提出

6) 会員の相互扶助に関する事項

(1) 会員の福利厚生への推進

- ①会員の福利厚生へのPR
 - ・表彰候補者の推薦並びに表彰
日本看護協会長表彰候補者及び名誉会員推薦のための調査と推薦、山形県看護協会看護功労者表彰及び感謝状贈呈候補者推薦、県知事感謝状・功労者表彰・奨励賞等候補者推薦
 - ・規定による会員への見舞い 災害見舞、慶弔見舞
 - ・会員特典の検討
 - ・ハウスメーカー、保険会社の斡旋

報告事項10 令和6年度収支予算

1 平成20年公益法人会計の適用

- (1) 本会では、平成25年予算から内閣府公益認定等委員会が策定した「公益法人会計基準」（平成20年新基準 平成20年12月1日施行、以下「20年会計基準」という。）に基づき作成しています。
- (2) 社団法人が20年会計基準を適用し公益法人に移行した場合、作成を求められる収支予算書は、「損益ベース」の収支予算書となり、本会が従来から採用してきた資金収支予算書の作成は任意となります。

2 令和6年度の予算の会計区分

- (1) 会計区分は、①公益目的事業に関する会計（公益目的事業会計）、②収益事業や会員の支援のための共益事業に関する会計（収益等事業会計）、③管理業務やその他の法人全般に関する会計（法人会計）の3つの会計区分となっています。
- (2) 公益目的事業会計は、定款に定める事業とそれらに共通する「公益目的事業共通」を合わせた7つの事業に整理しています。また、収益事業等会計は、収益事業である「施設の貸与事業」と「その他、本会の目的を達成するために必要な事業」（共益事業）の2つの事業に区分しています。

3 「公益法人会計基準」（20年会計基準）の適合性

令和5年度予算は、公益社団法人の要件として本会に求められる次のような財務の三基準を十分にクリアできる構成となっています。

- (1) 公益目的事業に係る収入が、その実施に要する適正な費用を償う額を超えないと見込まれること（収支相償の原則）。
- (2) 公益目的事業費比率が100分の50以上となると見込まれるものであること（50%ルール）。
- (3) 遊休財産の保有制限額：公益目的事業の額を超えて遊休財産（具体的な用途の定まっていない財産）を保有してはならないこと。

令和6年度一般会計収支予算書の概要

1 事業活動収支差額について

事業活動収入	150,225千円
事業活動支出	158,931千円
事業活動収支差額	△8,706千円
投資活動収支差額	△1,256千円
財務活動収支差額	△1,994千円
予備費支出	2,000千円
当期収支差額	△13,956千円

令和6年度収支予算の当期収支差額は△13,956千円となり、前期繰越収支差額95,069千円と相殺すると次期繰越収支差額は81,113千円となります。

2 事業活動収入の内訳について

会費収入	71,955千円 (48%)
事業収入	29,103千円 (19%)
補助金等収入	44,493千円 (30%)
その他収入	4,674千円 (3%)
事業活動収入計	150,225千円 (100%)

- (1) 会費収入には本会会費、支部会費、会館維持管理費が含まれています。
- (2) 事業収入は各種研修会等の受講料収入です。
- (3) 補助金等収入の主なものは県からの受託事業収入33,279千円、日本看護協会助成金等10,290千円、他県受託収入924千円となっています。
- (4) その他収入には、負担金収入780千円、寄付金収入300千円、雑収入2,176千円等を計上しています。

3 事業活動支出の内訳について

事業費支出	157,186千円
他会計繰出金支出	1,745千円
事業活動支出計	158,931千円

- (1) 事業費支出
 - ① 公益目的事業支出107,863千円、収益事業等支出は18,051千円、法人会計支出は31,272千円を計上しています。
 - ② 4支部の事業費支出は6,389千円を計上しています。

令和6年度収支予算のポイント（1）

事業活動収益（科目別内訳）

科 目	予算額	%
受取会費	71,955千円	(13)
事業収益	29,103千円	(5)
受託・助成金等収益	44,493千円	(8)
訪問看護事業収益	400,576千円	(71)
その他収益	20,155千円	(3)
事業活動収益計	566,282千円	(100)

- ・事業活動収益は566,282千円で、その科目別内訳は、受取会費が71,955千円（13%）、研修会等の受講料等の事業収益が29,103千円（5%）、県からの受託事業と日本看護協会助成金収益等が44,493千円（8%）、訪問看護事業収益が400,576千円（71%）となっています。
- ・その他収益には、受取負担金、受取寄附金、受取利息、事業外収益、雑収益等を含んでいます。

令和6年度収支予算のポイント（2）

事業活動収益（科目別・会計区分別内訳）

科 目	合 計	(千円)		
		公益会計	収益等会計	法人会計
受取会費	71,955	—	21,586	50,369
事業収益	29,103	29,103	—	—
受託・助成金等収益	44,493	42,559	—	1,934
訪問看護事業収益	400,576	400,576	—	—
その他収益	20,155	16,876	3,102	177
事業活動収益計	566,282	489,114	24,688	52,480
	100%	87%	4%	9%

- ・受取会費の71,955千円の30% 21,586千円を「収益等会計」の収入に、残り70%の50,369千円を「法人会計」の収入に計上しています。
- ・事業活動収益計566,282千円のうち公益目的事業会計に489,114千円（87%）、収益事業等会計に24,688千円（4%）、法人会計に52,480千円（9%）を計上しています。

令和6年度収支予算のポイント（3）

事業活動費用（会計区分別内訳）

合 計	公益会計	収益等会計	法人会計
557,458千円	501,369千円	18,777千円	37,312千円
100%	90%	3%	7%

- ・事業活動費用の合計は、557,458千円となっています。
- ・会計区分別の内訳は、501,369千円（90%）が公益目的事業会計で、18,777千円（3%）がその他本会の目的を達成するために必要な収益等事業会計、37,312千円（7%）が理事会・委員会等の本会運営に必要な法人会計となっています。

令和6年度収支予算

公益法人の財務三基準を満たす予算

公益法人の財務三基準

- ① 収支相償：公益目的事業に係る収入が費用を超えないこと
 - ・収益（489百万円）＜ 費用（501百万円）
- ② 公益目的事業費比率：50%以上

$$\frac{\text{公益目的事業の経常費用（501百万円）}}{\text{全事業の経常費用（557百万円）}} \div 90\%$$
- ③ 遊休財産額：法人の純資産のうち、用途の定まらないものの額が公益目的事業に係る費用を超えないこと
 - ・遊休財産額（384百万円）＜ 費用（501百万円）

公益社団法人の移行に伴い、山形県看護協会は公益法人として次の財務三基準を満たすことが要求されます。

- ①収支相償（公益目的事業に係る収入が費用を超えないこと、すなわち、実施に必要な費用を上回る収益をあげてはいけないこと、言いかえれば、収益は事業に費やすべきで、資金を貯蓄してはいけないということ。）
 - ・公益目的事業の経常収益（489百万円）が公益目的事業の経常費用（501百万円）を超えない見込みのため、基準を満たしています。
- ②公益目的事業費比率が、収益事業と法人費用とを加えた事業費全体の50%以上であること。
 - ・全事業の経常費用（557百万円）に対する公益目的事業の経常費用（501百万円）の比率が90%と、50%を超える見込みのため、基準を満たしています。
- ③遊休財産額（用途の定まらない蓄積した財産）が、公益目的事業を行うのに必要な1年分の額を超えないこと。
 - ・遊休財産額は、令和5年度末384百万円であり、公益目的事業の経常費用（501百万円）を超えない見込みのため、基準を満たしています。

したがって、山形県看護協会の令和6年度予算は、これら三基準をすべてクリアしたものとなっています。

収 支 予 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	0
受取会費	71,955,000	72,063,000	△ 108,000
研修会事業収益	29,103,000	30,838,000	△ 1,735,000
県受託収益	33,279,000	33,694,000	△ 415,000
他県受託収益	924,000	1,029,000	△ 105,000
日看協受託収益	2,134,000	2,045,000	89,000
日看協助成金収益	8,156,000	8,157,000	△ 1,000
受取負担金	780,000	780,000	0
受取補助金・寄付金振替額	479,000	1,479,000	△ 1,000,000
受取寄付金	300,000	300,000	0
看護療養費収益	156,876,000	166,080,000	△ 9,204,000
介護報酬収益	208,200,000	208,717,000	△ 517,000
介護給付費収益	35,500,000	34,249,990	1,250,010
その他事業収益	2,610,000	3,170,000	△ 560,000
事業外収益	13,755,900	16,726,000	△ 2,970,100
受取利息	5,300	4,210	1,090
雑収益	2,225,000	3,298,900	△ 1,073,900
経常収益計	566,282,200	582,631,100	△ 16,348,900
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	8,606,849	6,737,214	1,869,635
給料手当	36,423,049	39,412,670	△ 2,989,621
賞与引当金繰入額	2,676,405	2,676,405	0
臨時雇賃金	7,146,000	3,990,000	3,156,000
退職給付費用	841,666	289,942	551,724
役員退職慰労引当金繰入額	150,000	150,000	0
法定福利費	7,702,278	5,473,585	2,228,693
福利厚生費	970,956	941,866	29,090
旅費交通費	9,746,820	9,685,820	61,000
通信運搬費	5,424,019	5,934,749	△ 510,730
支払手数料	935,886	818,638	117,248
建物減価償却費	4,869,891	4,869,891	0
建物附属設備減価償却費	421,474	431,210	△ 9,736
什器備品減価償却費	168,311	39,644	128,667
無形固定資産減価償却費	254,549	792,000	△ 537,451
リース資産減価償却費	1,386,826	2,348,009	△ 961,183
図書費	515,000	645,000	△ 130,000
消耗什器備品費	360,000	260,000	100,000
消耗品費	3,913,971	3,815,179	98,792
リース料	2,000,954	1,883,414	117,540
修繕費	208,650	208,650	0
食糧費	383,000	380,955	2,045
印刷製本費	3,272,595	4,015,595	△ 743,000
光熱水料費	3,478,196	3,974,783	△ 496,587
広告宣伝費	2,758,000	1,878,000	880,000
賃借料	4,249,000	5,121,343	△ 872,343
保険料	960,670	389,129	571,541
諸謝金	12,205,000	12,583,000	△ 378,000
租税公課	7,424,214	5,529,225	1,894,989
負担金	582,993	677,941	△ 94,948
業務委託費	2,630,381	2,631,076	△ 695
保守管理費	2,328,534	2,681,153	△ 352,619
助成金	600,000	600,000	0
奨学金	0	1,000,000	△ 1,000,000
負担金(消費税)	0	1,627,000	△ 1,627,000
雑費	694,246	672,073	22,173
管理費			
役員報酬	8,671,151	6,792,786	1,878,365
給料手当	9,865,951	10,339,330	△ 473,379
役員賞与引当金繰入額	956,000	0	956,000
賞与引当金繰入額	148,595	148,595	0
退職給付費用	264,334	91,058	173,276
法定福利費	2,315,722	2,396,415	△ 80,693
福利厚生費	260,044	266,134	△ 6,090
旅費交通費	542,180	722,180	△ 180,000
通信運搬費	485,981	416,251	69,730
支払手数料	177,114	115,362	61,752
建物減価償却費	2,132,109	2,132,109	0
建物附属設備減価償却費	184,526	188,790	△ 4,264

什器備品減価償却費	73,689	17,356	56,333
無形固定資産減価償却費	537,451	0	537,451
リース資産減価償却費	607,174	1,027,991	△ 420,817
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	315,029	323,821	△ 8,792
リース料	876,046	824,586	51,460
修繕費	91,350	91,350	0
食糧費	204,000	199,045	4,955
印刷製本費	1,133,405	1,140,405	△ 7,000
光熱水料費	1,522,804	1,740,217	△ 217,413
賃借料	0	10,657	△ 10,657
保険料	225,330	4,871	220,459
租税公課	2,441,786	2,420,775	21,011
負担金	102,007	119,059	△ 17,052
業務委託費	1,151,619	1,151,924	△ 305
保守管理費	1,019,466	1,173,847	△ 154,381
雑費	1,006,754	1,004,927	1,827
事業費			
給料手当(訪問看護)	249,800,000	289,400,000	△ 39,600,000
法定福利費(訪問看護)	40,050,000	42,730,000	△ 2,680,000
医薬品費(訪問看護)	170,000	75,000	95,000
福利厚生費(訪問看護)	4,230,000	2,985,000	1,245,000
旅費交通費(訪問看護)	670,000	435,000	235,000
職員被服費(訪問看護)	740,000	655,000	85,000
通信費(訪問看護)	7,500,000	5,630,000	1,870,000
消耗品費(訪問看護)	3,040,000	4,620,000	△ 1,580,000
事務費(訪問看護)	3,100,000	2,200,000	900,000
車輛費(訪問看護)	4,770,000	4,670,000	100,000
光熱水料費(訪問看護)	5,585,000	5,390,000	195,000
賃借料(訪問看護)	3,920,000	3,535,000	385,000
リース料(訪問看護)	14,950,000	13,460,000	1,490,000
保険料(訪問看護)	3,510,000	3,595,000	△ 85,000
交際費(訪問看護)	305,000	280,000	25,000
諸会費(訪問看護)	136,000	151,000	△ 15,000
租税公課(訪問看護)	2,026,000	1,511,000	515,000
図書費(訪問看護)	530,000	438,000	92,000
維持管理費(訪問看護)	7,890,000	1,710,000	6,180,000
広告宣伝費(訪問看護)	110,000	130,000	△ 20,000
研修費(訪問看護)	1,670,000	520,000	1,150,000
修繕費(訪問看護)	100,000	870,000	△ 770,000
諸謝金(訪問看護)	1,100,000	760,000	340,000
印刷製本費(訪問看護)	400,000	0	400,000
退職金(訪問看護)	0	1,500,000	△ 1,500,000
会議費(訪問看護)	40,000	40,000	0
支払手数料(訪問看護)	1,800,000	790,000	1,010,000
退職給付費用(訪問看護)	11,900,000	3,300,000	8,600,000
寄付金(訪問看護)	0	0	0
建物減価償却費(訪問看護)	2,459,000	2,458,352	648
建物附属設備減価償却費(訪問看護)	2,218,000	2,217,118	882
構築物減価償却費(訪問看護)	361,000	347,725	13,275
什器備品減価償却費(訪問看護)	715,000	706,447	8,553
雑費(訪問看護)	61,000	500,000	△ 439,000
役員退職慰労引当金繰入額(訪問看護)	0	0	0
賞与引当金繰入額(訪問看護)	8,000,000	12,600,000	△ 4,600,000
経常費用計	557,458,000	580,234,642	△ 22,776,642
評価損益等調整前当期経常増減額	8,824,200	2,396,458	6,427,742
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	8,824,200	2,396,458	6,427,742
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	8,824,200	2,396,458	6,427,742
法人税・住民税・事業税	222,000	702,000	△ 480,000
当期一般正味財産増減額	8,602,200	1,694,458	6,907,742
一般正味財産期首残高	1,093,729,304	1,135,815,556	△ 42,086,252
一般正味財産期末残高	1,102,331,504	1,137,510,014	△ 35,178,510
II 指定正味財産増減の部			
会館建設積立金	13,250,000	13,250,000	0
特定資産運用益	2,782,000	75,000	2,707,000
一般正味財産への振替額	△ 479,000	△ 1,479,000	1,000,000
当期指定正味財産増減額	15,553,000	11,846,000	3,707,000
指定正味財産期首残高	425,804,851	413,335,288	12,469,563
指定正味財産期末残高	441,357,851	425,181,288	16,176,563
III 正味財産期末残高	1,543,689,355	1,562,691,302	△ 19,001,947

収支予算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科	会計区分	公益目的事業会計			収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
		公1	共通	小計	施設の貸与事業 (収益事業)	その他、営の附随する がために必要事業(供給事業)	共通	小計			
I	一般正味財産増減の部										
		1. 経常増減の部									
	(1) 経常収益										
	受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	研修会事業収益	29,103,000	0	29,103,000	0	0	0	0	0	0	29,103,000
	県受託収益	33,279,000	0	33,279,000	0	0	0	0	0	0	33,279,000
	他県受託収益	924,000	0	924,000	0	0	0	0	0	0	924,000
	日看協受託収益	200,000	0	200,000	0	0	0	0	0	0	2,134,000
	日看協助成金収益	8,156,000	0	8,156,000	0	0	0	0	0	0	8,156,000
	受取負担金	0	0	0	780,000	0	0	0	0	0	780,000
	受取補助金・寄付金振替額	305,985	0	305,985	1,964	25,195	0	0	145,856	0	479,000
	受取寄付金	200,000	0	200,000	0	100,000	0	0	0	0	300,000
	受取利息	4,300	0	4,300	0	0	0	0	1,000	0	5,300
	雑収益	0	0	0	2,145,000	0	0	0	30,000	0	2,175,000
	看護養老費収益	156,876,000	0	156,876,000	0	0	0	0	0	0	156,876,000
	介護報酬収益	208,200,000	0	208,200,000	0	0	0	0	0	0	208,200,000
	介護給付費収益	35,500,000	0	35,500,000	0	0	0	0	0	0	35,500,000
	その他事業収益	2,610,000	0	2,610,000	0	0	0	0	0	0	2,610,000
	事業外収益	13,755,900	0	13,755,900	0	0	0	0	0	0	13,755,900
	雑収益	0	0	0	50,000	0	0	0	0	0	50,000
	経常収益計	489,114,185	0	489,114,185	2,976,964	21,711,695	0	0	52,479,356	0	566,282,200
	(2) 経常費用										
	役員報酬	8,302,733	0	8,302,733	0	304,116	0	0	8,671,151	0	17,278,000
	給料手当	33,080,015	0	33,080,015	129,289	3,213,745	0	0	9,865,951	0	46,289,000
	役員賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	0	956,000	0	956,000
	賞与引当金繰入額	2,634,595	0	2,634,595	0	41,810	0	0	148,595	0	2,825,000
	臨時雇賃金	7,146,000	0	7,146,000	0	0	0	0	0	0	7,146,000
	役員退職慰労引当金繰入額	150,000	0	150,000	0	0	0	0	0	0	150,000
	退職給付費用	772,541	0	772,541	5,419	63,706	0	0	284,334	0	1,106,000
	法定福利費	7,271,074	0	7,271,074	31,181	400,023	0	0	2,315,722	0	10,018,000
	福利厚生費	609,535	0	609,535	3,501	357,920	0	0	280,044	0	1,231,000
	旅費交通費	4,252,552	0	4,252,552	164	5,494,104	0	0	542,180	0	10,289,000
	通信運搬費	4,163,525	0	4,163,525	6,544	1,253,950	0	0	485,981	0	5,910,000
	支払手数料	812,674	0	812,674	0	123,212	0	0	177,114	0	1,113,000
	建物減価償却費	4,472,878	0	4,472,878	28,708	368,305	0	0	2,132,109	0	7,002,000
	建物附属設備減価償却費	387,113	0	387,113	2,485	31,876	0	0	184,526	0	606,000
	構築物減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	什器備品減価償却費	154,590	0	154,590	992	12,729	0	0	73,689	0	242,000
	無形固定資産減価償却費	235,699	0	235,699	0	18,850	0	0	537,451	0	792,000
	リース資産減価償却費	1,273,767	0	1,273,767	8,175	104,884	0	0	607,174	0	1,994,000
	図書費	515,000	0	515,000	0	0	0	0	0	0	515,000
	消耗什器備品費	140,000	0	140,000	0	220,000	0	0	0	0	360,000
	消耗品費	3,087,766	0	3,087,766	3,124	823,081	0	0	315,029	0	4,229,000

(単位：円)

科	会計区分		公益目的事業会計			収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	共通	小計	施設の貸与事業 (収益事業)	その他社会の財源確保 のために必要事業(非営業)	共通	小計					
リース料	1,837,828	0	1,837,828	11,796	151,330	0	163,126	876,046	2,877,000			
修繕費	191,640	0	191,640	1,230	15,780	0	17,010	91,350	300,000			
食糧費	240,000	0	240,000	0	143,000	0	143,000	204,000	587,000			
印刷製本費	2,312,492	0	2,312,492	369	959,734	0	960,103	1,133,405	4,406,000			
光熱水料費	3,194,639	0	3,194,639	20,504	263,053	0	283,557	1,522,804	5,001,000			
広告宣伝費	407,000	0	407,000	0	2,351,000	0	2,351,000	0	2,758,000			
賃借料	4,169,000	0	4,169,000	0	80,000	0	80,000	0	4,249,000			
保険料	724,712	0	724,712	3,034	232,924	0	235,958	225,330	1,186,000			
諸謝金	12,112,000	0	12,112,000	0	93,000	0	93,000	0	12,205,000			
租税公課	6,969,537	0	6,969,537	32,878	421,799	0	454,677	2,441,786	9,866,000			
負担金	363,998	0	363,998	1,374	217,621	0	218,995	102,007	685,000			
業務委託費	2,415,942	0	2,415,942	15,506	198,933	0	214,439	1,151,619	3,782,000			
保守管理費	2,138,702	0	2,138,702	13,727	176,105	0	189,832	1,019,466	3,348,000			
助成金	600,000	0	600,000	0	0	0	0	0	600,000			
寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
雑費	373,519	0	373,519	414	320,313	0	320,727	1,006,754	1,701,000			
給料手当 (訪問看護)	249,800,000	0	249,800,000	0	0	0	0	0	249,800,000			
法定福利費 (訪問看護)	40,050,000	0	40,050,000	0	0	0	0	0	40,050,000			
医薬品費 (訪問看護)	170,000	0	170,000	0	0	0	0	0	170,000			
福利厚生費 (訪問看護)	4,230,000	0	4,230,000	0	0	0	0	0	4,230,000			
旅費交通費 (訪問看護)	670,000	0	670,000	0	0	0	0	0	670,000			
職員被服費 (訪問看護)	740,000	0	740,000	0	0	0	0	0	740,000			
通信費 (訪問看護)	7,500,000	0	7,500,000	0	0	0	0	0	7,500,000			
消耗品費 (訪問看護)	3,040,000	0	3,040,000	0	0	0	0	0	3,040,000			
事務費 (訪問看護)	3,100,000	0	3,100,000	0	0	0	0	0	3,100,000			
車輜費 (訪問看護)	4,770,000	0	4,770,000	0	0	0	0	0	4,770,000			
光熱水料費 (訪問看護)	5,585,000	0	5,585,000	0	0	0	0	0	5,585,000			
賃借料 (訪問看護)	3,920,000	0	3,920,000	0	0	0	0	0	3,920,000			
リース料 (訪問看護)	14,950,000	0	14,950,000	0	0	0	0	0	14,950,000			
保険料 (訪問看護)	3,510,000	0	3,510,000	0	0	0	0	0	3,510,000			
交際費 (訪問看護)	305,000	0	305,000	0	0	0	0	0	305,000			
諸会費 (訪問看護)	136,000	0	136,000	0	0	0	0	0	136,000			
租税公課 (訪問看護)	2,026,000	0	2,026,000	0	0	0	0	0	2,026,000			
図書費 (訪問看護)	530,000	0	530,000	0	0	0	0	0	530,000			
維持管理費 (訪問看護)	7,890,000	0	7,890,000	0	0	0	0	0	7,890,000			
広告宣伝費 (訪問看護)	110,000	0	110,000	0	0	0	0	0	110,000			
委託費 (訪問看護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
研修費 (訪問看護)	1,670,000	0	1,670,000	0	0	0	0	0	1,670,000			
修繕費 (訪問看護)	100,000	0	100,000	0	0	0	0	0	100,000			
諸謝金 (訪問看護)	1,100,000	0	1,100,000	0	0	0	0	0	1,100,000			
印刷製本費 (訪問看護)	400,000	0	400,000	0	0	0	0	0	400,000			
会議費 (訪問看護)	40,000	0	40,000	0	0	0	0	0	40,000			
支払手数料 (訪問看護)	1,800,000	0	1,800,000	0	0	0	0	0	1,800,000			
退職給付費用 (訪問看護)	11,900,000	0	11,900,000	0	0	0	0	0	11,900,000			
寄付金 (訪問看護)	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
建物減価償却費 (訪問看護)	2,459,000	0	2,459,000	0	0	0	0	0	2,459,000			
建物附属設備減価償却費 (訪問看護)	2,218,000	0	2,218,000	0	0	0	0	0	2,218,000			

(単位：円)

科	会計区分			公益目的事業会計				収益事業等会計				法人会計	内部取引控除	合計
	公1	共通	小計	施設の貸与事業 (収益事業)	その他本会の財源確保 のために必要の事業(公益事業)	共通	小計							
	361,000	0	361,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	361,000
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	715,000	0	715,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	715,000
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	61,000	0	61,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61,000
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8,000,000	0	8,000,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,000,000
	501,369,066	0	501,369,066	320,414	18,456,903	18,777,317	320,414	18,456,903	320,414	37,311,617	37,311,617	0	0	557,458,000
	△ 12,254,881	0	△ 12,254,881	2,656,550	3,254,792	5,911,342	2,656,550	3,254,792	5,911,342	15,167,739	15,167,739	0	0	8,824,200
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	△ 12,254,881	0	△ 12,254,881	2,656,550	3,254,792	5,911,342	2,656,550	3,254,792	5,911,342	15,167,739	15,167,739	0	0	8,824,200
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用														
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額(共益事業2分の1)		965,413	965,413		△ 965,413	△ 965,413		△ 965,413	△ 965,413		△ 965,413			0
他会計振替額(共益事業2分の1起部分)		965,413	965,413		△ 965,413	△ 965,413		△ 965,413	△ 965,413		△ 965,413			0
他会計振替額(収益事業2分の1)		1,316,783	1,316,783	△ 1,316,783		△ 1,316,783	△ 1,316,783		△ 1,316,783		△ 1,316,783			0
他会計振替額(収益事業2分の1起部分)		1,316,783	1,316,783	△ 1,316,783		△ 1,316,783	△ 1,316,783		△ 1,316,783		△ 1,316,783			0
他会計振替額(上記以外)														0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 12,254,881	4,564,392	△ 7,690,489	22,984	1,323,966	1,346,950	22,984	1,323,966	1,346,950	15,167,739	15,167,739	0	0	8,824,200
法人税・住民税・事業税	202,000		202,000							20,000	20,000			222,000
法人税等調整額														0
当期一般正味財産増減額	△ 12,456,881	4,564,392	△ 7,892,489	22,984	1,323,966	1,346,950	22,984	1,323,966	1,346,950	15,147,739	15,147,739	0	0	8,602,200
一般正味財産期首残高			742,359,375							51,861,541	51,861,541			1,093,729,304
指定正味財産増減の部			734,466,886							53,208,491	53,208,491			1,102,331,504
II														
会館建設積立金	8,464,100	0	8,464,100	54,325	696,950	751,275	54,325	696,950	751,275	4,034,625	4,034,625			13,250,000
特定資産運用益	1,777,142	0	1,777,142	11,406	146,333	157,739	11,406	146,333	157,739	847,119	847,119			2,782,000
一般正味財産への振替額	△ 305,985	0	△ 305,985	△ 1,964	△ 25,195	△ 27,159	△ 1,964	△ 25,195	△ 27,159	△ 145,856	△ 145,856			△ 479,000
当期指定正味財産増減額	9,935,257	0	9,935,257	63,767	818,088	881,855	63,767	818,088	881,855	4,735,888	4,735,888	0	0	15,553,000
指定正味財産期首残高			272,004,138							24,143,138	24,143,138			425,804,851
指定正味財産期末残高			281,939,395							25,024,993	25,024,993			441,357,851
III														
正味財産期末残高			1,016,406,281							78,233,484	78,233,484			1,543,689,355

収支予算書内訳表(公益目的事業会計)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	会 計 区 分	教育等看護 の質の向上に 関する事業	看護研究学会の 開催等、学術研究の 振興に関する事業	看護業務・ 看護制度の改善等に 関する事業	看護と取り巻く環境の改善及び 福祉の向上による国民の健康及び 福祉の増進に関する事業	在宅看護の増進等の 取り組みを通して公衆 衛生の向上を図る事業	公益目的事業共通	訪問看護 ステーション事業	合 計
I一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
①受取会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 事業収益	28,236,000	427,000	0	0	440,000	440,000	0	0	29,103,000
①研修会事業収益	28,236,000	427,000	0	0	440,000	440,000	0	0	29,103,000
(3) 補助金等	14,935,000	0	1,030,000	0	26,450,000	144,000	0	0	42,559,000
①県受託収益	6,679,000		1,030,000		25,426,000	144,000			33,279,000
②他県受託収益					924,000				924,000
③日看協受託収益	200,000								200,000
④その他受託収益	8,056,000				100,000				8,156,000
(4) 受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5) 受取寄付金	0	0	0	0	200,000	0	305,985	0	505,985
①受取寄付金					200,000		305,985		200,000
②受取補助金・寄付金振替額					0		4,300	0	305,985
(6) 雑収益	0	0	0	0	0	0	4,300	0	4,300
①受取利息							4,300		4,300
②その他の雑収益									
(7) 訪問看護事業収益	0	0	0	0	0	0	0	416,941,900	416,941,900
①看護療養費収益								156,876,000	156,876,000
②介護報酬収益								208,200,000	208,200,000
③介護給付費収益								35,500,000	35,500,000
④その他事業収益								2,610,000	2,610,000
⑤事業外収益								13,755,900	13,755,900
経常収益計	43,171,000	427,000	1,030,000	0	26,650,000	584,000	310,285	416,941,900	489,114,185
2) 経常費用									
(1) 事業費									
役員報酬	1,895,000		403,000		13,208,000		8,302,733		8,302,733
給料手当							17,574,015		33,080,015
賞与引当金繰入額	6,034,000				1,112,000		2,634,595		2,634,595
臨時雇賃金							150,000		150,000
役員退職慰労引当金繰入額							772,541		772,541
退職給付費用					2,413,000		4,858,074		7,271,074
法定福利費							545,535		609,535
福利厚生費	3,027,000	96,000	18,000		1,068,000	18,000	25,552		4,252,552
旅費交通費	1,682,000	90,000	30,000		1,322,000	20,000	1,019,525		4,163,525
通信運搬費	595,000	2,000	10,000		118,000	10,000	77,674		812,674
支払手数料							4,472,878		4,472,878
建物減価償却費									

(単位：円)

科	会 計 区 分	教育等看護 の質の向上に 関する事業	看護研究会の 開催等、学術研究の 振興に関する事業	看護業務・ 看護制度の改善等に 関する事業	看護を取り巻く課題の克服及び 福祉の向上による国民の健康及び 福祉の増進に関する事業	在宅看護の増進等の 取り組みを通して公衆 衛生の向上を図る事業	公益目的事業共通	訪問看護 ステーション事業	合 計
	建物附属設備減価償却費						387,113		387,113
	什器備品減価償却費						154,590		154,590
	無形固定資産減価償却費						235,699		235,699
	リース資産減価償却費						1,273,767		1,273,767
	図書費	515,000							515,000
	消耗什器備品費	120,000							140,000
	消耗品費	1,319,000	32,000	31,000	20,000	47,000	486,766		3,087,766
	リース料				1,172,000		191,640		1,887,828
	修繕費								240,000
	食糧費	205,000	13,000	3,000	21,000	1,000	57,492		2,312,492
	印刷製本費	963,000	101,000		1,185,000	3,000			3,194,639
	光熱水料費								407,000
	広告宣伝費								4,169,000
	賃借料	2,042,000		112,000	1,971,000	44,000	472,712		724,712
	保険料	19,000		0	194,000	39,000			12,112,000
	諸謝金	10,814,000	90,000	416,000	387,000	405,000			6,969,537
	租税公課				1,847,000		5,122,537		363,998
	負担金	30,000			120,000		2,415,942		2,415,942
	業務委託費						2,138,702		2,138,702
	保守管理費								600,000
	助成金	64,000	3,000	7,000	300,000	300,000	64,519		373,519
	雑費				235,000				249,800,000
	給料手当 (訪問看護)							249,800,000	249,800,000
	法定福利費 (訪問看護)							40,050,000	40,050,000
	医薬品費 (訪問看護)							170,000	170,000
	福利厚生費 (訪問看護)							4,230,000	4,230,000
	旅費交通費 (訪問看護)							670,000	670,000
	職員被服費 (訪問看護)							740,000	740,000
	通信費 (訪問看護)							7,500,000	7,500,000
	消耗品費 (訪問看護)							3,040,000	3,040,000
	事務費 (訪問看護)							3,100,000	3,100,000
	車輜費 (訪問看護)							4,770,000	4,770,000
	光熱水料費 (訪問看護)							5,585,000	5,585,000
	賃借料 (訪問看護)							3,920,000	3,920,000
	リース料 (訪問看護)							14,950,000	14,950,000
	保険料 (訪問看護)							3,510,000	3,510,000
	交際費 (訪問看護)							305,000	305,000
	諸会費 (訪問看護)							136,000	136,000
	租税公課 (訪問看護)							2,026,000	2,026,000
	図書費 (訪問看護)							530,000	530,000
	維持管理費 (訪問看護)							7,890,000	7,890,000
	広告宣伝費 (訪問看護)							110,000	110,000
	研修費 (訪問看護)							1,670,000	1,670,000
	修繕費 (訪問看護)							100,000	100,000
	諸謝金 (訪問看護)							1,100,000	1,100,000
	印刷製本費 (訪問看護)							400,000	400,000

(単位：円)

科	会 計 区 分	教育等看護 の質の向上に 関する事業	看護研究学会の 開催等、学術研究の 振興に関する事業	看護業務・ 看護制度の改善等に 関する事業	看護を取り巻く環境の改善及び 福祉の向上による国民の健康及び 福祉の増進に関する事業	在宅看護の増進等の 取り組みを通して公衆 衛生の向上を図る事業	公益目的事業共通	訪問看護 ステーション事業	合 計
	会議費 (訪問看護)							40,000	40,000
	支払手数料 (訪問看護)							1,800,000	1,800,000
	退職給付費用 (訪問看護)							11,900,000	11,900,000
	建物減価償却費 (訪問看護)							2,459,000	2,459,000
	建物附属設備減価償却費 (訪問看護)							2,218,000	2,218,000
	構築物減価償却費 (訪問看護)							361,000	361,000
	什器備品減価償却費 (訪問看護)							715,000	715,000
	ソフトウェア減価償却費 (訪問看護)							0	0
	雑費 (訪問看護)							61,000	61,000
	賞与引当金繰入額 (訪問看護)							8,000,000	8,000,000
	役員退職慰労引当金繰入額 (訪問看護)							0	0
	経常費用計	29,324,000	427,000	1,030,000	27,164,000	887,000	58,681,066	383,856,000	501,369,066
	当期経常増減額	13,847,000	0	0	△ 514,000	△ 303,000	△ 58,370,781	33,085,900	△ 12,254,881
2.	経常外増減の部								
1)	経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0
	経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
1)	経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0
	経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
	当期経常外増減額								
	他会計振替額						4,564,392		4,564,392
	税引前当期一般正味財産増減額	13,847,000	0	0	△ 514,000	△ 303,000	△ 53,806,389	33,085,900	△ 7,690,489
	法人税・住民税・事業税						202,000		202,000
	当期一般正味財産増減額	13,847,000	0	0	△ 514,000	△ 303,000	△ 54,008,389	33,085,900	△ 7,892,489
	一般正味財産期首残高								742,359,375
	一般正味財産期末残高								734,466,886
II	指定正味財産増減の部								
	会館建設積立金								
	受取利息								
	一般正味財産への振替額						8,464,100		8,464,100
	当期指定正味財産増減額						1,777,142		1,777,142
	指定正味財産期首残高						△ 305,985		△ 305,985
	指定正味財産期末残高						9,935,257		9,935,257
III	正味財産期末残高								272,004,138
									281,939,395
									0
									0
									0
									0

(注) 本会は、その公益目的事業のすべてをひとつの公益目的事業として公益社団法人への移行認定を受けている。そのため、公益目的事業会計内の個々の定款事業には、当該年度の一般正味財産増減額及び指定正味財産増減額のみを記載し、一般正味財産及び指定正味財産の期首残高及び期末残高は公益目的事業会計の合計額に記載する。

一般会計資金収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	合 計
		施設の貸与事業 (収益事業)	計			
I 事業活動収支の部						
1. 事業活動収入						
(1) 会費収入	0	0	21,586,500	50,368,500		71,955,000
① 会費収入			21,586,500	50,368,500		71,955,000
(2) 事業収入	29,103,000	0	0	0		29,103,000
① 研修会事業収入	29,103,000					29,103,000
(3) 補助金等収入	42,559,000	0	0	1,934,000	0	44,493,000
① 県受託収入	33,279,000					33,279,000
② 他県受託収入	924,000					924,000
③ 日看協受託収入	200,000		0	1,934,000		2,134,000
④ その他受託収入						0
⑤ 日看協助成金収入	8,156,000					8,156,000
(4) 負担金収入	0	780,000	0	0		780,000
① 負担金収入	0	780,000				780,000
(5) 寄付金収入	200,000	0	100,000	0		300,000
① 寄付金収入	200,000		100,000			300,000
(6) 雑収入	0	2,145,000	0	31,000		2,176,000
① 受取利息収入				1,000		1,000
② 雑収入	0	2,145,000		30,000		2,175,000
(7) 他会計からの繰入金収入	0	0	0	1,418,000		1,418,000
① 他会計からの繰入金収入				1,418,000		1,418,000
事業活動収入計	71,862,000	2,925,000	21,686,500	53,751,500	0	150,225,000
2. 事業活動支出						
(1) 事業費支出						
① 役員報酬支出	6,139,829	129,289	224,893	6,413,278		12,778,000
② 給料手当支出	33,080,015		3,343,034	9,865,951		46,289,000
③ 臨時雇賃金支出	7,146,000		0	0		7,146,000
④ 役員賞与引当金支出			0	956,000		956,000
⑤ 賞与引当金支出			41,158	146,281		2,781,000
⑥ 役員退職慰労金支出			0	0		0
⑦ 退職給付支出			0	0		0
⑧ 法定福利費	7,271,074	31,181	400,023	2,315,722		10,018,000
⑨ 福利厚生費支出	609,535	3,501	357,920	260,044		1,231,000
⑩ 旅費交通費支出	4,252,552	164	5,494,104	542,180		10,289,000
⑪ 通信運搬費支出	4,163,525	6,544	1,253,950	485,981		5,910,000
⑫ 手数料支出	812,674		123,212	177,114		1,113,000
⑬ 図書費支出	515,000		0	0		515,000
⑭ 消耗什器備品費支出	140,000		220,000	315,029		360,000
⑮ 消耗品費支出	3,087,766	3,124	823,081	876,046		4,229,000
⑯ リース料支出	1,837,828	11,796	151,330	876,046		2,877,000
⑰ 修繕費支出	191,640	1,230	15,780	91,350		300,000

科 目	公益目的 事業会計		収益事業等会計		法人会計	内部取引消去	(単位：円) 合 計
	施設の貸与・事業 (収益事業)	その他、本会の目的を達成する ために必要な事業(共益事業)	計	計			
⑮食糧費支出	240,000	143,000	143,000	143,000	204,000		587,000
⑯印刷製本費支出	2,312,492	369	959,734	960,103	1,133,405		4,406,000
⑰光熱水料費支出	3,194,639	20,504	263,053	283,557	1,522,804		5,001,000
⑱広告宣伝費支出	407,000		2,351,000	2,351,000			2,758,000
⑲賃借料支出	4,169,000		80,000	80,000			4,249,000
⑳保険料支出	724,712	3,034	232,924	235,958	225,330		1,186,000
㉑諸謝金支出	12,112,000		93,000	93,000			12,205,000
㉒租税公課支出	6,969,537	32,878	421,799	454,677	2,461,786		9,886,000
㉓負担金支出	363,998	1,374	217,621	218,995	102,007		685,000
㉔業務委託費支出	2,415,942	15,506	198,933	214,439	1,151,619		3,782,000
㉕保守管理費支出	2,138,702	13,727	176,105	189,832	1,019,466		3,348,000
㉖助成金支出	600,000		0	0			600,000
㉗雑支出	373,519	414	320,313	320,727	1,006,754		1,701,000
(2)他会計への繰出金支出 ①他会計への繰出金支出					1,745,000		1,745,000
事業活動支出計	107,862,540	274,635	17,776,678	18,051,313	33,017,147	0	158,931,000
事業活動収支差額	△ 36,000,540	2,650,365	3,909,822	6,560,187	20,734,353	0	△ 8,706,000
II 投資活動収支の部							
1. 投資活動収入							
(1)特定資産取崩収入							
①役員退職慰勞引当資産取崩収入							0
②退職給付引当資産取崩収入				0	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
2. 投資活動支出							
(1)固定資産取得支出							
(2)特定資産取得支出	150,000	0		0			0
①役員退職慰勞引当資産取得支出	772,541	5,419	63,706	69,125	264,334		150,000
②退職給付引当資産取得支出							1,106,000
投資活動支出計	922,541	5,419	63,706	69,125	264,334	0	1,256,000
投資活動収支差額	△ 922,541	△ 5,419	△ 63,706	△ 69,125	△ 264,334	0	△ 1,256,000
III 財務活動収支の部							
1. 財務活動収入							
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0
2. 財務活動返済支出							
①リース債務返済支出	1,273,767	8,175	104,884	113,059	607,174		1,994,000
財務活動支出計	1,273,767	8,175	104,884	113,059	607,174	0	1,994,000
財務活動収支差額	△ 1,273,767	△ 8,175	△ 104,884	△ 113,059	△ 607,174	0	△ 1,994,000
IV 予備費支出							
当期収支差額						0	2,000,000
前期繰越収支差額							△ 13,956,000
次期繰越収支差額	0	0	0	0	0	0	95,069,119
							81,113,119

[山形支部]

支部理事：保立美枝子

1. 支部役員会

回	開催日	審議事項及び内容（項目）	出席者数
1	5月16日	理事会報告 支部長会議報告 第1回研修会について 会計報告	11名
2	6月20日	理事会報告 新旧役員引継ぎ 事業計画 まちの保健室企画検討	16名
3	7月16日	理事会報告 第1回研修会役割分担 まちの保健室活動状況	10名
4	8月31日	支部長会報告 看護管理者会報告 第1回研修会開催	11名
5	9月26日	理事会報告 山形県健康福祉部と業務推進懇談会 第1回研修会報告 4支部の業務状況、山形県看護協会と4支部確認事項について	11名
6	10月17日	第2回研修会について まちの保健室活動状況 支部業務簡素化検討	11名
7	11月21日	理事会報告 第2回研修会について まちの保健室活動報告	11名
8	12月20日	理事会報告 次年度の合同教育計画について 第2回研修会について	12名
9	1月16日	次年度支部事業計画について 第2回研修会開催	13名
10	2月20日	第2回研修会報告 次年度年間計画 まちの保健室活動	11名
11	3月19日	次年度支部役員選出報告 関連団体会議参加報告 看護サミット	12名

2. 教育に関する事項（研修会）

回	開催日	研修会及び講師	出席者数
1	8月31日 集合研修	第1回支部研修会 第1部「地域包括ケアシステムの中でつなげよう看護機能」 公益社団法人山形県看護協会 会長 若月 裕子氏 第2部「生き生き働ける体づくりのために～心身を整えるエクササイズ～」 (株) モーシェ 代表取締役 山口 広樹氏	53名
2	1月16日 集合研修	第2回研修会 新人看護師交流会 新人看護師対象「職場の中のコミュニケーション」 －先輩看護師からのエール－ 山形市立病院済生館 林 舞也氏 山形県立中央病院 會田 萌景氏 山形大学医学部付属病院 山田 悠平氏 新人看護師同士のGW「1年経過して思うこと、2年目への抱負」意見交換	72名

3. 地域看護活動、住民の健康・福祉の増進に関する事項

回	開催日	タイトル・実施内容・開催場所	出席者
1	7月22日	まちの保健室 上山市総合「子どもセンターめんごりあ」	17名
2	10月21日	まちの保健室 山形市児童遊戯施設「べにっこひろば」	10名
3	11月25日	まちの保健室 天童最上川温泉「ゆびあ」	9名
4	2月24日	まちの保健室 中山町ひまわり温泉「ゆらら」	31名

4. 地域の行政・関連団体等との連携及び会議など出席に関する事項

回	開催日	会議名、内容など	出席者
1	7月24日	第1回東南村山地域看護管理者会	小関郁子
2	7月28日	第1回村山地域保健医療協議会	保立美枝子
3	8月7日	第1回西北村山地域等看護力連携会	保立美枝子
4	11月15日	95回山形市社会福祉事業団評議員会	高橋真理子
5	11月27日	第2回東南村山地域看護管理者会	保立美枝子
6	12月18日	第2回村山地域保健医療協議会	保立美枝子
7	12月19日	第2回西北村山地域等看護力連携会（グループ毎の代表者会議）	保立美枝子
8	1月29日	第3回東南村山地域看護管理者会	保立美枝子
9	2月20日	寒河江市西村山郡医師会主治医研修会	保立美枝子
10	3月8日	第3回村山地域保健医療協議会	保立美枝子
11	3月25日	96回山形市社会福祉事業団評議員会	高橋真理子

5. その他の事項

令和5年度山形支部収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	3,657,600	3,657,600	0	会員数 4,064名×900円
(2) 研修会事業収入	0	3,000	△ 3,000	非会員研修参加費 1,000円×3名
(3) 雑収入	0	28	△ 28	
①受取利息	0	28	△ 28	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	3,657,600	3,660,628	△ 3,028	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	2,926,400	1,219,223	1,707,177	
				(1) 「まちの保健室」 15,666
				(2) 研修会 74,189
				(3) 日本看護協会通常総会 0
				(4) 役員会・常任委員会・諸会議 1,129,368
1. 福利厚生費支出	20,000	9,240	10,760	役員・委員・協力員の傷害保険
2. 旅費交通費支出	1,430,000	490,700	939,300	常任委員会、講師旅費、役員会、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	215,000	126,156	88,844	郵送料 等
4. 支払手数料支出	10,000	6,930	3,070	振込手数料、両替手数料
5. 消耗什器備品費支出	200,000	0	200,000	
6. 消耗品費支出	280,000	33,905	246,095	事務用品、花代 等
7. 食糧費支出	105,000	68,853	36,147	研修会弁当、講師茶菓代、役員昼食
8. 印刷製本費支出	60,000	0	60,000	
9. 賃借料支出	30,000	0	30,000	
10. 広告宣伝費支出	20,000	0	20,000	
11. 諸謝金支出	100,000	74,189	25,811	講師料
12. 負担金支出	406,400	406,400	0	会員数 4,064名×100円 (注1)
13. 雑支出	50,000	2,850	47,150	クリーニング代
事業活動支出計	2,926,400	1,219,223	1,707,177	
事業活動収支差額	731,200	2,441,405	△ 1,710,205	
予備費支出			-	
当期収支差額	731,200	2,441,405	△ 1,710,205	

※当期収支差額 2,441,405円は本部へ返金

(注1) 12. 負担金支出は「会費納入のための処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

[最北支部]

支部理事：成沢 純子

1. 支部役員会

回	開催日	審議事項及び内容（項目）	出席者数
1	6月30日	新旧役員引継ぎ、理事会報告、事業計画、研修会・まちの保健室事業について	13名
2	8月4日	理事会・支部長会報告、第1回研修会役割分担、まちの保健室企画検討	10名
3	9月1日	理事会報告、第1回研修会打合せ、まちの保健室活動状況	13名
4	9月15日	第2回研修会内容検討、第1回研修会当日の運営	12名
5	10月27日	理事会報告、第1回研修会アンケート報告、まちの保健室事業実施報告	13名
6	12月1日	理事会報告、第2回研修会打合せ	12名
7	1月12日	理事会報告、第2回研修会打合せ、6年度事業計画・予算案	13名
8	2月16日	第2回研修会当日の運営・反省	13名
9	3月8日	理事会報告、第2回研修会アンケート報告、支部役員業務内容の検討、6年度支部役員選出報告、支部活動・まちの保健室活動・支部予算報告	12名

2. 教育に関する事項（研修会）

回	開催日	研修会及び講師	出席者数
1	9月15日	第1回支部研修会 ① 講話「地域包括ケアシステムの中でつなげよう看護機能」 山形県看護協会 会長 若月裕子氏 ② 講演「地域個別支援の実践から包括的ケアを考える」 講師：特別養護老人ホーム白水荘 社会福祉士 菅東洋氏	41名
2	2月16日	第2回支部研修会（新人交流会） 講師：山形県立新庄病院 救急認定看護師 佐藤瞳氏 訪問看護ステーションむらやま 看護師 青木奈緒氏 東根市包括支援センター中央 保健師 石井恵氏	新人保健師・助産師・看護師 30名

3. 地域看護活動、住民の健康・福祉の増進に関する事項

回	開催日	タイトル・実施内容・開催場所	出席者数
1	10月14日	まちの保健室（北村山地区） 場所：尾花沢市上柳健康増進施設 内容：健康チェック・健康相談・保健指導	19名
2	10月15日	まちの保健室（最上地区） 場所：新庄市新庄エコロジーガーデン 内容：健康チェック・健康相談・保健指導	26名

4. 地域の行政・関連団体等との連携及び会議など出席に関する事項

回	開催日	会議名、内容など	出席者
1	7月18日	第1回最上地域保健医療協議会（オンライン開催）	成沢純子
2	12月21日	第2回最上地域保健医療協議会（オンライン開催）	成沢純子
3	3月12日	最上地域医療的ケア児支援連絡会	成沢純子

令和5年度最北支部収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	667,800	667,800	0	会員数 742名×900円
(2) 研修会事業収入	0	0	0	
(3) 雑収入	0	3	△ 3	
①受取利息	0	3	△ 3	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	667,800	667,803	△ 3	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	667,800	542,362	125,438	
				(1) 「まちの保健室」 79,059
				(2) 研修会 75,972
				(3) 日本看護協会通常総会 0
				(4) 役員会・常任委員会・諸会議 387,331
1. 福利厚生費支出	10,000	6,930	3,070	役員・委員の傷害保険 等
2. 旅費交通費支出	418,000	280,168	137,832	常任委員会、講師、役員会、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	60,000	60,458	△ 458	たより送料、切手 等
4. 支払手数料支出	1,000	2,530	△ 1,530	振込手数料、両替手数料
5. 消耗什器備品費支出	0	0	0	
6. 消耗品費支出	13,000	36,392	△ 23,392	コピー使用料、日常消耗品、事務用品 等
7. 食糧費支出	15,000	24,011	△ 9,011	講師茶菓
8. 印刷製本費支出	10,000	0	10,000	
9. 賃借料支出	14,600	13,690	910	会場料
10. 広告宣伝費支出	12,000	0	12,000	
11. 諸謝金支出	30,000	38,978	△ 8,978	講師料
12. 負担金支出	74,200	74,200	0	会員数 742名×100円 (注1)
13. 雑支出	10,000	5,005	4,995	クリーニング代
事業活動支出計	667,800	542,362	125,438	
事業活動収支差額	0	125,441	△ 125,441	
予備費支出			-	
当期収支差額	0	125,441	△ 125,441	

※当期収支差額 125,441円は本部へ返金

(注1) 12. 負担金支出は「会費納入のための処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

[庄内支部]

支部理事：中村 美穂

1. 支部役員会

回	開催日	審議事項及び内容（項目）	出席者数
1	4月14日	理事会報告 会計報告 企画会議（第1回研修会テーマ・まちの保健室）	13名
2	5月12日	会計報告 企画会議（第1回研修会日程と会場・まちの保健室ボランティア要請）	13名
3	6月9日	理事会報告 会計報告 企画会議（第1回研修会・まちの保健室） 日本看護協会通常総会・全国職能別交流講習会出張報告	13名
4	7月14日	会計報告 事業計画について 企画会議（第1回研修会参加人数他・まちの保健室進捗状況）	12名
5	8月4日	会計報告 山形県との業務推進懇談会報告 第8次山形県保健医療計画策定について報告 企画会議（第1回研修会、まちの保健室進捗状況）	11名
6	9月8日	会計報告 企画会議（第1回研修会最終打ち合わせ・まちの保健室進捗状況）	11名
7	10月13日	理事会報告 会計報告 企画会議（第1回研修会の評価と課題・まちの保健室の評価と課題・新人看護職交流会）	12名
8	11月10日	理事会報告 会計報告 企画会議（新人看護職交流会進捗状況）	10名
9	12月8日	次年度支部役員・常任委員について 会計報告 企画会議（新人看護職交流会・次年度研修）	13名
10	1月12日	理事会報告 第2回庄内地域保健協議会報告 会計報告 企画会議（新人看護職交流会 次年度まちの保健室） 次年度支部役員・常任委員、役員・委員確認 代議員・予備代議員選出	13名
11	2月9日	支部・委員会に関する会議報告 庄内地域看護管理者ネットワーク会議 事務局会議報告 会計報告 次年支部役員・常任委員について	13名
12	3月8日	令和5年度まちの保健室常任委員の交代について 次年度研修会について	14名

2. 教育に関する事項（研修会）

回	開催日	研修会及び講師	出席者数
1	9月16日	第1回支部研修会（参集） 第1部 「地域包括ケアシステムの中でつなげよう看護機能」 山形県看護協会 会長 若月裕子 第2部 「コロナ禍を経ての今、お互いの看護職の活動を知る」 ・保健所保健師の活動 庄内保健所保健企画課長 阿部浩子 氏 ・急性期病院の活動 日本海総合病院 看護部長 佐藤由紀 氏 ・老人保健施設の活動 のぞみの園 総看護師長 高橋勝江 氏 ・訪問看護の活動 訪問看護ステーションにご管理者 川俣沙織 氏	252名
2	2月19日	第2回支部研修会：新人看護職交流会（参集） テーマ：つながろう新人の輪 とも（友）に学びとも（共）に育つ —先輩看護師から— 「新人時代から今の自分に至るまで」 鶴岡市立庄内病院 がん放射線療法看護特定認定看護師 村岡奈緒美 氏 「先輩看護師からのエール」 医療法人健友会本間病院 看護師 加藤 輝 氏 医療生活協同組合やまがた鶴岡協立病院 看護師 高清水 蛍 氏 —新人看護師同士のグループワーカー 「1年経過して思うこと、2年目への抱負」	57名

3. 地域看護活動、住民の健康・福祉の増進に関する事項

回	開催日	タイトル・実施内容・開催場所	出席者
1	9月18日	第25回国際ノルディックウォークin鶴岡（湯浜小学校） 血圧測定、体組成測定、健康チェックについて質問を受け対応する	109名
2	10月7日	鶴岡市健康づくり強調月間事業 オープニングイベント（健康保険福祉センター・にこふる） 血圧測定、体組成測定、健康相談	187名
3	10月1～31日	「健康に役立つ展示&クイズ」（健康保険福祉センター・にこふる） 乳癌についてのポスター展示と乳がん検診のパンフレット配置	4136名

4. 地域の行政・関連団体等との連携及び会議など出席に関する事項

回	開催日	会議名、内容など	出席者
1	5月16日	第1回庄内看護管理者ネットワーク事務局会議	中村美穂
2	6月9日	第1回庄内看護管理者ネットワーク会議	中村美穂
3	7月31日	第1回庄内地域保健医療協議会（Web）	中村美穂
4	8月8日	第2回庄内看護管理者ネットワーク事務局会議	中村美穂
5	12月5日	第3回庄内看護管理者ネットワーク事務局会議	中村美穂
6	12月20日	第2回庄内地域保健医療協議会（Web）	中村美穂
7	1月16日	第4回庄内看護管理者ネットワーク事務局会議	中村美穂
8	2月16日	庄内地域看護管理者ネットワーク会研修会 庄内保健所長 蘆野先生より 第2回庄内看護管理者ネットワーク会議	中村美穂

5. その他の事項

令和5年度庄内支部収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	1,634,400	1,634,400	0	会員数 1,816名×900円
(2) 研修会事業収入	0	6,000	△ 6,000	非会員研修参加費 1,000円×6名
(3) 雑収入	0	8	△ 8	
①受取利息	0	8	△ 8	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	1,634,400	1,640,408	△ 6,008	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	1,634,400	1,442,401	191,999	
				(1) 「まちの保健室」 11,967
				(2) 研修会 436,528
				(3) 日本看護協会通常総会 201,490
				(4) 役員会・常任委員会・諸会議 792,416
1. 福利厚生費支出	16,000	12,880	3,120	傷害保険料
2. 旅費交通費支出	646,800	562,918	83,882	常任委員会、講師旅費、役員会、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	70,000	61,632	8,368	送料、切手、Zoom契約費
4. 支払手数料支出	5,000	3,850	1,150	振込手数料、両替手数料
5. 消耗什器備品費支出	60,000	190,300	△ 130,300	会計用パソコン
6. 消耗品費支出	50,000	61,781	△ 11,781	コピー使用料、事務用品、花代 等
7. 食糧費支出	10,000	21,847	△ 11,847	講師茶菓代
8. 印刷製本費支出	120,000	195,360	△ 75,360	研修会資料印刷
9. 賃借料支出	400,000	92,806	307,194	会場使用料
10. 広告宣伝費支出	0	0	0	
11. 諸謝金支出	70,000	57,427	12,573	研修会講師謝金
12. 負担金支出	181,600	181,600	0	会員数 1,816名×100円 (注1)
13. 雑支出	5,000	0	5,000	
事業活動支出計	1,634,400	1,442,401	191,999	
事業活動収支差額	0	198,007	△ 198,007	
予備費支出			-	
当期収支差額	0	198,007	△ 198,007	

※当期収支差額 198,007円は本部へ返金

(注1) 12. 負担金支出は「会費納入のための処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

[置賜支部]

支部理事：伊藤加代子

1. 支部役員会

回	開催日	審議事項及び内容（項目）	出席者数
1	5月15日	前年度事業・決算・理事会・支部長会・看護管理者会報告、年間事業計画確認、研修企画、常設型・看仏連携事業企画	13名
2	6月26日	新旧役員引継ぎ、通常総会・理事会報告、支部マニュアル確認、事業計画日程確認、担当業務の効率化検討	16名
3	7月10日	看仏連携事業経過報告、事業計画日程調整、協会HP掲示活用検討、業務内容効率化協議、管理物品確認・整理	13名
4	8月7日	理事会報告、協会・4支部との確認事項修正版報告、研修会案内協会HP掲載確認、研修会会場設定リハーサル、業務効率化改善	13名
5	9月14日	理事会・業務推進懇談会報告、看仏連携事業報告・支部長会報告、各役員・常任委員役割分担調整、第1回研修会	12名
6	10月16日	協会・4支部確認事項への回答最新事項報告、謝金規定報告、第1回研修会評価、新人看護職交流会リハーサル、各事業準備	12名
7	11月24日	理事会・推薦委員との合同会議報告、看護管理者会・行事出席報告、協会依頼研修企画協議、物品購入の検討、第2回研修会	13名
8	12月12日	第2回研修会評価、事業評価、次年度事業計画、予算案、次年度支部役員、委員推薦、物品購入選出	13名
9	3月4日	理事会報告、次年度事業計画・収支予算書承認報告、看仏連携経過報告、次年度役員・委員選出、役員会・委員会日程案	13名

2. 教育に関する事項（研修会）

回	開催日	研修会及び講師	出席者数
1	9月14日	第1回支部研修会 講話「地域包括ケアシステムの中でつなげよう看護機能」 山形県看護協会会長 若月裕子 講演「皮膚排泄分野での在宅看護の現状と課題」よこやまクリニック 皮膚排泄ケア認定看護師 佐藤裕也氏	56名
2	11月24日	第2回支部研修会 新人看護職交流会（1～3年目看護師対象） 第1部：講話 講師 米沢市立病院小児看護専門看護師 本間恵美氏 第2部：グループ交流「楽しく生き生きと働くために」ワールドカフェ	32名

3. 地域看護活動、住民の健康・福祉の増進に関する事項

回	開催日	研修会及び講師	出席者数
1	7月22日	長井市温泉施設はぎ乃湯「まちの保健室」常設型事業1回目実施	18人
2	8月5日	長井市温泉施設はぎ乃湯「まちの保健室」常設型事業2回目実施	23人
3	9月10日	米沢市松原寺チャリティー寄席・健康相談事業（看仏連携）	13人
4	11月4日	長井市温泉施設はぎ乃湯「まちの保健室」常設型事業3回目実施	7人

4. 地域の行政・関連団体等との連携及び会議など出席に関する事項

回	開催日	会議名、内容など	出席者
1	4月11日	三友堂看護専門学校入学式	齋藤洋子
2	5月18日	第1回置賜地域看護管理者事務局会	伊藤加代子
3	6月22日	第1回置賜地域看護管理者会	伊藤加代子
4	7月26日	第1回置賜地域保健医療協議会（Zoom会議開催）	伊藤加代子
5	9月5日	第1回置賜地域保健医療協議会在宅医療専門部会（Zoom会議）	伊藤加代子
6	9月7日	第2回置賜地域看護管理者事務局会	伊藤加代子
7	10月3日	三友堂看護専門学校戴帽式出席	伊藤加代子
8	10月19日	米沢市立病院・三友堂病院新病院落成式典	伊藤加代子
9	10月23日	第2回置賜地域看護管理者会	伊藤加代子
10	12月1日	第2回置賜地域保健医療協議会在宅医療専門部会（Zoom会議）	伊藤加代子
11	12月19日	第2回置賜地域保健医療協議会（Zoom会議開催）	伊藤加代子
12	3月1日	第3回置賜地域看護管理者事務局会	伊藤加代子
13	3月5日	三友堂看護専門学校卒業式	伊藤加代子
14	3月13日	第3回置賜地域保健医療協議会（Zoom会議開催）	伊藤加代子

5. その他の事項

回	開催日	会議名、内容など	出席者
1	8月22日	松原寺視察、臨床宗教師（副住職）、住職と看仏連携事業打ち合わせ	伊藤加代子 岩崎清美 青柳杏美 高成田悦子
2	9月12日	支部長会	伊藤加代子
3	3月15日	支部長会	伊藤加代子

令和5年度置賜支部収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	1,185,300	1,185,300	0	会員数 1,317名×900円
(2) 研修会事業収入	0	7,000	△ 7,000	非会員研修参加費 1,000円×7名
(3) 雑収入	0	7	△ 7	
①受取利息	0	7	△ 7	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	1,185,300	1,192,307	△ 7,007	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	1,185,300	632,660	552,640	
				(1) 「まちの保健室」 100,002
				(2) 研修会 133,353
				(3) 日本看護協会通常総会 0
				(4) 役員会・常任委員会・諸会議 399,305
1. 福利厚生費支出	23,000	5,850	17,150	傷害保険料
2. 旅費交通費支出	705,000	340,590	364,410	役員・委員旅費、講師旅費、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	75,000	29,666	45,334	切手・たより送料 等
4. 支払手数料支出	5,000	2,420	2,580	振込手数料、両替手数料
5. 消耗什器備品費支出	0	0	0	
6. 消耗品費支出	60,600	48,166	12,434	コピー、事業必要物品、 等
7. 食糧費支出	50,000	31,682	18,318	講師昼食・茶菓代、役員昼食代 等
8. 印刷製本費支出	0	0	0	
9. 賃借料支出	10,000	0	10,000	
10. 広告宣伝費支出	0	0	0	
11. 諸謝金支出	95,000	41,137	53,863	講師謝金
12. 負担金支出	131,700	131,700	0	会員数 1,317名×100円 (注1)
13. 雑支出	30,000	1,449	28,551	クリーニング代
事業活動支出計	1,185,300	632,660	552,640	
事業活動収支差額	0	559,647	△ 559,647	
予備費支出			-	
当期収支差額	0	559,647	△ 559,647	

※当期収支差額 559,647円は本部へ返金

(注1) 12. 負担金支出は「会費納入のための処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

[山形支部]

令和6年度山形支部事業計画

事業	項目	内容
1. 支部運営に関する事業 1) 支部活動の運営	1) (1) 役員会 (2) 常任委員会 ①教育委員会 ②まちの保健室委員会	1) (1)(2) 開催回数：10回 開催月日：第3火曜日 開催場所：山形県看護協会会館 内容：事業計画・運営・評価等
2) 本会事業への参画	2) 日本看護協会通常総会参加	2) 開催月日：6月6日(木) 開催場所：東京国際フォーラム
3) 支部活動の広報	3) 広報誌「山形いぶき」への掲載	3) 年1回掲載
2. 地域住民の健康・福祉の増進に関する事業 1) 地域住民の健康づくり支援	1) (1) 「まちの保健室」の開催	1) (1) 開催回数：4回 開催月日：7月～2月 開催場所： 山形市べにっこひろば 上山市めんごりあ 天童市ゆびあ 中山町ゆらら 内容：健康チェック、健康相談、血管年齢測定等
2) 地域内の関連団体との連携強化	2) (1) 村山地域保健医療協議会 (2) 東南村山地域施設等看護管理者ネットワーク会 (3) 東南村山地域看護管理者会 (4) 西北村山地域等看護力連携会 (5) 山形市社会福祉事業団評議員会 (6) 寒河江市西村山郡医師会主治医研修会	2) (1) 開催回数：3回 (2) 開催回数：4回 (3) 開催回数：3回 (4) 開催回数：3回 (5) 開催回数：2回 (6) 開催回数：1回
3. 会員の教育・リフレッシュに関する事業 1) 会員のニーズに沿った研修計画	(1) 研修・講演会の開催 (2) 新人看護職交流会	(1) 開催回数：1回 開催月日：8月31日(土) 開催場所：県看護協会会館 内容：会長講話、教育研修 (2) 開催回数：1回 開催月日：1月21日(火) 開催場所：県看護協会会館 内容：先輩の講話、GW等
4. その他		

令和 6 年度山形支部収支予算書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	3,658,500	3,657,600	900	会員数 4,065 名×900円
(2) 研修会事業収入	0	0	0	
(3) 雑収入	0	0	0	
①受取利息	0	0	0	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	3,658,500	3,657,600	900	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	2,936,500	2,926,400	10,100	
				(1) 「まちの保健室」 70,000
				(2) 研修会 270,000
				(3) 日本看護協会通常総会 1,000,000
				(4) 役員会・常任委員会・諸会議 1,596,500
1. 福利厚生費支出	20,000	20,000	0	役員・委員・協力員の傷害保険
2. 旅費交通費支出	1,430,000	1,430,000	0	常任委員会、講師旅費、役員会、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	215,000	215,000	0	郵送料
4. 支払手数料支出	10,000	10,000	0	振込手数料、両替手数料 等
5. 消耗什器備品費支出	200,000	200,000	0	備品
6. 消耗品費支出	280,000	280,000	0	事務用品、研修会看板・花代 等
7. 食糧費支出	105,000	105,000	0	研修会弁当、講師茶菓代、役員昼食
8. 印刷製本費支出	60,000	60,000	0	研修会資料、ポスター・チラシ 等
9. 賃借料支出	30,000	30,000	0	会場・備品使用料
10. 広告宣伝費支出	20,000	20,000	0	広告料
11. 諸謝金支出	100,000	100,000	0	講師料
12. 負担金支出	406,500	406,400	100	会員数 4,065名×100円(注1)
13. 雑支出	60,000	50,000	10,000	クリーニング代 等
事業活動支出計	2,936,500	2,926,400	10,100	
事業活動収支差額	722,000	731,200	△ 9,200	
予備費支出	722,000	731,200	△ 9,200	
当期収支差額	0	0	0	

(注 1) 12. 負担金支出は「会費納入の為の処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

[最北支部]

令和6年度最北支部事業計画

事業	項目	内容
1. 支部運営に関する事業 1) 支部活動の活性化	1) (1) 役員会 (2) 常任委員会 ①教育委員会 ②まちの保健室事業推進委員会 (3) 合同委員会	(1)(2)(3) 開催回数：10回 開催月日：月1回程度 開催場所：北村山公立病院 内容：事業の企画、運営等
2) 本会事業への参画	2) 日本看護協会通常総会	2) 開催月日：6月6日 開催場所：東京国際フォーラム
3) 支部活動の広報	3) 広報誌「いぶき」への掲載	3) 年1回掲載
2. 地域住民の健康・福祉の増進に関する事業 1) 地域住民の健康づくり支援	1) 「まちの保健室」の開催	1) 開催回数：2回 開催月日：9月～11月 開催場所：最上地区1回 北村山地区1回 内容：健康チェック、相談
2) 地域内の関連団体との連携強化	2) (1) 最上地域保健医療協議会 (2) 最上地域看護管理ネットワーク会議 (3) 最上地域医療的ケア児支援連絡会	2) (1) 開催回数：年2回 (2) 開催回数：年2回 (3) 開催回数：年1回
3. 会員の教育・リフレッシュに関する事業 1) 会員のニーズに沿った研修計画	(1) 研修・講演会の開催 (2) 新人看護職交流会 (3) 在宅療養支援研修	(1) 開催回数：1回 開催月日：9月 開催場所：北村山地区 内容：看護協会会長講話 教育研修他 (2) 開催回数：1回 開催月日：12月 北村山地区 内容：先輩の講話、新人交流 (3) 山形県看護協会主催
4. その他		

令和 6 年度最北支部収支予算書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	675,000	667,800	7,200	会員数 750名×900円
(2) 研修会事業収入	0	0	0	
(3) 雑収入	0	0	0	
①受取利息	0	0	0	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	675,000	667,800	7,200	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	675,000	667,800	7,200	
				(1) 「まちの保健室」 56,000
				(2) 研修会 117,000
				(3) 日本看護協会通常総会 120,000
				(4) 役員会・常任委員会・諸会議 382,000
1. 福利厚生費支出	10,000	10,000	0	役員・委員の傷害保険 等
2. 旅費交通費支出	410,000	418,000	△ 8,000	常任委員会、講師、役員会、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	65,000	60,000	5,000	たより送料、切手 等
4. 支払手数料支出	5,000	1,000	4,000	振込手数料、両替手数料 等
5. 消耗什器備品費支出	0	0	0	
6. 消耗品費支出	30,000	13,000	17,000	コピー使用料、日常消耗品、事務用品 等
7. 食糧費支出	15,000	15,000	0	講師茶菓、研修会弁当 等
8. 印刷製本費支出	10,000	10,000	0	研修会資料、ポスター・チラシ 等
9. 賃借料支出	15,000	14,600	400	会場料
10. 広告宣伝費支出	0	12,000	△ 12,000	広告料
11. 諸謝金支出	30,000	30,000	0	講師料
12. 負担金支出	75,000	74,200	800	会員数 750名×100円(注1)
13. 雑支出	10,000	10,000	0	クリーニング代 等
事業活動支出計	675,000	667,800	7,200	
事業活動収支差額	0	0	0	
予備費支出				0
当期収支差額	0	0	0	

(注 1) 12. 負担金支出は「会費納入の為の処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

[庄内支部]

令和6年度庄内支部事業計画

事業	項目	内容
1. 支部運営に関する事業 1) 支部活動の運営	1) (1) 役員会 (2) 常任委員会 ①教育委員会 ②まちの保健室事業推進委員会 (3) 合同会議	1) (1)(2)(3) について ・開催回数：12回 ・開催日時：第2金曜日 14～17時 ・開催場所：三川町公民館等 ・内容：事業企画・運営・評価等
2) 本会事業への参画	2) 日本看護協会通常総会	2) ・開催日時：6月6日～7日 ・開催場所：東京国際フォーラム
3) 支部活動の広報	3) 広報誌「山形いぶき」への掲載	3) 年1回掲載
2. 地域住民の健康・福祉の増進に関する事業 1) 地域住民の健康づくり支援	1) 「まちの保健室」の開催	1) ・開催回数：2回 ・開催月日：9月、10月 (1) 鶴岡市 [健康づくり強調月間] 「にこ♥ふる」展示と館内イベント (2) 国際ノルディックウォーク ・開催場所：湯の浜 ・内容：健康チェック・相談
2) 地域内の関連団体との連携強化	2) (1) 庄内地域保健医療協議会 (2) 庄内地域看護管理者ネットワーク事務局会議 (3) 庄内地域看護管理者ネットワーク会議	2) (1) 行政、他団体との連携 (2)(3) 情報共有・地域の課題解決に向けた協同活動 (研修会の協同開催など)
3. 会員の教育・リフレッシュに関する事業 1) 会員のニーズに沿った研修計画	(1) 地域の課題に応じた研修会の開催 (2) 新人看護職交流会	(1) 開催回数：年1回 開催月日：9月 開催場所：東北公益文科大学 内容：山形県看護協会会長講話 研修：「訪問看護をテーマ」 (2) 開催回数：年1回 開催月日：2月 開催場所：なの花ホール 内容：先輩の講話・グループワーク 講師：先輩看護師
4. その他		

令和6年度庄内支部収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	1,605,600	1,634,400	△ 28,800	会員数 1,784名×900円
(2) 研修会事業収入	0	0	0	
(3) 雑収入	0	0	0	
①受取利息	0	0	0	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	1,605,600	1,634,400	△ 28,800	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	1,605,600	1,634,400	△ 33,800	
				(1) 「まちの保健室」 65,000
				(2) 研修会 695,000
				(3) 日本看護協会通常総会 250,000
				(4) 役員会・常任委員会・諸会議 595,600
1. 福利厚生費支出	16,000	16,000	0	傷害保険料
2. 旅費交通費支出	656,200	646,800	9,400	常任委員会、講師旅費、役員会、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	80,000	70,000	10,000	送料、切手、Zoom契約費
4. 支払手数料支出	10,000	5,000	5,000	振込手数料、両替手数料 等
5. 消耗什器備品費支出	60,000	60,000	0	備品
6. 消耗品費支出	60,000	50,000	10,000	研修会看板・花代、Zoom備品等
7. 食糧費支出	15,000	10,000	5,000	講師茶菓代
8. 印刷製本費支出	200,000	120,000	80,000	研修会資料印刷、パンフレット購入 等
9. 賃借料支出	200,000	400,000	△ 200,000	会場使用料
10. 広告宣伝費支出	0	0	0	
11. 諸謝金支出	120,000	70,000	50,000	研修会講師謝金
12. 負担金支出	178,400	181,600	△ 3,200	会員数 1,784名×100円 (注1)
13. 雑支出	10,000	10,000	0	クリーニング代 等
事業活動支出計	1,605,600	1,634,400	△ 28,800	
事業活動収支差額	0	0	0	
予備費支出			0	
当期収支差額	0	0	0	

(注1) 12. 負担金支出は「会費納入の為の処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

[置賜支部]

令和6年度置賜支部事業計画

事業	項目	内容
1. 支部運営に関する事業 1) 支部活動の運営	1) (1) 役員会 (2) 常任委員会 ①教育委員会 ②「まちの保健室」委員会	1) (1)(2) 開催回数：9回 開催月日：5月～12月、3月 開催場所：公立置賜総合病院 内容：事業企画・運営・評価等
2) 本会事業への参画	2) 日本看護協会通常総会	2) 開催月日：6月6日～7日 開催場所：東京国際フォーラム
3) 支部活動の広報	3) 広報誌「いぶき」への掲載	3) 年1回掲載
2. 地域住民の健康・福祉の増進に関する事業 1) 地域住民の健康づくり支援	1) 「まちの保健室」の開催	1) 開催回数：3回 開催月日：7月、9月、11月 開催場所： 7月：川西町入浴施設「まどか」 9月：米沢市「西連寺」 11月：長井市平野地区コミュニティセンター 内容：血圧・血管年齢・体組成計測定、手洗いチェッカー、健康相談、介護保険相談等
2) 地域内の関連団体との連携強化	2) (1) 置賜地域保健医療協議会／在宅医療専門部会 (2) 米沢市立病院地域医療支援推進協議会 (3) 米沢市防災会議 (4) 置賜地域看護管理者会及び事務局会 (5) 三友堂看護専門学校行事出席	(1) 開催回数：3回／2回 開催場所：置賜総合支庁 (2) 開催回数：4回 開催場所：米沢市立病院 (3) 開催回数：2回 開催場所：置賜総合支庁 (4) 開催回数：3回／3回 開催場所：米沢市立病院or公立置賜総合病院 (5) 3回(入学式・戴帽式・卒業式) 開催場所：専門学校講堂
3. 会員の教育・リフレッシュに関する事業 1) 会員のニーズに沿った研修計画	(1) 研修会の開催 (2) 新人看護職交流会	(1) 開催回数：1回 開催月日：9月9日、9月10日、9月17日で選考 開催場所：公立置賜総合病院 内容：山形県看護協会会長講話教育、リフレッシュ研修(認知症看護をテーマに企画中) (2) 開催回数：1回 開催月日：11月11日、11月18日、11月25日で選考 開催場所：公立置賜総合病院 内容：認定看護師等からの講話 ワールドカフェ
4. その他		

令和6年度置賜支部収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 事業活動収入				
(1) 支部活動費	1,171,800	1,185,300	△ 13,500	会員数 1,302名×900円
(2) 研修会事業収入	0	0	0	
(3) 雑収入	0	0	0	
①受取利息	0	0	0	
②その他の雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	1,171,800	1,185,300	△ 13,500	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	1,171,800	1,185,300	△ 13,500	
				(1) 「まちの保健室」 140,600
				(2) 研修会 220,000
				(3) 日本看護協会通常総会 412,000
				(4) 役員会・常任委員会・諸会議 399,200
1. 福利厚生費支出	14,000	23,000	△ 9,000	傷害保険料
2. 旅費交通費支出	800,000	705,000	95,000	役員・委員旅費、講師旅費、その他会議 等
3. 通信運搬費支出	35,000	70,000	△ 35,000	切手・たより送料 等
4. 支払手数料支出	10,000	5,000	5,000	振込手数料、両替手数料 等
5. 消耗什器備品費支出	0	0	0	
6. 消耗品費支出	40,000	65,600	△ 25,600	コピー、事業必要物品、看板・垂れ幕印刷代 等
7. 食糧費支出	52,600	50,000	2,600	講師昼食・茶菓代、役員昼食代 等
8. 印刷製本費支出	0	0	0	
9. 賃借料支出	0	10,000	△ 10,000	会場・備品使用料 等
10. 広告宣伝費支出	0	0	0	
11. 諸謝金支出	80,000	95,000	△ 15,000	講師謝金
12. 負担金支出	130,200	131,700	△ 1,500	会員数 1,302名×100円 (注1)
13. 雑支出	10,000	30,000	△ 20,000	クリーニング代 等
事業活動支出計	1,171,800	1,185,300	△ 13,500	
事業活動収支差額	0	0	0	
予備費支出				
当期収支差額	0	0	0	

(注1) 12. 負担金支出は「会費納入の為の処理費用・会員の福利厚生に係る費用・総会要綱作成及び支部会員への配布等に係る費用を一括会計処理のための支出」を含む。

令和6年度山形県看護協会訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所の概要

令和6年4月1日現在

名 称	訪問看護 ステーション やまがた	訪問看護 ステーション まいづる	訪問看護 ステーション むらやま	訪問看護 ステーション 新 庄	訪問看護 ステーション新庄 サテライトまむろ川
郵便番号所在地	〒990-2473 山形市松栄 1-5-63	〒994-0081 天童市南小畑 2-2-21	〒995-0037 村山市楯岡俣町 20-16	〒996-0002 新庄市金沢 1835-82	〒999-5312 真室川町大字新町 469-1
電 話 番 号	023-685-8061	023-651-2206	0237-55-3730	0233-28-7330	0233-29-8433
F A X 番 号	023-685-8062	023-651-2209	0237-55-3731	0233-28-7331	0233-29-8434
指 定 年 月 日	平成5年4月30日	平成8年6月28日	平成10年7月23日	平成11年8月18日	
事業開始年月日	平成5年5月12日	平成8年7月1日	平成10年8月1日	平成11年9月15日	平成29年8月1日
ステーションコード	0660190018	0661690016	0661490003	0661190009	
24時間対応体制	平成20年4月1日～	平成20年4月1日～	平成20年4月1日～	平成20年4月1日～	
特別管理加算	平成10年5月1日～	平成10年9月1日～	平成11年8月1日～	平成11年10月1日～	
看護体制強化加算	平成30年5月1日～	平成30年8月1日～	平成29年3月1日～		
機能強化型別 (Ⅰ～Ⅲ)	Ⅰ 平成27年1月1日～		Ⅰ 令和3年4月1日～		
管 理 者	山川 一枝	須藤 美和子	仲野 郁子	柿崎 由美子	柿崎 由美子 (訪問看護ST新庄所長 兼サテライト責任者)
職 員 数 (人)	24 (内1名総合支援セ ンター勤務)	8	11	6	(2)病院、診療所 からの出向
1. 看護職員数	17 (内1名総合支援セ ンター勤務)	5	8	3	2
2. リハビリ職員	4	2	2	2	
3. 事務職員	3	1	1	1	
居 宅 介 護 支 援 事 業 所 名	訪問看護 ステーション やまがた	まいづる 居宅介護支援 事業所	訪問看護 ステーション むらやま		
電 話 番 号	023-685-8082	023-651-2206	0237-55-3730		0233-29-8433
F A X 番 号	023-685-8083	023-651-2209	0237-55-3731		0233-29-8434
指 定 年 月 日	平成12年4月1日	平成12年4月1日	平成12年4月1日		
居 宅 コ ー ド	0670100106	0671600021	0671400034		
居 宅 管 理 者	近 ゆかり	我妻 瑠美子	高橋 菜穂子		
介護支援専門員数(人)	3	3	2		

令和5年度 事業評価 訪問看護ステーション

事業目標	訪問看護ステーションやまがた	訪問看護ステーションまいづる
<p>I 事業の安定・運営の円滑化</p> <p>1) 経営の安定化</p> <p>2) S T 運営の組織づくり</p> <p>(1) 組織課題の検討</p> <p>(2) W L B の推進</p>	<p>1) 経営の安定化 大規模事業所、機能強化型 I としての役割発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業収益 12,152,978円/月 ・職員 1 人あたり収益 643,243円/月 ・利用者数 199名/月 ・訪問件数 1,171件/月 ・リハビリ訪問件数の増加 <p>2) 組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営、所長・主任会議の開催による S T 内の課題を情報共有している ・リハビリスタッフとの会議開催 ・チームカンファレンスの実施 ・年休取得は個人差があるが取得できている 	<p>1) 経営の安定化 経営的視点に立った訪問看護ステーションの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業収益 4,032,601円/月 ・一人当たり収益 685,000円/月 ・利用者数 78.8人/月 ・訪問件数 419件/月 ・リハビリ常勤 2 名体制となり、9 月～訪問エリアを拡大した。 ・看護強化体制加算 II の算定継続 ・難病利用者や癌末期の受け入れが少なく、医療保険利用者が前年度より減少 <p>2) 組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営、所長会議毎月参加し、情報共有 ・年休は計画的に取得
<p>II 安全で質の高い看護の提供</p> <p>1) 資質向上</p> <p>2) 安全管理の強化</p>	<p>1) 質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップシートに沿った目標設定で研修受講している。 ・全体研修開催 技術、知識の共有 ・緩和ケア認定看護師による緩和ケアの研修、認知症看護認定看護師による認知症患者の看護の研修実施 ・ポット穿刺、P P E 着脱について技術研修実施 ・虐待防止研修受講 <p>2) 安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを共有し改善への取組 ・感染症対策研修実施 ・BCP 確認、地震発生時のシミュレーション実施、 ・洪水ハザードマップを活用した水害の防災教育実施 	<p>1) 質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステップアップシートで評価 ・ポケットエコーの研修実施 ・専門看護師、認定看護師派遣事業による「精神看護」「小児の救急」研修実施 ・虐待防止研修受講し伝達 ・医療安全管理養成講習、訪問看護師養成研修参加 <p>2) 安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット、利用者の声は迅速に情報共有しリスク回避につながっている。 ・BCP 完成に向けてシミュレーションしながら見直し。 ・9/26 防災訓練実施
<p>III 公益事業の強化と地域密着事業の展開</p> <p>1) 地域社会のニーズに合わせた活動</p> <p>2) 訪問看護の普及</p>	<p>1) 地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護相談窓口対応 ・東南村山地域施設看護管理者ネットワーク会事務局の活動と病院等の情報交換 ・バイタルリンクでの情報共有 ・他機関との意見交換 <p>2) 訪問看護の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステーションだより発行 ・地域住民への訪問看護周知活動実施 	<p>1) 地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師職能 II 委員活動による情報発信、共有を行っている。 ・天童市介護運営会議に出席し行政との情報交換 ・ブロック会議、西村山地域看護力連絡会に出席し情報共有 <p>2) 訪問看護の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステーションだより発行
<p>IV 在宅看護における人材育成</p> <p>1) 教育的役割の強化</p>	<p>1) 教育的役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護学生、担い手実習受け入れ 延107日、延207名 ・管理者研修受講 ・在宅ケアに関する研修の講師に 9 回派遣 	<p>1) 教育的役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者研修受講 ・山形市立病院済生館看護学院に講師派遣 12 月、1 月 ・看護協会へ講師派遣 ・看護学生の実習受け入れ ・訪問看護師養成講習会の実習受け入れ 2 名

令和5年度 事業評価 訪問看護ステーション

事業目標	訪問看護ステーションむらやま	訪問看護ステーション新庄
<p>I 事業の安定・運営の円滑化</p> <p>1) 経営の安定化</p> <p>2) S T 運営の組織づくり (1) 組織課題の検討 (2) W L B の推進</p>	<p>1) 経営の安定化</p> <p>1人当たり事業収益 76万/月 利用者数 134.5人/月 訪問件数 726件/月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者8名/月、緊急時訪問看護加算は介護保険95.1%。医療保険99%と目標達成 ・実績管理について職員間で共有 ・看護体制強化加算、機能強化型 I の加算要件はクリアしている。 ・前年度より職員減のため事業収益は目標達成していないが、1人当たりの収益は目標達成 <p>2) 組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の運営所長会議出席情報交換 その後、ステーション内で情報共有 ・定期的なステーションの管理会議 ・毎週金曜日の5 S 活動実施 	<p>1) 経営の安定化</p> <p>1人当たり事業収益 58万/月 利用者数 85人/月 訪問件数 433件/月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サテライト2名体制、リハ職2名体制となり人員体制は整備されたが、事業収益は目標を達成できなかった。 ・訪問内容の見直しケアマネへの提案により12からI3へ変更ケースが増加した。 <p>2) 組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営・所長会議で情報共有ができた。 ・各委員会は、積極的に意見交換ができた。 ・今年度昇格した主任は、主任会議を通じて管理者の役割を明確にできた ・スタッフ間の希望に沿った年休取得。
<p>II 安全で質の高い看護の提供</p> <p>1) 資質向上</p> <p>2) 安全管理の強化</p>	<p>1) 質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護協会の研修に1人1回参加 ・所内の研修会は随時計画実施 ・クリニカルラダーレベルⅢ～Ⅳを評価 ・毎日ショートカンファレンス実施 ・ポケットエコー2台目購入し活用している。 <p>2) 安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会での決定事項の共有 ・ヒヤリハットの共有によりリスク回避につながっている ・9/9防災訓練実施 抜き打ちで防災訓練一斉メールを行いタイムリーに全体で共有することができた ・BCP作成し、所内でシミュレーション実施 	<p>1) 質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的研修受講と伝達で情報共有。 ・ラダー進捗状況には差がある。 ・新任訪問看護師教育プログラムを出向看護師育成で活用した。 ・ポケットエコーを新たに購入し計画的活用が可能となった。 <p>2) 安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BCPシミュレーションを1回実施。再度検討必要 ・ヒヤリハット報告提出は習慣化、今後は活用が課題
<p>III 公益事業の強化と地域密着事業の展開</p> <p>1) 地域社会のニーズに合わせた活動</p> <p>2) 訪問看護の普及</p>	<p>1) 地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護相談対応 ・村山市連絡協議会会議、村山市地域包括支援センター運営会議参加、障がい支援区分判定審査会参加し関係作り構築 ・バイタルリンク活用した医師との連携強化 <p>2) 訪問看護の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステーションだよりの発行 	<p>1) 地域活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有や連携体制は継続された。 ・3町村長とサテライトの会議で情報共有できた。 <p>2) 訪問看護の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット、「ステーションだよりの」でPR継続
<p>IV 在宅看護における人材育成</p> <p>1) 教育的役割の強化</p>	<p>1) 教育的役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理者養成研修受講 ・看護学生他実習受け入れ ・訪問看護師養成講習受講 ・最北支部研修講師 	<p>1) 教育的役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セカンドレベル受講 ・訪問看護師養成講習受講生1名受入れ ・訪問看護人材養成研修修了者の役割周知と地域での活用の場の理解を深めた。

令和5年度 事業評価（居宅介護支援事業所）

事業目標	やまがた	まいづる	むらやま
(1) 事業の安定・運営の円滑化を図る ①安定した事業経営、基盤の強化 ②組織内での連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・月平均利用者 要介護100名 介護予防12.8名 ・退院加算算定率 43.1% ・入院時連携加算算定率68.6% ・ターミナル加算3件 ・目標人数は達成した。 ・管理者交替後もスムーズに運営できた。 ・基幹病院連携室、包括支援センター、クリニックからの依頼も絶え間なくあった。 <ul style="list-style-type: none"> ・居宅連絡会の実施 6/2、7/11 ・BCP作成、共有、までに至っていない。 ・山形市の個別避難計画作成モデル事業に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・月平均利用者 要介護47.6名 ・退院加算算定率35.7% ・入院時連携加算算定率100% ・新規依頼は増加していたが、目標達成までは至らなかった。 <ul style="list-style-type: none"> ・居宅連絡会で研修会を実施し、加算取得や利用者管理について情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・月平均利用者 要介護70.4名 ・退院加算算定率 70.6% ・入院加算算定率 91.4% ・ターミナル加算 4名 ・目標件数は達成した。 ・包括支援センターからの依頼が増加 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月運営会議に参加 ・居宅連絡会開催 ・訪問看護ステーションミーティングへの参加とITを活用した情報共有
(2) 質の高いケアマネジメントを提供する ①介護支援専門員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会に延13回参加し、ミーティング時に伝達等の実施 ・実務研修に講師として派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・天童市居宅介護支援専門員連絡会研修に参加 ・主任介護支援専門員会議に参加 ・感染症予防対策、虐待防止対策の指針を居宅連絡会で検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・村山市介護支援専門員協会での研修講師 ・村山市地域ケア会議へ事例提供 ・訪問看護ステーションの事例検討参加 ・感染症予防、虐待防止対策委員会開催 ・令和6年4月改定の情報収集
(3) 地域包括ケアシステムの推進 ①関係機関・関係職種との連携の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での困難事例や制度について基幹病院の相談員、ケアマネジャーからの相談対応 ・南沼原地域包括支援センターと管理者会議による情報交換連携を図った（1回/2か月） ・認知症カフェ2回参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・天童市主任介護支援専門員会議出席 ・新規医療機関への見学会に参加し情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・村山市介護保険事業連絡協議会、村山市居宅介護支援事業所連絡協議会へ参加

令和5年度 居宅介護支援事業所利用者状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

	居宅介護支援事業所 訪問看護ステーション やまがた	まいづる 居宅介護支援事業所	居宅介護支援事業所 訪問看護ステーション むらやま	合計
ケアプラン作成 件数	1,156	572	845	2,528
認定調査件数	58	28	65	151
予防給付件数	144	28	46	218

令和5年度 訪問看護ステーション運営会議・所長会議開催状況

開催日時	参加者数	会議事項
4月20日(木) Zoom会議	6名	・人事について ・令和4年度事業評価報告 ・コロナ5類移行に伴う方針について ・3月分実績報告、規定について
5月18日(木) Zoom会議	6名	・日本看護協会理事会の報告 ・4月分実績報告、各ST報告 ・協会訪問看護ステーション運営会議、所長会議開要綱の改定について ・保険外サービス、延長料金設定、虐待防止、感染症予防、蔓延防止について
6月22日(木) 参集	11名	・在宅移行の学習についてなど ・真室川サテライトについて ・5月分実績報告(居宅も含めて)、各ST報告
7月27日(木) 参集	8名	・支援センター運営委員会の報告、今後の感染症対策について ・実習指導者委員会について ・6月分実績報告、各ST報告 ・人事について
8月24日(木) Zoom会議	9名	・コロナ感染のタスクフォースの取組について ・7月分実績報告 ・各ST報告・手当に関して
9月28日(木) Zoom会議	6名	・コロナ、インフルエンザについて ・人事について ・8月分実績報告、各ST報告(ICTについて)
10月24日(月) Zoom会議	8名	・第8次山形県保健医療計画について ・まちの保健室について ・9月分実績報告、各ST報告、上半期評価
11月27日(月) 参集	12名	・高齢者施設での感染症対策について ・研修案内 ・人員確保について ・事務局長より経営概況について ・訪問看護養成講習状況報告 ・会計監査報告、上半期会計確認 ・10月分実績報告、各ST報告 ・実地指導報告(STむらやま)
12月21日(木) Zoom会議	9名	・第8次山形県医療計画案の概要で在宅医療提供体制に関する策定追加 ・給与見直しについて ・11月分実績報告、各ST報告 ・国保地域医療学会にて山川所長優秀賞受賞
1月25日(木) Zoom会議	6名	・能登地震について ・能登地震に伴う県内ステーションの状況報告 ・休暇申請、委員会、新任訪問看護師教育プログラム内容評価について ・12月分実績報告、各ST報告
2月16日(火) Zoom会議	9名	・サミットについて ・オンライン資格確認の登録について ・1月分実績報告、各ST報告 ・満足度調査について ・令和6年度事業計画評価
3月25日(月) Zoom会議	8名	・事業運営について ・2月分実績報告、各ST報告 ・感染マニュアル確認 ・来年度の職員体制について ・介護報酬・診療報酬改定に向け情報共有

令和5年度 居宅介護支援事業所連絡会議

開催日時	参加者数	会議事項
6月2日(金) 参集	4名	・BCP作成、感染予防対策、虐待防止委員会について ・加算等取得研修会について ・実地指導について(むらやま)
3月5日(火) 参集	4名	・BCP作成、感染予防対策、虐待防止委員会について ・R6 介護報酬改定に向けての対応について

令和5年度 学生等受け入れ状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

	訪問看護ステーション		訪問看護ステーション		訪問看護ステーション		訪問看護ステーション		合 計	
	やまがた		やまがた		むらやま		新 庄			
	日数	延数	日数	延数	日数	延数	日数	延数	日数	延数
山形大学医学部看護学科	8	16	6	12	8	16			22	44
山形大学医学部看護学科（在宅看護総合実習）	9	20							9	20
国立病院機構山形病院附属看護学校	24	47	15	30					39	77
山形県立保健医療大学 看護学科					16	48			16	48
山形県立山辺高等学校 専攻科	14	22	12	24	13	26			39	72
山形市立済生館高等看護学院	24	66	9	18					33	84
医療法人横山厚生会 山形厚生看護学校	21	27			8	24			29	51
山形県看護協会 訪問看護師養成講習会	4	6	4	4					8	10
訪問看護出向事業										
国立病院機構山形病院 退院支援NS										
小児在宅移行支援指導者育成試行事業										
県立病院看護師（中央・河北・新庄）										
セカンドレベル実習	1	1							1	1
介護支援専門員実務研修（居宅介護支援事業所）	3	3							3	3
その他体験実習等（eラーニング）					3	6	2	1	5	7
訪問看護担い手創出事業（短期体験型研修）	12	12	2	2	2	2			16	16
合 計	120	220	48	90	50	122	2	1	220	433

令和5年度 訪問看護ステーション講師派遣状況

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

NO	ST名	月 日	内 容	参加人数	担当職員
1	やまがた	4月19日	山形市立済生館高等看護学院在宅看護論実習オリエンテーション	22	看護師
2		4月24日	山形病院付属看護学校「在宅看護論実習」	38	看護師
3		5月1日	山形大学医学部看護学科在宅看護学実習オリエンテーション	56	看護師
4		7月28日	令和5年度山形県主任介護支援専門員研修「ターミナルケア」	60	所長
5		8月19日	令和5年度山形県在宅リハビリテーション研修会「看取り期のケアに必要なアセスメントの視点・グリーフケア」	30	所長
6		9月16日	山形県看護協会在宅療養移行支援Ⅲ－徹底解説！社会資源の活用法と連携－	50	所長
7		11月22日	令和5年度家族援助論在宅療養者家族支援の実際（山大看護学科）	60	所長
8		2月6.7日	令和5年度介護支援専門員更新・再研修「内臓の機能不全」「看取り」	132	所長
9		2月27.28日	令和5年度介護支援専門員実務研修「内臓の機能不全」「看取り」	89	所長
10	まいづる	4月20日	山形県立山辺高等学校 在宅看護オリエンテーション	36	看護師
11		8月5日	訪問看護総合支援センター 訪問看護技術研修Ⅰ「訪問看護の基本 アセスメントからケアに活かす」	Web	訪問看護認定看護師
12		10月27日	済生館高等看護学院 地域・在宅看護援助論Ⅲ「療養を支える看護技術（医療ケア）」	30	訪問看護認定看護師
13		10月30日	済生館高等看護学院 地域・在宅看護援助論Ⅲ「療養を支える看護技術（医療ケア）」	30	訪問看護認定看護師
14	11月1日	済生館高等看護学院 地域・在宅看護援助論Ⅲ「療養を支える看護技術（医療ケア）」	30	訪問看護認定看護師	
15	むらやま	11月18日	介護支援専門員協会村山地区支部研修会看取り支援について	40	所長
16		2月16日	最北支部新人研修会	40	看護師
17		3月15日	厚生看護学校実習オリエンテーション	80	看護師
18	新 庄	6月2日	真室川町介護予防事業 「健康体操と生活指導」	25	所長・理学療法士
19		2月19日	最上地域緩和ケア研修会 「外泊時の訪問看護利用」	35	所長
20	居宅	2月6.7日	令和5年度介護支援専門員更新・再研修「内臓の機能不全」「看取り」	132	主任介護支援専門員
21	やまがた	2月27.28日	令和5年度介護支援専門員実務研修「内臓の機能不全」「看取り」	89	主任介護支援専門員
22	居宅 むらやま	11月18日	介護支援専門員協会村山地区支部研修会看取り支援について	40	管理者

訪問看護ステーション特別会計正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
看護療養費収益	131,699,534	143,260,914	△11,561,380
看護療養費	131,699,534	143,260,914	△11,561,380
看護利用料収益	14,279,570	14,820,696	△541,126
基本利用料収益	10,889,884	11,606,566	△716,682
交通費収益	3,272,926	3,188,130	84,796
長時間利用料収益	116,760	26,000	90,760
介護報酬	184,133,122	192,224,364	△8,091,242
介護報酬	164,465,771	171,630,053	△7,164,282
介護保険利用料収益	19,667,351	20,594,311	△926,960
特定資産運用益	809	824	△15
特定資産受取利息	809	824	△15
その他事業収入	4,178,031	4,486,050	△308,019
受取補助金	1,026,000	4,554,600	△3,528,600
受取助成金	0	252,000	△252,000
受取寄付金	500,000	0	500,000
受取寄付金	500,000	0	500,000
その他事業外収益	13,289,913	12,835,988	453,925
受取利息	3,143	3,190	△47
その他事業外収入	1,374,556	2,218,574	△844,018
受託収入(その他事業外)	11,911,761	10,291,456	1,620,305
雑収入	453	322,768	△322,315
経常収益合計	349,106,979	372,435,436	△23,328,457
(2) 経常費用			
事業費	367,649,835	362,197,234	5,452,601
給与手当	228,276,514	240,702,966	△12,426,452
法定福利費	40,698,323	41,074,393	△376,070
医薬品費	87,230	232,434	△145,204
福利厚生費	3,712,625	2,625,497	1,087,128
旅費交通費	434,273	217,548	216,725
職員被服費	326,048	415,402	△89,354
通信費	4,827,502	5,632,725	△805,223
消耗品費	1,921,007	2,373,244	△452,237
事務費	3,040,731	763,104	2,277,627
車輛費	3,383,238	3,297,305	85,933
光熱水料費	2,790,128	3,824,956	△1,034,828
賃借料	3,706,032	3,469,570	236,462
リース料	13,697,210	13,498,752	198,458
保険料	2,101,150	2,522,320	△421,170
交際費	277,911	218,494	59,417
諸会費	100,000	94,000	6,000
租税公課	2,347,600	1,711,665	635,935
図書費	164,109	252,693	△88,584
維持管理費	5,183,134	0	5,183,134
広告宣伝費	132,000	182,300	△50,300
支払負担金	9,703,007	0	9,703,007
研修費	376,530	230,580	145,950
減価償却費(事)	5,690,126	5,724,335	△34,209
修繕費	408,470	41,800	366,670
諸謝金	1,795,589	1,428,136	367,453
雑費	117,928	11,024,370	△10,906,442

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
会議費	11,066	6,041	5,025
賞与引当金繰入額	19,053,310	17,831,704	1,221,606
支払手数料	1,788,781	300	1,788,481
退職給付費用	11,390,715	2,800,600	8,590,115
印刷製本費	107,548	0	107,548
管理費	4,809,821	3,952,894	856,927
役員報酬	4,175,650	3,410,100	765,550
法定福利費	620,639	533,500	87,139
福利厚生費	13,532	9,294	4,238
経常費用合計	372,459,656	366,150,128	6,309,528
評価損益等調整前当期経常増減額	△23,352,677	6,285,308	△29,637,985
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△23,352,677	6,285,308	△29,637,985
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	273,555	173,760	99,795
他会計からの繰入額	1,531,680	1,253,760	277,920
他会計への繰出額	1,258,125	1,080,000	178,125
本部勘定	179,108,955	208,179,851	△29,070,896
新庄勘定	40,220,181	43,350,476	△3,130,295
むらやま勘定	93,057,560	104,962,350	△11,904,790
まいづる勘定	45,831,214	59,867,025	△14,035,811
税引前当期一般正味財産増減額	△23,079,122	6,459,068	△29,538,190
法人税、住民税及び事業税	202,000	202,000	0
当期一般正味財産増減額	△23,281,122	6,257,068	△29,538,190
一般正味財産期首残高	590,649,386	584,392,318	6,257,068
一般正味財産期末残高	567,368,264	590,649,386	△23,281,122
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	567,368,264	590,649,386	△23,281,122

居宅介護支援事業所特別会計正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	33,809,084	34,497,221	△688,137
介護給付費収入	33,809,084	34,497,221	△688,137
受取補助金	0	100,000	△100,000
その他事業外収益	1,183,879	1,059,196	124,683
受取利息	216	232	△16
受託収入(その他事業外)	1,183,663	1,058,964	124,699
経常収益合計	34,992,963	35,656,417	△663,454
(2) 経常費用			
事業費	38,345,739	37,767,644	578,095
給与手当	29,691,780	27,880,960	1,810,820
法定福利費	4,560,634	4,218,586	342,048
福利厚生費	36,461	36,046	415
旅費交通費	2,880	1,450	1,430
職員被服費	11,661	8,963	2,698
通信費	915,413	959,263	△43,850
消耗品費	267,268	292,431	△25,163
事務費	240,000	64,738	175,262
車輛費	283,229	289,083	△5,854
光熱水料費	252,000	233,000	19,000
賃借料	261,600	270,400	△8,800
リース料	1,159,652	1,029,124	130,528
保険料	60,580	94,210	△33,630
交際費	4,140	7,450	△3,310
諸会費	400	400	0
租税公課	72,900	7,700	65,200
維持管理費	278,938	0	278,938
研修費	0	22,900	△22,900
減価償却費(事)	76,813	76,813	0
修繕費	8,800	0	8,800
退職金	0	1,588,500	△1,588,500
雑費	60,000	685,627	△625,627
支払手数料	100,590	0	100,590
経常費用合計	38,345,739	37,767,644	578,095
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,352,776	△2,111,227	△1,241,549
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△3,352,776	△2,111,227	△1,241,549
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益合計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△3,352,776	△2,111,227	△1,241,549
当期一般正味財産増減額	△3,352,776	△2,111,227	△1,241,549
一般正味財産期首残高	14,969,283	17,080,510	△2,111,227
一般正味財産期末残高	11,616,507	14,969,283	△3,352,776
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増加額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	11,616,507	14,969,283	△3,352,776

令和6年度 事業計画 訪問看護ステーション

事業目標	訪問看護ステーションやまがた	訪問看護ステーションまいづる
I 事業の安定・運営の円滑化 1) 経営の安定化 2) ST運営の組織づくり (1) 組織課題の検討 (2) WLBの推進	1) 大規模事業所としての役割発揮 ・事業収益 13,500,000円/月 ・職員1人あたり収益 750,000円/月 ・利用者数 210名/月 ・訪問件数 1,300件/月 2) 組織の課題検討 ・所長・主任会議の開催 ・各委員会活動の活性化、課題解決に向けての検討 ・リハビリスタッフとの定例会議の開催 ・年次有給休暇の取得 ・業務改善に向けたミーティング	1) 経済的視点に立った訪問看護ステーションの運営 ・訪問看護実績の分析と課題検討 ・事業収益 5,000,000円/月 ・職員一人あたり収益 700,000円/月 ・利用者数 85名/月 ・訪問件数 520件/月 ・12か月移動合計の数値の分析 ・管理者のマネジメント力の向上 2) 組織づくり ・運営・所長会議開催 ・目標管理の定着化（年2回の面接） ・各委員会活動の活性化・課題検討 ・所長・主任運営会議の開催（1回/週） ・週1回ノー残業ダイの実施、5S運動の推進 ・計画的な人材育成・新任訪問看護師の教育プログラムの活用
II 安全で質の高い看護の提供 1) 資質向上 2) 安全管理の強化 3) 他者評価を得る	1) 資質向上 ・利用者、地域のニーズに合わせた訪問看護の提供 ・ターミナルケアの質向上 ・小児の個別性に合わせたケアの質向上 ・精神疾患をもつ利用者・家族への対応の理解 ・看護技術の向上 ・高齢者虐待防止の推進 2) 安全管理の強化 ・事故防止対策 ・医療安全の基本の醸成 ・感染症対策 ・災害対策 ・ハラスメント対策 3) 他者評価 ・接遇研修 ・苦情対応分析検討	1) 資質向上 ・目標に沿った研修計画の実施、クリニカルリーダー実施 ・実習指導者講習会特定分野の受講 ・ターミナルケアにおけるアセスメントの標準化、デスカンファレンスの開催 ・看護技術の統一 ・精神訪問看護研修の受講 ・小児の研修受講、高齢者虐待防止に関する研修受講 2) 安全管理の強化 ・委員会活動の充実 ・リスク感性を高める ・感染対策の徹底 ・災害対策BCPの見直し及び災害訓練 3) 他者評価 ・苦情対応分析検討
III 公益事業の強化と地域密着事業の展開 1) 地域社会のニーズに合わせた活動 2) 訪問看護の普及	1) 地域活動 ・訪問看護相談対応 ・関係機関との連携 ・多職種との学習会開催 ・ICTを活用した多職種連携 2) 訪問看護の普及 ・地域住民への訪問看護の周知 ・ステーションだよりの発行	1) 地域活動 ・関係機関・行政等の情報交換 ・訪問看護総合相談対応 ・多職種連携・看看連携の場づくり 2) 訪問看護の普及 ・関係機関との連携強化 ・広報活動の強化 ・見守り事業の広報、実施
IV 在宅看護における人材育成 1) 教育的役割の強化	1) 教育的役割の強化 ・実習生の受け入れ ・山形県内の訪問看護ST管理者の質向上に向けた取り組み ・講師等の派遣	1) 教育的役割の強化 ・管理者の資質向上 ・講師派遣の受け入れ ・臨地実習の積極的な受け入れ

令和6年度 事業計画 訪問看護ステーション

事業目標	訪問看護ステーションむらやま	訪問看護ステーション新庄
<p>I 事業の安定・運営の円滑化</p> <p>1) 経営の安定化</p> <p>2) S T 運営の組織づくり</p> <p>(1) 組織課題の検討</p> <p>(2) WLBの推進</p>	<p>1) 経営的視点に立った訪問看護ステーションの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護実績の分析と課題検討 ・利用者・訪問件数・単価等の目標設定 事業収益 7,120,000円/月 1人事業収益 75万円/月 利用者数 130人/月 訪問件数 665件/月 リハビリ件数 140件/月 <p>・円滑な運営の為の管理者のマネジメント力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能強化型ステーション1の役割発揮 ・看護体制強化加算Ⅱ継続に向けた取組 <p>2) 運営の組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議・所長会議の開催1回/月 ・目標管理の定着化 ・各委員会の活性化・課題に向けて検討 ・WLBの推進 ・計画的な人材育成（新任訪問看護師の教育プログラム活用、効果的な人事交流） 	<p>1) 事業経営の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護実績の分析と課題検討 ・訪問実施目標 事業収益 4,200,000円/月 1人事業収益 70万円/月 利用者数 90人/月 訪問件数 460件/月 リハビリ件数 140件/月 <p>・看護体制強化加算算定に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護内容の見直し ・医療機関連携室との連携強化 ・見守り事業PR <p>2) 運営の組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営課題の検討 運営、所長会議開催、委員会活動 ・WLBの推進 5S活動、業務改善、スキルアップサポート、年次有給休暇の計画的取得
<p>II 安全で質の高い看護の提供</p> <p>1) 資質向上</p> <p>2) 安全管理の強化</p> <p>3) 他者評価を得る</p>	<p>1) 資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師・理学療法士の教育、研修の充実 ・クリニカルラダーの実施 ・ICTを活用した看護師間・主治医との連携強化及び情報共有 ・定期的なケースカンファレンスの開催 ・定期的な勉強会の開催 <p>2) 安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動の充実 ・リスク感性を高める ・感染対策の徹底、感染症発生動向調査の活用 ・自然災害BCP見直しと防災訓練 <p>3) 他者評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情対応分析検討及び評価 	<p>1) 資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育研修体制の充実 ・目標設定に沿った研修計画と受講 ・クリニカルラダーによる継続教育 ・新任訪問看護師教育プログラムの活用 ・多職種連携と情報共有 ポケットエコーの活用 ・所内研修会の充実 ・専門看護師、認定看護師派遣事業による研修会開催 <p>2) 安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対策 BCPの見直しとシミュレーション ・近隣stとのネットワーク構築 ・医療安全対策 ・感染対策 <p>3) 他者評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情対応分析と課題検討
<p>III 公益事業の強化と地域密着事業の展開</p> <p>1) 地域社会のニーズに合わせた活動</p> <p>2) 訪問看護の普及</p>	<p>1) 地域社会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・行政等の情報交換 ・訪問看護総合相談対応・看取りの勉強会の支援 ・多職種連携・看看連携の場作り <p>2) 訪問看護の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連機関との連携強化 ・関連機関との会議や研修会等への参加 ・他職種との学習会開催 ・バイタルリンクを使用しての主治医との連携強化 ・西北村山看護力連携会議の参加・協力 ・地域包括ケアシステム構築に係る医療・介護合同会議の参加 ・みまもり事業の広報、実施 ・パンフレット活用 ・医師・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等へのPR ・訪問看護情報誌、ポスター、HP有効活用 ・「ステーションだより」発行 	<p>1) 地域社会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最上地域保健医療協議会参加 ・最上地域在宅医療推進研究会参加 ・最上地域医療的ケア見支援協議会参加 ・最上地域難病対策協議会参加 ・最上地域管理者ネットワーク会議参加と連携 ・最上地域訪問看護管理者と連携 ・訪問看護連絡協議会との連携 <p>2) 訪問看護の普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所にPR ・ステーションだよりの発行 ・見守り事業のPR ・情報共有シートを活用した病院看護師との連携
<p>IV 在宅看護における人材育成</p> <p>1) 教育的役割の強化</p>	<p>1) 教育的役割の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者の資質向上に向けての取組 ・講師等派遣の受け入れ ・臨地実習の積極的な受け入れ 	<p>1) 教育的役割の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者の資質向上に向けての取組 ファースト、サード受講 ・訪問看護管理者研修会への参加 ・講師等派遣の受け入れ ・臨地実習の積極的な受け入れ

令和6年度 事業計画（居宅介護支援事業所）

事業目標	行動計画（やまがた）	行動計画（まいづる）	行動計画（むらやま）
<p>(1) 事業の安定・運営の円滑化を図る</p> <p>①安定した事業経営、基盤の強化</p> <p>②組織内での連携強化</p>	<p>①経営的視点に立った運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定事業所（Ⅲ）の役割遂行 ・目標事業収入18,028,000/年 ・管理者交代に関する周知と業務整理 ・積極的な利用者の受け入れ ・*月利用者目標数100名 ・*介護予防委託数（10名以内） ・ICTによる効率的な記録の実施 ・現状分析による課題の検討 ・基幹病院連携室、包括支援センターへの受け入れ可能状況の発信 ・山形市・中山町の認定調査委託契約を継続する。 ・感染症や災害時の発生時においても継続的に業務を継続できる。 <p>②連携強化</p> <p>居宅介護支援事業所連絡会の開催（年2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業所間の連携や業務の統一 	<p>①積極的な利用者の受け入れを行い、安定した経営を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な利用者の受け入れ ・目標プラン数：70件/月 ・うち介護予防委託事業：5件以内 ・効率的な業務の遂行 ・適切なアセスメントに基づくサービス調整 ・基幹病院連携室、包括支援センターへのPR活動を定期的に行う ・市の認定調査委託契約の継続 ・感染症や災害時の発生時においても継続的に業務を継続できる。 <p>②連携強化</p> <p>看護協会、協会立居宅介護支援事業所との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議への参加 ・居宅連絡会の実施（年2回） ・各事業所間の連携や業務の統一 ・医療と福祉面での情報共有 	<p>①安心して利用者を受け入れる職場環境、体制作りの上、積極的な利用者の受け入れと加算の取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者目標最大 70名/月 ・予防委託 4件以内 ・ICTによる効率的な業務実施 ・基幹病院連携室や包括支援センターとの連携と定期的な受入可能状況の発信とPR活動 ・研修会等への参加、多事業所、多職種との連携。 ・包括的な視点での現状分析と明確化された課題への取り組み ・市の認定調査委託事業の継続月4～6件 ・感染症や災害時の発生時においても継続的に業務を継続できる <p>②連携強化</p> <p>居宅介護支援事業所連絡会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有による各事業所間の連携や業務の統一（年2回） ・医療と福祉面での情報共有
<p>(2) 質の高いケアマネジメントを提供する</p> <p>①介護支援専門員の資質の向上</p>	<p>①資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会への積極的参加と伝達研修の実施 ・地域包括主催及び他法人居宅事業所、居宅連絡会での研修会または事例検討の実施と参加 ・利用者満足度の把握の検討 ・看護学生、介護支援専門員法定研修などの実習受け入れ、ケアマネジメント関連研修会への講師派遣 ・感染症予防及びまん延の防止 ・感染防止委員会を6か月に1回以上開催し、周知徹底を図る。 ・指針の整備と定期的に研修、訓練を行う。 ・虐待の防止 ・虐待防止委員会を定期的に開催し、周知徹底を図る。 ・指針の整備と定期的に研修会を行う。 ・担当者の設置 	<p>①資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会への積極的な参加 ・地域包括主催及び他法人居宅介護支援事業所での事例検討会の実施と参加。 ・利用者への満足度調査にて満足度や課題を抽出 ・介護支援専門員法定研修など実習生受け入れ、ケアマネジメント関連研修会への講師派遣 ・感染症予防及びまん延の防止 ・感染防止委員会を6か月に1回以上開催し、周知徹底を図る。 ・指針の整備と定期的に研修、訓練を行う。 ・虐待の防止 ・虐待防止委員会を定期的に開催し、周知徹底を図る。 ・指針の整備と定期的に研修会を行う。 ・担当者の設置 	<p>①資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会への積極的な参加 ・居宅介護支援事業所連絡会議で事例検討会の開催 ・所内ミーティングでの事例検討や情報収集・伝達講習 ・感染症予防及びまん延の防止 ・感染防止委員会を6か月に1回以上開催し、周知徹底を図る。 ・指針の整備と定期的に研修、訓練を行う。 ・虐待の防止 ・虐待防止委員会を定期的に開催し、周知徹底を図る。 ・指針の整備と定期的に研修会を行う。 ・担当者の設置 ・法改正に伴う、情報収集と共有
<p>(3) 地域包括ケアシステムの推進</p> <p>①関係機関・関係職種との連携の強化</p>	<p>①連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議への参加協力及び他機関との連携会議への積極的参加 ・関係機関・行政との情報交換 ・地区包括支援センターとの連携のもと認知症カフェ運営への参画 	<p>①連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の連絡会議への積極的参加 ・天童市居宅介護支援専門員連絡会、天童市介護サービス事業所連絡会、主任介護支援専門員会議に積極的に参加する。 ・関係機関・行政との情報交換 	<p>①連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村山市介護保険連絡協議会（毎月）、居宅介護支援事業所等連絡協議会（年4回）への参加 ・地域ケア会議、他法人との事例検討への参加 ・地域包括ケアシステム構築に係る医療・介護連携合同会議への参加 ・村山市地域密着型サービス運営委員委託

令和6年度訪問看護ステーション事業所特別会計収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額 (補正後)	差引増減額	摘要 (積算内訳)
I 事業活動 収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 看護療養費収入	153,300,000	162,750,000	-9,450,000	
看護療養費収入	153,300,000	162,750,000	-9,450,000	
(2) 看護利用料収入	3,576,000	3,330,000	246,000	
基本利用料収入	0	0	0	
交通費収入	3,576,000	3,330,000	246,000	
(3) 介護報酬収入	208,200,000	208,717,000	-517,000	
介護報酬	208,200,000	208,717,000	-517,000	
介護保険利用料収入	0	0	0	
(4) その他事業収入	11,410,000	3,620,000	7,790,000	
その他事業収入	2,610,000	3,620,000	-1,010,000	
その他受託収入	8,800,000	0	8,800,000	
(5) 事業外収入	4,134,000	3,116,000	1,018,000	
その他事業外収入	2,949,900	2,502,900	447,000	
受取県補助金・助成金	1,130,000	110,000	1,020,000	
受取利息	4,100	3,100	1,000	
雑収入	50,000	500,000	-450,000	
(6) 他会計からの繰入額	1,745,000	1,305,000	440,000	
他会計からの繰入額	1,745,000	1,305,000	440,000	
事業活動収入計	382,365,000	382,838,000	-473,000	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	343,812,000	375,212,829	-31,400,829	
給与手当支出	219,000,000	261,100,000	-42,100,000	
法定福利費支出	35,800,000	40,100,000	-4,300,000	
医薬品支出	170,000	75,000	95,000	
福利厚生費支出	4,100,000	2,650,000	1,450,000	
旅費交通費支出	650,000	400,000	250,000	
職員被服費	650,000	560,000	90,000	
通信費支出	6,400,000	4,840,000	1,560,000	
消耗品支出	2,650,000	4,400,000	-1,750,000	
事務費支出	2,900,000	2,050,000	850,000	
車輛費支出	4,400,000	3,800,000	600,000	
光熱水料費支出	5,300,000	5,170,000	130,000	
賃借料支出	3,690,000	3,295,000	395,000	
リース料支出	13,700,000	12,290,000	1,410,000	
保険料支出	3,400,000	3,250,000	150,000	
交際費支出	300,000	270,000	30,000	
諸会費支出	105,000	150,000	-45,000	
租税公課支出	2,010,000	1,510,000	500,000	
図書費支出	460,000	360,000	100,000	
維持管理費	7,500,000	1,450,000	6,050,000	
広告宣伝費支出	110,000	130,000	-20,000	
研修費支出	1,600,000	510,000	1,090,000	
修繕費支出	100,000	800,000	-700,000	
諸謝金支出	1,100,000	760,000	340,000	
会議費支出	40,000	40,000	0	
支払手数料支出	1,650,000	700,000	950,000	
印刷製本費支出	400,000	0	400,000	
雑支出	50,000	400,000	-350,000	

退職金	0	1,500,000	-1,500,000	
退職給付費支出	11,900,000	4,400,000	7,500,000	
減価償却費	5,677,000	5,652,829	24,171	
賞与引当金繰入額	8,000,000	12,600,000	-4,600,000	
(2) 管理費支出	5,220,000	4,070,000	1,150,000	
役員報酬支出	4,500,000	3,520,000	980,000	
法定福利費支出	700,000	530,000	170,000	
福利厚生費支出	20,000	20,000	0	
(3) 他会計への繰入金支出	1,418,000	1,080,000	338,000	
他会計への繰入金支出	1,418,000	1,080,000	338,000	
事業活動支出計	350,450,000	380,362,829	-29,912,829	
事業活動収支差額	31,915,000	2,475,171	29,439,829	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
(4) 長期貸付金収入	450,000	700,000	-250,000	
長期貸付金収入	450,000	700,000	-250,000	
投資活動収入計	450,000	700,000	-250,000	
2. 投資活動支出				
(5) 投資活動支出	0	0	0	
長期貸付金支出	0	0	0	
什器備品支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	450,000	700,000	-250,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	602,000	902,000	-300,000	
当期収支差額	31,763,000	14,173,171	17,589,829	
前期繰越収支差額	178,800,692	164,027,521	14,773,171	
次期繰越収支差額	196,390,521	178,800,692	17,589,829	

令和6年度居宅介護支援事業所特別会計収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計	前年度予算額 (補正後)	差引増減額	摘 要 (積算内訳)
I 事業活動 収支の部				
1. 事業活動収入				
(1) 介護給付費収入	35,500,000	34,249,990	1,250,010	
介護給付費収入	35,500,000	34,249,990	1,250,010	
(3) 事業外収入	876,200	816,110	60,090	
受託収入 (事業外)	876,000	816,000	60,000	
受取利息	200	110	90	
事業活動収入計	36,376,200	35,066,100	1,310,100	
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	39,324,000	34,446,813	4,877,187	
給与手当支出	30,800,000	25,800,000	5,000,000	
法定福利費支出	3,550,000	3,900,000	-350,000	
福利厚生費支出	110,000	215,000	-105,000	
旅費交通費支出	20,000	35,000	-15,000	
職員被服費	90,000	95,000	-5,000	
通信費支出	1,100,000	790,000	310,000	
消耗品支出	390,000	270,000	120,000	
事務費支出	200,000	100,000	100,000	
車輛費支出	370,000	570,000	-200,000	
光熱水料費支出	285,000	220,000	65,000	
賃借料支出	230,000	240,000	-10,000	
リース料支出	1,250,000	1,170,000	80,000	
保険料支出	110,000	345,000	-235,000	
交際費支出	5,000	10,000	-5,000	
諸会費支出	31,000	1,000	30,000	
租税公課支出	16,000	1,000	15,000	
図書費支出	70,000	78,000	-8,000	
維持管理費	390,000	260,000	130,000	
研修費支出	70,000	30,000	40,000	
修繕費支出	0	50,000	-50,000	
支払手数料支出	150,000	90,000	60,000	
雑支出	11,000	100,000	-89,000	
減価償却費 (事)	76,000	76,813	-813	
事業活動支出計	39,324,000	34,446,813	4,877,187	
事業活動収支差額	-2,947,800	619,287	-3,567,087	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0		0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0		0	
投資活動収支差額	0		0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
(1) 貸付金収入	0	650,000	-650,000	
長期貸付金収入	0	650,000	-650,000	
財務活動収入計	0	650,000	-650,000	
2. 財務活動支出				
(2) 借入金返済支出	450,000	450,000	0	
長期借入金返済支出	450,000	450,000	0	
財務活動支出計	450,000	450,000	0	
財務活動収支差額	-450,000	200,000	-650,000	
IV 予備費支出	110,000	150,000	150,000	
当期収支差額	-3,507,800	419,287	-3,927,087	
前期繰越収支差額	16,187,228	15,767,941	419,287	
次期繰越収支差額	12,679,428	16,187,228	-3,507,800	

提出議題

第一号議案

令和6年度改選役員・推薦委員、令和7年度日本看護協会代議員・予備代議員 並びに令和6年度支部改選役員の選挙について

令和6年度改選役員・推薦委員候補者 名簿

役職名	任期	氏名	職能	勤務先
副会長	1	峯田 弥生	看護師	山形県立新庄病院
副会長	1	鈴木 ひとみ	看護師	山形大学医学部附属病院
常任理事	2	田瀬 裕子	看護師	山形県看護協会
理事(書記担当)	1	鶴巻 玲子	看護師	日本海総合病院
理事(書記担当)	1	富樫 洋子	看護師	山形市立病院済生館
理事(会計担当)	1	東海林 敦子	看護師	山形県立河北病院
監事	1	庄司 律子	看護師	山形県立中央病院

支部理事(3名)・全区理事(1名)				
支部名	任期	氏名	職能	勤務先
最北支部	1	阿相 由美	看護師	北村山公立病院
庄内支部	2	中村 美穂	看護師	酒田市立酒田看護専門学校
置賜支部	1	岩崎 清美	看護師	公立置賜長井病院
全区理事	1	堀 正浩	准看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

職能理事(2名)				
役職名	任期	氏名	職能	勤務先
助産師職能理事	1	長堀 理代	助産師	山形県立新庄病院
看護師職能理事	1	柿崎 由美子	看護師	訪問看護ステーション新庄

推薦委員(3名)				
支部名	任期	氏名	職能	勤務先
山形支部	1	高橋 朋美	保健師	天童市健康センター
最北支部	1	今田 和恵	看護師	山形ロイヤル病院
庄内支部	1	野坂 美穂	看護師	鶴岡協立病院

令和7年度日本看護協会代議員・予備代議員候補者 名簿

令和7年度代議員(8名)				
支部名	氏名	職能	勤務先	
全区	菅野 弘美	看護師	山形県看護協会	
全区	長堀 理代	助産師	山形県立新庄病院	
山形支部	藤田 由樹	看護師	西川町立病院	
山形支部	鈴木 希	保健師	中山町健康福祉課	
最北支部	花輪 みちる	看護師	北村山公立病院	
庄内支部	奥井 麻里	看護師	鶴岡市立庄内病院	
置賜支部	佐藤 千穂	看護師	米沢市立病院	
全区	堀 正浩	准看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院	

令和7年度予備代議員(8名)				
支部名	氏名	職能	勤務先	
全区	石井 美喜	保健師	鶴岡市役所	
全区	後藤 道子	助産師	山形県看護協会	
山形支部	高橋 真理子	看護師	山形市立病院済生館	
山形支部	杉沼 妙子	看護師	みゆき会病院	
最北支部	芳賀 真紀子	看護師	山形県立新庄病院	
庄内支部	久保田 律	看護師	日本海酒田リハビリテーション病院	
置賜支部	船山 ヒロ子	看護師	米沢市立病院	
全区	菊地 玲子	准看護師	吉岡病院	

令和6年度支部改選役員候補者 名簿

支部副支部長(4名)				
支部名	任期	氏名	職能	勤務先
山形支部	1	難波 夕子	看護師	至誠堂総合病院
最北支部	1	芳賀 真紀子	看護師	山形県立新庄病院
庄内支部	1	齋藤 由紀	看護師	本間病院
置賜支部	1	副田 恵美	看護師	白鷹町立病院

支部会計(4名)				
支部名	任期	氏名	職能	勤務先
山形支部	1	飯野 千夏	看護師	訪問看護ステーションやまがた
最北支部	1	吉田 美里	保健師	戸沢村役場
庄内支部	1	鈴木 恵	看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院
置賜支部	1	佐藤 千穂	看護師	米沢市立病院

支部書記(4名)				
支部名	任期	氏名	職能	勤務先
山形支部	2	後藤 順子	看護師	東北中央病院
最北支部	1	斉藤 千宗	保健師	真室川町役場
庄内支部	1	小野寺 麻友	看護師	庄内余目病院
置賜支部	1	船山 久美	看護師	公立置賜総合病院

第二号議案

公益社団法人山形県看護協会役員の報酬等の総額上限改定(案)について

1 現況

公益社団法人山形県看護協会役員の報酬等の総額上限については、公益社団法人に移行時の平成24年6月15日に開催された通常総会において、1,700万円と決議されたが、その後改定はされていない。

この間、常任理事を2名から3名体制にするなどの組織強化を行い、また、公務員では今年度から定年延長制度が導入されるなど、当時とは社会経済情勢も変化している。

引き続き、当協会の円滑な運営を図るためには、経験豊富で先見性を持つ役員の確保が必要であり、その職務に相応しい処遇改善が必要となっている。

2 改正概要(案)

現在の上限額1,700万円を2,500万円に改正する。

【参考：所要見込み額】

1 常勤役員

(単位：円)

役職	月額報酬	賞与	通勤手当	計
会長	310,000×12月 = 3,720,000	310,000×3.25月 = 1,007,500	31,300×12月 = 375,600	5,103,100
常任理事	286,000×12月 = 3,432,000	286,000×3.25月 = 929,500	16,100×12月 = 193,200	4,554,700
常任理事	286,000×12月 = 3,432,000	286,000×3.25月 = 929,500	28,300×12月 = 339,600	4,701,100
常任理事	286,000×12月 = 3,432,000	286,000×3.25月 = 929,500		4,361,500
計	14,016,000	3,796,000	908,400	18,720,400

2 非常勤役員

(単位：円)

区分		積算	計
常務理事会	役員手当	(2人×3,000+1人×5,000)×3回	33,000
理事会	役員手当	(17人×3,000+1人×5,000)×7回	392,000
	旅費	18人×1,000×7回+31,380×3回	220,140
その他 依頼業務	役員手当	3,000×延10人	30,000
	旅費	2,925×延10人	29,250
計			704,390

事業報告

事業名 「令和5年度 山形県看護協会地域の看護力強化支援事業」	
【目的】 地域の看護職団体が支部と連携し、地域における看護職間の恒常的なネットワーク等、地域看護力の強化及び会員拡大を図る。	
【内容】 目的に沿って4地域5団体が事業を計画し実施・評価を行った。 1. 庄内地域看護管理者ネットワーク会議 1) 構成員 代表：鶴岡市立荘内病院 副院長兼看護部長 原田あけみ 庄内地域の14病院、看護協会庄内支部長、庄内保健所、訪問看護ステーション、介護保健施設等の看護管理者 2) 目標 (1) 庄内地域の看護職間のネットワークを堅持し地域の課題解決に向けた取組みを推進する (2) 庄内地域の専門・認定看護師との連携を強化し、庄内地域の看護の質を保証する 3) 活動報告	
5月16日	第1回事務局会議 (Web) 参加者 (7名) 1. 顔合わせ、事務局体制確認 2. 令和4年度事業成果報告について 3. 令和5年度事業活動について 4. 庄内地域看護管理者ネットワーク会議設置要綱について 5. 令和5年度活動計画について 6. 令和5年度専門・認定看護師一覧について
6月9日	第1回庄内地域看護管理者ネットワーク会議 (Web) 参加者 (18名) 1. 令和4年度事業成果報告 2. 令和5年度事業活動について 3. 令和5年度年間活動計画について 4. 庄内地域看護管理者ネットワーク会議設置要綱について 5. 令和5年度庄内地域看護管理者ネットワーク会議構成員連絡名簿 6. 令和5年度専門・認定看護師一覧表について 7. コロナ5類変更に伴う各施設の情報交換
8月8日	第2回事務局会議 (Web) 参加者 (6名) 1. 研修会開催・参加について (看護協会庄内支部合同研修会、庄内高齢者ケア学会) 2. チャットワークについて
9月16日	第2回庄内地域看護管理者ネットワーク会議 看護協会庄内支部との共同研修会 参加者 (16名) 1. テーマ「コロナ禍を経ての今～お互いの看護職の活動を知る～」 発表 庄内保健所 保健企画課地域保健主幹 阿部浩子氏 日本海総合病院 副院長兼看護部長 佐藤由紀氏 医療法人みつわ会 総看護師長 高橋勝江氏 訪問看護ステーションにこ 所長 川俣沙織氏 2. 対象：看護職、介護職、看護学生
9月22日	第3回地域看護管理者ネットワーク会議 (Web) 参加者 (11名) 1. 庄内高齢者ケア学会への参画
12月5日	第3回事務局会議 (Web) 参加者 (7名) 1. 行政保健師との意見交換会について協議 2. 看護協会次年度研修会について 3. 次年度役員体制について
1月16日	第4回事務局会議 (Web) 参加者 (7名) 1. 2月16日研修会について 2. 次年度役員体制について 3. 令和5年度第2回庄内地域保健医療協議会報告
2月16日	庄内地域看護管理者ネットワーク会議 研修会開催 (Web) 参加者 (137名) テーマ：「地域包括ケアを進めていくために看護管理者に期待すること」 講師：庄内保健所 所長 蘆野吉和先生 対象：看護管理者、行政保健師統括者、ネットワーク会議会員施設：病院、保健所、訪問看護事業所、介護老人施設
4) 評価 (5段階評価：3) 理由 年間計画に沿ってネットワーク会議を開催することが出来た。 良かった点 ・庄内地域の看護管理者が所属の枠を超えて活動することで相互理解とネットワークの強化に繋がった。 ・看護協会庄内支部との協働企画研修会開催、庄内高齢者ケア学会の参画、保健所所長を講師に研修会を開催、これからの地域医療の方向性、看護管理者として行動すべきことについて共有できた。 ・情報共有ツール (チャットワーク) を導入したことで、迅速な情報共有体制が整った。 ・庄内地域の専門・認定看護師、特定行為研修修了者一覧表の更新と配信、活動実績を共有し更なる活用推進に取り組めた。 困難だった点 地域の課題共有はできたが、課題解決に向けた実践レベルでの具体的な取組みが困難だった。	
2. 西北村山地域等看護力連携会 1) 構成員 代表：山形県立河北病院 副院長兼看護部長 高橋弘美 西北村山地域の11病院及び診療所・9訪問看護ステーションの看護管理者、看護協会山形支部長、村山保健所、4市3町保健師 2) 目標 (1) 職場を超えた看護職等のネットワークにより、各施設・行政間での取組みについて情報共有し連携を図りながら地域の看護力強化を図り、人々が住み慣れた地域で最後まで暮らせる地域づくりに寄与する 3) 活動報告	
5月31日	第1回事務局会議 参加者 (5名) 場所：県立河北病院2階会議室 1. 新役員役割分担、今年度の連携会事業の進め方、連携会の活動計画

8月7日	第1回西北村山地域等看護力連携会 参加者(19名) 場所:サハトベに花研修室 1. 自己紹介 2. グループワーク「2025年問題を目前にして人々が住み慣れた地域で最後まで暮らせるための地域づくりを考える」—各施設での課題の共有と解決に向けた取り組み— 病院2グループ、訪問看護事業所2グループ作成
12月19日	第2回西北村山地域等看護力連携会 参加者(7名) 場所:県立河北病院2階会議室 1. 病院、訪問看護ステーションにおける現状と課題 グループの課題や取組の共有と共通課題のまとめ 2. 第3回連携会に向けて、行政に対する質問、要望、課題の取りまとめ 県・市町の取組みについて確認事項、要望等のとりまとめ
2月21日	第3回西北村山地域等看護力連携会 参加者(25名) 場所:県立河北病院2階会議室 1. 第1回、第2回西北村山地域等看護力連携会の概要報告 2. 意見交換 あらかじめ行政機関に対して質問・要望について情報提供していただいたことを事前資料として配付 1) 病院における患者の情報共有窓口について 2) 行政機関からの情報提供 【市町より】 ①地域住民へのACPについて啓蒙活動の取組状況 ②独居や高齢者世帯への対応状況 ③ごみ屋敷化している家屋についての対応状況 ④独居や高齢世帯で夜間に具合が悪くなった場合の対応、交通手段など ⑤身寄りのない人が夜間や休日に亡くなられた場合の対応 ⑥保証人がいないと施設入所が厳しい現状、今後増加する事例のためこのような人への対応と取組について ⑦65歳になると障がい者保険から介護保険への変更を勧められる現状について 【保健所より】 ①地域住民へのACPについての啓蒙活動の取組状況について ②西村山地域で往診医が減少、北村山地域では泌尿器科医師不足。地域での診療科偏在に対する県としての取組み、考えについて ③村山地域入院支援の手引き活用と今後の方向性について ④65歳未満の障がい者に対する支援内容の情報提供
3月6日	第2回事務局会議 参加者(5名) 場所:県立河北病院2階会議室 1. 連携会の事業報告について、次年度計画について

4) 評価 (5段階評価: 4)

理由 年度当初に実施要領を作成し、取り組むテーマを決めて年間計画を立案、事業を実施できた。アンケート結果では、満足・やや満足とする評価がほとんどであった。

良かった点

会議等への参加率が高かった。対面での会議を開催したことで参加者の満足度が高かったようだ。行政機関から多数の参加があり、照会事項に対して回答が提供され連携会の中で、さらに詳細内容を共有できた事項があった。

困難だった点

事務局の負担が大きい。事務局会議の日程調整が困難だった。会議案内について施設長への案内が必要な施設があり区別してメールする手間があった。連携会参加者への一斉メール送信ではFAXや個別対応をしたりスムーズにいかなかった。文書回答では期日まで回答がなく、また、回答不足など再連絡が必要だった。

3. 東南村山地域施設等看護管理者ネットワーク会

1) 構成員 代表: 医療法人社団松柏会至誠堂総合病院 看護部長 犬石里香

11病院、7訪問看護ステーションの看護管理者、保健所保健師、2市保健師

2) 目標 (1) 地域の看護提供体制の推進と看護力強化を図る (2) ネットワークの構築と継続

3) 活動報告

6月6日	第1回事務局会議 参加者(4名) 1. 事務局体制について(前年度山形支部長が事務局として参加があったが役員の動向が不明のため、今年度は4名体制として運営) 2. 令和5年度の事業計画について協議、提出書類の確認 3. 第1回ネットワーク会議の議題と役割分担を確認
7月25日	第1回ネットワーク会議 参加者(13名) 1. 令和5年度活動報告、事業の成果報告、会計報告、アンケート結果報告、令和6年度事業計画案について説明し承認 2. 行政保健師より情報提供: 新型コロナ感染に関して在宅・介護施設や地域の状況、ワクチン接種など今後の動向について話しがあり意見交換 3. 新型コロナ感染に関して、各施設の課題の共有
9月11日	第2回事務局会議 参加者(4名) 1. 第2回ネットワーク会議の議題について 2. 構成員施設のプレゼンテーションの進め方について 3. 新型コロナ感染症の影響で施設訪問は一旦保留 4. 第4回ネットワーク会議研修企画について協議「人材確保や働き方」をテーマに講師を選出
9月29日	第2回ネットワーク会議 参加者(17名) <前半>・情報交換: 看護師不足の課題共有、労働条件や働き方の工夫など 行政より地域の感染症状況の情報提供、看護協会より他のネットワーク会の取組み状況紹介 <後半>・施設紹介プレゼンテーション(7施設)+メンバー以外16名 ・ハイブリッド開催、各施設の連携室からの参加を呼びかけ質疑応答の場を設けた

11月29日	第3回事務局会議（Webハイブリッド） 参加者（4名） 1. 第3回ネットワーク会議の議題について 2. 施設プレゼンテーション（第2弾）の進め方について
12月14日	第3回ネットワーク会議 参加者（16名） <前半>・情報共有：新型コロナウイルス感染症に関して、年末年始の面会制限について施設の対応共有 看護師不足（特に夜勤者）への課題と対応について <後半>・施設紹介プレゼンテーション（10施設） ※うち1施設は資料のみ+メンバー以外6名参加 開催方法は前回同様に実施
1月22日	第3回事務局会議 参加者（4名） 1. 研修企画はテーマに沿って、看護協会若月会長へ依頼。具体事例の紹介を看護協会菅野理事に依頼 2. タイムスケジュールや予算の調整、R5年度活動評価アンケート内容の検討
2月29日	第4回ネットワーク会議 参加者（13名） ・情報交換として各施設の労働実態などを共有。 ・研修会 メンバー13名+メンバー外40名 ①「これからの看護職の人材確保、働き方について」講師：山形県看護協会 会長 若月裕子 ②「2交代制導入について」講師：山形県看護協会 常任理事 菅野弘美 ③質疑応答によるディスカッション
3月12日	第5回事務局会議 参加者（4名） 1. 令和5年度活動評価と会計報告、アンケートを基に様式5. 7. 8の事項を評価 事年度より事務局として2名参加することを内諾、次回ネットワーク会議で決議（承認） 2. 令和6年度活動について、事業計画・事務局体制（案）について協議

4) 評価（5段階評価：4）

理由 計画通りに実行し看護管理者としての課題を共有できた。施設プレゼンテーションでは連携室看護師やMSWの参加があり情報共有の場となった。

良かった点 タイムリーな研修を企画し各施設の現状の課題解決として活かせることができた。また、ざっくばらんな意見交換会が出来た。

困難だった点 ネットワーク会作成の看護サマリーの活用が共有できなかった。業務の都合上、訪問看護事業所や介護施設からの参加が難しかった。

4. 東南村山地域看護管理者会

1) 構成員 代表：山形大学医学部附属病院 副病院長 看護部長 鈴木ひとみ
7病院看護管理者、看護協会山形副支部長、保健所保健師、1市2町保健師

2) 目標 (1) 東南村山地域の看護職間のネットワークの構築を図る
(2) 東南村山地域の課題解決に向けた取組みを推進し、地域の看護力強化を図る
(3) 地域の会員拡大を図る

3) 活動報告

6月2日	第1回事務局会議 参加者（8名） 1. 令和5年度看護力強化支援事業への申請について 2. 令和4年度事業計画（案）について 3. 令和4年度スケジュール（案）について 4. 令和4年度第1回東南村山地域看護管理者会の内容について
7月24日	第1回東南村山地域看護管理者会 参加者（14名） 1. 令和5年度看護力強化支援事業への申請について 2. 令和5年度事業計画について 3. 令和5年度スケジュールについて 4. 情報交換 新型コロナウイルス感染症5類への変更後の現状と感染対策について 第2回事務局会議 参加者（9名） 1. 第2回東南村山管理者会の内容について 2. 今後の看護管理者会の情報交換の方法等について
11月27日	第2回東南村山地域看護管理者会 参加者（12名） 1. 施設見学 テーマ「がん治療の新たな選択肢重粒子治療を理解する」 山大医学部附属病院 東日本重粒子センター 第3回事務局会議 参加者（8名） 1. 第3回東南村山地域看護管理者会の内容について 2. 看護協会常任理事より、地域看護管理者ネットワーク会及び連携会の取組みについて
1月29日	第3回東南村山地域看護管理者会 参加者（11名） 1. 地域移行支援において工夫していること 2. 定年延長制について 3. 看護補助者の活用と連携について 第4回事務局会議 参加者（7名） 1. 地域の看護力強化支援事業に関する今年度活動の評価 2. 次年度の事業計画案について

4) 評価（5段階評価：3）

理由 対面開催によりネットワーク構築につながった。アンケートで構成員のニーズを把握しテーマを決めたことにより会議での情報交換は「自施設の取組に繋がられるなど参考になった」という意見が多かった。会員拡大の推進について、自施設内の推進に留まってしまった。具体的な推進活動の検討が必要だった。

良かった点 感染状況を鑑みながらも、参集で直接情報交換が出来たこと。

困難だった点 会議の中で行政と病院との共通課題が抽出できず、解決策の検討に至らなかった。テーマによっては事前準備の検討が必要であった。

5. 置賜地域看護管理者会

- 1) 構成員 代表：医療法人社団緑愛会 川西湖山病院 看介護部長 長谷部まゆみ
15病院、3訪問看護ステーションの看護管理者、看護協会置賜支部長、保健所保健師
- 2) 目標 (1) 置賜地域15病院・訪問看護事業所の看護管理者、行政保健師、看護協会が連携して地域が抱える課題の共有や解決を図る
(2) 看護協会置賜支部と連携し研修会等への参加率向上、および看護力の強化を図る
- 3) 活動報告

5月18日	第1回事務局会議 参加者（5名） 場所：米沢市立病院 1. 令和5年度事務局体制について 2. 置賜地域看護管理者会設置要綱について 3. 令和5年度「地域の看護力強化支援事業」の報告 4. 令和6年度「地域の看護力強化支援事業」への参加申請、事業計画案について 5. Web会議の活用について 6. 活動計画（案）について
6月22日	第1回置賜地域看護管理者会議 参加者（17名内7名Zoom参加） 場所：米沢市立病院 1. 新メンバー紹介 2. 令和5年度「地域の看護力強化支援事業」報告 3. 令和6年度「地域の看護力強化支援事業」計画（案）について 4. 置賜地域看護管理者会設置要綱改訂について 5. 令和6年度活動計画（案）について 6. 看護協会置賜支部報告 7. 置賜保健所より新型コロナ感染症最新情報提供と小中学校への学習支援依頼 8. 各施設情報共有
9月7日	第2回事務局会議 参加者（6名） 場所：佐藤病院 1. 第2回置賜地域看護管理者会について（10月23日13時30分～新病院見学） 2. 第3回事務局会議について 3. 置賜支部研修会協賛について 4. 感染症対策について情報共有 5. 活動に関するアンケート実施について
9月14日	看護協会置賜支部研修会への協賛 第1回研修会 山形県看護協会 会長講話、皮膚排泄ケア認定看護師講義
10月23日	第2回置賜地域看護管理者会 参加者（13名） 場所：米沢市立病院 1. 置賜支部第1回研修会報告 2. 活動内容に関するアンケート実施依頼 3. 新病院見学会及び情報交換会（米沢市立病院・三友堂病院）
11月24日	看護協会置賜支部研修会への協賛 第2回研修会 新人～卒後3年目研修、小児看護専門看護師講義
12月	置賜地域看護管理者会活動へのアンケート実施
3月1日	第3回事務局会議 参加者（6名） 場所：公立置賜総合病院 1. アンケート結果について 2. 令和5年度「地域の看護力強化支援事業」報告について 3. 令和6年度置賜地域看護管理者会の体制について（事務局、次期代表、参加施設等）

4) 評価（5段階評価：3）

理由 11月に米沢市立病院と三友堂病院が医療連携・機能分化し新病院を開設した大きな事業展開の中、看護管理者同士が情報共有し新病院見学会を実施することが出来た。新型コロナ感染症は相変わらず、活動範囲を模索しながら新たに置賜支部研修会へ協賛する取り組みを行った。看護管理者が研修会への参加を促すことで参加者数が増加、看護の質向上にもつながると考える。会議はオンラインを併用し柔軟に対応した。目標の1.2については達成することができた。

良かった点 新病院見学は最新機器や情報共有端末を知り大変参考になった。参集型開催ができたが、オンライン併用で参加し易く新病院移転やコロナ禍の中でも負担なく情報共有できた。置賜支部と協働した研修会を開催し参加者増につながった。

困難だった点 感染対策等で会議や研修会等へ参加できなかった。課題の共有や解決にはディスカッションする機会が少なかった。他施設見学や職員交流研修。訪問看護ステーションとの交換研修等の再開に対する期待が大きい。

【評価と課題（まとめ）】

令和5年度は最上地域からの事業申請がなく4地域5団体の活動であった。また、庄内と置賜地域ではこの事業によって構築されてきたネットワークの活用とともに各支部と連携した取り組みを行った。各地域の代表からは事業運営が負担と感じるという意見があったが、全体の評価は3～4という結果であった。

令和6年度は「地域の看護力強化支援事業実施要項」と名称を変更、申請や報告に必要な様式を整理し負担軽減を図っていく。

事業費：229,898円

事業報告

事業名 山形県看護協会「出前授業」講師派遣事業

【目的】

公益社団法人として、県民特に小、中、高校生に対する「いのちの教育」、「性の健康に関する知識」及び「看護の仕事」、「進路相談」等の授業を通し、生命や性、キャリア形成、看護の仕事への理解と関心を促し、青少年の健全な育成に寄与することを目的とし講師派遣を行う。

また各年代、および幅広い対象に対して実施することにより、広く県民に向けて「いのちの教育」の普及・啓発活動を推進していく。

【内容】

1. 事業内容

依頼のあった学校等に山形県看護協会の「性の健康支援ネットワーク登録会員」又は、「山形県看護協会会員」を講師として派遣し、「出前授業」の実施・報告までの一連の業務を行う。

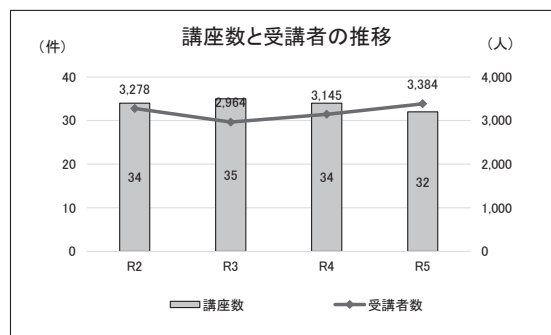
2. 対象

県民及び山形県内の小・中・高等学校の生徒、保護者、教職員

3. 実施講座数

- 1) 「いのちの教育」「性の健康教育」 2) 「看護の仕事」
32講座、参加者 合計3,384名 実施なし

施設別	令和5年度 地域・施設別実施数				
	全体	村山地域	最上地域	庄内地域	置賜地域
講座数	32(27)	19(15)	7(6)	0	6(6)
小学校	10(9)	7(6)	0	0	3(3)
中学校	13(11)	7(5)	3(3)	0	3(3)
高等学校	8(6)	5(4)	3(2)	0	0
その他	1(1)	0	1(1)	0	0



4. 参加者の感想

- ・大切ないのち。今日はいのちのべんきょうで、自分の身体は自分の物だから、これからも大切にしようと思いました。お母さん、お父さんが大切に育ててくれたから、これからもいのちを大切にしようと思いました。(小学3年生)
- ・一億分の一の確率で自分が生まれてきたと思うと神秘的だと思った。精子と卵子が結びついてくれたことに感謝したいと思った。今の時代が多様性だということに対して自分の近くにももしかしたらいるかもしれないと感じた。思春期が始まり、いろいろ悩むことも増えると思うけど、一人で抱えず身近な人に相談することが大切だと感じました。(中学1年生)
- ・男性と女性の身体にはたくさんの違いがあり、体だけでなく、精神的にも違いがあることが分かった。性に関する病気についても学び、自分だけではなく、相手にも迷惑になってしまうので気を付けたい。(高校1年生)

5. 実施状況

令和5年度は27施設より申し込みがあり、32講座の実施であった。全施設が対面で実施。今年度より開始した見学には9名(性の健康支援ネットワーク会員4名、未登録者3名)の参加があった。

【評価と課題(まとめ)】

1. 日本看護協会では、「看護の日・看護週間」の事業の目的として2021年度以降、新たに看護人材の確保を加えた。進路選択における看護職への志望者の増加を目標に、若年層への情報発信の強化を掲げている。前年度に引き続き看護の仕事の紹介も入れて実施いただくように各講師に依頼した。看護師や助産師を目指しているという生徒や、担当教諭からも「キャリア教育の面からも貴重な機会となった」との感想があり、「いのちの教育」を通し、看護職の魅力の発信にも繋がったと考えられる。
2. 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、各学校で感染対策を行い、全講座が対面での実施となった。生徒以外の保護者や教師たちの参加が前年度より多く、全体的な受講者の増加に繋がったと考えられる。しかし、今年度の新規申込はなく、講座数は前年に比べ減少した。より多くの学校や団体に活用していただけるよう周知の方法など検討していく必要がある。
3. 社会の多様化が進展する中、学校側から講師へ求められる講義内容にもLGBTQや子宮頸がんワクチンに関する内容などが盛り込まれるようになってきている。いのちの教育推進委員会と協力し、「性の健康支援ネットワーク活動指針」の改定や、「性の健康支援ネットワーク」会員募集動画のYouTube掲載、会員証の作成などを実施した。講師層の拡大や充実した「出前授業」へと繋がるよう、見学の実施や研修会の開催など、今後も委員会と協力し取り組んでいきたい。

事業費：47,000円

事業報告

事業名 「令和5年度訪問看護ステーション新庄サテライトまむろ川運営事業実績」

【目的】訪問看護ステーション空白地域に開設し、安定した事業運営を行い、地域住民に質の高い看護を提供し在宅医療を推進する。

【内容】

令和5年度事業

- 4月1日 真室川町と職員派遣協定 真室川町立病院 看護師 黒坂真知子
 金山町と職員派遣協定 金山町職員 看護師 栗田静香
 派遣先：山形県看護協会訪問看護ステーション新庄及びサテライト事業所
 期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日
- 6月28日 訪問看護ステーション新庄サテライトまむろ川に係る町村長と県看護協会の情報交換
 訪問看護ステーション新庄サテライトまむろ川連絡調整会議
- 12月4日 訪問看護ステーション新庄サテライトまむろ川運営会議
 ステーションの状況について、派遣元、派遣先での取組について情報交換

1 安定的運営

1) 訪問看護事業の展開

利用状況及び給付状況

年月/内訳		計	新規	終了	真室川町	金山町	鮭川村
令和4年度	計	408	31	32	196	125	86
	月平均				16.3	10.4	7.2
令和5年度	計	510	36	35	228	169	113
	月平均				21.5	12.9	5.2

利用実績

年月/内訳		収入	介護	医療	その他の収入
令和4年度	計	14,464,558	11,951,698	2,413,460	99,400
	月平均	1,205,379	995,974	201,121	8,283
令和5年度	計	15,944,394	14,649,285	1,195,012	100,097
	月平均	1,328,699	1,220,774	99,584	8,341

2. 安全で質の高い看護の提供（職員の資質向上）

- 1) 管理者によるOJT
- 2) 月1回訪問看護活動状況報告（病院及び診療所に帰院） 月1回カンファレンスと評価
- 3) 事例検討、デスカンファレンス
- 4) 訪問看護ステーション新庄サテライトまむろ川派遣事業について意見交換

3. 公益目的事業の強化 地域密着事業の展開

- 1) 地域ケア会議への参加

4. その他

- 1) 厚生労働省地域医療計画課外来・在宅室からのヒアリング

【評価と課題（まとめ）】

- 1 サテライトの体制が4月から2名体制となり、安定して看護を提供できるようになった。
- 2 看護職主体の運営会議を開催し派遣元・派遣先の課題を共有し、サテライト、病院、診療所にとって効果的な人材育成となるようすることが課題である。
- 3 令和5年度の収支決算では、収入15,944,394円、支出13,124,208円で2,820,186円利益があり3町村からの看護協会への負担はなかった。

事業報告

事業名 2023年度「自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント」
【目的】 ・看護学生や保健師資格保有者等に自治体保健師の活動内容や魅力を発信する。 ・地域における各自治体の保健師の魅力・情報を発信し、自治体への就職につなげる。
【内容】 日時：令和5年12月2日（土）13：00～16：00 第1部「自治体保健師の活動内容や魅力発信のためのWebイベント」 講演①都道府県の自治体保健師神奈川県平塚保健福祉事務所保健予防課長 山田佳江氏 コロナ禍での具体的な活動内容の報告を通じ、都道府県における保健師の役割や仕事内容について紹介 講演②市町村の自治体保健師福知山市保健部地域包括ケア推進課課長 高山明子氏 母子保健、障害者支援等の分野の説明を含め、市町村で働くことの魅力について紹介 講演③へき地で勤務する自治体保健師十島村役場健康福祉室 肥後あかね氏 へき地（離島など都市部から遠く離れた地域）で働く具体的なイメージが湧くよう、自治体保健師の1日（1週間）や日常生活を含めて紹介 [座談会] 座長：名古屋市守山区保健福祉センター保健予防課課長 荒川緑氏 講演者：講演①～③の3名 第2部「自治体保健師との相談会」 ・山形県自治体保健師の仕事紹介 ①山形市での中核都市の保健所における保健師の取組の紹介 ②最上町での保健師の取組と町の紹介 ③鶴岡市での保健師の取組と鶴岡市の紹介 ・自治体のお仕事相談ブース ・なんでも相談ブース 相談対応：山形県看護協会保健師職能委員7名 参加者：14名（県内11名、県外3名）
【評価と課題（まとめ）】 1. 保健師の仕事をPRする機会は少なく、保健師を目指す学生から、具体的な話を聞くことができよかったですと好評だった。また、疑問に思っていたことを直接現場の保健師さんに聞くことができ、進路を考えるうえで参考になったとイベントの目的は果たせた。 2. 保健師自身も自分たちの仕事を学生に説明するにあたり、改めて保健師の仕事について考える機会となり、初心を思い出し、また頑張ろうという前向きな気持ちになれた。 3. 保健師の仕事の魅力を学生に伝える機会を作ることが課題である。
委託事業費：104,351円

事業報告

事業名「看護補助者の確保に向けたキャンペーンウィーク事業」
【目的】 求職者に対する看護補助者の認知度の向上を図り、看護補助者の確保・定着につなげる。
【内容】 1 キャンペーンウィークの周知活動 ・キャンペーンウィーク及びイベントのチラシを、県内8か所のハローワーク、福祉人材センター及びマザーズジョブサポートに訪問及び郵送で依頼し周知を行った。 ・山形県看護協会ホームページ、Facebook及び広報誌「山形いぶき」に掲載し周知を行った。 2 求職者に対する看護補助者イベントの実施 ・「看護補助者のお仕事体験会」の開催 日 時：8月30日（水）10時～11時 場 所：篠田総合病院 参加者：7名 内 容：看護師1名、看護補助者2名が看護補助者の仕事や体験内容の説明・指導を行った。 （麻痺のある患者のベッド上での更衣、車いす移乗、ストレッチャーによる搬送など） アンケート結果より、参加者7名中6名が「看護補助者を職業選択のひとつに考えられる」と回答しているため、体験会に参加することで、認知度の向上につながったと考える。 3 県内看護管理者や病院に対する看護補助者の確保・定着に関する働きかけとリーフレットの配布 ・県内看護管理者懇談会（7月27日Web開催）にて、事前に送付したリーフレット及び「看護補助者のお仕事体験会」について説明・周知を行った。
【評価と課題（まとめ）】 ・今回、初めての事業であり、体験会への参加者がどのくらいになるか未知数であった。そのため、村山地域での開催のみとしたが、他の地域からの参加者は2名のみであり、遠方からは参加しづらい状況であった。 ・今後事業を行うとしたら、開催場所や回数を検討していく必要がある。 ・県においても、令和5年度、同様の事業を行っており、協力しながら事業を行っていきたい。
委託事業費：115,946円

事業報告

事業名「新型コロナなど新興感染症等に係る看護職員等確保事業」災害支援ナース養成研修

【目的】

新型コロナウイルス感染症等の新興感染症及び災害の発生時に、他の医療機関等への応援派遣等に的確に対応できる看護職員を養成するための研修を実施し、当該研修修了者のリスト化を図ることにより、今後の新興感染症及び災害の発生に際して、都道府県において迅速に看護職員等の確保を図るための体制の整備を推進することを目的としている。

【内容】

1. 災害支援ナース養成研修の運営および実施
 - 1) 集合研修の企画・準備・実施
 - 2) 周知・申込受付
 - 3) 受講決定および一部受講免除者の決定
 - 4) 修了証の作成・授与
2. 研修修了者リストの提出（日本看護協会・山形県に提出）・事業報告

災害支援ナース養成研修

1. 対象者 災害及び新興感染症に係る応援派遣対応看護職員を目指す者※免除規定あり
2. 定員：50名
3. 開催日
 - 1) オンデマンド研修 9月15日～10月19日 ※集合研修の5日前までに修了すること
 - 2) 集合研修 10月24日 災害支援活動編
10月25日 感染症対応編 ※オンデマンド研修修了した者が対象
4. 実績
 - 1) オンデマンド研修 54名修了（1名は勤務の都合により集合研修を辞退）
集合研修 53名修了
➔53名の研修修了者リストを提出
 - 2) アンケート結果
理解度・満足度に関し、「理解できた」「だいたい理解できた」が85%と高い評価を得た。
 - 3) その他
災害支援ナース募集用ポスター・チラシの作成・配布
ポスター：100枚 チラシ：2,000枚

【評価と課題（まとめ）】

令和6年度より、感染症発生まん延時における医療人材派遣等の調整の仕組みについて、国が養成・登録する「災害・感染症医療業務従事者」に位置づけられることになり、自然災害、感染症支援に係る看護職の応援派遣体制の仕組みが構築され、新たな「災害支援ナース」の育成が令和5年度より始まった。

- 1 令和5年度は初年度ということもあり、新しく加わった感染症分野の講義内容に他県との相違があることが懸念されたが、日本看護協会が実施した「企画・指導者研修」で検討した内容等をもとに、今後は、講義内容のマニュアル化なども検討予定のため研修企画の参考にしていきたい。
- 2 今後、山形県と県内医療機関が派遣に関する協定締結に向けた取り組みを実施することから、災害支援ナース養成研修修了者であっても、派遣要請とならない場合があることが今後の課題である。
- 3 物品の準備や開催会場により、他県の研修内容の相違を懸念されたため、情報収集に努める必要がある。
- 4 災害支援ナースの新たな仕組みや研修内容について、再度周知していく必要がある。

委託事業費：639,267円

事業報告

事業名「令和5年度山形県助産師活用推進事業」

【目的】

助産師就業の偏在の把握や実践能力の高い助産師の育成、院内助産・助産師外来に関する講演やセミナー等を行い、助産師就業の偏在解消、助産実践能力の強化及び産科医師と協働し、院内助産・助産師外来の普及や理解促進等を図るもの。

【内容】

1. 事業実施状況

1) 協議会の開催（Web開催）

(1)第1回協議会：10月18日

①令和5年度事業計画について ②分娩取扱施設実態・意向調査結果報告 ③令和5年度事業推進状況の報告等

(2)第2回協議会：2月19日

①令和5年度事業報告 ②令和6年度事業計画（案）について

2) 助産師就業に関する実態・意向調査：6月

調査結果を協議会と管理者交流会等で報告

3) 助産師出向の支援：今年度は助産師出向の実績なし

4) 県内分娩取扱医療機関看護管理者等の意見交換会、助産師等の交流会（Web開催）

(1)看護管理者、産科看護管理者、助産所管理者、助産師等の意見交換会：12月22日 参加者17名

テーマ：産科混合病棟における母子と他科患者により良いケアを提供するために

(2)看護管理者・産科看護管理者・助産師等の交流会：2月9日 参加者27名

テーマ：短期交流研修を活用し助産実践能力を高めよう

5) 助産実践能力向上に向けた研修会開催

(1)CLoCMiP[®]レベルⅢ申請研修：10月27日 参加者9名 内容：CTG、産科出血等

(2)短期交流研修：開催期間7月26日～12月8日

受入施設：6病院、1助産所 研修会回数15回 延べ受講者数25名

内容：助産師外来、母親学級、産後ケア、フリースタイル分娩、BFHの実際、助産所における骨盤ケア・乳房ケア、ハイリスク妊婦の支援、NICUにおける児の管理等

【評価と課題（まとめ）】

1. 協議会の開催

県内の周産期医療の現状把握、助産師活用の推進や事業の進め方などを協議した。また、事業の啓発活動としてリーフレットを作成・配布し、事業の周知に努めた。今後も事業推進を図っていく。

2. 県内分娩取扱医療機関への助産師就業に関する実態・意向調査の実施

実態・意向調査により分娩取扱医療機関における課題や、ニーズの把握などに努めているが、更に事業に活用できるような調査内容や、効率的な調査方法等について検討していく。

3. 助産師出向について

今年度助産師出向はなかった。今後も意向調査をもとに出向希望状況を把握し、出向元、出向先、コーディネーターと連携をとりながら実施していく。

4. 県内分娩取扱医療機関の看護管理者・産科看護管理者・助産所管理者・助産師等の意見交換会、及び、助産等の交流会の開催

情報交換が行われ、各施設・地域の連携強化にも繋がっている。管理者の参加は多いが、スタッフ助産師の参加が少ない。多くの助産師に参加していただけるように、内容や開催方法・時間など検討していく。

5. 助産師実践能力に向けた研修会の開催

CLoCMiP[®]レベルⅢ申請研修は参加者が毎年減少傾向にあり、開催方法の検討が必要である。

短期交流研修については、受講者、受け入れ施設ともに研修に参加しやすく、延べ25名の受講者となった。受講者からは「自分の知識を深められ、自施設でも取り入れていきたい。他施設の方と情報交換ができて、新しい発見や学びがあった。」と満足度の高い研修となっている。受け入れ施設からも「良い刺激になる。情報交換や交流が図れてよかった。」との感想も聞かれている。今後も助産実践能力の向上、地域での連携強化に向け企画していく。

委託事業費：993,533円

事業報告

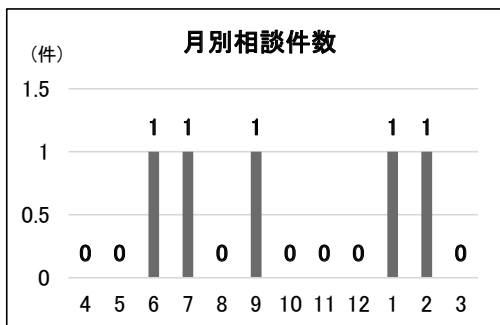
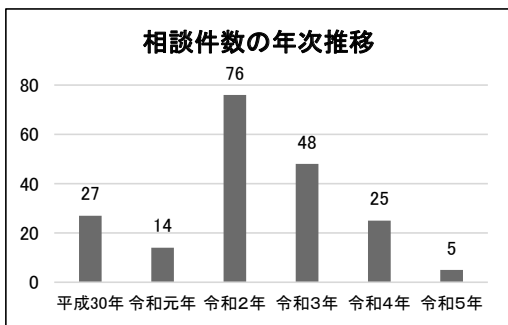
事業名「令和5年度やまがた子育て応援サイトメール相談業務」

【目的】

平成20年より、山形県の委託を受け実施している。妊産婦及び乳幼児期の子供を持つ保護者からのメールによる相談に対し、メールにより回答を行う。情報を提供することで、相談者の不安が軽減し、安心して過ごせるようにサポートしていくことを目的としている。

【内容】

1. 相談件数と相談の時期、内容



1) 相談件数：5件

- ・昨年と比較し、相談件数は20件減少した。
- ・5件のうち、子育て・育児に関する相談が4件、妊娠中の性生活について1件であった。
- ・山形県内在住者からの相談が3件、県外在住者からの相談は1件、居住地不明は1件であった。
- ・母親からの相談が4件、関係不明が1件であった。

2) 具体的な相談内容

- ・妊娠中の性生活について：1件
- ・自身の体調不良による子育ての不安について：1件
- ・胎児の心拍数について：1件
- ・3歳児の対応について：1件（イヤイヤ期について）
- ・胎児への電磁波の影響について：1件

【評価と課題（まとめ）】

1. 回答は原則翌日まで、土日祝日はさむ場合はその翌日までに迅速に回答することができた。メール相談は不足している情報の確認ができないため、メールの文面から様々な状況を想定し、複数の意見を取り入れて回答するよう心掛けた。今後、県と連携を取りながら責任を持って対応していきたい。
2. 相談内容としては、子育ての困りごとや、育児の不安・ストレスなど、日常生活上での困りごとに関する相談が多かったが、件数としては全体的に減少している。コロナ禍の規制緩和により人流が増加したことで、周囲の人々との交流が図りやすくなり、相談しやすい環境ができたことも一因として考えられる。
3. メール相談は、気軽に相談できる一方で、一方通行のやりとりとなり、回答後のフォローができないという課題がある。そのため、回答後も、相談者が一人で抱え込まずに済むよう、可能な範囲で身近な子育て支援センターや市町村の相談窓口を紹介するなど、少しでも相談者自身が次に繋げる対応ができるようにしていくことが重要と考えている。今後もメール相談を通し、安心して子供を産み育てられる環境づくりを支援していきたい。

委託事業費：270,000円

事業報告

<p>事業名「山形県新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設健康管理・相談等事業」</p>																			
<p>【目的】 新型コロナウイルス感染症軽症者が宿泊し療養生活を送る施設（以下「対象施設」）という）に看護師等配置し、新型コロナウイルス感染症軽症者等が病院以外で療養できる受け皿を整備することで、山形県の医療提供体制の充実を図る。</p>																			
<p>【内容】</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設健康管理・相談業務の概要</p> <p>1) 対象施設、村山地域内・庄内地域内・置賜地域</p> <p>2) 業務内容</p> <p>①対象施設で療養する者（以下「療養者」という）への健康管理・相談業務 ②療養者の急変時の対応、③これまで療養者が入院していた病院との調整（情報収集） ④退所する療養者へ退所後の生活に関する留意事項の説明 ⑤対象施設で従事するスタッフへの感染症防護対策の指導、 ⑥その他付帯する業務</p> <p>2 配置される看護師等の管理業務</p> <p>1) 対象施設で従事する看護師等へのサポート（体調管理と把握、勤務交代時の支援） 2) 勤務表作成と勤怠管理（勤務表・実績表の送付と点検確認。令和5年1月より各地域勤務者リーダーが実施）</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症軽症者等宿泊療養施設への看護職等の派遣事業の実績</p> <p>1) 療養応援ナース活動実績（令和5年4月～令和5年5月8日）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域名</th> <th>新規入所者数</th> <th>療養応援ナース数</th> <th>入所者総数（延べ）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>村山地域</td> <td>28人</td> <td>40人</td> <td>128人</td> </tr> <tr> <td>庄内地域</td> <td>9人</td> <td>40人</td> <td>45人</td> </tr> <tr> <td>置賜地域</td> <td>9人</td> <td>40人</td> <td>43人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 療養応援ナースの勤務体制</p> <p>(1) 各地域の感染状況にあわせ、概ね1名の勤務体制とした。</p>				地域名	新規入所者数	療養応援ナース数	入所者総数（延べ）	村山地域	28人	40人	128人	庄内地域	9人	40人	45人	置賜地域	9人	40人	43人
地域名	新規入所者数	療養応援ナース数	入所者総数（延べ）																
村山地域	28人	40人	128人																
庄内地域	9人	40人	45人																
置賜地域	9人	40人	43人																
<p>【評価と課題（まとめ）】</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類に移行し、委託事業も終了となった。残務整理は、看護協会職員で行った。</p> <p style="text-align: right;">委託事業費：3,830,634円</p>																			

事業報告

<p>事業名「令和5年度新型コロナウイルス感染症対応のための看護職員の応援派遣に係る調整業務」</p>			
<p>【目的】 この業務は、新型コロナウイルス感染症の拡大が発生し、看護職員の確保が著しく困難である場合に、県内の医療提供等を継続するため、看護職員の応援派遣調整を行うもの。</p>			
<p>【内容】</p> <p>1 感染症対策応援派遣ナースの応援派遣に係る調整</p> <p>1) 平時より県と情報共有し連携強化に努め、派遣依頼に備えたが、派遣までには至らなかった。 2) 山形県新型コロナウイルス感染症患者受入調整本部会議に計1回参加し、県内及び地域の医療機関等の状況の把握に努めた。 3) 新型コロナウイルス感染症が5月8日から5類移行となり、5月7日で委託業務終了となった。</p>			
<p>【評価と課題（まとめ）】</p> <p>1 看護職員の応援派遣調整のために、会議出席や医療機関等からの情報収集に努めたが、5月8日から5類に移行となり委託事業は終了となった。 2 新興感染症の拡大が起こった際、令和6年度からは、新たな災害支援ナースの派遣体制による派遣となる。</p> <p style="text-align: right;">委託事業費：55,258円</p>			

事業報告

事業名 「山形県新型コロナウイルス感染症等に係る対応人材（IHEAT）の運用業務」

【目的】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、県内保健所（山形市を含む）に大きな業務負担が発生し、県内における職員の派遣だけでは積極的疫学調査等の対応が困難となる場合が想定される。本業務は、前述の場合に人材バンクに登録された外部専門職であるIHEATを有効的に活用することを目的とし、4月1日付山形県と締結し実施した。

【内容】

1. 業務概要：厚生労働省健康局健康課長が発出する運用要領に基づき、登録名簿の管理、県内に在住するIHEATの人材育成及び連絡調整を行う。

2. 業務内容

1) 人材育成

- (1) 感染拡大に備え、県内に居住するIHEATを対象に、新型コロナウイルス感染症に関する最新の科学的知見に基づいた知識や技術の習得を目的とした研修を企画・実施する。
- (2) 研修受講修了者に謝金の支払い（修了要件：eラーニング、集合研修の受講）及び修了証の発行を行う。
- (3) 研修内容と受講状況

① eラーニング研修 受講者数6名

② 集合研修

11月25日（土）9：30～16：30 修了者数6名（1名はレポート提出で修了）

講師：山形県立保健医療大学 石川仁氏， 鶴岡市立荘内看護専門学校 武田世津氏

③ 研修における受講者の到達目標

- 1) 積極的疫学調査を手順に則り実施できる
- 2) 重症度の判断を行うための情報収集ができる
- 3) 濃厚接触者の特定につながる情報収集ができる
- 4) クラスターの早期探知のための情報収集ができる
- 5) 個人情報を適切に扱うことができる
- 6) 倫理的な対応ができる
- 7) 保健所職員と連携・協働できる

2) 登録名簿の管理・更新

- (1) 県内に居住するIHEAT登録者について、支援協力の実績や研修の受講状況等について管理する。
- (2) IHEAT.JP（IHEAT運用支援システム）を活用したメルマガ配信
- (3) 感染拡大時におけるIHEATとの連絡調整支援協力者の募集及び決定や支援協力を必要とする保健所（山形市を含む）との連絡調整を行う。

3. 応援要請への調整状況

今年度は応援要請なし

【評価と課題（まとめ）】

昨年度から引き続きの委託事業。新型コロナウイルス感染症の位置づけが5月8日から5類感染症へ移行したことでIHEAT要員に対する応援要請はなかった。IHEATは、令和5年4月1日より法定化されたことに伴い、新型コロナウイルス感染症以外の感染症のまん延時等、人々の健康危機発生時に活用される仕組みとなった。平時からの体制整備が求められている中、今年度の研修では、これまでのような新型コロナウイルス感染症に特化した内容から、公衆衛生全般における内容でeラーニングと集合研修を組み合わせ実施した。

当事業は今後も継続され、保健所設置自治体である山形市との協働について検討していくこととなっており、県と連携をとりスムーズなシステム運用を図っていく。

委託事業費：1,411,901円

事業報告

事業名 「山形県訪問看護総合支援センター事業」

【目的】

訪問看護の資質向上及び普及啓発、訪問看護の担い手創出、新型コロナウイルス克服のためのネットワーク構築支援訪問看護事業所におけるICT等の活用推進等を通して訪問看護に係る課題を一元的・総合的に解決する。

【内容】

1 経営支援

1) 事業所経営基盤整備支援

(1) 訪問看護相談窓口対応

相談日時：月～金（9時～16時）

場所：山形県看護協会訪問看護会館内 訪問看護総合支援センター

相談対応者：訪問看護相談員、訪問看護師

相談件数：279件（電話224件、面談21件、メール17件、その他（SNS）17件）

主な相談内容：算定等の加算に関すること、介護保険、医療保険のどちらに該当するか、難病対応など複雑な事例も多くなっている。

(2) 訪問看護事業所管理者研修会

管理者研修1

日時：令和5年8月26日（土）13：30～16：30

Web開催 参加人数 34名

内容：「BCP作成フォローアップ研修～地域BCPにつなげよう～」

講師：Wy1株式会社 ウイル訪問看護ステーション浦和所長 在宅看護専門看護師 岩本大希氏

管理者研修2

日時：令和5年11月20日（月）15：00～17：00

場所：山形県看護協会第1研修室 参加人数 72名（訪問看護師24名、ケアマネジャー48名）

内容：「つながろう 在宅療養を支える訪問看護師とケアマネジャー」

講師：在宅看護専門看護師ユニットFIKA主宰 在宅看護専門看護師 徳田喜恵子氏

事例提供 訪問看護ステーションやまがた所長 山川一枝氏

アイノア訪問看護ステーション代表 三澤裕美氏

(3) 訪問看護事業所経営安定化研修会

日時：令和5年10月12日（木）13：30～16：30

Web開催 参加人数 31名

内容：「職場の心理的安全性の確保～ハラスメント対策～」

講師：加藤看護師社労士事務所 加藤明子氏

(4) 訪問看護利用促進に向けた周知

・山形県在宅医療連携情報誌令和5年度版作成し、ホームページに掲載、一部関係機関に配布

・山形新聞8大事業県民健康講座でパンフレットの配布 5月11日、7月6日、10月12日

・キッズタウンやまがたでパンフレット配布 8月6日

・やまがた健康フェアでパンフレット配布 9月23日、24日

(5) 訪問看護総合支援センター事業運営委員会

・7月25日（火）17：30～19：00開催

内容：令和4年度の事業報告、令和5年度の事業計画、令和4年度訪問看護ステーション実態調査について

・3月14日（木）17：30～19：00開催

内容：令和6年度事業計画案、令和5年度訪問看護ステーション実態調査について

2. 人材確保

1) 潜在看護師・プラチナナース等の就業及び転職促進

ナースセンター地域相談員が対応 相談件数129件うち3名が短期体験型研修に参加した。うち1名が訪問看護に就業した。

2) 訪問看護担い手創出事業（短期体験型研修）

・入門コース（1日体験）41名 ・実践コース（2～5日体験）4名

研修者の中から4名が訪問看護事業所に就業した。

- 3) 訪問看護担い手創出事業参加者報告会
・3月7日(木) 15:30~16:45 参加人数34名

3. 訪問看護の質の向上

1) 教育研修体制の組織化

(1) 訪問看護技術研修

訪問看護技術研修1

日時: 令和5年8月5日(土) 9:30~12:30

Web開催 参加人数 29名

内容: 「訪問看護の基本 アセスメントからケアに活かす」(対象者: 訪問看護経験1~3年)

講師: 訪問看護ステーションまいづる 訪問看護認定看護師 設楽妙子氏

訪問看護技術研修2

日時: 令和5年10月28日(土) 9:30~12:30

Web研修 参加人数 27名

内容: 「慢性心不全患者の望む生活を実現する看護」

講師: 済生会山形病院 慢性心不全看護認定看護師 小野瑛子氏

(2) ICT等活用推進(デジタルデバイス体験会)

村山地域: 令和5年9月9日(土) 13:30~15:30 場所: 山形県訪問看護会館 参加人数 7名

最北地域: 令和5年9月30日(土) 13:00~15:00 場所: 甌葉プラザ 参加人数 20名

内容: ポケットエコーの体験研修

(3) 専門看護師・認定看護師派遣研修事業 8事業所11回実施

2) 訪問看護に関する情報収集と分析

(1) 訪問看護ステーション実態調査 令和5年12月5日~12月20日

調査対象: 県内90か所訪問看護事業所

回収率: 97.0%

(2) 訪問看護ブロック会議

村山ブロック: 令和5年8月22日 参加者17名、置賜ブロック: 令和5年8月29日 参加者8名

最北ブロック: 令和5年9月30日 参加者8名、庄内ブロック: 令和5年9月13日 参加者11名

内容: 地域間の情報交換、ネットワーク構築、BCPについて

(3) 訪問看護連絡協議会と合同会議

第1回令和5年6月22日、第2回令和5年8月17日、第3回令和5年10月19日、

第4回令和5年12月21日、第5回令和6年2月15日

内容: 情報共有、事業報告、計画、地域ごとの連携等について

4. 新型コロナウイルス感染拡大時における訪問看護事業所間ネットワーク構築支援

1) 感染予防対策

75事業所を巡回し、感染対策の確認、BCP、事業所の課題等情報収集を実施した。

2) ネットワーク構築支援

ブロック会議で、ブロックごとのネットワーク構築に向けた情報共有。チャットワークの県内、地域ごとの活用の推進。

【評価と課題(まとめ)】

1. 訪問看護総合支援センター事業として3年目の活動で、訪問看護相談件数は前年度より増加した。特に新しく立ち上げた事業所や管理者が交替した所から多く相談があった。
2. 研修は計画通りに実施できた。いずれの研修も理解度、満足度とも高い評価を得ている。また、訪問看護師とケアマネジャーの合同研修は山形市を限定して開催した。多くの参加者があり、久しぶりの参集で意見交換ができ、顔の見える関係づくりにつながった。
3. 訪問看護師担い手創出事業では短期研修が昨年度より増加した。今年度も参加した方のなかで、訪問看護に就業した方がおり、訪問看護師の増加に貢献している。さらに訪問看護師を増やすことが課題である。
4. 専門看護師、認定看護師派遣研修事業は前年度の倍の活用があり、実施した事業所からは高評価を得ている。また、講師となった専門看護師、認定看護師と連携ができ、その後の相談等にも役立っている。今後も活用を推進し、質の向上を図ることが課題である。
5. 訪問看護ステーション連絡協議会と連携して、地区ごとのネットワークづくりが進んできている。チャットワークを有効活用することが課題である。

委託事業費: 12,640,620円

事業報告

事業名「令和5年度山形市新型コロナウイルスワクチン接種に係る集団接種等業務」

【目的】

山形市集団接種会場で、安全かつ適切に集団接種を実施するため、会場で従事する看護職を確保し、新型コロナウイルス感染症による死亡者や重症者の発生をできる限り減らすとともに、医療への負担の軽減、社会経済の安定につなげる。

【内容】

令和5年4月3日～令和5年12月27日まで、山形市保健所に山形県看護協会で見護師を採用し、山形市に派遣して集団接種を実施した。

1. 業務概要

集団接種会場への看護師の配置

2. 業務内容

①集団接種会場におけるワクチン接種（18歳以上を対象とする集団接種）

②接種補助

③接種後の経過観察

④救護

⑤配置される看護師に対するサポート体制の整備及び質の向上

（シフト作成、勤怠管理等）

看護師への助言・指導等

3. 実施状況

山形市保健所（4月～12月）

対象者	延総接種者数	延看護師派遣数
6か月～4歳	136名	16名
5歳～11歳	916名	31名
12歳～17歳	834名	102名
18歳以上	8,652名	336名

【評価と課題（まとめ）】

1. 連絡員が現場でリーダーシップを発揮して調整を行い円滑に業務遂行することができた。
2. 潜在看護師等が、ワクチン接種業務に従事したことで自信を持ち、次の就業につなげることができた。
3. ワクチン接種業務終了後に潜在看護師が潜在にならないようにすることが今後の課題である。

委託事業費：9,331,184円

事業報告

事業名「令和5年度福島県外避難者の心のケア業務」

【目的】

東日本大震災や東京電力福島第一原子力発電所の事故により山形県内に避難する福島県民に対し、心の健康に関する相談先を確保することで、避難生活を安定した状態で送ることができるようにすること、また、避難先での様々なストレスや不安、震災等の影響による精神面での相談及び心の健康問題に取り組むことにより、将来的な福島県への帰還の一助とすることを目的にしている。福島県よりの委託を受け、平成25年度よりの取り組みを継続している。

【内容】

1. 県内各地域での福島県外避難者の心のケア業務「まちの保健室」開催状況

開催日	開催場所	内容	避難者・支援者の参加者数	「まちの保健室」担当者
9月13日	酒田市社会福祉協議会	山形の公益活動を支援するアミル企画の「昭和の歌謡ショー歌の花束をあなたに」での健康相談等	13名	1名
10月5日	山形県看護協会	健康相談、血圧・血管年齢・体組成・握力測定、手洗いチェック、ポップアップカード作成	14名	6名
10月20日	山形県看護協会	南沼原地区での「まちの保健室」を避難者及び支援者にも案内、健康相談、血圧・血管年齢・体組成・握力測定、ベジチェック、手洗いチェック、モイスチャーチェック	2名 (総参加者数45名)	5名
11月9日	鈴川コミュニティセンター	健康相談、血圧・血管年齢・体組成・握力測定 ハンドトリートメント研修会（講師：渡邊節子氏）	18名	3名
11月10日	山形県看護協会	南沼原地区での「まちの保健室」を避難者及び支援者にも案内、健康相談、血圧・血管年齢・体組成・握力測定、ベジチェック、手洗いチェック、モイスチャーチェック	2名 (総参加者数33名)	9名
2月20日	置賜総合文化センター	健康教室での「まちの保健室」 血圧測定、健康相談	9名	2名

2. 山形県避難者支援事業に参画しての「まちの保健室」開催状況

「今後の暮らし応援のつどい」における「まちの保健室」

開催日	開催場所	内容	避難者・支援者の参加者数	「まちの保健室」担当者
7月8日	山形市総合福祉センター	健康相談、血圧測定、握力測定、手洗いチェック	12名	3名
7月9日	置賜総合文化センター	手洗い指導 アルコールでの手指消毒指導	3名	3名

3. 「まちの保健室」ボランティア育成のための研修会

開催日：令和5年10月17日（火）13：30～15：30 オンライン開催 参加者10名

内容：「セルフハンドトリートメント&アロマ」 講師 わたなべ助産院 院長 渡邊節子氏

4. 山形県避難者支援団体としての活動（会議等への参加）

福島県保健福祉部障がい福祉課との情報交換会	1回（7月11日）
福島県外避難者の心のケア事業連携推進会議	1回（12月4日）
今後の暮らし応援のつどい実行委員会	2回（5月25日、8月3日）
「避難者生活相談支援事業」被災者生活支援調整会議	4回（6月26日、9月20日、1月29日、3月22日）
東日本大震災追悼・復興祈念事業実行委員会・総会	2回（12月27日、2月27日）
東日本大震災追悼・復興祈念事業参加	3月11日山形会場・米沢会場
「心のケア」福島・山形・新潟三県合同情報交換会	1回（3月19日）

【評価と課題（まとめ）】

「まちの保健室」ボランティアの協力も得ながら、健康相談、健康チェック等丁寧に実施することができた。また、避難者と支援者対象の「ハンドトリートメント研修」も行い、夫婦で手技を楽しむ様子も見られ、大変好評であった。また、ポップアップカード作りも行い、参加者の交流も図られ和やかな楽しい時間を提供できた。今年度から、地域住民対象の「まちの保健室」についても避難者や支援者に広報し、参加の機会を増やしていただけるように努めた。

避難者の高齢化も進んでおり、年齢からくる健康問題や独居等の心配な方もおり、支援者間や支援団体との連携を密にしながら活動していく。また、「まちの保健室」ボランティアを募り、支援者の確保と育成・質向上を図っていく。

委託事業費：836,620円

事業報告

事業名「山形県在宅医療推進事業」
【目的】 医療的ケア児を教育現場で支える看護職の役割と課題について理解を深め、今後の連携に向けて、関係職種が、それぞれの役割発揮を考えることができる。
【内容】 1. 小児在宅医療研修 「教育現場で働く看護職の役割と課題」 日時：令和6年3月2日（土）13：00～16：00 講師：ナースファイト代表 植田 陽子 氏 ①参加人数 61名 ②研修者のアンケート結果 看護職以外に医療的ケア児に関わる関係職種が参加した。研修ニーズに合っていた97.2%、理解度100%、今後の活動に活かせる97.1%と高い評価を得た。教育現場は病院と違い児に対する指導教育の中で、学校生活が安全に過ごせるように必要な医療が行われる場であること、教員と看護職が相互理解をして児にかかわることが重要であることが学びとして得られた。またグループワークで看護職と教員の現場における情報共有が難しいとの意見も出されていたが、今回の研修を受け、情報共有できるように工夫していきたいなど前向きな意見が聞かれた。 2. 小児在宅移行支援連携シートの活用 令和4年度に作成した、小児在宅移行支援シートは、院内、病院から病院、病院から在宅、在宅から病院へと活用が拡大している。活用件数は10件。病院では、フォーマットを電子カルテに取り入れ活用が推進されている。活用後の反応としてわかりやすい、見やすい、記入しやすい使用者からの意見が聞かれた。
【評価と課題（まとめ）】 1. 研修会を通して、医療的ケア児を支える教育現場での看護職の役割を知る機会となった。改めて教育現場で働く看護職の多職種連携を考えることができた。今後は、教育現場での多職種連携を推進していくことが課題である。 2. 小児在宅移行支援連携シートの活用は進んでいる。今後もさらに活用を周知、推進することが課題である。
事業費：260,288円

令和5年度教育研修実施録

1 「生活」と保健医療福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育

(1) 新たな社会ニーズに対応する能力支援のための研修

看護実践能力

No	新人研修Ⅰ 社会人1年目看護職のための研修ーコミュニケーションスキルと接遇ー (教育委員会) オンライン研修									
1 2	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					非会員	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	I	6/29(木)AM・PM	各回120	239	6	0	4	226	9	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		85.3 %	活用できる		84.6 %	満足度70%以上		98.2 %	
	だいたい理解できた		14.2 %	やや活用できる		15.4 %	満足度70%未満		1.8 %	
	やや難しかった		0.5 %	あまり活用できない		0 %				
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No	新人研修Ⅱ 社会人1年目看護職のための研修ーアンダーマネジメントの基礎と実践ー (教育委員会) オンライン研修									
3 4 5	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					非会員	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	I	8/22(火)30(水)PM 9/26(火)PM	各回80	239	10	0	6	224	9	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		62.2 %	活用できる		61.4 %	満足度70%以上		85.8 %	
	だいたい理解できた		32.7 %	やや活用できる		37.1 %	満足度70%未満		14.2 %	
	やや難しかった		5.1 %	あまり活用できない		1.5 %				
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No	新人研修Ⅲ 社会人1年目看護職のための研修ー倫理綱領を用いて日常看護を振り返るー (教育委員会) オンライン研修									
6 7	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					非会員	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	I	11/27(月)PM 11/28(火)PM	各回120	242	12	0	5	230	7	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		47.4 %	活用できる		52.3 %	満足度70%以上		79.7 %	
	だいたい理解できた		35.3 %	やや活用できる		45.4 %	満足度70%未満		20.3 %	
	やや難しかった		16.2 %	あまり活用できない		2.3 %				
	難しかった		1.7 %	活用できない		0 %				
No	救急看護Ⅰ 急変兆候の理解と対応ー急変時に慌てず動けるナースになれる！基礎知識編ー (教育委員会) オンライン研修									
8	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					非会員	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	Ⅱ～Ⅳ	5/29(月)PM	200	101	3	0	2	95	4	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		38.9 %	活用できる		53.3 %	満足度70%以上		83.4 %	
	だいたい理解できた		54.4 %	やや活用できる		43.3 %	満足度70%未満		16.6 %	
	やや難しかった		5.6 %	あまり活用できない		3.4 %				
	難しかった		1.1 %	活用できない		0 %				

No	救急看護Ⅱ 急変兆候の理解と対応－急変時に慌てず動けるナースになれる！事例編－（教育委員会） オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
9	Ⅱ～Ⅳ	6/12(月)PM	200	108	非会員 4	0	0	105	3	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			24.7 %	活用できる			52.6 %	満足度70%以上		87.5 %
	だいたい理解できた			65.4 %	やや活用できる			41 %			
	やや難しかった			9.9 %	あまり活用できない			6.4 %	満足度70%未満		12.5 %
	難しかった			0 %	活用できない			0 %			
No	救急看護Ⅲ 心電図研修－基礎から学ぶ－（教育委員会） オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
10	Ⅰ～Ⅲ	9/30(土)AM	200	90	非会員 4	0	2	87	1	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			20.6 %	活用できる			55.2 %	満足度70%以上		89.7 %
	だいたい理解できた			63.2 %	やや活用できる			40.3 %			
	やや難しかった			11.8 %	あまり活用できない			4.5 %	満足度70%未満		10.3 %
	難しかった			4.4 %	活用できない			0 %			
No	救急看護Ⅳ 心電図研修－不整脈に強くなる－（教育委員会） オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
11	Ⅰ～Ⅲ	10/14(土)AM	200	78	非会員 7	0	1	76	0	1	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			12.7 %	活用できる			43.7 %	満足度70%以上		87.4 %
	だいたい理解できた			54.9 %	やや活用できる			54.9 %			
	やや難しかった			29.6 %	あまり活用できない			1.4 %	満足度70%未満		12.6 %
	難しかった			2.8 %	活用できない			0 %			
No	高齢者看護Ⅰ 慢性心不全患者の看護Ⅰ－基礎知識から学ぶ－（教育委員会） オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
12	Ⅰ～Ⅲ	7/24(月)PM	150	74	非会員 4	0	1	71	1	1	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			30.7 %	活用できる			39.7 %	満足度70%以上		89 %
	だいたい理解できた			51.6 %	やや活用できる			60.3 %			
	やや難しかった			16.1 %	あまり活用できない			0 %	満足度70%未満		11 %
	難しかった			1.6 %	活用できない			0 %			
No	高齢者看護Ⅱ 慢性心不全患者の看護Ⅱ－日常生活から支援しよう－（教育委員会） オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
13	Ⅰ～Ⅳ	8/7(月)PM	150	82	非会員 1	0	0	80	2	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			43.9 %	活用できる			54.4 %	満足度70%以上		91.3 %
	だいたい理解できた			50.9 %	やや活用できる			45.6 %			
	やや難しかった			5.3 %	あまり活用できない			0 %	満足度70%未満		8.7 %
	難しかった			0 %	活用できない			0 %			

No	高齢者看護Ⅲ 転倒転落のアセスメント・予防の理解 (教育委員会) オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
14	I～Ⅳ	10/19(木)PM	150	74	非会員 7	0	1	68	4	1	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			57.4 %	活用できる			45.5 %	満足度70%以上		90.9 %
	だいたい理解できた			42.6 %	やや活用できる			54.5 %			
	やや難しかった			0 %	あまり活用できない			0 %	満足度70%未満		9.1 %
難しかった			0 %	活用できない			0 %				
No	高齢者看護Ⅳ アセスメントに基づいた排泄ケア (教育委員会) オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
15	I～Ⅳ	11/6(月)PM	150	56	非会員 2	0	2	53	1	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			51.1 %	活用できる			53.3 %	満足度70%以上		88.9 %
	だいたい理解できた			46.7 %	やや活用できる			46.7 %			
	やや難しかった			2.2 %	あまり活用できない			0 %	満足度70%未満		11.1 %
難しかった			0 %	活用できない			0 %				
No	高齢者看護Ⅴ 環境変化がもたらすせん妄-アセスメントと対応- (教育委員会) オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
16	I～Ⅲ	12/13(水)PM	150	94	非会員 10	0	1	84	7	2	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			44.3 %	活用できる			55.7 %	満足度70%以上		86.7 %
	だいたい理解できた			50.8 %	やや活用できる			39.3 %			
	やや難しかった			4.9 %	あまり活用できない			4.9 %	満足度70%未満		13.3 %
難しかった			0 %	活用できない			0 %				
No	高齢者看護Ⅵ 実践に役立つ退院支援-退院支援における看護師の役割- (教育委員会) オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
17	I～Ⅳ	1/23(水)PM	150	87	非会員 4	0	3	83	1	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			62.1 %	活用できる			51.7 %	満足度70%以上		93.1 %
	だいたい理解できた			37.9 %	やや活用できる			46.6 %			
	やや難しかった			0 %	あまり活用できない			1.7 %	満足度70%未満		6.9 %
難しかった			0 %	活用できない			0 %				
No	(委託) 施設看護職員BPSD研修-実践に活かす! BPSDの理解とケア-										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
18	/	8/1(火)	80	20	非会員 19	0	0	14	6	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			65 %	活用できる			80 %	満足度70%以上		100 %
	だいたい理解できた			35 %	やや活用できる			20 %			
	やや難しかった			0 %	あまり活用できない			0 %	満足度70%未満		0 %
難しかった			0 %	活用できない			0 %				

No	(委託) 中小規模施設で働く看護職のための研修－摂食嚥下障害のある患者の看護－山形県認定看護師等活用事業－(医療・看護安全対策委員会) オンライン研修												
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
19	I～IV	11/2(木)PM	100	50	非会員	0	0	46	2	2			
				15									
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた			53.1	%	活用できる		50	%	満足度70%以上		100	
	だいたい理解できた			46.9	%	やや活用できる		50	%				
	やや難しかった			0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		0	
難しかった			0	%	活用できない		0	%					
No	新型コロナ等新興感染症に係る看護職等確保事業－災害支援ナース要請研修－ *研修No21はNo20に包含され欠番												
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
20		10/24(火)・25(水)	50	53	非会員	0	0	53	0	0			
				1									
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた			59	%	活用できる		100	%	満足度70%以上		94.9	
	だいたい理解できた			25.6	%	やや活用できる		0	%				
	やや難しかった			15.4	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		5.1	
難しかった			0	%	活用できない		0	%					
No	(委託) 災害支援ナースフォローアップ研修－災害関連死を防ぐ支援－(災害看護対策委員会)												
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
22	II～IV	11/21(火)	30	18	非会員	0	0	18	0	0			
				0									
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた			60	%	活用できる		66.7	%	満足度70%以上		100	
	だいたい理解できた			33	%	やや活用できる		26.7	%				
	やや難しかった			7	%	あまり活用できない		6.6	%	満足度70%未満		0	
難しかった			0	%	活用できない		0	%					
No	感染対策研修 オンライン研修												
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
23	I～IV	1/26(金)PM	100	60	非会員	0	2	55	3	0			
				3									
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた			56.3	%	活用できる		60.6	%	満足度70%以上		93.9	
	だいたい理解できた			43.7	%	やや活用できる		39.4	%				
	やや難しかった			0	%	あまり活用できない		0	%	満足度70%未満		6.1	
難しかった			0	%	活用できない		0	%					
No	産婦人科混合病棟で安全なお産を守ろう！－効果的なユニットマネジメント手法を学ぶ－(助産師職能委員会) オンライン研修												
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳							
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他			
24		8/4(金)AM	50	26	非会員	0	25	1	0	0			
				0									
	理解度			活用度			満足度						
	理解できた			26.7	%	活用できる		26.7	%	満足度70%以上		40	
	だいたい理解できた			73.3	%	やや活用できる		46.7	%				
	やや難しかった			0	%	あまり活用できない		26.7	%	満足度70%未満		60	
難しかった			0	%	活用できない		0	%					

No	みんなで支えよう若年妊婦－若年妊婦の抱えている課題を知り、必要な支援について考えよう－(助産師職能委員会)									
25	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		10/27(金)PM	50	14	非会員 0	0	12	2	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		81.8 %	活用できる		54.5 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		18.2 %	やや活用できる		45.5 %	満足度70%未満		0 %	
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	
No	小児在宅ケア (医療的ケア児等連携推進委員会)									
26	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		3/2(土)		61	非会員 0	3	0	41	0	17
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		66.7 %	活用できる		45.7 %	満足度70%以上		97.2 %	
	だいたい理解できた		33.3 %	やや活用できる		51.4 %	満足度70%未満		2.8 %	
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		2.8 %	
	難しかった		0 %	活用できない		2.9 %	満足度70%未満		2.8 %	
No	(委託) 「訪問看護eラーニング～訪問看護の基礎講座～」を活用した訪問看護師養成講習会									
27	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		6/2(金)～ 11/17(金)	40	23	非会員 7	0	0	23	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		90.5 %	活用できる		95.2 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		9.5 %	やや活用できる		4.8 %	満足度70%未満		0 %	
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	
No	在宅療養移行支援Ⅰ 地域で“暮らす”、そして“生きる”に伴走する看護－退院支援から、地域療養支援へ－									
28	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	Ⅱ～Ⅴ	6/17(土)	100	57	非会員 0	1	0	56	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		50.9 %	活用できる		47.2 %	満足度70%以上		98.1 %	
	だいたい理解できた		45.3 %	やや活用できる		50.9 %	満足度70%未満		1.9 %	
	やや難しかった		3.8 %	あまり活用できない		1.9 %	満足度70%未満		1.9 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0 %	満足度70%未満		1.9 %	
No	在宅療養移行支援Ⅱ ー外来機能の明確化と連携ー オンライン研修									
29	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	Ⅱ～Ⅴ	7/8(土)	50	42	非会員 0	0	0	42	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		60 %	活用できる		35 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		40 %	やや活用できる		60 %	満足度70%未満		0 %	
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		5 %	満足度70%未満		0 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	

No	在宅療養移行支援Ⅲ ー徹底解説！社会資源の活用法と連携ー オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
30	II～V	9/16(土)	150	50	非会員 1	0	0	49	1	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			23.5 %	活用できる			47.1 %	満足度70%以上		97.1 %
	だいたい理解できた			73.5 %	やや活用できる			50 %			
	やや難しかった			2.9 %	あまり活用できない			2.9 %	満足度70%未満		2.9 %
	難しかった			0 %	活用できない			0 %			
No	訪問看護技術研修1 訪問看護の基本ーアセスメントからケアに活かすー オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
31	/	8/5(土)AM	100	29	非会員 5	0	1	27	1	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			27.3 %	活用できる			45.5 %	満足度70%以上		90.9 %
	だいたい理解できた			68.2 %	やや活用できる			50 %			
	やや難しかった			%	あまり活用できない			4.5 %	満足度70%未満		9.1 %
	難しかった			4.5 %	活用できない			%			
No	訪問看護技術研修2 ー慢性心不全患者の望む生活を実現する看護ー オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
32	/	10/28(土)AM	100	27	非会員 11	0	0	26	1	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			80 %	活用できる			93.3 %	満足度70%以上		100 %
	だいたい理解できた			20 %	やや活用できる			6.7 %			
	やや難しかった			0 %	あまり活用できない			0 %	満足度70%未満		0 %
	難しかった			0 %	活用できない			0 %			
No	在宅看取りの実際 あなたの患者さんもきっと家で最期を迎えられるー在宅看取りを実現する病院、在宅の連携ー (在宅ケア推進委員会) オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
33	/	9/9(土)AM	100	98	非会員 4	2	1	95	0	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			78.2 %	活用できる			58.2 %	満足度70%以上		100 %
	だいたい理解できた			21.8 %	やや活用できる			36.4 %			
	やや難しかった			0 %	あまり活用できない			5.5 %	満足度70%未満		0 %
	難しかった			0 %	活用できない			0 %			
No	(委託) 山形県認定看護師等活用事業ー出前研修ー										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
34	/	4/1～3/31	25施設	/	非会員	7施設に7名(延べ数)の認定看護師を派遣					
No	(委託) 山形県訪問看護総合支援センター事業 専門看護師・認定看護師等派遣事業										
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
35	/	5/8～2/29	20施設	/	非会員	11施設に11名の専門看護師・認定看護師を派遣					

No. 潜在看護師等復職研修 eラーニングを活用した復職支援研修									
ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
36	通年	49	24	非会員	5	0	17	2	0
				19					
理解度			活用度			満足度			
理解できた		71.4 %	活用できる		100 %	満足度70%以上		100 %	
だいたい理解できた		28.6 %	やや活用できる		0 %				
やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	
難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No. 潜在看護師等復職研修 「病院等施設実地研修」「看護技術集合研修」									
ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
37	6月～1月	80	28	非会員	5	0	23	0	0
				25					
理解度			活用度			満足度			
理解できた		64.7 %	活用できる		66.3 %	満足度70%以上		100 %	
だいたい理解できた		35.3 %	やや活用できる		33.7 %				
やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	
難しかった		0 %	活用できない		0 %				

No	通常総会後職能合同研修「2025年 この町では“Aging in Place”実現できますか?—様々な場所で働く看護職が連携して暮らしを整え、備える—」 オンライン研修									
38	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
		6/16(金)PM	100	203		保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
No	卒後2年目対象研修 元気回復行動プラン(WRAP) —自分でつくる「元氣になれる道具箱」—									
39	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
		6/21(水)・22(木)	各回80	151	非会員 8	3	8	136	4	0
40	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		73.8 %	活用できる		67.8 %	満足度70%以上		94 %	
	だいたい理解できた		26.2 %	やや活用できる		31.5 %				
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0.7 %	満足度70%未満		6 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No	リーダーシップ研修—目指すリーダー像をみつけよう!—									
41	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
		9/8(金)	50	64	非会員 3	0	0	64	0	0
41	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		58.3 %	活用できる		65.3 %	満足度70%以上		91.8 %	
	だいたい理解できた		37.5 %	やや活用できる		34.7 %				
	やや難しかった		4.2 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		8.2 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No	行動変容に活かすナッジ理論 (保健師職能委員会) オンライン研修									
42	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
		10/7(土)PM	50	28	非会員 1	10	1	17	0	0
42	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		61.9 %	活用できる		42.9 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		33.3 %	やや活用できる		57.1 %				
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	
	難しかった		4.8 %	活用できない		0 %				
No	看護職のためのアンガーマネジメント—コロナ禍の保健師に焦点を当て— (保健師職能委員会) オンライン研修									
43	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
		11/11(土)PM	40	15	非会員 0	9	0	6	0	0
43	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		75 %	活用できる		56.3 %	満足度70%以上		93.8 %	
	だいたい理解できた		25 %	やや活用できる		43.7 %				
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		6.2 %	
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				

No	レジリエンス－折れない心でいきいきと働き続けるために－（看護師職能委員会Ⅰ） オンライン研修									
44	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
		12/5(火)	150	64	非会員	0	5	56	3	0
					5					
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		65.3 %	活用できる		63.3 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		32.7 %	やや活用できる		36.7 %	満足度70%未満		0 %	
	やや難しかった		2 %	あまり活用できない		0 %				
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No	はじめよう！考えよう！「いのちの教育」－乳幼児期からのいのちの教育－（いのちの教育推進委員会）									
45	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
		10/6(金)	40	18	非会員	0	11	7	0	0
					1					
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		65.6 %	活用できる		68.8 %	満足度70%以上		87.6 %	
	だいたい理解できた		25 %	やや活用できる		25 %	満足度70%未満		12.4 %	
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		6.3 %				
	難しかった		9.4 %	活用できない		0 %				
No	「まちの保健室」ボランティア育成研修（「まちの保健室」推進委員会） オンライン研修									
46	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
		10/17(火)PM	40	10	非会員	0	0	10	0	0
					1					
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		85.7 %	活用できる		28.6 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		14.3 %	やや活用できる		71.4 %	満足度70%未満		0 %	
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %				
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No	はじめてみよう看護研究－論文のまとめ方－（学会委員会）									
47	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
		6/23(金)AM	100	88	非会員	0	4	82	2	0
					6					
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		35.4 %	活用できる		40.2 %	満足度70%以上		86.8 %	
	だいたい理解できた		59.8 %	やや活用できる		58.5 %	満足度70%未満		13.2 %	
	やや難しかった		3.7 %	あまり活用できない		1.2 %				
	難しかった		1.2 %	活用できない		0 %				
No	研究論文助言－学会発表にむけて－（学会委員会）									
48	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
		2/16(金)PM		1	非会員	0	0	1	0	0
					0					

(2) 診療報酬に関連した研修

No	(委託) 山形県看護職員認知症対応力向上研修 (病院看護職対象) 3日間 認知症ケア加算2・3該当研修 (山形)										
No	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
49		6/26(月)~ 28(水)	70	81	非会員 9	0	2	79	0	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			53.6 %	活用できる			49.3 %	満足度70%以上		97 %
	だいたい理解できた			42.1 %	やや活用できる			50.7 %	満足度70%未満		3 %
	やや難しかった			2.9 %	あまり活用できない			0 %			
難しかった			1.4 %	活用できない			0 %				
No	(委託) 山形県看護職員認知症対応力向上研修 (病院看護職対象) 3日間 認知症ケア加算2・3該当研修 (庄内)										
No	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
50		8/23(水)~ 25(金)	70	36	非会員 4	0	1	35	0	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			44.4 %	活用できる			53.6 %	満足度70%以上		96.4 %
	だいたい理解できた			44.4 %	やや活用できる			42.9 %	満足度70%未満		3.6 %
	やや難しかった			7.4 %	あまり活用できない			3.6 %			
難しかった			3.7 %	活用できない			0 %				
No	(JNA提供eラーニング活用研修) 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 オンライン研修										
No	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
51		11/29(火)PM	80	80	非会員 5	0	3	77	0	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			61.1 %	活用できる			38 %	満足度70%以上		79.2 %
	だいたい理解できた			36.1 %	やや活用できる			56.3 %	満足度70%未満		20.8 %
	やや難しかった			1.4 %	あまり活用できない			5.7 %			
難しかった			1.4 %	活用できない			0 %				
No	(JNA提供eラーニング活用研修) 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 オンライン研修										
No	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
52		12/19(火)PM	80	48	非会員 0	0	4	44	0	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			62.5 %	活用できる			54.2 %	満足度70%以上		100 %
	だいたい理解できた			37.5 %	やや活用できる			45.8 %	満足度70%未満		0 %
	やや難しかった			0 %	あまり活用できない			0 %			
難しかった			0 %	活用できない			0 %				

No (JNA主催オンデマンド研修) 医療安全管理者養成研修 [集合研修] -安全文化の醸成-										
ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
53	9/28(木)	50	47	非会員	0	2	45	0	0	
				2						
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		32.4 %	活用できる		32.4 %	満足度70%以上		91.2 %	
	だいたい理解できた		50 %	やや活用できる		67.6 %				
やや難しかった		17.6 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		8.8 %		
難しかった		0 %	活用できない		0 %					

2 ラダーと連動した継続教育

(1) ラダー活用のための研修

No CLoCMiPレベルⅢ®認証申請研修										
ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
54	10/27(金)AM	50	9	非会員	0	7	2	0	0	
				0						
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		50 %	活用できる		100 %	満足度70%以上		75 %	
	だいたい理解できた		50 %	やや活用できる		0 %				
やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		25 %		
難しかった		0 %	活用できない		0 %					

3 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育

(1) 看護管理者・これからの看護管理を担う人々の力量形成のための研修

No 看護管理者のためのストレスマネジメント オンライン研修										
ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
55	12/7(木)PM	80	44	非会員	0	2	42	0	0	
				0						
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		60 %	活用できる		56.7 %	満足度70%以上		96.7 %	
	だいたい理解できた		40 %	やや活用できる		43.3 %				
やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		3.3 %		
難しかった		0 %	活用できない		0 %					

No 認定看護管理者教育課程ファーストレベル公開講座 ヘルスケアシステム論Ⅰ-ヘルスケアサービスにおける看護の役割 社会的責務- オンライン研修										
ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
56	7/1(土)	40	3	非会員	0	0	3	0	0	
				0						
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		33.3 %	活用できる		33.3 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		33.4 %	やや活用できる		66.7 %				
やや難しかった		33.3 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %		
難しかった		0 %	活用できない		0 %					

No	認定看護管理者教育課程ファーストレベル公開講座 ヘルスケアシステム論Ⅰ－ヘルスケアサービスにおける看護の役割 看看連携－ オンライン研修									
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
				非会員	0	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
57		7/6(木)PM	40	4	0	0	1	3	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		33.3 %	活用できる		33.3 %	満足度70%以上		66.7 %	
	だいたい理解できた		66.7 %	やや活用できる		33.4 %				
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		33.3 %	満足度70%未満		33.3 %	
難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No	認定看護管理者教育課程ファーストレベル公開講座 質管理Ⅰ－看護サービスの質管理－ オンライン研修									
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
				非会員	0	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
58		7/11(火)	40	33	0	0	1	32	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		42.9 %	活用できる		39.3 %	満足度70%以上		85.7 %	
	だいたい理解できた		28.6 %	やや活用できる		50 %				
	やや難しかった		25 %	あまり活用できない		10.7 %	満足度70%未満		14.3 %	
難しかった		3.5 %	活用できない		0 %					
No	認定看護管理者教育課程ファーストレベル公開講座 組織管理論Ⅰ－組織マネジメント概論－ オンライン研修									
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
				非会員	0	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
59		7/26(水)	40	15	0	0	0	15	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		25 %	活用できる		50 %	満足度70%以上		91.7 %	
	だいたい理解できた		50 %	やや活用できる		50 %				
	やや難しかった		25 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		8.3 %	
難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No	認定看護管理者教育課程セカンドレベル公開講座 組織管理論Ⅱ－看護管理における意思決定支援－ オンライン研修									
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
				非会員	0	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
60		9/25(月)	40	28	0	0	2	26	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		73.9 %	活用できる		69.6 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		26.1 %	やや活用できる		30.4 %				
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	
難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No	認定看護管理者教育課程セカンドレベル公開講座 人材管理Ⅱ－人を育てるマネジメント－ オンライン研修									
	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
				非会員	0	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
61		9/9(土)	40	34	0	0	1	33	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		34.6 %	活用できる		32 %	満足度70%以上		84.7 %	
	だいたい理解できた		50 %	やや活用できる		52 %				
	やや難しかった		15.4 %	あまり活用できない		16 %	満足度70%未満		15.3 %	
難しかった		0 %	活用できない		0 %					

No.	認定看護管理者教育課程セカンドレベル公開講座 人材管理Ⅱ 人事・労務管理－労務災害とその対策－ オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数	内訳						
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
62		9/16(土)	40	9	非会員 0	0	0	9	0	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			57.1 %	活用できる		42.9 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた			42.9 %	やや活用できる		57.1 %				
	やや難しかった			0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %	
難しかった			0 %	活用できない		0 %					
No.	認定看護管理者教育課程セカンドレベル公開講座 人材管理Ⅱ 人事・労務管理－ オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数	内訳						
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
63		11/11(土)	40	14	非会員 1	0	1	13	0	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			53.8 %	活用できる		53.8 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた			46.2 %	やや活用できる		38.5 %				
	やや難しかった			0 %	あまり活用できない		7.7 %	満足度70%未満		0 %	
難しかった			0 %	活用できない		0 %					
No.	認定看護管理者教育課程セカンドレベル公開講座 組織管理論Ⅱ 組織マネジメントの実際－組織分析・組織の変革－ オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数	内訳						
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
64		9/27(水)	40	6	非会員 0	0	0	6	0	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			0 %	活用できる		16.7 %	満足度70%以上		50 %	
	だいたい理解できた			33.3 %	やや活用できる		16.7 %				
	やや難しかった			16.7 %	あまり活用できない		66.7 %	満足度70%未満		50 %	
難しかった			50 %	活用できない		0 %					
No.	認定看護管理者教育課程セカンドレベル公開講座 組織管理論Ⅱ 人事・労務管理 組織マネジメントの実際－看護職の課題－ オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数	内訳						
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
65		11/14(火)	40	10	非会員 0	0	0	10	0	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			40 %	活用できる		30 %	満足度70%以上		70 %	
	だいたい理解できた			50 %	やや活用できる		50 %				
	やや難しかった			10 %	あまり活用できない		20 %	満足度70%未満		30 %	
難しかった			0 %	活用できない		0 %					
No.	認定看護管理者教育課程セカンドレベル公開講座 質管理Ⅱ－看護サービスの質保証－ オンライン研修										
	ラダー	開催日	定員	参加者数	内訳						
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他		
66		10/30(月)	40	11	非会員 0	0	0	11	0	0	
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			14.3 %	活用できる		28.6 %	満足度70%以上		57.1 %	
	だいたい理解できた			42.9 %	やや活用できる		57.1 %				
	やや難しかった			42.9 %	あまり活用できない		14.3 %	満足度70%未満		42.9 %	
難しかった			0 %	活用できない		0 %					

No 訪問看護ステーション 経営安定化研修－職員の心理的安全性の確保～ハラスメント対策～ オンライン研修											
No	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
67	/	10/12(木)PM	100	31	非会員	0	0	30	1	0	
					15						
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			68.4 %	活用できる			68.4 %	満足度70%以上		94.7 %
	だいたい理解できた			26.3 %	やや活用できる			31.6 %			
	やや難しかった			5.3 %	あまり活用できない			0 %	満足度70%未満		5.3 %
難しかった			0 %	活用できない			0 %				
No 訪問看護ステーション 管理者研修－BCP作成フォローアップ研修～地域BCPにつなげよう～ オンライン研修											
No	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
68	/	8/26(土)PM	100	34	非会員	1	0	30	3	0	
					13						
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			36.4 %	活用できる			50 %	満足度70%以上		100 %
	だいたい理解できた			54.5 %	やや活用できる			45.5 %			
	やや難しかった			0 %	あまり活用できない			4.5 %	満足度70%未満		0 %
難しかった			9.1 %	活用できない			0 %				
No 医療安全スキルアップ研修－訴訟に耐えられる看護記録とは－（医療・看護安全対策委員会）											
No	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
69	/	7/18(火)PM	60	42	非会員	0	1	41	0	0	
					0						
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			57.1 %	活用できる			50 %	満足度70%以上		92.9 %
	だいたい理解できた			42.9 %	やや活用できる			50 %			
	やや難しかった			0 %	あまり活用できない			0 %	満足度70%未満		7.1 %
難しかった			0 %	活用できない			0 %				
No (委託) 特定行為研修修了者の活用－タスク・シェア/シフトについて考える－ オンライン研修											
No	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
70	/	11/30(木)PM	100	49	非会員	0	2	46	1	19	
					19						
	理解度			活用度			満足度				
	理解できた			54.5 %	活用できる			4.5 %	満足度70%以上		54.5 %
	だいたい理解できた			45.5 %	やや活用できる			54.5 %			
	やや難しかった			0 %	あまり活用できない			36.4 %	満足度70%未満		45.5 %
難しかった			0 %	活用できない			4.5 %				

4 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた研修

(1) 施設内教育充実に向けた研修

No (委託) 第34回山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会										
71	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					非会員	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		4/25~6/15	40	28	1	0	3	25	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		29.6 %	活用できる		66.7 %	満足度70%以上		92.5 %	
	だいたい理解できた		66.7 %	やや活用できる		33.3 %	満足度70%未満		7.5 %	
	やや難しかった		3.7 %	あまり活用できない		0 %				
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No (委託) 第9回山形県保健師助産師看護師実習指導者講習会 (特定分野)										
72	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					非会員	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		5/9~5/30	20	4	1	1	1	2	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		25 %	活用できる		75 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		75 %	やや活用できる		25 %	満足度70%未満		0 %	
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %				
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No (委託) 山形県看護実習指導者サポート研修										
73	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					非会員	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		11/1(水)	50	17	0	0	2	15	0	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		76.5 %	活用できる		52.9 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		23.5 %	やや活用できる		47.1 %	満足度70%未満		0 %	
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %				
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No (委託) 実地指導者研修 I -教育者としての私を育む-										
74	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					非会員	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		6/5(月)	150	118	4	0	8	109	1	0
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		48.5 %	活用できる		67.3 %	満足度70%以上		97 %	
	だいたい理解できた		50.5 %	やや活用できる		31.7 %	満足度70%未満		3 %	
	やや難しかった		1 %	あまり活用できない		1 %				
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				

No (委託) 実地指導者研修Ⅱーやる気にさせる言葉のチカラー									
ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	7/14(金)	150	94	非会員 4	0	4	90	0	0
75	理解度		活用度		満足度				
	理解できた	60.3 %	活用できる	71.8 %	満足度70%以上		93.6 %		
	だいたい理解できた	37.2 %	やや活用できる	28.2 %	満足度70%未満		6.4 %		
	やや難しかった	2.6 %	あまり活用できない	0 %					
	難しかった	0 %	活用できない	0 %					
No (委託) 教育担当者研修ー学び合いを支える教育的関わりー									
ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	8/29(火)	80	46	非会員 0	0	3	43	0	0
76	理解度		活用度		満足度				
	理解できた	29.3 %	活用できる	36.6 %	満足度70%以上		85.4 %		
	だいたい理解できた	51.2 %	やや活用できる	56.1 %	満足度70%未満		14.6 %		
	やや難しかった	19.5 %	あまり活用できない	7.3 %					
	難しかった	0 %	活用できない	0 %					
No (委託) 研修責任者研修ー新人が伸びやかに育つ環境づくりー									
ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	10/27(金)	50	24	非会員 0	0	0	24	0	0
77	理解度		活用度		満足度				
	理解できた	45.8 %	活用できる	54.2 %	満足度70%以上		95.8 %		
	だいたい理解できた	50 %	やや活用できる	41.7 %	満足度70%未満		4.2 %		
	やや難しかった	4.2 %	あまり活用できない	4.2 %					
	難しかった	0 %	活用できない	0 %					

(2) 協働の基盤

No 「看護チームにおける看護師・准看護師および補助者の業務のあり方に関するガイドライン」の理解と活用 オンライン研修									
ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	8/31(木)PM	100	20	非会員 1	0	0	20	0	0
78	理解度		活用度		満足度				
	理解できた	65 %	活用できる	35 %	満足度70%以上		85 %		
	だいたい理解できた	30 %	やや活用できる	65 %	満足度70%未満		15 %		
	やや難しかった	5 %	あまり活用できない	0 %					
	難しかった	0 %	活用できない	0 %					

5 資格認定教育

(1) 認定看護管理者育成のための研修

No	認定看護管理者教育課程ファーストレベル									
79	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					非会員	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		6/29(木)～ 8/8(火)	80	83		1	3	79	0	0
No	認定看護管理者教育課程セカンドレベル									
80	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					非会員	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		9/6(水)～ 11/22(水)	30	32		0	2	30	0	0
No	認定看護管理者教育課程セカンド・サードレベル修了者実践報告会～めざす看護のハーモニー～									
81	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					非会員	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		10/21(土)AM	50	41	0	0	2	39	0	0

6 その他

(1) 山形県看護協会主催

No	山形県看護研究学会									
82	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					非会員	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		11/16(木)		101	6	0	3	98	0	0
	研究発表（口演）					特別講演				
	良かった					72.2 %	良かった		92.6 %	
	まあまあ良かった					25.9 %	まあまあ良かった		7.4 %	
	あまり良くなかった					1.9 %	あまり良くなかった		0 %	
	良くなかった					0 %	良くなかった		0 %	
No	看護の業務改善in山形									
83	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
					非会員	保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
		12/2(土)		84		0	0	80	0	4
No	看護補助者確保・定着に向けた情報発信（仮）									
84	JNA委託事業「2023年度 看護補助者キャンペーンウィーク」に代替									

(2) 他団体との共催

No	医療安全やまがたフォーラム									
85	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	/	12/9(土)	/	148	非会員					
No	山形県公衆衛生学会									
86	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	/	3/4(月)	/	142	非会員					

7 追加開催

No	防災力アップセミナー～まさかに備える準備をしてみませんか～									
87	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	/	12/6(水)	50	41	非会員	1	0	39	1	0
					10					
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		92.3 %	活用できる		57.7 %	満足度70%以上		60 %	
	だいたい理解できた		7.7 %	やや活用できる		30.8 %	満足度70%未満		30 %	
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		7.7 %				
	難しかった		0 %	活用できない		3.8 %				
No	山形県IHEAT登録者研修									
88	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	/	11/25(土)	20	5	非会員	0	2	3	0	0
					0					
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		80 %	活用できる		80 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		20 %	やや活用できる		20 %	満足度70%未満		0 %	
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %				
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				
No	つながろう在宅療養を支える訪問看護師とケアマネジャー									
89	ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳				
						保健師	助産師	看護師	准看護師	その他
	/	11/20(月)	50	72		0	0	24	0	48
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		71.4 %	活用できる		59.3 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		28.6 %	やや活用できる		40.7 %	満足度70%未満		0 %	
	やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %				
	難しかった		0 %	活用できない		0 %				

No 外来における在宅療養支援能力向上のための研修（山形会場）										
ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
90	3/10(日)	20	15	非会員	0	0	15	0	0	
				1						
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		71 %	活用できる		57 %	満足度70%以上		93 %	
	だいたい理解できた		29 %	やや活用できる		43 %				
やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		7 %		
難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No 外来における在宅療養支援能力向上のための研修（酒田会場）										
ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
91	3/24(日)	20	7	非会員	0	0	7	0	0	
				1						
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		100 %	活用できる		57 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		0 %	やや活用できる		43 %				
やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %		
難しかった		0 %	活用できない		0 %					
No 訪問看護担い手創出事業研修報告会										
ラダー	開催日	定員	参加者数		内訳					
					保健師	助産師	看護師	准看護師	その他	
92	3/24(日)		34	非会員	1	2	31	0	0	
				0						
	理解度			活用度			満足度			
	理解できた		54.5 %	活用できる		63.6 %	満足度70%以上		100 %	
	だいたい理解できた		45.5 %	やや活用できる		36.4 %				
やや難しかった		0 %	あまり活用できない		0 %	満足度70%未満		0 %		
難しかった		0 %	活用できない		0 %					

令和5年度図書整備状況

令和6年3月31日現在

1. 蔵書数・及びDVD・CD-ROM・ビデオ数

年度	図書			DVD・CD			ビデオ		
	新規登録数	除籍数	蔵書数	新規登録数	除籍数	所蔵数	新規登録数	除籍数	所蔵数
R3年度	137	191	2,758	0	3	168	0	0	55
R4年度	84	230	2,612	4	3	169	0	53	2
R5年度	54	311	2,355	1	6	164	0	0	2

2. 図書室利用人数

年度	利用者数		貸出件数	
	会員	非会員	図書	ビデオ DVD
R3年度	88	14	113	2
R4年度	59	9	83	3
R5年度	71	12	120	1

3. 雑誌一覧

No.	雑誌名	No.	雑誌名	No.	雑誌名
1	看護	8	保健師ジャーナル	15	厚生の指標
2	コミュニティケア	9	公衆衛生	16	ナーシングビジネス
3	訪問看護と介護	10	看護展望	17	精神科看護
4	看護研究	11	小児看護	18	難病と在宅ケア
5	看護教育	12	緩和ケア	19	インфекションコントロール
6	看護管理	13	がん看護	20	週間保健衛生ニュース
7	助産雑誌	14	EXPERT NURSE	21	季刊SEXUALITY

山形県内病院における令和4年度看護職員就業状況及び勤務環境調査 結果報告

(山形県看護協会調査・一部抜粋)

※詳細は、ホームページ参照

I. 調査方法

調査期間：令和5年6月1日～6月19日

調査対象：県内67施設の看護管理者に対して調査を実施

II. 回収率：98.5% (県内67病院のうち66病院より回収)

III. 調査結果

1. 回答病院の設置主体 66施設：国公立-28施設 民間-38施設 (※独立行政法人は国公立病院として集計)

2. 令和4年度看護職員の採用と離職の状況

1) 設置主体別正規雇用看護職員採用の推移

単位：人

		平均	4月1日	総新卒	総既卒	総退職者数	新卒	既卒	定年	Uターン者数
		常勤職員数	在籍職員数	採用者数	採用者数		退職者数	退職者数	退職者数	
令和2年度	全体	8,094	8,072	375	239	571	21	38	101	78
	国公立	5,150	5,155	218	58	286	9	3	59	44
	民間	2,944	2,917	157	181	285	12	35	42	34
令和3年度	全体	7,873	7,906	328	244	639	30	41	116	55
	国公立	5,048	5,066	198	55	289	19	8	72	43
	民間	2,825	2,840	130	189	350	11	33	44	12
令和4年度	全体	7,676	7,728	333	227	664	31	37	111	35
	国公立	4,948	4,991	199	78	363	20	6	75	25
	民間	2,728	2,737	134	149	301	11	31	36	10

2) 地域別看護職員採用の推移

66施設：村山地域-32施設 最上地域-5施設 置賜地域-15施設 庄内地域-14施設

単位：人

		平均	4月1日	新卒	既卒	総退職者数	新卒	既卒	定年
		常勤職員数	在籍職員数	採用者数	採用者数		退職者数	退職者数	退職者数
令和2年度	全体	8,094	8,072	375	239	571	21	38	101
	村山	4,440	4,420	206	149	314	13	22	45
	最上	422	426	5	5	19	0	1	6
	置賜	1,406	1,413	90	33	137	4	5	33
	庄内	1,826	1,813	74	52	101	4	10	17
令和3年度	全体	7,873	7,906	328	244	639	30	41	116
	村山	4,340	4,347	179	160	354	21	32	52
	最上	414	416	9	10	23	1	0	11
	置賜	1,339	1,348	76	28	121	4	5	23
	庄内	1,780	1,795	64	46	141	4	4	30
令和4年度	全体	7,676	7,728	333	227	664	31	37	111
	村山	4,179	4,198	185	137	360	13	22	43
	最上	430	433	7	19	32	1	3	12
	置賜	1,330	1,336	78	36	126	16	6	24
	庄内	1,737	1,761	63	35	146	1	6	32

3) 離職率と年次推移

(1) 設置主体別離職率

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
正規看護職員離職率	全体	7.1%	8.1%	8.7%
	国公立	5.6%	5.7%	7.3%
	民間	9.7%	12.4%	11.0%
新卒看護職員離職率	全体	5.6%	9.1%	9.3%
	国公立	4.1%	9.6%	10.1%
	民間	7.6%	8.5%	8.2%
<参考> 日本看護協会：全国平均		令和2年度	令和3年度	令和4年度
常勤看護職員離職率		10.6%	11.6%	-
新卒看護職員離職率		8.2%	10.3%	-

(2) 年次別離職率と人数の推移

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
正規看護職員離職率・数	離職率	7.1%	8.1%	8.7%
	平均常勤職員数	8,094	7,873	7,676
	総退職者数	571	639	664
新卒看護職員離職率・数	新卒離職率	5.6%	9.1%	9.3%
	新卒採用数	375	328	333
	新卒退職者数	21	30	31

(3) 離職理由 (複数回答) ※離職理由割合は定年退職を除いて計算

理由	退職者	新卒者の退職者数 n=(人)	新卒者以外の退職者数 n=(人)	退職理由別人数 n=(人)	割合 (%)
1) 定年退職		0	110		
2) 結婚	1	1	57	58	8.7%
3) 出産・育児・子供のため	0	0	44	44	6.6%
4) 配偶者の転勤	1	1	18	19	2.9%
5) 老親(母)・祖父母の介護	0	0	29	29	4.4%
6) 家事と両立できない	0	0	7	7	1.1%
7) 健康上の理由	4	4	85	89	13.4%
8) 人間関係	3	3	11	14	2.1%
9) 看護内容への不満	0	0	4	4	0.6%
10) 給料賃金が安い	0	0	11	11	1.7%
11) 労働時間への不満	1	1	5	6	0.9%
12) 疲働回数が多い	0	0	7	7	1.1%
13) 残業が多い	0	0	1	1	0.2%
14) 自分の適性・能力への不安	5	5	26	31	4.7%
15) 福利厚生	0	0	0	0	0.0%
16) 継続教育が無い	0	0	1	1	0.2%
17) 休みがとれない	0	0	2	2	0.3%
18) Uターン	0	0	5	5	0.8%
19) 通勤困難	1	1	10	11	1.7%
20) 転居	1	1	48	49	7.4%
21) 他施設への興味	7	7	94	101	15.2%
22) 他分野への興味	0	0	28	28	4.2%
23) 進学	0	0	8	8	1.2%
24) 技術・医療事故への不安	0	0	5	5	0.8%
25) コロナ関連の理由	0	0	2	2	0.3%
26) その他	9	9	57	66	9.9%
合計		33	675	598	

※新卒採用退職者=31人 新卒採用以外の退職者=633人 総退職者=664人

3. 看護職員の人員体制

1) 看護職員就業状況と雇用形態（令和5年4月1日現在）

(1) 看護職員の雇用形態（看護職員数とは、保健師・助産師・看護師・准看護師を含む数をいう）

雇用形態		看護職員	割合
正規雇用職員	フルタイム勤務	7,954	86.9%
	短時間勤務	205	2.2%
正規雇用職員以外	臨時職員、嘱託職員、アルバイト、パートタイマー、派遣職員	994	10.9%
正規・非正規雇用職員合計		9,153	100.0%

(2) 地域別正看護師・准看護師・看護補助者の合計とその割合

	合計数	看護師数	看護師割合	准看護師数	准看護師割合	看護補助者数	看護補助者割合
全体	11,185	8,609	77.0%	544	4.9%	2,032	18.1%
村山	5,952	4,735	79.6%	199	3.3%	1,018	17.1%
最上	667	497	74.5%	43	6.5%	127	19.0%
置賜	1,976	1,487	75.3%	81	4.1%	408	20.6%
庄内	2,590	1,890	73.0%	221	8.5%	479	18.5%

※合計数は、看護師数と准看護師数と看護補助者数を合計した数

2) 看護補助者の離職状況について

(1) 令和4年度の看護補助者全体の離職率

離職率（全体）	9.3%
---------	------

(2) 令和4年度新採用になった看護補助者全体の離職率

離職率（新採用）	9.9%
----------	------

(3) 看護職員の充足状況（施設数と割合）

	令和2年度（割合）		令和3年度（割合）		令和4年度（割合）	
充足している（施設数）	54	80.6%	54	80.6%	46	69.7%
充足していない（施設数）	13	19.4%	12	17.9%	19	28.8%
無回答	0	0.0%	1	1.5%	1	1.5%
不足数（人）		53		39		99

3) 助産師の就業状況（令和5年4月1日現在）

(1) 助産師数と就業状況（複数回答）

	助産師数	C L o c M i p 割合	管理業務 割合	助産業務 割合	助産以外 割合				
全体	330	72	21.8%	21	6.4%	236	71.5%	75	22.7%
村山	176	39	22.2%	10	5.7%	123	69.9%	43	24.4%
最上	24	5	20.8%	1	4.1%	18	75.0%	5	20.8%
置賜	56	7	12.5%	7	12.5%	37	66.1%	12	21.4%
庄内	74	21	28.4%	3	4.1%	58	78.4%	15	20.3%

4. 看護職員の労働環境

1) 夜勤・交代制勤務の状況

(1) 夜勤交代制勤務の推移（複数回答）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
三交代制（変則含む）	48	46	49
二交代制（夜勤1回あたり16時間以上）	23	16	19
二交代制（夜勤1回あたり16時間未満）	17	22	19
その他	1	1	0

2) 日本看護協会「就業継続が可能な看護職の働き方の提案」のうち、仕事・役割・責任に見合った評価と処遇について

(1) 仕事・役割・責任等に見合った、納得できる評価と処遇とするための取組みについて

	施設数	割合
している	36	54.5%
していない	22	33.3%
今後取り組む予定	8	12.1%

(2) (1) で「している」と回答の処遇改善の内容について

	令和4年度
決まって支給する手当として支給	26
基本給の引上げ	12
その他	4
一時金として支給	2

	令和4年度
勤務手当	2
役職手当	19
地域手当	0
業績手当	3
資格手当	11
技能・技術手当	2
その他※	9

基本給の引上げ
平均：4,409円/月

3) 令和4年度看護職員の年次有給休暇取得について ※年次有給休暇：以下年休と表記する。

(1) 令和4年度山形県内67病院における年休取得の状況

年休取得の平均	11.9日
年休取得日数の最大値	18日
年休取得の最小値	6日

(2) 平均年休取得日数の施設数・割合の推移

	0日	1～5日未満	5～10日未満	10～15日未満	15～20日未満	20日以上	記載なし	単位：施設
令和2年度	0	0	21	33	12	0	1	n=66
(割合)	0,0%	0,0%	31,3%	49,3%	18,0%	0,0%	1,5%	
令和3年度	0	0	20	34	12	0	1	
(割合)	0,0%	0,0%	29,9%	50,7%	18,0%	0,0%	1,5%	
令和4年度	0	0	12	39	14	0	1	
(割合)	0,0%	0,0%	18,2%	59,1%	21,2%	0,0%	1,5%	

4) 令和4年度の育児休業について

(1) 育児休業期間別の人数の推移

	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3年	合計	単位：人
令和2年度	208	120	28	1	357	n=66
(割合)	58,3%	33,6%	7,8%	0,3%		
令和3年度	250	104	14	7	375	
(割合)	66,7%	27,7%	3,7%	1,9%		
令和4年度	317	123	40	7	487	
(割合)	65,1%	25,3%	8,2%	1,4%		
男性	19	0	0	0	19	
女性	298	123	40	7	468	

(2) 令和4年4月1日～令和5年3月31日に育児休業取得対象の男性職員

単位：施設		令和4年度
いる		18
いない		48

n=66

(3) 産後パパ育休（出生時育児休業）の導入について

単位：施設		令和4年度
導入している		57
導入していない		9

n=66

取得人数：10人 取得日数：平均16日

5) 病休取得状況の年次推移（複数回答）

疾病分類	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位：人
感染症（インフルエンザ、COVID-19含む）		65	84	1,051	n=66
新生物		30	59	42	
血液及び免疫関連の疾患		6	10	10	
精神疾患		83	129	133	
神経系及び感覚器（眼、耳）の疾患		55	36	39	
循環器系の疾患		18	11	2	
呼吸器系の疾患		21	18	22	
皮膚疾患		5		7	
骨格系の疾患		106	126	132	
腎尿路生殖器系の疾患		32	22	38	
妊娠、分娩及び産褥		151	143	161	
その他		119	112	92	
合計		691	761	1,729	

5. 看護師基礎教育の4年制化の取り組みについて

1) 4年制化について

	令和4年度	単位：施設数
必要である	27	n=66
必要ではない	0	
どちらとも言えない	35	
無回答	4	

2) 4年制化への取り組みについての意見

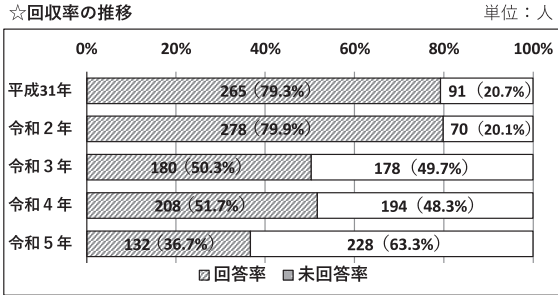
必要である	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する時代に適応できる看護師になるためには、しっかり4年間教育が必要。 自身が自信をもって活躍するためにも数を増やすこととどめず、学ぶ側に焦点をあてて充実させるべきである。
どちらとも言えない	<ul style="list-style-type: none"> 看護師不足の中で、長期間で育成する余裕はないのではないか。ただし地域看護など多領域を学ぶことは必要である。 今後看護師基礎教育は必要であるが、教育格差が生じてくるのではないか。 基礎教育に十分な時間をあて社会に出てもらいたいが、ハードルが高くなり志望者が減る可能性が出てくるのが心配。 小規模病院に新卒者の入職が少なく、4年制化になると更に減ってくるのではないか。

6. 看護職員の就業状況や勤務状況についての意見・感想

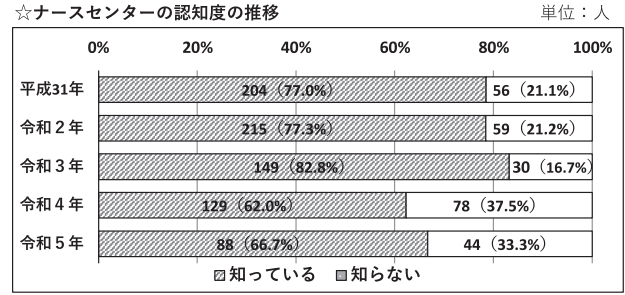
人材確保・人材活用	<ul style="list-style-type: none"> 新卒者の入職が少ないこと、慢性的な人員不足と高齢者の入院が多くマンパワーが不足しており、今後の人員確保に不安がある。 新規入職者の確保が困難な現状があり既存スタッフの年齢も高くなっていく中で勤務状況の変化は逃れることはできない。 ナースセンターを介して人材が確保できるようにナースセンターの活動を広く知っていただきたい。
夜勤の人材確保	<ul style="list-style-type: none"> 子育て支援が充実すればするほど、夜勤者の確保がどんどん難しくなる。24時間手厚い看護を要望してほしい。 夜勤ができる看護師の確保が困難。定年が延びても夜勤が難しいため（結婚、出産・育児、介護との両立には地域、家族の協力が重要である。）

山形県内病院における令和5年3月離職看護職の実態調査 結果報告

調査対象：令和5年3月に県内病院を退職した看護職360人（雇用形態問わず）
 調査期間：令和5年3月～令和5年4月末
 調査結果：回答者数132人（回収率：36.7% 回答方法：Googleフォーム）



※ 各年の有効回答数：
 平成31年（265）、令和2年（278）、令和3年（180）
 令和4年（208）、令和5年（132）



※ 今回のナースセンターの認知度は、66.7%であった。

◆回答者の背景

問1 年齢 N=132

	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
20歳未満	0.4%	0%	0%	0.5%	0人 0%
20～29歳	25.3%	25.9%	18.3%	29.3%	39人 29.5%
30～39歳	15.5%	15.8%	11.1%	13.9%	21人 15.9%
40～49歳	8.3%	9.4%	10.6%	6.7%	14人 10.6%
50～59歳	17.0%	15.5%	12.8%	15.4%	29人 22.0%
60歳以上	33.6%	33.5%	47.2%	34.1%	29人 22.0%
無回答	0%	0%	0%	0%	

*…令和6年度より必須項目のため無回答なし

問2 性別 N=132

	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
男性	8.7%	8.3%	6.7%	5.8%	8人 6.1%
女性	91.3%	91.7%	93.3%	94.2%	124人 93.9%

問3 資格（複数回答） N=132

保健師	15人	11.4%
助産師	10人	7.6%
看護師	129人	97.7%
准看護師	20人	15.2%

◆家族の状況

問4 子どもの有無 N=132

	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
子ども有り	56.2%	64.9%	63.4%	61.2%	62.8%	58.7%	70人 53.0%
内未就学児有り	14.3%	16.1%	2.4%	8.3%	7.2%	12.0%	15人 11.4%

問5 要介護の有無 N=132

	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
要介護者有り	19.7%	18.8%	18.1%	19.1%	25.0%	17.8%	13人 9.8%
内自身の両親	48.1%	10.5%	50.0%	8.6%			

◆離職時の状況

問6 離職時の職種 N=132

保健師	0人	0%
助産師	6人	4.5%
看護師	125人	94.7%
准看護師	1人	0.8%

問7 離職時の雇用形態 N=132

正規職員	124人	93.9%
非常勤職員	8人	6.1%
派遣	0人	0%

問8 離職時の勤務形態 N=132

日勤のみ	14人	10.6%
日勤+当直	17人	12.9%
3交代	58人	43.9%
2交代	25人	18.9%
2交代・3交代混合	7人	5.3%
時間短縮	6人	4.5%
日数短縮	3人	2.3%
夜勤のみ	0人	0.0%
その他	2人	1.5%

☆その他…育休から復帰できず/日勤のみ(短時間勤務)

問9 通算勤務年数 N=132

1年未満	3人	2.3%
1～4年未満	21人	15.9%
4～7年未満	15人	11.4%
7～10年未満	13人	9.8%
10～15年未満	12人	9.1%
15～20年未満	7人	5.3%
20年以上	61人	46.2%

問10 今回離職した施設での勤務年数 N=132

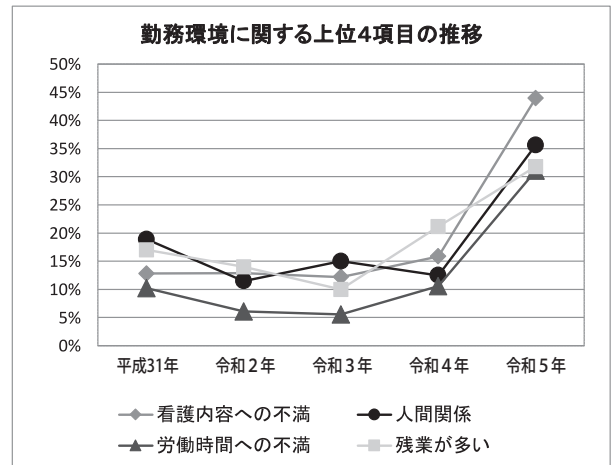
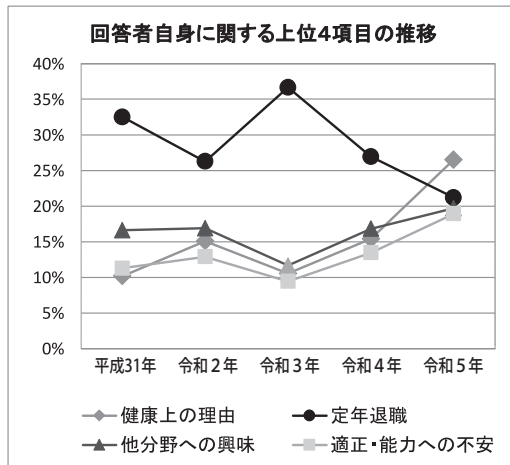
1年未満	6人	4.5%
1～4年未満	29人	22.0%
4年～7年未満	16人	12.1%
7～10年未満	18人	13.6%
10～15年未満	13人	9.8%
15～20年未満	8人	6.1%
20年以上	42人	31.8%

問11 これまでの勤務施設数 N=132

1か所目	70人	53.0%
2か所目	26人	19.7%
3か所目	15人	11.4%
4か所目	10人	7.6%
5か所目	6人	4.5%
6～9か所目	3人	2.3%
10か所以上	2人	1.5%

問12 離職理由（複数回答）		平成31年 N = 265	令和2年 N = 278	令和3年 N = 180	令和4年 N = 208	令和5年 N = 132
回答者自身の状況に関すること	定年退職	32.5%	26.3%	36.7%	26.9%	28人 21.2%
	契約期間満了	4.5%	5.0%	8.3%	5.3%	8人 6.1%
	結婚	7.9%	8.6%	9.4%	8.2%	15人 11.4%
	出産・育児・子育て	9.4%	8.6%	6.1%	7.7%	15人 11.4%
	配偶者の転勤	4.2%	2.2%	2.8%	3.4%	6人 4.5%
	家族の世話・介護	9.8%	6.1%	7.8%	3.8%	9人 6.8%
	家事との両立	10.6%	7.9%	6.1%	7.2%	17人 12.9%
	健康上の理由	10.2%	15.1%	10.6%	15.4%	35人 26.5%
	適正・能力への不安	11.3%	12.9%	9.4%	13.5%	25人 18.9%
	Uターンのため	2.3%	1.4%	0%	1.4%	1人 0.8%
	通勤困難	7.9%	4.7%	2.2%	3.8%	9人 6.8%
	転居	8.7%	10.8%	7.2%	5.3%	17人 12.9%
	他分野への興味	16.6%	16.9%	11.7%	16.8%	26人 19.7%
	進学・スキルアップ・留学	5.3%	6.5%	6.1%	5.3%	8人 6.1%
技術の不安	3.8%	6.1%	2.2%	3.8%	6人 4.5%	
IT化に適応できない	0.8%	1.8%	1.1%	0.5%	9人 6.8%	
勤務環境に関すること	人間関係	18.9%	11.5%	15.0%	12.5%	47人 35.6%
	看護内容への不満	12.8%	12.9%	12.2%	15.9%	58人 43.9%
	給料・賃金が低い	11.3%	8.3%	5.6%	10.1%	27人 20.5%
	労働時間への不満	10.2%	6.1%	5.6%	10.6%	41人 31.1%
	夜勤回数が多い	6.4%	5.8%	2.8%	7.7%	34人 25.8%
	雇用形態の不满	1.5%	1.8%	2.2%	4.3%	14人 10.6%
	残業が多い	17.0%	14.0%	10.0%	21.2%	42人 31.8%
	福利厚生への不満	1.9%	2.9%	0.6%	1.4%	10人 7.6%
	休みが取れない	1.1%	11.5%	5.0%	14.4%	40人 30.3%
継続教育に不満	15.1%	1.1%	1.1%	1.9%	7人 5.3%	
コロナに関すること	新型コロナウイルス感染のリスク	-	-	1.7%	3.4%	10人 7.6%
	// 業務量の負担	-	-	5.0%	3.8%	29人 22.0%
その他		6.4%	7.2%	3.9%	2.4%	6人 4.5%
無回答		2.3%	3.2%	0%	1.0%	2人 1.5%

☆その他の理由…役職を持つ者としての役割を果たせない／自分のしたい看護が職場では困難／理不尽な注意を受ける／管理者のパワハラ充分、働いたから／人間関係や業務内容でストレスがあり、身体に影響が出ている



問13 定年退職後の就業状況	平成31年 n=86	令和2年 n=73	令和3年 n=66	令和4年 n=56	令和5年 n=28
	現在の職場に常勤勤務	23.3%	20.5%	36.4%	35.7%
現在の職場に非常勤勤務	30.2%	24.7%	24.2%	17.9%	10人 35.7%
別の職場に常勤勤務	12.8%	12.3%	7.6%	10.7%	4人 14.3%
別の職場に非常勤勤務	8.1%	8.2%	12.1%	3.6%	2人 7.1%
いずれは復職したい	5.8%	5.5%	0%	7.1%	2人 7.1%
未定	20.9%	41.1%	19.7%	25.0%	8人 28.6%

☆常勤と非常勤を合わせると、42.8%（前年比-10.8%）が同じ職場に就業している。

問14 結婚離職の具体的な理由（複数回答） n=15

配偶者の希望	3人	20.0%
家庭との両立に自信がない	4人	26.7%
県外へ転居	7人	46.7%
通勤に時間がかかる	4人	26.7%
その他	0人	0%

問15 出産・育児・子育て離職の

具体的な理由（複数回答） n=15

家族の希望	5人	33.3%
家庭との両立に自信がない	7人	46.7%
保育施設がない	2人	13.3%
業務がきつい	5人	33.3%
子どもに必要な休暇が取れない	7人	46.7%
子どもの世話をしてくれる人がいない	5人	33.3%
通勤に時間がかかる	0人	0%
自分の子どもは自分で育てたい	3人	20.0%
その他	1人	6.7%

☆その他：子どもに病気があり、その介護・看護のため

問16 老親の世話・家族の介護離職の

具体的な理由（複数回答） n=9

自分で介護したい	6人	66.7%
他の介護者がいない	5人	55.6%
入院・入所施設がない	0人	0%
その他	1人	11.1%

☆その他：親との時間を多く持ちたいから

問17 人間関係離職の具体的な理由（複数回答）

→関係の難しい相手 n=47

上司	35人	74.5%
同僚	18人	38.3%
医師	22人	46.8%
他の専門職	3人	6.4%
一般職員	1人	2.1%
患者	12人	25.5%
患者の家族	6人	12.8%
その他	0人	0%

問18 看護内容への不満離職の具体的な理由

（複数回答） n=58

看護業務以外の仕事が多い	49人	84.5%
医療処置が多い	3人	5.2%
患者中心の看護ができない	32人	55.2%
患者とコミュニケーションの時間が取れない	29人	50.0%
日常生活の援助に時間が取れない	26人	44.8%
その他	7人	12.1%

☆その他の理由

- ・コロナ対応の常態化
- ・看護師の立場の低さ、風通しの悪い環境
- ・慢性期へ興味、重症度が高く精神的負担が大きい
- ・主治医の高慢さ
- ・看護について理不尽な注意を受ける
- ・指導や教育が行き届いていない
- ・身体的精神的負担が大きい

問19 夜勤回数の多さ離職の具体的な理由（複数回答）

n=34

①3交代	9回	15人	44.1%
	10回	6人	18%
	11回	2人	5.9%
	12回	1人	2.9%
	その他	1人	2.9%
②2交代	4回	3人	8.8%
	5回	7人	21%
	その他	1人	2.9%
その他	3人	8.8%	

☆その他

- ・夜勤が辛くなった
- ・当直が3~4回あるが、夜中の電話対応に時間外手当はつかない
- ・3交代月10回で家庭と両立困難、2交代勤務へ異動

◆令和5年4月以降の状況について

問20 看護職として就業しているか N=132

はい	72人	54.5%
いいえ	60人	45.5%

問21 問20で「はい」と答えた方について

看護職として就業している

①就業職種 n=72

保健師	1人	1.4%
助産師	2人	2.8%
看護師	69人	95.8%
准看護師	0人	0%

- ・保健師と看護師の重複回答なし
- ・助産師と看護師の重複回答なし

②雇用形態 n=72

正規職員	50人	69.4%
非常勤職員	21人	29.2%
派遣	1人	1.4%

③勤務形態 n=72

日勤のみ フルタイム	27人	37.5%
日勤のみ（当直あり）	7人	9.7%
3交代制勤務	11人	15.3%
2交代制勤務	15人	20.8%
短時間勤務	3人	4.2%
勤務日数短縮	5人	6.9%
2交代 3交代混合	1人	1.4%
夜勤のみ	0人	0%
その他	3人	4.2%

- ☆その他
- ・現時点では不明
 - ・パート（2）

問22 問20で「いいえ」と答えた方

看護職として就業していない

①再就業していない理由（複数回答）

n=60

結婚・出産・育児	8人	13.3%
家族の介護	10人	16.7%
自分の健康上の理由	15人	25.0%
家族の意向	5人	8.3%
希望する職場がない	9人	15.0%
進学・スキルアップ・留学	1人	1.7%
他分野への就業	4人	6.7%
働く意思がない	11人	18.3%
仕事の探し方がわからない	2人	3.3%
新型コロナウイルス感染のリスク	2人	3.3%
少し休んでから考える	39人	65.0%
その他	5人	8.3%

②今後看護職として再就業したいか

n=60

はい	25人	41.7%
いいえ	10人	16.7%
どちらともいえない	25人	41.7%

☆その他の理由

- ・就業先を検討中
- ・家の片付けをやりたい
- ・自営手伝い
- ・自分の人生や時間を大切にしたい

問23 問22②で「はい」と答えた方

今後看護職として再就業したいと考えている

①再就業を希望する時期（複数回答） n=25

3か月以内	9人	36.0%
6か月以内	5人	20.0%
1年以内	8人	32.0%
1～3年以内	0人	0%
3年以上	2人	8.0%
その他	1人	4.0%

☆その他：親の介護の状況による

③活用したい紹介機関・方法（複数回答）

n = 25

ナースセンター	17人	68.0%
ハローワーク	17人	68.0%
自施設の再雇用制度	1人	4.0%
職員や知人からの紹介	11人	44.0%
有料職業紹介所	0人	0%
人材派遣会社	3人	12.0%
福祉人材センター	0人	0%
ホームページ	10人	40.0%
広告媒体	2人	8.0%
施設の職業説明会	0人	0%
病院独自の制度	0人	0%
市町村主催の説明会	0人	0%
インターシップ	0人	0%

②再就業を希望する職場（複数回答） n=25

病院	12人	48.0%
診療所	10人	40.0%
訪問看護ステーション	4人	16.0%
介護保険関連施設・デイサービス	13人	52.0%
福祉関連施設（知的・身体・精神等）	6人	24.0%
看護教育機関	1人	4.0%
救護や検診などの短期の仕事	12人	48.0%
健診センター・労働衛生機関	10人	40.0%
保育園・幼稚園	5人	20.0%
その他	1人	4.0%
未回答	1人	4.0%

☆その他：養護学校

④復職のために必要な支援（複数回答）

n = 25

技術研修（復職研修）	5人	20.0%
求人情報提供	20人	80.0%
就職活動の相談	12人	48.0%

◆「山形県ナースセンター」について

問24 ナースセンターの既知 N=132

知っている	88人	66.7%
知らない	44人	33.3%

問25 問24で「知っている」と答えた方

知っている具体的な内容（複数回答） n = 88

県委託の無料職業紹介所	80人	90.9%
全国の求人情報がネット検索できる	43人	48.9%
メール電話Zoomで相談・問合できる	31人	35.2%
看護の仕事相談会	43人	48.9%
仕事上の悩み等も相談できる	31人	35.2%
学生・社会人も進路相談できる	14人	15.9%
復職研修	51人	58.0%
LINEで求人等の情報収集ができる	51人	58.0%
看護協会への登録は不要	9人	10.2%
NCで代行登録し利用できる	14人	15.9%
その他	0人	0%
無回答	2人	2.3%

問26 今後のナースセンター利用について（複数回答） N=132

キャリアを活かせる仕事を探したい	69人	52.3%
仕事について相談したい	50人	37.9%
研修を利用して再就職につなげたい	14人	10.6%
PCやスマホで求人情報を検索したい	60人	45.5%
LINEやメールでイベント・看護の求人情報が欲しい	32人	24.2%
その他	12人	9.1%
無回答	2人	1.5%

☆その他の理由

- ・登録済
- ・利用する予定がない（5）
- ・あてはまらない、特になし（4）
- ・まだ考えていない
- ・退職すぐは看護職情報は聞きたくない

問27 離職時の届出制度について

①離職時の届出制度の既知 N=132

知っている	51人	38.6%
知らない	81人	61.4%

②届出制度の登録の有無 N=132

登録した（既登録含む）	16人	12.1%
これから登録をする	76人	57.6%
届出しない	40人	30.3%

問28 ご意見・ご感想

- ・再就職についてわかりやすく相談のっていただきたい
- ・一番の退職理由は人間関係だが、コロナ禍で発散できる場もなく、部署異動と更年期も重なった。更年期症状が強く出ている看護師はどのように仕事と上手く両立させて定年まで働いているのか、聞いてみたい。

第64回山形県国保地域医療学会発表

訪問看護による有料老人ホームでのクラスター発生事例への対応

公益社団法人山形県看護協会

訪問看護ステーションやまがた

山 川 一 枝

山形県内のcovid-19感染者数が第6波を迎えた時期に、山形市内の有料老人ホームで入所者、職員の感染が広まりクラスターが発生した。訪問看護による有料老人ホームでのクラスター対応について実践報告としてまとめる。

県内の医療施設の体制は感染症対応でひっ迫している状態で、高齢者も軽症であれば自宅療養となり、施設内での治療と対応が求められた。この有料老人ホームは住宅型で医療職の配置がなく、医療体制が整備されていない施設である。山形県より自宅療養への対応として訪問看護への協力依頼あり。全国的にみると第4波には自宅療養者へ訪問看護が対応している地域はあったが、山形県内ではまだ例がない状況であった。早急に陽性者対応についての情報収集を進め、自宅におけるPPEの脱着方法の再確認、通常の訪問看護業務を継続するため対応するスタッフの人選など体制整備した。また、有料老人ホームへの訪問となるため、訪問看護利用にあたり報酬算定の可否、新規依頼として陽性者9名の入所者の受け入れにかかる手続きを進めた。訪問看護指示については陽性者のうち数名の主治医である医師が陽性者全員の診察、対応をした。医師の指示により状態観察と中和抗体薬の点滴を実施した。施設の職員が陽性により出勤停止していることもあり、施設の同法人の職員や他施設からの人員派遣にて入所者の生活の支援をしていた。依頼から訪問まで数日で迅速な対応が求められ、必要最低限の情報の中で対応した。

今回、有料老人ホームの入所者が入院せず、生活環境を変えることなく療養できたことは高齢者にとって日常に近い生活を維持することができたと考える。外部の人員が出入りすること、PPEでの対応など非日常の対応については認知力低下している高齢者にとって混乱はあったと思われるが、医療体制が整備されていない状況の中でも、対応にあたった職員始め、医師、看護師、協力の介護職員などが連携し、迅速に対応することで、重症化予防、QOLの維持につながったと考える。今後も高齢者施設での感染症対応は続くことが予想され、今回の対応で得たことや課題を活かし、訪問看護でできることを発信し活動していきたい。

公益社団法人山形県看護協会定款

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は、公益社団法人山形県看護協会と称する。

(事 務 所)

第2条 本会は、主たる事務所を山形市に置く。

2 本会は、理事会の決議により、従たる事務所を必要な地に置くことができる。これを変更又は廃止する場合も同様とする。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第3条 本会は、公益社団法人日本看護協会（以下「日本看護協会」という。）と連携し、保健師、助産師、看護師及び准看護師（以下「看護職」という。）が、教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図るとともに医療の担い手である看護職が生涯を通し安心して働き続けられる環境づくりを推進し、併せて人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図ることにより、県民の健康な生活の実現とともに、地域医療の推進に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の内容からなる事業を行う。

- (1) 教育等看護の質の向上に関する事業
- (2) 看護研究学会の開催等、学術研究の振興に関する事業
- (3) 看護業務・看護制度の改善等に関する事業
- (4) 看護職を取り巻く環境の改善及び福祉の向上を図る事業
- (5) 在宅看護の推進等の取り組みを通して公衆衛生の向上を図る事業
- (6) 施設の貸与に関する事業
- (7) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(その他の事業)

第5条 本会は、その他の事業として、会員の相互扶助・福利厚生事業等を行う。

第3章 会 員

(種 別)

第6条 本会の会員は、次の2種とする。

- (1) 正会員とは 山形県内に勤務し、又は居住する保健師、助産師、看護師又は准看護師であって本会の目的に賛同して入会した者
 - (2) 名誉会員とは 看護協会事業に顕著な功績のあった保健師、助産師、看護師又は、准看護師であって理事会が推薦し、本人の承諾を得て日本看護協会通常総会において承認された者
- 2 正会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号。以下「法人法」という。）に規定する社員とする。

(入 会)

第7条 正会員として入会しようとする者は、定款細則に規定する入会手続きにより申し込むものとする。

(会 費)

第8条 正会員は、会費を納めなければならない。

- 2 会費の額は、総会が定める。
- 3 既納の会費は、いかなる理由があっても返還しない。

(退 会)

第9条 会員が退会しようとするときは、理由を付して退会届を会長に提出しなければならない。

(除 名)

第10条 会員が次の各号の一に該当する場合は、総会において出席した正会員の3分の2以上の議決により、除名することができる。この場合、その会員に対し、総会の1週間前までに、理由を付して除名する旨を通知し、総会において、決議の前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 本会の定款又は細則に違反したとき。
- (2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。

(3) その他の正当な事由があるとき。

2 前項の規定により除名が決議されたときは、会長は、その会員に対し、除名した旨を通知するものとする。

(会員の資格喪失)

第11条 前2条の場合のほか、会員は次の各号の一に該当する場合には、その資格を喪失する。

(1) 死亡し、若しくは失踪宣告を受けたとき。

(2) 保健師、助産師、看護師又は准看護師のいずれでもなくなったとき。

(3) 正当な理由なく1年以上会費を滞納したとき。

(4) 総正会員が同意したとき。

(会員資格喪失に伴う権利及び義務)

第12条 会員が第9条から前条までの規定によりその資格を喪失したときは、本会に対する権利を失い、義務を免れる。

2 本会は、会員がその資格を喪失しても、既納の会費及びその他の拠出金品は、返還しない。

第4章 総 会

(構成及び議決権)

第13条 総会は、正会員をもって構成する。

2 総会における議決権は、正会員につき1個とする。

3 総会をもって、法人法上の社員総会とする。

(権 限)

第14条 総会は、次に掲げる事項を決議する。

(1) 会費の額

(2) 会員の除名

(3) 理事及び監事の選任又は解任

(4) 推薦委員の選出

(5) 理事及び監事の報酬等の額

(6) 定款の変更に関する事項

(7) 本会の解散に関する事項

(8) 理事会において総会に付議した事項

(9) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(通常総会及び臨時総会)

第15条 本会の総会は、通常総会と臨時総会の2種とする。

2 通常総会は、毎事業年度終了後6月末迄に、年1回開催する。

3 臨時総会は、理事会の決議を経て、会長が招集する。ただし、5分の1以上の正会員から、会議の目的たる事項及び招集の理由を記載した書面により、招集の請求があったときは、会長は、当該請求のあった日から6週間以内の日を開催日として臨時総会を招集しなければならない。

4 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的、審議事項、総会に出席しない正会員が書面又は電磁的方法によって議決権を行使することができることとするときは、その旨及びその他法令で定められた事項を、開催14日前までに本会の機関紙によって公表し、会員に通知しなければならない。

(議 長)

第16条 総会に議長団を置く。

2 議長団は2名以上とし、総会において、その都度出席正会員の中から選任する。

3 議長は、議長団で決定する。

(定 足 数)

第17条 総会は、総正会員の過半数の出席をもって成立する。

(決 議)

第18条 総会の決議は、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

2 前項前段の場合において、議長は正会員として決議に加わることはできない。ただし、出席数からは除かない。

3 第1項の規定にかかわらず、次に掲げる総会の決議は、総正会員の3分の2以上の議決をもって行わなければならない。

(1) 会員の除名

(2) 監事の解任

(3) 定款変更

- (4) 本会の解散
 - (5) その他法令で定められた事項
- (書面による表決等)
- 第19条 やむを得ない理由のため総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法をもって表決し、又は他の構成員を代理人として表決を委任することができる。
- 2 第17条、第18条の適用については、前項の規定により書面又は電磁的方法をもって表決し、又は表決を委任した正会員は、当該総会に出席したものとみなす。
 - 3 書面又は電磁的方法による決議の可否については、総会ごとに理事会で定める。
- (議事録)
- 第20条 総会の議事録は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成19年法務省令第28号）で定めるところにより、書面又は電磁的記録をもって作成し、総会の日から10年間保存する。
- 2 議事録には議長及びその総会において選任された議事録署名人2人以上が、署名又は記名押印しなければならない。

第5章 役員等

(役員の設定)

- 第21条 本会に次の役員を置く。
- (1) 理事 15名以上25名以内
 - (2) 監事 2名以上4名以内
- 2 理事のうち、1名を会長、2名を副会長、1名以上3名以内を常任理事とする。
 - 3 前項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、常任理事をもって法人法第91条第1項第2号に規定する業務執行理事（以下「業務執行理事」という。）とする。

(役員を選任)

- 第22条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。
- 2 理事会は、会長、副会長及び常任理事を理事の中から選定する。
 - 3 理事会は、監事の内1名については正会員以外（以下「外部監事」という。）から選出する。尚、外部監事の選出は定款細則に定める。

(役員の親族等割合の制限)

- 第23条 本会の理事のうちには、理事のいずれか1名とその配偶者または三親等内の親族その他特別の関係にある者の合計数が、理事の総数の3分の1を超えて含まれてはならない。監事についても同様とする。
- 2 他の同一団体（公益法人を除く）の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものとして認定法施行令第5条で定められる者である理事の合計数が、理事の総数の3分の1を超えて含まれてはならない。監事についても同様とする。
 - 3 監事は、本会の理事又は使用人を兼ねることができない。

(理事の職務及び権限)

- 第24条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。
- 2 会長は、本会を代表し、業務を執行する。
 - 3 副会長は、会長を補佐する。
 - 4 常任理事は、会長、副会長を補佐し、業務を執行する。
 - 5 会長及び常任理事は、3箇月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務)

- 第25条 監事は、次に掲げる職務を行う。
- (1) 理事の職務の執行を監査し、監査報告を作成すること。
 - (2) 本会の業務及び財産の状況を監査すること。
 - (3) 理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べること。
 - (4) 理事が不正の行為をし、若しくは不正の行為をするおそれがあると認められるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、遅滞なく、その旨を理事会に報告すること。
 - (5) 前号の報告をするため必要があるときは、会長に理事会の招集を請求すること。ただし、その請求の日から5日以内に、理事会を開催する旨の招集通知（その請求があった日から2週間以内の日を開催日とするものに限る。）が発せられない場合は、直接理事会を招集すること。
 - (6) 理事が、総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査し、法令若しくは定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を総会に報告すること。
 - (7) 理事が本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくは定款に違反する行為をし、又はその行為をするおそれが

ある場合において、その行為によって本会に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、その行為をやめることを請求すること。

(8) その他監事に認められた法令上の権限を行使すること。

(役員任期)

第26条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 会長、副会長、常任理事は、同一の役付理事として引き続き就任する場合の任期は、その最初の選任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えることができない。ただし、災害その他やむを得ない事由により、特に業務上必要がある場合には、その最初の選任後8年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までを任期とすることができる。
- 3 監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。
- 4 前項の規定にかかわらず監事として引き続き就任する場合の任期は、その最初の選任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えることができない。
- 5 第21条第1項で定めた役員の数に欠けた場合には、任期の満了又は辞任により退任した役員は、新たに選任された役員が就任するまでなお役員としての権利義務を有する。

(役員解任)

第27条 理事及び監事は、総会の決議によって、解任することができる。

- 2 監事を解任する場合は、総正会員の3分の2以上の決議をもって行わなければならない。

(役員報酬等)

第28条 理事及び監事に対しては、総会で定める総額の範囲内で、報酬を支給することができる。

- 2 役員には、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し、必要な事項は、理事会の決議により別に定める役員等の報酬及び費用に関する規則による。ただし、監事が2人以上ある場合において、各監事の報酬等について総会の決議がないときは、第1項による報酬等の範囲内において、監事の協議によって定める。
- 4 監事は、総会において、監事の報酬等について意見を述べることができる。

(役員等の責任免除)

第29条 理事又は監事は、その任務を怠ったときは、本会に対し、これによって生じた損害を賠償する責任を負い、法人法第112条の規定により、この責任は、すべての正会員の同意がなければ、免除することができない。

- 2 前項の規定にかかわらず、当該理事又は監事が善意で重大な過失がない場合には、本会は、同法第114条第1項の規定により、任務を怠ったことによる理事又は監事（理事又は監事であった者を含む。）の損害賠償責任を法令の限度において理事会の決議によって免除することができる。
- 3 本会は、外部役員との間で、法人法第111条第1項の賠償責任について、法令で定める要件に該当する場合には、賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、法令で定める最低責任限度額とする。

(顧問)

第30条 本会に、顧問2名以内を置くことができる。

- 2 顧問は、理事会の決議により会長が委嘱する。
- 3 顧問は、役員を兼ねることができない。
- 4 顧問は、重要事項について、会長の諮問に応ずる。
- 5 顧問の任期は、2年とする。

第6章 理事会

(構成)

第31条 本会に理事会を設置する。

- 2 理事会は、すべての理事をもって組織する。

(権限)

第32条 理事会は、法令及びこの定款に定めるもののほか、次に掲げる職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- 2 理事会は、次に掲げる事項その他の重要な業務執行の決定を理事に委任することができない。
 - (1) 重要な財産の処分及び譲受け
 - (2) 多額の借財

- (3) 重要な使用人の選任及び解任
- (4) 従たる事務所その他重要な組織の設置、変更及び廃止
- (5) 内部管理体制の整備（理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他本会の業務の適性を確保するために必要な法令で定める体制整備）
- (6) 法人法第114条第1項の規定による定款の定めに基づく法人法第111条第1項の責任の免除

(招 集 等)

第33条 理事会は、会長が招集する。ただし、会長に事故あるときは、あらかじめ理事会において定めた理事が招集する。

2 理事会を招集する者は、理事会の日の1週間前までに各理事及び各監事に対してその通知を発しなければならない。

3 理事会の議長は、会長がこれにあたる。

(決 議)

第34条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(理事会の決議の省略)

第35条 理事が理事会の目的である事項について提案した場合において、当該提案について議決に加わることができる理事全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、その提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べたときは、この限りではない。

(議 事 録)

第36条 理事会の議事録については、法令で定めるところにより議事録を作成し、出席した代表理事及び監事は、署名又は記名押印しなければならない。

2 代表理事が欠席した理事会については、出席した理事及び監事が署名又は記名押印する。

3 議事録は、理事会の日から10年間、主たる事務所に備えおかなければならない。

第7章 職能委員会

(職能委員会)

第37条 本会に次の職能委員会を置く。

- (1) 保健師職能委員会
- (2) 助産師職能委員会
- (3) 看護師職能委員会Ⅰ
- (4) 看護師職能委員会Ⅱ

2 職能委員会は、それぞれ、職能上の問題を審議し、会長に助言する。

3 各職能委員会の委員長は、保健師、助産師、看護師担当の理事をもって充てる。

4 各職能委員会の委員は、理事会において選任する。

5 各職能委員会の構成及び運営に必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第8章 委員会

(委 員 会)

第38条 前条に定める委員会のほか、本会の事業を推進するために必要があるときは、理事会はその決議により、委員会を設置することができる。

2 委員会は、総会、理事会その他の法定機関の権限を侵すものではないものとする。

3 委員会の委員は、理事会が選任する。

4 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第9章 事務局

(事 務 局)

第39条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。

3 事務局長及び重要な職員は、理事会の決議を経て、会長が任免する。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の決議を経て、会長が定める。

第10章 支 部

(支 部)

第40条 本会に支部を置く。

- 2 支部の組織その他必要な事項は、理事会の決議を経て会長が定める。

第11章 資産及び会計

(事業年度)

第41条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(会計の原則)

第42条 本会の会計は、一般に公正妥当と認められる公益法人の会計の基準その他の会計の慣行に従うものとする。

(資産の管理)

第43条 本会の資産は、会長が管理する。

(事業計画及び収支予算)

第44条 本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（以下「予算等」という。）については、毎事業年度の開始の前日までに、会長が作成し、理事会の決議により決定するものとする。

- 2 予算等については、通常総会に報告するものとする。
- 3 予算等については、主たる事務所に当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。
- 4 予算書等については、毎事業年度の開始の日の前日までに行政庁に提出しなければならない。

(事業報告及び決算)

第45条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、たうえで理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
 - (2) 事業報告の附属明細書
 - (3) 貸借対照表
 - (4) 正味財産増減計算書
 - (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
 - (6) 財産目録
- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、通常総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。
 - 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間、また、従たる事務所に3年間備え置き一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所及び従たる事務所に、正会員名簿を主たる事務所に備え置き一般の閲覧に供するものとする。
- (1) 監査報告
 - (2) 理事及び監事の名簿
 - (3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類
 - (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類
- 4 第1項各号及び前項各号の書類は、当該事業年度経過後3箇月以内に行政官庁に提出しなければならない。
 - 5 貸借対照表は、通常総会終結後遅滞なく、公告するものとする。

(事業報告及び決算)

第46条 会長は、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4項に定める書類に記載する。

(多額の借財及び重要な財産の処分又は譲受け)

第47条 本会が、次の各号に掲げる借財をしようとするときは、総会の決議を経なければならない。

- (1) 1千万円を超える長期借入金
 - (2) 1千万円を超える短期借入金
- 2 本会が重要な財産の処分又は譲受けを行う場合も、前項と同様の決議を経なければならない。

(会計の規定等)

第48条 会計に関して必要な事項は、理事会の決議により別に定める。

第12章 定款の変更、合併及び解散等

(定款の変更)

第49条 この定款は、総会において、総正会員の3分の2以上の決議により変更することができる。

(合併等)

第50条 本会は、総会において出席した総正会員3分の2以上の決議により、他の法人法上の法人との合併又は事業の全部譲渡を行うことができる。

(解散)

第51条 本会は、総会における総会員の3分の2以上の決議その他法令で定められた事由により、解散する。

(公益認定の取消しに伴う贈与)

第52条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）において、認定法第30条第2項に規定する公益目的取得財産残額があるときは、これに相当する額の財産を当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、総会の決議により、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第53条 本会が解散等により清算するときに有する残余財産は、総会の決議により、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

第13章 公 告

(広告方法)

第54条 本会の公告は、主たる事務所に掲示する方法により行うものとする。

第14章 細 則

(委任)

第55条 この定款に定めるもののほか、本会の運営に必要な細則は、理事会の決議により別に定める。

附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号。以下「整備法」という。）第106条第1項に定める公益法人の設立の登記を行った日から施行する。
- 2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益社団法人の設立登記を行ったときは、第41条の定めにかかわらず、解散登記の前日を事業年度の末日とし、設立登記の日を事業年度の開始日とする。
- 3 この法人の設立登記の日に就任する理事及び監事は、別紙役員名簿記載のとおりとする。
- 4 本会の最初の会長は、川村良子とする。
- 5 本会の最初の副会長は、青嶋智重子、後藤道子とする。
- 6 本会の最初の常任理事は、大竹久子、濱口菊枝とする。
- 7 この定款は平成25年6月14日の通常総会にて承認され一部改正し施行する
この定款は平成26年6月19日の通常総会にて承認され一部改正し施行する
この定款は平成27年6月19日の通常総会にて承認され一部改正し施行する
この定款は平成28年6月17日の通常総会にて承認され一部改正し施行する
この定款は平成31年2月23日の臨時総会にて承認され一部改正し施行する

公益社団法人山形県看護協会 定款細則

第1章 総 則

(目 的)

- 第1条 この定款細則は、公益社団法人山形県看護協会（以下「本会」という。）定款第55条により、会務を執行するために必要な事項並びに公益社団法人日本看護協会に関連する事項を定める。

第2章 会 員

(入会の手続き)

- 第2条 正会員になろうとする者は、本会の指定する手続きにより、入会の申し込みをしなければならない。
2 本会の会員は、公益社団法人日本看護協会の入会についても本会を経由して入会手続きを行うものとする。

(登 録)

- 第3条 本会の正会員は、定款第3章に基づく者で、山形県の区域内に居住を有するか、又は、勤務するものとする。
2 会員の入会を受理した場合において、会員名簿に登録し、会員証を交付するとともに、公益社団法人日本看護協会の会員としても登録し、会員証を交付するものとする。
3 申込者は、正会員名簿に記載・登録された日から正会員としての資格を取得するものとする。

(退会及び除名)

- 第4条 会員が退会しようとするときは、本会の指定する手続きにより、会員証を添えて申し出なければならない。
2 定款第9条及び第10条により、退会又は除名された正会員は、登録を抹消されたその日から正会員の身分を喪失し、本会の会員名簿から抹消されなければならない。
3 除名された者が、本人の意志による再加入をするときは、理事会の議決により正会員になることができる。

(住所及び勤務地の変更届け)

- 第5条 会員は、本会に登録した住所又は勤務地が変更となる場合には、会長が別に定めるところにより、変更を届け出なければならない。

第3章 会 費

(会 費)

- 第6条 本会の会費は、1カ年6,600円とする。他に支部会費として1カ年900円とする。
2 会費の額は、総会において定める。
3 会員は、本会の指定する日までに翌年度分の会費を前納しなければならない。
ただし、入会した日の属する年度分の会費については、第2条第1項の定めるところによる。
4 会費の30%を限度として共益と相互扶助に、残額は法人会計に使用する。

(会館維持管理費及び会館・看護研修センター新築積立金)

- 第7条 会館維持管理費は1カ年1,500円とする。
2 会館・看護研修センター新築積立金として、平成22年度までの新会員からは総積立金88,000円、平成23年度新会員の一人当たり総積立金80,000円、平成24年度新会員の一人当たり総積立金70,000円、平成25年度新会員の一人当たり総積立金60,000円、平成26年度新会員の一人当たり総積立金50,000円、平成27年度以降の新会員の一人当たり総積立金40,000円とする。
3 前2項の額は、総会において定める。また、前2項に関する必要事項は別に定める。

第4章 理 事

(理事の忠実義務)

- 第8条 理事は、法令及び定款並びに総会の決議を遵守し、本会のため忠実にその業務を行わなければならない。

(理事の競業及び利益相反取引の制限)

- 第9条 理事は、次に掲げる場合には、理事会において、当該取引につき重要な事実を開示し、その承認を受けなければならない。
(1) 理事が、自己又は第三者のために、本会の事業の部類に属する取引をしようとするとき。
(2) 理事が、自己又は第三者のために本会と取引をしようとするとき。
(3) 本会が、理事の債務を保証すること、その他理事以外の者との間において、本会と当該理事との利益が相反する取引をしようとするとき。
2 前項の取引をした理事は、当該取引後、遅滞なく、当該取引についての重要な事実を理事会に報告しなければならない。

(理事の報告義務)

第10条 理事は、本会に著しい損害を及ぼすおそれのある事実があることを発見したときは、直ちに、監事に報告しなければならない。

(理事の定数)

第11条 定款第21条による役員のうち、第2項を除く理事は、次の通りとする。

- | | |
|--|----|
| (1) 理事（書記担当） | 2名 |
| (2) 理事（会計担当） | 2名 |
| (3) 保健師職能、助産師職能、看護師職能Ⅰ、看護師職能Ⅱの職能代表（以下「職能理事」という。） | 4名 |
| (4) 支部理事（各支部長） | 4名 |
| (5) 全区理事（准看護師） | 1名 |

(理事の任期)

第12条 定款第26条第1項により、理事の任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 会長、副会長、常任理事は、同一の役付理事として引き続き就任する場合の任期は、その最初の選任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えることができない。ただし、災害その他やむを得ない事由により、特に業務上必要がある場合には、その最初の選任後8年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までを任期とすることができる。

(理事の任務)

第13条 会長は、会を代表し、会の会務を掌理し、副会長及び常任理事は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。

- 2 理事は、会長を補佐すると共に、会長の命を受けて会務を執行する。

第5章 監 事

(監事の構成)

第14条 定款第21条第1項第2号により、監事は2名以上4名以内を置く。ただし、内1名は外部監事とする。

- 2 監事は、本会の業務運営に精通した者1名以上、会計制度に精通した者、又は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「一般社団・財団法人法」という。）及び公益社団法人及び公益財団法人の認定に関する法律（以下「公益法人認定法」という。）その他の関係法令に精通した者1名を選出するものとする。
- 3 外部監事は、前項に精通した者1名を理事会にて承認とする。

(監事の任期)

第15条 定款第26条第3項により、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時までとし、再任を妨げない。

- 2 前項の規定にかかわらず監事として引き続き就任する場合の任期は、その最初の選任後6年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する通常総会の終結の時を超えることができない。

(監事の任務)

第16条 定款第25条に加え、公益社団法人移行後の役員の報酬等の総額の上限についての監査を行うものとする。

(監事の委任)

第17条 監事について必要な事項は、法令、定款及びこの定款細則に定めるもののほか、総会の決議により別に定める。

- 2 前項にかかわらず、法令、定款、この定款細則及び総会決議に反しない限りにおいて、監事はその協議により、監事の監査及び調査の実施方法等について必要な事項を定めることができる。

第6章 総 会

(開催期日)

第18条 通常総会は、毎年6月に開催する。ただし、やむを得ない事情のある場合は、理事会の決議により、4月又は5月に変更することができる。

(総会運営)

第19条 総会運営に関する必要な事項は、法令、定款及びこの定款細則に定めるもののほか、理事会において別に定める総会運営規則によるものとする。

(理事・監事及び推薦委員などの選出)

第20条 理事・監事（外部監事1名を除く）及び推薦委員などは、総会において、正会員の中から正会員が選出する。

- 2 理事・監事及び推薦委員などの選出に関する必要事項は、法令、定款及び定款細則に定めるもののほか、別に定める選挙規則によるものとする。

(選挙管理委員会の設置及び運営)

第21条 議長は、正会員の中から次年度における選挙管理委員6名を定める。

- 2 選挙管理委員会の運営に関する必要事項は、法令、定款及び定款細則に定めるもののほか、別に定める選挙規則によるものとする。

第7章 理事会

(理事会の構成)

第22条 理事会は、定款第31条により、会長1名、副会長2名、常任理事3名、理事(書記担当)2名、理事(会計担当)2名、職能理事4名、支部理事4名、全区理事(准看護師)1名で構成される。

- 2 監事3名(内1名は外部理事)は、定款第25条第3項に基づき理事会に出席し職務を担うものとする。ただし、表決には加わらない。

第8章 常務理事会

(常務理事会の構成)

第23条 常務理事会は、会長1名、副会長2名、常任理事3名、理事(書記担当)1名、をもって構成される。

(常務理事会の運営)

第24条 常務理事会は、会長が必要と認めた時に召集し、協会の会務にあたる。

- 2 常務理事会の議長は、会長があたる。
- 3 常務理事会は、理事会が委任する事項を処理する。
- 4 決議事項は議事録に記載し、理事会に報告するものとする。
- 5 監事3名(内1名は外部監事)は、常務理事会に出席して意見を述べる事ができる。ただし、表決には加わらない。

第9章 職能委員会

(各職能委員会の構成)

第25条 4つの職能委員会は、それぞれの委員長及び6名以内の委員をもって構成する。ただし、看護職能委員会Iは委員長及び准看護師2名(1名は全区理事)を含む8名以内の委員で構成する。

- 2 各職能委員会の委員長は、職能理事としてこれにあたる。

(委員の選任)

第26条 各職能委員長は、総会において、正会員から選任する。

- 2 各職能委員は、理事会において、正会員から選任する。

(委員の任期)

第27条 委員長の任期は、選挙された総会の終了後から2年とする。ただし、再任は妨げないものとする。引き続き就任する場合は、各任期終了時に総会にて選挙にて選任とし、3期6年目の通常総会の終了日を超えて就任することはできない。

- 2 各職能委員は、理事会にて承認を得て、総会終了後から2年とする。ただし、再任は妨げないものとする。引き続き就任する場合は、各任期終了時に理事会の承認を得て、3期6年目の通常総会の終了日を超えて就任することはできない。
- 3 任期中で本人又は所属長から辞任の申し出があった場合、理事会にて選任とする。ただし、任期は残任期間とする。

(委員会の開催)

第28条 各職能委員会は、定期会合を行うこととする。

- 2 各職能委員会は、委員長が委員を招集し委員会を開催する。なお、委員長がその議長となる。
- 3 各職能委員会は、必要に応じて、会長の承認を得て、別に小委員会を設けることができる。

(職能別集会の開催)

第29条 各職能委員会は、会長の承認を得て年1回以上の職能別集会を開催することができる。

- 2 各委員長は、職能別集会の長となり、委員はこの会の運営にあたる。
- 3 各職能委員長は、公益社団法人日本看護協会の開催する全国職能交流集会及び全国職能委員長会議、北海道・東北地区職能委員長会議に出席するものとする。

第10章 委員会

(委員会)

第30条 本会に専門的事項に関する検討を行うために、次の常任委員会を置く。

- (1) 教育委員会
 - (2) 広報委員会
 - (3) 医療・看護安全対策委員会
 - (4) 災害・健康危機対策委員会
 - (5) いのちの教育推進委員会
 - (6) 勤務環境改善推進委員会
- 2 前項の各号に掲げる常任委員会のほかに、会長が必要と認めるときは、特別委員会、学会委員会及び認定委員会を置くことができる。

(委員の構成)

第31条 常任委員会の委員は、次の人数によって構成し、そのうち1名を委員長とする。

- | | |
|------------------|----|
| (1) 教育委員会 | 7名 |
| (2) 広報委員会 | 5名 |
| (3) 医療・看護安全対策委員会 | 4名 |
| (4) 災害・健康危機対策委員会 | 5名 |
| (5) いのちの教育推進委員会 | 5名 |
| (6) 勤務環境改善推進委員会 | 5名 |

2 学会委員会の委員は、次の人数によって構成し、そのうち1名を委員長とする。

- | | |
|------------------|----|
| (1) 山形県看護研究学会委員会 | 5名 |
|------------------|----|

3 認定委員会の委員は、次の人数によって構成し、そのうち1名を委員長とする。

- | | |
|------------------------|----|
| (1) 認定看護管理者教育課程教育運営委員会 | 7名 |
|------------------------|----|

4 各委員会の委員に、山形県看護協会役員・事務局職員及び協会立訪問看護ステーション職員を置くことができる。

(委員の選任)

第32条 常任委員会及び特別委員会並びに学会委員会、認定委員会の委員は、理事会において、正会員から選任する。

(委員の任期)

第33条 常任委員の任期は、1期3年とする。なお、再任は妨げない。引き続き就任する場合は、2期6年までとし、通常総会の日を終了日とする。ただし、委員の交替は、原則として毎年3分の1ずつとする。

2 特別委員の任期は、会長が必要と認める期間とする。ただし、5年以内とし、委員の交替はおこなわない。なお、欠員が生じた場合の補充は会長に一任とする。

3 山形県看護研究学会委員、認定看護管理者教育課程教育運営委員の任期は、1期3年とする。なお、再任は妨げない。引き続き就任する場合は、2期6年までとし、通常総会の日を終了日とする。

第11章 推薦委員会

(推薦委員会の設置)

第34条 本会に推薦委員会を置く。

2 推薦委員会、本会の役員及び推薦委員並びに公益社団法人日本看護協会の代議員及び予備代議員の改選に際し、その候補者の推薦に関する事項をつかさどる。

(推薦委員会の構成)

第35条 推薦委員会は、6名をもって構成する。

2 委員長は、委員の互選により選任する。

(推薦委員の選任)

第36条 推薦委員は、総会において、正会員から選任する。

(推薦委員の任期)

第37条 推薦委員の任期は、選任後事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結時までの2年とし再任はしない。なお、推薦委員の交替は、原則として毎年半分ずつとする。

2 任期途中で本人又は所属長から辞任の申し出があった場合、通常総会まで欠員とし、通常総会にて選任とする。

(推薦委員会の任務)

第38条 推薦委員会は、正会員の中から改選する同一職について、役職及び役割に適した人材を改選数以上推薦する。

2 候補者を推薦しようとするときは、あらかじめ本人の承諾を得て推薦しなければならない。

3 推薦名簿を選挙管理委員会（別途；選挙規則参照）に定時総会の2カ月前までに、文書にて伝えなければならない。

第12章 支 部

(支部の設置)

第39条 本会に次の支部を置く。

- (1) 山形支部 (2) 最北支部
- (3) 庄内支部 (4) 置賜支部

2 支部長は、支部理事をもってこれに充てる。

(支部役員の選任)

第40条 各支部役員は、総会において、各支部の正会員から選任する。

(支部運営)

第41条 支部運営に関し、必要な事項は、法令、定款及び定款細則に定めるもののほか、理事会の決議により、別に定める支部規則及び支部との確認事項によるものとする。

第13章 会 計

(会計規則)

第42条 本会の会計は、理事会において別に定める会計規則により、これを処理する。

第14章 事 務 局

(職 員)

第43条 本会の業務執行のため、職員及び嘱託職員（常勤及び非常勤職員を含む。以下同じ）を置く。

(職務分掌)

第44条 職員の職務分掌については、会長が別に定める。

(給 与 等)

第45条 職員及び嘱託職員の就業及び給与に関しては、理事会の決議により別に定める。

(組織及び運営)

第46条 事務局の組織及び運営に関し、必要な事項については、法令、定款及びこの定款細則に定めるもののほか、理事会により別に定める。

第15章 補 則

(定款細則の変更)

第47条 この定款細則を変更しようとするときは、理事会の決議による。ただし、第6条第1項「会費」及び第7条第1項会館維持管理費並びに第2項会館・看護研修センター新築積立金の額を変更しようとするときは、総会の決議を得なければならない。

(委 任)

第48条 この定款細則により会務を執行するために必要な事項は、理事会の決議により別に定める。ただし、理事会は、総会の決議によることが相当と認める場合には、定款第14条第7号の規定に基づき、総会の決議を求めることができる。

附 則

(施行期日)

- 1 この定款細則は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法規の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日（平成25年4月1日）から施行する。
- 2 この定款細則は、平成25年4月23日の理事会にて一部改正し施行する
この定款細則は、平成26年5月22日の理事会にて一部改正し施行する
この定款細則は、平成27年5月19日の理事会にて一部改正し施行する
この定款細則は、平成28年5月17日の理事会にて一部改正し施行する
この定款細則は、平成28年9月26日の理事会にて一部改正し、新会員管理体制に伴う改正は、平成28年10月1日より施行するが、新たな体制での業務執行は平成29年度通常総会終了後より実施する
この定款細則は、平成28年12月15日の理事会にて一部改正し施行する
この定款細則は、平成29年2月23日の理事会にて一部改正し施行する
この定款細則は、平成29年12月14日の理事会にて一部改正（委員会の名称変更）し、平成30年の通常総会終了後に施行する

この定款細則は、平成30年4月13日の書面理事会にて一部改正し施行する

この定款細則は、平成30年12月6日の理事会にて一部改正〔定款第21条第3項（業務執行理事の範囲）、定款第26条（役員の任期）〕し、平成31年2月23日の臨時総会終了後に施行する

この定款細則は、令和3年2月26日の書面理事会にて一部改正し施行する

この定款細則は、令和5年3月17日の理事会にて一部改正し施行する

この定款細則は、令和6年5月20日の理事会にて一部改正し施行する

公益社団法人山形県看護協会 支部規則

(設 立)

第1条 各支部は、公益社団法人山形県看護協会定款細則第12章第39条に基づき設置する。

(名 称)

第2条 各支部は、公益社団法人山形県看護協会定款細則第12章第39条に基づき支部名を称する。

(目 的)

第3条 各支部は、公益社団法人山形県看護協会定款第3条の目的に添って、各支部に属する公益社団法人山形県看護協会（以下、「県看護協会」とする。）の会員である保健師・助産師・看護師並びに准看護師の福祉を図るとともに、看護に関する資質及び職業倫理の向上に努め、もって県民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする。

(事 業)

第4条 各支部において次の事業を行う。

- (1) 看護職の看護に関する資質及び職業倫理の向上に関する事業
- (2) 各支部が所属する県民の健康と福祉に関する事業
- (3) 県看護協会の事業に対する支援・協力などに関する事業
- (4) その他、各号に該当しない本会の目的達成のための事業

(会計及び資産)

第5条 各支部の会計は、県看護協会が会費を一括徴収し、各支部事業に添って県看護協会より交付する。

2 各支部の資産は、県看護協会が一括管理とする。

(事業計画及び収支予算)

第6条 各支部は、各年度の事業計画（案）及び収支予算（案）を作成し、2月の理事会に提案し承認を得たのち、県看護協会通常総会にて会員の承認をうけなければならない。

2 各支部は、各年度の事業及び決算報告を作成し、4月の理事会に提案し承認を得たのち、県看護協会通常総会にて会員の承認をうけなければならない。

3 各支部の事業は、毎年4月1日に始まりから翌年3月31日をもって各年度とする。

(役 員)

第7条 各支部に次の役員を設置する。

- (1) 支部長 1名 (2) 副支部長 2名
- (3) 書記 2名 (4) 会計 2名

(役員を選任)

第8条 各支部役員（支部長・副支部長・書記・会計）は、県看護協会通常総会にて承認をうけなければならない。

2 任期途中で本人又は所属長から辞任の申し出があった場合、通常総会まで欠員とし、通常総会にて選任とする。

(役員の仕事)

第9条 支部長は支部を代表し、支部の業務を総括する。

尚、支部長は、県看護協会の理事を兼務し、県看護協会の運営に参画する。

- 2 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故あるとき、又は欠けたときは、支部長があらかじめ指名した順位によってその職務を行う。
- 3 書記は、支部の会議をはじめとする支部運営に係る文書の管理を行う。
- 4 会計は、各支部の事業に添った会計処理を行うと共に、予算案の作成及び決算報告を行う。

(役員任期)

第10条 支部役員任期は、1期2年とし3期6年を限度とする。

(役員解任)

第11条 支部役員解任は、公益社団法人山形県看護協会定款第27条に準じる。

(役員報酬)

第12条 役員は無給とする。

2 但し、交通費及び日当の支払いは、県看護協会の規定に準じ支給する。

(常任委員会の設置及び委員の選任・任期など)

第13条 支部は、支部運営を行う上で必要な委員会を設置することができる。

- 2 各種委員会の設置は、各支部役員会において決定する
- 3 各種委員の選任は、各支部役員会において、各支部の正会員から選任する。
- 4 委員の任期は支部役員と同じ1期2年とし、3期6年を限度とする。

- 5 委員が任期途中で本人又は所属長から辞任の申し出があった場合は、支部役員会にて各支部の正会員から選任する。

(規則の変更)

第14条 支部規則の変更は、県看護協会理事会の承認を経て定める。

附 則

- 1 詳細については、別に定める「山形県看護協会と4支部との確認事項」を参照のこと。
- 2 この規則は、平成23年10月25日より施行する
この規則は、平成24年1月20日に支部長会議にて確認済み
この規則は、平成24年2月7日より施行する
この規則は、平成24年4月24日の理事会にて一部改正し、平成24年6月より施行する
この規則は、平成24年8月7日の理事会にて一部改正し施行する
この規則は、平成25年4月23日の理事会にて一部改正し施行する
この規則は、平成25年10月11日の理事会にて一部改正し施行する
この規則は、平成26年2月18日の理事会にて一部改正し施行する
この規則は、平成29年5月25日の理事会にて一部改正し施行する

公益社団法人山形県看護協会 総会運営規則

第1章 総 則

(目 的)

第1条 この規則は、公益社団法人山形県看護協会（以下、「本会」という。）定款細則第19条の規定に基づき、総会の運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(遵守事項)

第2条 総会出席者は、法令、定款、定款細則及びこの規則を遵守しなければならない。

第2章 総会の出席者等

(登 録)

第3条 正会員は総会当日開会定刻までに議場に到着し、登録を受けなければならない。

(委任状による登録など)

第4条 定款第19条に則り、書面又は電磁的方法にて総会当日開会定刻まで他の構成員を代理人として表決を委任する正会員は、委任状をもって当該総会に登録したものとみなす。尚、委任状は、別添様式(1)及び別添様式(2)とする。

2 定款第15条第4項に則り、総会に出席しない正会員が書面又は電磁的方法によって議決権を行使する場合、総会当日開会定刻まで表決する。

3 委任を受けた会員は、総会会場において代理人の出席登録をうけなければならない。

(着 席)

第5条 登録が済んだ正会員は、開会定刻までに総会会場の所定の席に着席する。

(役員の出席)

第6条 理事及び監事は、やむを得ない理由がある場合を除き、総会に出席しなければならない。

(役員以外の出席)

第7条 本会の職員及び公認会計士等は、理事、監事を補佐するため、議長の許可を得て総会に出席することができる。

第3章 総会の開会等

第1節 開 会

(議長団選出前の進行役)

第8条 議長が選出されるまでの間、会長の指名したものが会の進行をつかさどるものとする。

(議長団の選出)

第9条 議長団の選出は、総会当日登録が済んだ正会員の中から総会において承認決議を行う方法によるものとする。

(議長団の着席)

第10条 議長団は議長席に着席する。

(議長の権限)

第11条 議長は、総会の秩序を維持し、議事を整理する。

2 議長は、次の発言に対し必要な注意を与え、制限し又はその発言を中止させることができる。

(1) 議長の指示に従わない発言

(2) 議題に関係しない発言

(3) 冗長又は重複する発言

(4) その他総会の品位を汚したり、他人の名誉を毀損（きそん）するなど、議事を妨害又は議場を混乱させる発言

(定足数の確認)

第12条 議長は、総会の開会に際し、事務局に出席数を確認させ、会場に報告しなければならない。

(開会の宣言)

第13条 議長は、前条の報告により定款第17条に定める総会成立のための定足数が満たされたことを確認したときは、開会を宣言しなければならない。

(開会時刻の繰下げ)

第14条 議長は、登録済みの正会員及び委任状が定足数に満たないとき、その他総会を開会するにつき重大な支障があると認められるときは、総会の開催時刻を繰下げることができる。この場合、既に入場している登録済みの正会員に対し、遅滞なく繰り下げられた時刻を通知しなければならない。

第2節 議題の審議

(議題の提出)

第15条 総会に付する議題は会長より文書をもって議長に提出しなければならない。

(審議の順序等)

第16条 議長は、提出された議題について、あらかじめ記載された順序に従い、審議に入るものとする。ただし、理由を述べて、その順序を変更することができる。

2 議長は、複数の議題を一括して付議することができる。

(理事等の報告・説明)

第17条 議長は、提出された議題について、提出した理事又は監事に主旨説明を行わせた後、その審議に入るものとする。

2 当該議題に関する事項の報告又は説明を行う理事又は監事は議長の許可を得て、補助者に報告又は説明させることができる。

(質 疑)

第18条 出席正会員は、議題について審議することができる。

(発言の機会)

第19条 出席正会員は、議題に関する事項の報告又は説明終了後でなければ、当該議題に関し発言することはできない。

(発 言)

第20条 出席正会員が議題について発言するときは、議長の許可を得なければならない。発言に先立ち自己の氏名と所属を明らかにしなければならない。

2 発言の順序は、議長が決する。

3 発言は、簡潔明瞭であることを要し、議長は、議事の進行上必要があると認められるときは、発言時間を制限することができる。

(議長の発言)

第21条 議長が討論のために発言しようとするときは議長を交代し、出席正会員席につかなければならない。

2 議長が討論に参加したときは、その議題又は議案の採決が終わるまで議長に復することはできない。

(説明義務者)

第22条 出席正会員の理事に対する質問の説明は、会長又はその指名した理事が行う。

2 出席正会員の監事に対する質問の説明は、各監事が行う。ただし、監査意見が統一されている場合は、監事の協議により定められた監事が行うことができる。

3 理事又は監事は、議長の許可を得た上で補助者に説明をさせることができる。

(一括説明)

第23条 理事又は監事は、出席正会員の質問に対して一括して説明をすることができる。

(説明の拒絶)

第24条 理事又は監事は、質問が次の理由に該当するときは、説明を拒絶することができる。

(1) 質問事項が総会の目的事項に関しないものである場合

(2) 説明をすることにより正会員の共同の利益を著しく害する場合

(3) 説明をすることにより本会、その他の者(出席正会員を除く。)の権利を侵害することとなる場合

(4) 説明をするために調査を行うことが必要である場合

(5) 質問が重複する場合

(6) その他説明をしないことにつき正当な理由がある場合

第3節 動 議

(動議の提出)

第25条 議長は出席正会員より動議の提出があった場合には、まず賛否の決議を行い、賛成の決議を得た場合に議題とする。

(優先動議)

第26条 次の動議は他の議事に優先して取り扱い、少なくとも賛否各1名の討論の後、直ちに採決にはいらなければならない。

(1) 議事の進行、討論の打ち切り、休憩又は休会の動議

(2) 議長不信任

(3) 退会の秩序保持に関する動議

(議長不信任の動議の審議)

第27条 議長は、当該議長の不信任の動議の審議に当たっても職務を行うことができるものとする。

(動議の却下)

第28条 議長は、動議が次の事由に当たるときは、直ちに却下することができる。

(1) 当該修正動議に関する議題の審議に入っていないとき、又は審議を終了したとき。

(2) 既に同一の内容の動議が否決されているとき。

- (3) 総会の議事を妨害する手段として提出されたとき。
- (4) 法令、定款その他本会が定める規則等に適合しないとき又は権利の濫用に当たるとき。

第4節 休 憩

(休 憩)

第29条 議長は、議事の進行上必要と認めるときは、休憩を宣言することができる。

第5節 審議の終了・採決

(採 決)

第30条 議長は、質疑及び討論が尽くされたと認められたときは、審議終了を宣言し、議案の可否を採決する。

(採決の方法)

第31条 議長は、採決について、賛否を確認できるいかなる方法によることもできる。

(議案の修正)

第32条 議案を修正しようとする出席正会員は10名以上の出席正会員の賛成を得て、修正案をあらかじめ議長に提出し、その主旨を説明しなければならない。ただし、10名の中に総会に出席しない正会員が書面又は電磁的方法によって議案を修正する正会員とはならない。

- 2 議長は、討論の終結後前項の修正案につき、まず採決をしなければならない。
- 3 同一議案について数個の修正案が提出されたときは、議長が採決の順序を決める。
- 4 修正案がすべて否決されたときは、原案について採決しなければならない。

第6節 閉 会 等

(延期又は続行)

第33条 総会を延期又は続行する場合は、総会の決議による。

- 2 前項の場合、延会又は継続会の日時及び場所についても決議しなければならない。ただし、その決定を議長に一任することを妨げない。
- 3 前項ただし書きの場合、議長は決定した日時及び場所を総会に出席した正会員に通知する。
- 4 延会又は継続会の日は、最初の総会の日より2週間以内に定めなければならない。

(閉 会)

第34条 議長は、すべての議事を終了したとき又は延期若しくは続行が決議されたときは、閉会を宣言する。

(議 事 録)

第35条 総会の議事録は書面又は電磁的方法をもって作成し、議長及び総会において選任された議事録署名人2名以上が署名又は記名押印（電子署名を含む）をしなければならない。

- 2 議事録には下記の事項を記載する。
 - (1) 会議の日時、場所及び目的
 - (2) 出席した出席正会員数、委任状数、総会に出席しない正会員が書面又は電磁的方法によって議決権を行使する正会員数、役員及び議長団の氏名
 - (3) 会長又は役員の報告事項
 - (4) 会議に付された議題
 - (5) 議題となった動議及び動議者の氏名
 - (6) 議事及び発言の要旨
 - (7) 決議事項
 - (8) その他議長において必要と認めた事項

(出席できなかった正会員等に対する報告)

- 第36条 会長は、総会の議事の経過の要領及びその結果などを、出席できなかった正会員及びOB会員に対し、広報紙「山形いぶき」など適宜な方法により報告しなければならない。
- 2 委任を受けた出席正会員は、総会終了後、委任者に報告を行わなければならない。

第4章 雑 則

(改 廃)

第37条 この規則の改廃は、総会の決議により行う。

附 則

この規則は、公益社団法人山形県看護協会の設立の登記の日(平成25年4月1日)より最初に開催される通常総会の日(平成25年6月14日)から施行する。

公益社団法人山形県看護協会 選挙規則

第1章 総 則

(目 的)

第1条 この規則は、公益社団法人山形県看護協会（以下「本会」という。）の定款細則第20条の規定に基づき、理事・監事及び推薦委員並びに公益社団法人日本看護協会通常総会の代議員及び予備代議員（以下「役員等」という。）の選挙を公正に行うために必要な事項を定める。

(選挙の倫理)

第2条 選挙は、看護職の倫理を尊重し、看護職の名誉と品位を保持して、この規則を誠実に遵守し、厳正に施行されなければならない。

(選挙期日)

第3条 役員等の選挙は、総会において行う。

(選挙権者)

第4条 選挙権者は、選挙の行われる総会に出席し、並びに書面又は電磁的方法による委任状により意志表示のある正会員とする。

(被選挙権者)

第5条 被選挙権者は、次の者とする。

- (1) 立候補した者
- (2) 推薦委員会から候補者として推薦を受けた者

(選挙事務の管理)

第6条 この規則における役員等の選挙に関する事務は、選挙管理委員会が管理する。ただし、選挙の執行は総会議長の指揮下に入る。

(出席会員数の確認)

第7条 総会議長は、選挙開始の宣言に先立ち、出席正会員数を確認しなければならない。確認後、出席正会員の入室・退室は禁止する。ただし、申し出により退席する場合はこの限りでない。

第2章 選挙管理委員会

(選挙管理委員の選出)

第8条 選挙管理委員会の委員（以下「選挙管理委員」という。）は、次期正会員のうちから、次年度の委員を理事会が推薦し、総会議長が指名する。
ただし、議長及び理事を兼ねることはできない。

(選挙管理委員の任期)

第9条 選挙管理委員の任期は、選出された総会終結の翌日から次年度総会終結の日までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず選挙管理委員の任期が満了しても、第21条に基づく異議の申出に対する対応が完了するまでは、選挙管理委員は、引き続きその職務をおこなわなければならない。

(選挙管理委員会の組織)

第10条 選挙管理委員会は選挙管理委員6名をもって組織する。

- 2 選挙管理委員会に選挙管理委員長（以下「委員長」という。）を置く。委員長は選挙管理委員の互選によって決する。

(選挙管理委員会の任務)

第11条 選挙管理委員会は選挙が公明かつ適正に行われるよう配慮しなければならない。

- 2 選挙管理委員会は次の事務を行うものとする。
 - (1) 選挙に関する公示
 - (2) 立候補又は候補者辞退の届出の受理
 - (3) 推薦委員会から推薦候補者名簿の受理
 - (4) 立候補者及び推薦候補者の公示
 - (5) 選挙活動の監督
 - (6) 挙手並びに投票及び開票の管理
 - (7) 当選者の確定
 - (8) 当選者の総会議長への報告
 - (9) その他選挙事務の管理に必要と認めた事項

(選挙の公示)

第12条 選挙管理委員会は、選挙の期日の5カ月前までに、次の事項を正会員に広報紙「山形いぶき」及び本会のホー

ムページにて公示する。ただし、役員等の辞任その他緊急やむを得ない事由のあるときは、役員等への立候補の届出締切日の2週間前までに追加の役員等の公示を行うことができる。

- (1) 選挙する役職名及び定数
- (2) 選挙期日及び場所
- (3) 立候補の届出期間
(ただし、届出締切日は総会開催の2カ月前までとする。)
- (4) その他必要と認めた事項

(立候補等の禁止)

第13条 選挙管理委員は、役員等の候補者となり、又はその選挙運動に関与することができない。

第3章 候 補 者

(立候補の届出)

第14条 役員等に立候補しようとする者は、第12条により公示された届出期間内に立候補届出書；別添様式(1)及び立候補者推薦届；別添様式(2)を選挙管理委員長に提出しなければならない。

- 2 自薦の場合は、立候補届出書；別紙様式(1)及び3名以上の立候補者推薦届；別添様式(2)を選挙管理委員長に提出する。
- 3 他選の場合は、立候補届出書；別紙様式(1)及び3名以上の立候補者推薦届；別添様式(2)を選挙管理委員長に提出する。

(立候補の辞退)

第15条 立候補者が、その立候補を辞退しようとするときは、第12条により告示された届出期間内に別添様式(3)を選挙管理委員長に届け出なければならない。

(候補者の公示)

第16条 選挙管理委員会は、総会開催日の2週間前(当日が本会の定める休業日であるときは、その翌営業日)に、広報紙「山形いぶき」及び本会のホームページにおいて候補者を会員に公示しなければならない。

第4章 選挙運動

(選挙演説放送)

第17条 選挙管理委員会は、本会のホームページを利用して、すべての候補者の抱負、所見その他の演説を放送することができる。ただし、放送する場合、すべての候補者を対象とする。

- 2 前項の放送時間は候補者1名につき3分以内とし、選挙管理委員会は、録音した内容をそのまま放送しなければならない。
- 3 選挙管理委員会は、すべての候補者に対して、同一放送設備を使用し、同一時間数を与える等同等の利便を提供しなければならない。
- 4 選挙管理委員会は、すべての候補者の抱負、所見その他を放送する場合は、前3項のホームページの開設及び管理を行う。

(選挙公報)

第18条 選挙管理委員会は、第16条の候補者の公示とは別に選挙公報を発行し、総会の14日前までにすべての会員に発送する。ただし、選挙公報の発行は、第16条候補者の公示と兼ねることができる。

- 2 選挙公報をあらたに発行する場合には、候補者の氏名、年齢、勤務先、本会活動歴及び立候補者か推薦委員会の推薦候補者かについて記載するほか、候補者が選挙管理委員会の定めるところにより提出した掲載文及び肖像写真を掲載することができる。
- 3 前項の掲載文は1,200字以内とし、選挙管理委員会は原文のまま掲載しなければならない。ただし、掲載文の字数が1,200字を超えるときは、超える部分は掲載しない。
- 4 選挙公報の内容は、第16条に定める広報紙「山形いぶき」にも掲載する。この場合の掲載文は200字以内とし、候補者は広報紙に掲載する掲載文を別途選挙管理委員会に提出する。
- 5 選挙管理委員会は、選挙公報の発行にあたり、その内容を本会のホームページに掲載することができる。

(選挙運動の期間)

第19条 選挙運動の期間は、第16条に定める候補者の公示の日から総会の前日までとする。

(禁止事項)

第20条 候補者及びその他の会員は、選挙運動として次の行為をし又は会員以外のものにこれをさせてはならない。

- (1) 第19条に定める期間外に選挙運動をすること。
- (2) 第17条に規定するもののほか、ホームページ又は電子メールその他インターネットを利用した選挙運動をすること。

- (3) 第18条に規定するもののほか、はがき、ポスターその他の文書による選挙運動をすること。
 - (4) 会員の自宅又は勤務先を個別訪問すること。
 - (5) 新聞、雑誌その他の出版物に候補者に関する記事又は広告を掲載すること。
 - (6) 利益を享受すること又はその約束をすること。
 - (7) 供応をすること又はこれを受けること。
 - (8) 電話又は電報により投票を依頼すること。
 - (9) 投票のため乗物を提供すること。
 - (10) 候補者を誹謗し、その他不正な手段で他人の当選を妨げること。
 - (11) 本会以外の場所において選挙運動としての講演会等を行うこと。
- 2 選挙管理委員会は、前項の行為が行われたと判断した場合には、当該事実の公表及び当該行為の中止勧告等を行うものとする。

(選挙に関する異議の申出)

第21条 当選の効力に関し不服のある候補者若しくは選挙の効力に関し、不服のある候補者又は会員は、当選者の決定の日から10日以内に、文書をもって選挙管理委員会に対して異議を申し出ることができる。

(当選又は選挙無効の決定)

第22条 当選の効力に関し意義の申出があった場合において、当選の結果に異動を及ぼす場合に限り、選挙管理委員会は、当選に関する決定を変更しなければならない。

- 2 選挙の効力に関し異議の申出があった場合において、選挙に関する規定に違反することがあるときは、選挙の結果に異動を及ぼすおそれがある場合に限り、選挙管理委員会は、その選挙の全部または一部の無効を決定しなければならない。

*注釈：異動とは、物事に、前の状態と違った動きが起こること。

第5章 挙手及び投票

(選挙の方法)

第23条 選挙は、総会会場に出席の会員の挙手並びに書面及び電磁的方法による委任状にて意志表示のあるものをもって行う。

- 2 上記の他に投票用紙による投票の方法をもって行うことができる。尚、投票用紙による投票方法は、公益社団法人日本看護協会 選挙及び選挙管理委員会に関する規則 第5章 投票及び開票 第25条から第31条に準じる。

(挙手による方法)

第24条 総会出席の会員1名が1票とし、他に書面及び電磁的方法による委任状にて意志表示のあるものの票数とする。

- 2 選挙管理委員会は、選挙に入る前に、出席会員数並びに書面及び電磁的方法による委任状数の確認をする。
- 3 正確さを確保するため、議長は会場を閉鎖し出席会員の出入りを禁止する。

(挙手採決)

第25条 総会出席の会員の信任・不信任を挙手による方法で採決する。

- 2 挙手は、候補者1名ずつ信任又は不信任の挙手で採決する。
- 3 総会出席者の大多数が信任の場合は、不信任の挙手者の数を正確に数え、かつ不信任者の中に委任を受けている数の確認も正確に行う。

(同数の場合の決定方法)

第26条 同数の場合、当選者を決定する場合は、総会議長に委ねる。尚、総会議長が抽選で決することもできる。

(当選者の報告)

第27条 総会議長は委員長から結果の報告を受けたときは、当選者を速やかに会長及び議場における会員に報告しなければならない。

(当選者の公示)

第28条 選挙管理委員会は当選者について、速やかにホームページ又は後日発行の広報紙「山形いぶき」などにて会員に公示しなければならない。

第6章 雑 則

(規則の変更)

第30条 この規則における変更は、理事会の決議によりおこなわなければならない。

附 則

- 1 この規則は、公益社団法人山形県看護協会の設立の登記の日から施行する。（従って、この選挙規則は平成25年4月1日より施行となる。）
- 2 この規則は、平成26年3月18日の理事会にて一部改正し、平成26年6月19日の通常総会后より施行する。
- 3 この規則は、平成29年11月16日の理事会にて一部改正し、平成30年6月22日の通常総会后より施行する。

公益社団法人日本看護協会名誉会員

横 山 洋 子 (平成26年)

荒 井 幸 子 (平成30年)

山形県看護協会年度別会員数・会費 (平成3年度～令和5年度)

(令和6年3月31日現在)

年度	職能別	保 健 師	助 産 師	看・准看護師	計	会 費
平成3年度		379人	230人	4,325人	4,934人	(3.10.1現在) 1,000円
4		387	241	4,426	5,054	3,600
5		391	247	4,683	5,321	4,600
6		403	247	4,831	5,481	4,600
7		415	256	4,997	5,668	4,600
8		422	270	5,126	5,818	4,600
9		429	279	5,306	6,014	4,600
10		447	292	5,443	6,182	6,600
11		455	316	5,690	6,461	6,600
12		469	322	5,800	6,591	6,600
13		456	336	5,727	6,519	6,600
14		462	331	5,818	6,611	6,600
15		448	325	5,907	6,680	6,600
16		449	326	6,080	6,855	6,600
17		440	328	6,196	6,964	6,600
18		424	331	6,264	7,019	6,600
19		414	342	6,347	7,103	6,600
20		398	341	6,375	7,114	6,600
21		395	354	6,397	7,146	6,600
22		386	347	6,501	7,234	6,600
23		379	356	6,545	7,280	6,600
24		391	361	6,593	7,345	6,600
25		397	365	6,627	7,389	6,600
26		388	353	6,637	7,378	6,600
27		381	352	6,716	7,449	6,600
28		393	363	6,831	7,587	6,600
29		379	354	6,952	7,685	6,600
30		366	364	7,125	7,855	6,600
令和元年度		367	362	7,109	7,838	6,600
2		368	367	7,147	7,882	6,600
3		367	371	7,219	7,957	6,600
4		350	367	7,259	7,976	6,600
5		337	372	7,251	7,960	6,600

* H14.3.1付「保健師助産師看護師法」に伴う名称変更

令和5年度支部別会員数

(令和6年3月31日現在)

支部名	会員数	会 員 数				合 計
		保健師	助産師	看護師	准看護師	
山形支部		168	222	3,639	37	4,066
最北支部		55	29	671	12	767
庄内支部		68	63	1,622	61	1,814
置賜支部		46	58	1,193	16	1,313
合 計		337	372	7,125	126	7,960

看護師				准看護師				
06.3.31 現在 会員数	05.3.31 現在 会員数(a)	04.3.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	06.3.31 現在 会員数	05.3.31 現在 会員数(a)	04.3.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	
人	人	人	%	人	人	人	%	
38,256 (3,596)	38,928 (3,617)	67,176	58	1,674 (99)	1,834 (108)	13,065	14	北海道 青森 岩手 宮城 秋田
7,724 (693)	7,775 (673)	13,463	58	297 (21)	325 (23)	4,374	7	
7,003 (587)	6,967 (566)	14,383	48	118 (7)	141 (9)	2,479	6	
11,819 (884)	11,816 (890)	21,304	55	293 (15)	323 (17)	4,643	7	山形 福島 茨城 栃木 群馬
6,279 (639)	6,383 (653)	11,767	54	72 (9)	83 (12)	2,591	3	
7,125 (535)	7,127 (540)	12,391	58	126 (11)	132 (9)	2,379	6	
10,884 (984)	10,970 (996)	18,236	60	657 (59)	743 (64)	5,679	13	山形 福島 茨城 栃木 群馬
14,103 (1,369)	14,143 (1,370)	24,148	59	850 (96)	928 (103)	6,375	15	
10,971 (1,112)	11,059 (1,124)	18,646	59	555 (49)	585 (51)	5,386	11	
10,031 (1,299)	10,066 (1,288)	19,868	51	506 (57)	566 (71)	6,111	9	埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟
23,070 (2,285)	23,521 (2,279)	54,603	43	494 (37)	550 (40)	11,003	5	
26,005 (2,317)	26,431 (2,341)	49,888	53	722 (58)	827 (61)	8,064	10	
40,128 (3,020)	42,206 (3,157)	125,480	34	369 (38)	437 (43)	11,291	4	東京 神奈川 新潟
34,184 (3,108)	35,248 (3,213)	75,074	47	417 (33)	440 (32)	7,338	6	
14,206 (1,469)	14,342 (1,466)	23,798	60	440 (34)	488 (36)	4,495	11	
5,116 (616)	5,134 (617)	8,658	59	156 (9)	164 (8)	1,757	9	山梨 長野 富山 石川 福井
12,714 (1,437)	12,802 (1,436)	24,403	52	233 (27)	251 (28)	4,071	6	
7,958 (679)	7,975 (675)	13,404	59	87 (9)	92 (9)	2,595	4	
8,939 (674)	9,084 (672)	15,251	60	229 (23)	252 (24)	2,379	11	岐阜 静岡 愛知 三重 滋賀
5,911 (503)	6,003 (514)	9,555	63	151 (4)	183 (4)	2,504	7	
11,447 (1,154)	11,412 (1,134)	18,552	62	448 (33)	482 (33)	5,090	9	
20,729 (1,730)	20,697 (1,714)	35,953	58	573 (32)	617 (29)	5,581	11	京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山
37,648 (3,175)	37,660 (3,155)	66,768	56	613 (25)	679 (30)	11,252	6	
10,821 (967)	10,960 (975)	18,910	58	433 (25)	451 (22)	4,214	11	
8,414 (996)	8,449 (991)	14,857	57	147 (14)	167 (13)	1,362	12	京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山
15,345 (1,455)	15,675 (1,467)	29,240	54	447 (36)	484 (39)	3,708	13	
49,004 (3,539)	50,776 (3,610)	85,730	59	1,295 (76)	1,421 (68)	11,888	12	
29,111 (2,288)	29,691 (2,316)	58,797	50	597 (23)	695 (25)	8,544	8	奈良 和歌山
8,997 (842)	8,924 (810)	14,185	63	277 (11)	310 (10)	1,758	18	
5,674 (775)	5,716 (770)	11,538	50	95 (12)	105 (14)	2,636	4	
3,946 (335)	4,008 (329)	7,742	52	42 (3)	46 (3)	1,747	3	鳥取 島根 岡山 広島 山口
5,187 (459)	5,247 (452)	9,284	57	105 (11)	118 (11)	2,451	5	
15,961 (1,168)	15,851 (1,156)	24,654	64	541 (25)	595 (26)	3,641	16	
18,457 (1,795)	18,656 (1,799)	33,314	56	779 (53)	862 (65)	9,448	9	徳島 香川 愛媛 高知 福岡
8,946 (737)	9,030 (734)	18,227	50	381 (34)	422 (36)	5,638	7	
4,362 (314)	4,385 (313)	9,548	46	58 (3)	55 (4)	3,191	2	
6,969 (729)	6,985 (719)	11,997	58	196 (30)	211 (30)	3,536	6	徳島 香川 愛媛 高知 福岡
9,283 (1,047)	9,413 (1,014)	17,205	55	276 (25)	292 (25)	4,318	7	
5,754 (678)	5,872 (693)	11,393	52	240 (36)	260 (39)	2,757	9	
39,497 (3,497)	39,853 (3,515)	65,134	61	1,654 (164)	1,797 (180)	13,995	13	佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎
4,956 (705)	5,052 (709)	11,766	43	212 (30)	244 (38)	4,001	6	
9,152 (969)	9,243 (956)	18,798	49	274 (22)	292 (24)	5,930	5	
13,674 (1,184)	13,683 (1,168)	24,586	56	1,089 (112)	1,197 (124)	8,671	14	熊本 大分 宮崎
8,770 (782)	8,803 (771)	15,700	56	569 (59)	605 (59)	4,751	13	
7,907 (1,058)	7,985 (1,061)	15,097	53	406 (46)	459 (54)	5,309	9	
10,957 (1,329)	11,106 (1,321)	23,522	47	435 (51)	488 (54)	7,236	7	鹿児島 沖縄
9,334 (1,783)	9,342 (1,748)	17,694	53	289 (45)	320 (48)	3,097	10	
682,728 (63,296)	692,454 (63,487)	1,311,687	53	20,917 (1,731)	23,018 (1,855)	254,329	9	合計

令和5年度山形県看護協会看護研修センター及び訪問看護会館研修室使用状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

	室名	第一研修室	講師控室	第二研修室	第三研修室 ・実習室	講師控室 兼小会議室	交流 ラウンジ1	会議室	訪問看護 会館研修室	計 (実使用日数)	令和4年度	増 減
4月	延日数	2	0	8	2	1	2	10	1	26	15	11
	延人数	70	0	58	5	4	6	61	5	209	143	66
5月	延日数	16	15	12	5	5	8	6	0	67	17	50
	延人数	716	193	176	49	9	37	28	0	1,208	692	516
6月	延日数	22	22	14	10	9	4	9	3	93	22	71
	延人数	1,304	80	140	157	9	6	41	32	1,769	978	791
7月	延日数	16	13	13	13	4	1	11	1	72	20	52
	延人数	1,194	12	53	81	3	0	42	5	1,390	1,233	157
8月	延日数	8	6	14	10	8	5	7	4	62	18	44
	延人数	471	6	113	98	8	18	31	34	779	708	71
9月	延日数	16	13	15	10	8	6	5	2	75	22	53
	延人数	592	15	102	51	10	26	24	30	850	757	93
10月	延日数	18	17	18	12	12	8	9	1	95	23	72
	延人数	525	17	102	62	13	32	37	3	791	978	△ 187
11月	延日数	18	11	13	11	10	5	12	2	82	20	62
	延人数	630	10	100	61	15	9	47	23	895	682	213
12月	延日数	2	2	12	6	4	5	7	1	39	19	20
	延人数	100	2	242	47	4	20	27	10	452	203	249
1月	延日数	1	2	5	5	5	2	6	0	26	18	8
	延人数	72	4	32	39	7	2	36	0	192	157	35
2月	延日数	1	2	2	3	3	1	7	2	21	17	4
	延人数	50	31	18	25	9	2	32	30	197	125	72
3月	延日数	3	1	8	1	3	2	9	1	28	15	13
	延人数	90	1	101	12	3	11	38	8	264	188	76
合計	延日数	123	104	134	88	72	49	98	18	686	226	460
	延人数	5,814	371	1,237	687	94	169	444	180	8,996	6,844	2,152

令和5年度山形県看護協会役員・推薦委員並びに 令和6年度日本看護協会代議員・予備代議員名簿

役職名	歴年数	氏名	職能	勤務先
会長	3	若月裕子	看護師	山形県看護協会
副会長	2	岸幸世	看護師	山形県立中央病院
副会長	2	吉岡良子	助産師	自宅
常任理事	3	後藤道子	助産師	山形県看護協会
常任理事	3	菅野弘美	看護師	山形県看護協会
常任理事	2	田瀬裕子	看護師	山形県看護協会
理事(書記担当)	2	菅原麻里子	助産師	山形済生病院
理事(書記担当)	2	大宮喜和美	看護師	東北中央病院
理事(会計担当)	2	松田英理	保健師	天童市役所
理事(会計担当)	1	船見美和子	看護師	鶴岡市立荘内病院
監事	2	佐藤貴美	看護師	山形大学医学部附属病院
監事	1	安部淳子	看護師	米沢市立病院
外部監事	1	長岡淳司		済生会支部山形県済生会

職能理事(4名)				
役職名	歴年数	氏名	職能	勤務先
保健師職能理事	1	加藤明子	保健師	山形市保健所
助産師職能理事	2	吉田宏井	助産師	山形県立中央病院
看護師職能I理事	1	小松恭子	看護師	公立置賜総合病院
看護師職能II理事	2	須藤美和子	看護師	訪問看護ステーションまいづる

支部理事(4名)・全区理事(1名)				
支部名	歴年数	氏名	職能	勤務先
山形支部	1	保立美枝子	看護師	寒河江市立病院
最北支部	2	成沢純子	看護師	山形県立新庄病院
庄内支部	2	中村美穂	看護師	酒田市立酒田看護専門学校
置賜支部	2	伊藤加代子	看護師	白鷹町立病院
全区理事	2	笹原真樹	准看護師	篠田総合病院

推薦委員(6名)				
支部名	歴年数	氏名	職能	勤務先
山形支部	2	柴田弘子	看護師	山形市立病院済生館
山形支部	1	秋場恵美	助産師	山形済生病院
最北支部	2	安食瞳	看護師	新庄徳洲会病院
庄内支部	2	小林純子	看護師	山形県立こころの医療センター
庄内支部	1	三浦恵	保健師	遊佐町役場
置賜支部	1	小林あゆみ	看護師	三友堂病院

令和6年度代議員(8名)				
支部名	氏名	職能	勤務先	
全区	加藤明子	保健師	山形市保健所	
全区	遠藤里美	助産師	鶴岡市立荘内病院	
山形支部	井上恵子	看護師	山形済生病院	
山形支部	後藤順子	看護師	東北中央病院	
最北支部	田中麗理子	看護師	山形県立新庄病院	
庄内支部	日下部博美	看護師	庄内余目病院	
置賜支部	鈴木美紀	看護師	公立置賜南陽病院	
全区	阿部紀子	准看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院	

令和6年度予備代議員(8名)				
支部名	氏名	職能	勤務先	
全区	松浦由美子	保健師	河北町役場	
全区	矢口さなえ	助産師	山形県立新庄病院	
山形支部	保立美枝子	看護師	寒河江市立病院	
山形支部	小関郁子	看護師	山形大学医学部附属病院	
最北支部	成沢純子	看護師	山形県立新庄病院	
庄内支部	今野里美	看護師	鶴岡市立荘内病院	
置賜支部	鈴木恵美子	看護師	公立置賜南陽病院	
全区	菊地玲子	准看護師	吉岡病院	

令和5年度三職能4委員会委員名簿

保健師職能委員(6名)				
支部名	歴年数	氏名	職能	勤務先
山形支部	2	松浦由美子	保健師	河北町役場
山形支部	2	野口美也子	保健師	済生会なでしこ地域包括支援センター
山形支部	1	宇佐美晴枝	保健師	朝日町役場
最北支部	2	東海林久美	保健師	最上町役場
庄内支部	1	石井美喜	保健師	鶴岡市役所
置賜支部	1	梅津美由紀	保健師	南陽市役所

助産師職能委員(5名)				
支部名	歴年数	氏名	職能	勤務先
山形支部	2	鳥貫女久美	助産師	山形市立病院済生館
山形支部	1	斉藤ひとみ	助産師	助産師のひとみさん
最北支部	2	矢口さなえ	助産師	山形県立新庄病院
庄内支部	2	遠藤里美	助産師	鶴岡市立荘内病院
庄内支部	1	阿部愛	助産師	鶴岡協立病院

看護師職能委員I(7名)				
支部名	歴年数	氏名	職能	勤務先
山形支部	1	村岡さゆり	看護師	山形県立河北病院
山形支部	1	渡邊修	看護師	みゆき会病院
山形支部	1	小松史子	看護師	南さがえ病院
庄内支部	2	矢島理江	看護師	日本海総合病院
庄内支部	2	加藤美津樹	看護師	庄内余目病院
全支部から	4	笹原真樹	准看護師	篠田総合病院
全支部から	2	今野幸子	准看護師	本間病院

看護師職能委員II(5名)				
支部名	歴年数	氏名	職能	勤務先
山形支部	2	宮地康子	看護師	羽陽学園短期大学
山形支部	1	千場弘美	看護師	至誠堂総合ケアセンター
最北支部	3	長岡由美	看護師	町立金山診療所
最北支部	1	井澤照美	看護師	舟形徳洲苑
庄内支部	2	齋藤知子	看護師	特別養護老人ホーム寿康園

令和5年度常任・特別・認定委員名簿

	委員会名	氏名	歴年数	職能別	勤務先	氏名	歴年数	職能別	勤務先
常 任 委 員 会	1 教育委員会	山本美紀	3	看	米沢市立病院	庄司千恵	2	看	北村山公立病院
		東海林明子	2	看	東北中央病院	渡部美穂子	2	看	国立病院機構山形病院
		岡崎雅則	1	看	山形済生病院	丸山孝	1	看	自宅
	(7)	欠員							
	2 広報委員会	鈴木拓哉	4	看	至誠堂総合病院	加藤優子	2	看	日本海酒田リハビリテーション病院
		村山弥生	3	看	寒河江市立病院	赤間美奈子	2	看	国立病院機構米沢病院
		斉藤千鶴	1	看	国立病院機構山形病院				
	(5)								
	3 学会委員会	後藤慶	3	看	北村山公立病院	武田洋子	2	看	山形大学医学部看護学科
		菊地圭子	6	助	山形県立保健医療大学	佐藤牧子	2	看	山形市立病院済生館
		齋藤郁子	3	看	三友堂看護専門学校				
	(5)								
	4 医療・看護安全 対策委員会	前田由美	3	看	山形大学医学部附属病院	阿部敦子	3	看	山形県立新庄病院
		児玉良太	2	看	公立置賜総合病院	後藤美輪	2	看	三友堂病院
	(4)								
	5 災害看護対策 委員会	中村春美	2	看	至誠堂総合病院	高橋瀬津	2	看	山形県立中央病院
		後藤敬仁	3	看	公立置賜長井病院	渡會輝美	4	看	庄内余目病院
		伊藤陽子	2	看	鶴岡協立病院				
	(5)								
	6 「まちの保健室」 推進委員会	布施智子	3	看	朝日町立病院	佐藤正美	2	看	鶴岡協立病院
		遠藤美紀	2	看	天童温泉篠田病院	遠藤和恵	3	看	三友堂病院
		安藤明美	2	看	舟山病院	須藤千晴	3	看	山形県立河北病院
		大山則子	3	看	吉岡病院				
	(7)								
	7 いのちの教育 推進委員会	鈴木和絵	2	看	米沢市立病院	槌谷由美子	5	看	山形県立保健医療大学
		半澤恵子	2	助	山形県立河北病院	城戸友香李	2	助	日本海総合病院
		工藤朋子	1	看	東北中央病院				
(5)									
8 在宅ケア推進 委員会	川口久美	2	看	みゆき会病院	佐藤貴美代	5	看	訪問看護ステーションあたしん家	
	小座間育子	2	看	矢吹病院	志田淳子	3	保	山形大学医学部看護学科	
	鈴木みどり	6	保	山形市役所					
(5)									
9 勤務環境改善 推進委員会	奥本和枝	3	看	最上町立最上病院	鎌田裕子	2	看	千歳篠田病院	
	小松奈津子	2	看	順仁堂遊佐病院	阿部さゆり	2	看	山形県立中央病院	
	尾形千夏子	3	看	公立置賜南陽病院					
(5)									
特別委員会	1 医療的ケア児等 連携推進委員会	植松里華	3	看	山形県立中央病院	奥山里美	3	看	山形県立こども医療療育センター
		千代川加奈	2	看	山形大学医学部附属病院	武山真知子	2	看	訪問看護ステーションやまがた
		伊藤智子	3	看	鶴岡市立荘内病院	小関幸代	3	看	米沢市立病院
(6)									
運営委員会 認定看護管理者 教育課程教育者	1 認定看護管理者 教育課程教育 委員会	信夫松子	6	看	順仁堂遊佐病院	菅井憲子	3	看	山形県立中央病院
		斎藤由美	2	看	山形県立こころの医療センター	今野浩之	1	保	山形県立保健医療大学
		後藤道子		助	山形県看護協会	西塔誠子		看	山形県看護協会
		佐藤さゆり		看	山形県看護協会				
(7)									

令和5年度山形県看護協会支部役員名簿

山形支部役員					庄内支部役員				
役職名	歴年数	氏名	職能	勤務先	役職名	歴年数	氏名	職能	勤務先
支部長	1	保立美枝子	看護師	寒河江市立病院	支部長	2	中村美穂	看護師	酒田市立酒田看護専門学校
副支部長	2	小関郁子	看護師	山形大学医学部附属病院	副支部長	2	日下部博美	看護師	庄内余目病院
副支部長	1	高橋真理子	看護師	山形市立病院済生館	副支部長	1	奥井麻里	看護師	鶴岡市立荘内病院
役員(書記担当)	2	後藤順子	看護師	東北中央病院	役員(書記担当)	2	今野里美	看護師	鶴岡市立荘内病院
役員(書記担当)	1	鈴木希	保健師	中山町役場	役員(書記担当)	1	久保田律	看護師	日本海酒田リハビリテーション病院
役員(会計担当)	2	井上恵子	看護師	山形済生病院	役員(会計担当)	2	菅原順	看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院
役員(会計担当)	1	藤田由樹	看護師	西川町立病院	役員(会計担当)	1	阿蘇静子	看護師	順仁堂遊佐病院

最北支部役員					置賜支部役員				
役職名	歴年数	氏名	職能	勤務先	役職名	歴年数	氏名	職能	勤務先
支部長	2	成沢純子	看護師	山形県立新庄病院	支部長	2	伊藤加代子	助産師	白鷹町立病院
副支部長	2	竹村早苗	看護師	北村山公立病院	副支部長	1	岩崎清美	看護師	公立置賜長井病院
副支部長	1	田中麗理子	看護師	山形県立新庄病院	副支部長	1	大河原智恵子	看護師	公立高島病院
役員(書記担当)	2	佐藤春美	看護師	町立真室川病院	役員(書記担当)	2	情野栄梨子	看護師	三友堂病院
役員(書記担当)	1	前田由香	看護師	山形ロイヤル病院	役員(書記担当)	1	舟山さゆ子	看護師	おぐに訪問看護ステーション
役員(会計担当)	2	千葉真沙美	保健師	山形県立最上学園	役員(会計担当)	2	金子由縁	看護師	公立置賜総合病院
役員(会計担当)	1	花輪みちる	看護師	北村山公立病院	役員(会計担当)	1	鈴木美紀	看護師	公立置賜南陽病院

令和5年度山形県看護協会支部委員名簿

山形支部委員					庄内支部委員				
役職・委員会	歴年数	氏名	職能	勤務先	委員会名	歴年数	氏名	職能	勤務先
教育委員会	2	鈴木真由美	看護師	篠田総合病院	教育委員会	2	長谷川潤	看護師	鶴岡協立病院
	2	阿部恭子	看護師	山形県立河北病院		2	本田ゆり	看護師	医療法人社団みつわ会のぞみの園
	1	杉沼妙子	看護師	みゆき会病院		1	中山紘子	看護師	日本海総合病院
	1	宮林陽子	看護師	山形県立中央病院		1	齋藤教子	看護師	山形県立こころの医療センター
「まちの保健室」運営委員会	3	武田好史	看護師	山形徳洲会病院	「まちの保健室」運営委員会	2	市町有紀	看護師	本間病院
	2	清野恵子	看護師	天童市民病院	1	村井佐保子	看護師	鶴岡協立リハビリテーション病院	

最北支部委員					置賜支部委員				
委員会名	歴年数	氏名	職能	勤務先	委員会名	歴年数	氏名	職能	勤務先
教育委員会	2	近藤亜衣里	保健師	東根市役所	教育委員会	3	伊藤充子	看護師	国立病院機構米沢病院
	2	井澤有香	保健師	村山市役所		2	山口茜	看護師	公立置賜総合病院
	1	齊藤美奈子	看護師	山形県立新庄病院		1	鈴木清美	看護師	三友堂リハビリテーションセンター
	1	高山富美子	看護師	新庄徳洲会病院		1	渡部惇史	看護師	米沢市立病院
「まちの保健室」運営委員会	2	岸奈美	看護師	最上町立最上病院	「まちの保健室」運営委員会	2	青柳杏実	看護師	米沢市立病院
	1	結城俊祐	保健師	尾花沢市役所	1	高成田悦子	看護師	舟山病院	

令和6年度役員・推薦委員及び役員・推薦委員候補者名簿

役職名	歴年数	氏名	職能	勤務先
会長	4	若月裕子	看護師	山形県看護協会
副会長	1	峯田弥生	看護師	山形県立新庄病院
副会長	1	鈴木ひとみ	看護師	山形大学医学部附属病院
常任理事	4	後藤道子	助産師	山形県看護協会
常任理事	4	菅野弘美	看護師	山形県看護協会
常任理事	3	田瀬裕子	看護師	山形県看護協会
理事(書記担当)	1	鶴巻玲子	看護師	日本海総合病院
理事(書記担当)	1	富樫洋子	看護師	山形市立病院済生館
理事(会計担当)	2	鯉見美和子	看護師	鶴岡市立荘内病院
理事(会計担当)	1	東海林敦子	看護師	山形県立河北病院
監事	2	安部淳子	看護師	米沢市立病院
監事	1	庄司律子	看護師	山形県立中央病院
外部監事	2	長岡淳司		済生会支部山形県済生会

職能理事(4名)				
役職名	歴年数	氏名	職能	勤務先
保健師職能理事	2	加藤明子	保健師	山形市保健所
助産師職能理事	1	長堀理代	助産師	山形県立新庄病院
看護師職能I理事	2	小松恭子	看護師	公立置賜総合病院
看護師職能II理事	1	柿崎由美子	看護師	訪問看護ステーション新庄

支部理事(4名)・全区理事(1名)				
支部名	歴年数	氏名	職能	勤務先
山形支部	2	保立美枝子	看護師	寒河江市立病院
最北支部	1	阿相由美	看護師	北村山公立病院
庄内支部	3	中村美穂	看護師	酒田市立酒田看護専門学校
置賜支部	1	岩崎清美	看護師	公立置賜長井病院
全区理事	1	堀正浩	准看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

推薦委員(6名)				
支部名	歴年数	氏名	職能	勤務先
山形支部	2	秋場恵美	助産師	山形済生病院
山形支部	1	高橋朋美	保健師	天童市健康センター
最北支部	1	今田和恵	看護師	山形ロイヤル病院
庄内支部	2	三浦恵	保健師	遊佐町役場
庄内支部	1	野坂美穂	看護師	鶴岡協立病院
置賜支部	2	小林あゆみ	看護師	三友堂病院

令和7年度代議員(8名)				
支部名	氏名	職能	勤務先	
全区	菅野弘美	看護師	山形県看護協会	
全区	長堀理代	助産師	山形県立新庄病院	
山形支部	藤田由樹	看護師	西川町立病院	
山形支部	鈴木希	保健師	中山町健康福祉課	
最北支部	花輪みちる	看護師	北村山公立病院	
庄内支部	奥井麻里	看護師	鶴岡市立荘内病院	
置賜支部	佐藤千穂	看護師	米沢市立病院	
全区	堀正浩	准看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院	

令和7年度予備代議員(8名)				
支部名	氏名	職能	勤務先	
全区	石井美喜	保健師	鶴岡市役所	
全区	後藤道子	助産師	山形県看護協会	
山形支部	高橋真理子	看護師	山形市立病院済生館	
山形支部	杉沼妙子	看護師	みゆき会病院	
最北支部	芳賀真紀子	看護師	山形県立新庄病院	
庄内支部	久保田律	看護師	日本海酒田リハビリテーション病院	
置賜支部	船山ヒロ子	看護師	米沢市立病院	
全区	菊地玲子	准看護師	吉岡病院	

令和6年度三職能4委員会委員名簿

保健師職能委員(6名)				
支部名	歴年数	氏名	職能	勤務先
山形支部	1	田中絵美	保健師	山辺町役場
山形支部	1	木村明希子	保健師	地域包括支援センター敬寿会
山形支部	2	宇佐美晴枝	保健師	朝日町役場
最北支部	1	松田千穂	保健師	金山町健康福祉課(金山町地域包括支援センター)
庄内支部	2	石井美喜	保健師	鶴岡市役所
置賜支部	2	梅津美由紀	保健師	南陽市役所

助産師職能委員(5名)				
支部名	歴年数	氏名	職能	勤務先
山形支部	1	藤井紗来	助産師	山形大学医学部附属病院
山形支部	2	斉藤ひとみ	助産師	助産師のひとみさん
最北支部				
庄内支部	3	遠藤里美	助産師	鶴岡市立荘内病院
庄内支部	1	池田綾子	助産師	日本海総合病院
置賜支部	1	関万里子	助産師	公立置賜総合病院

看護師職能委員I(7名)				
支部名	歴年数	氏名	職能	勤務先
山形支部	2	村岡さゆり	看護師	山形県立河北病院
山形支部	2	渡邊修	看護師	みゆき会病院
山形支部	2	小松史子	看護師	南さがえ病院
庄内支部	1	齋藤恵美	看護師	山形県立こころの医療センター
庄内支部	3	加藤美津樹	看護師	庄内余目病院
置賜支部	1	渡部幸子	看護師	公立高島病院
全支部から	1	堀正浩	准看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院
全支部から				

看護師職能委員II(5名)				
支部名	歴年数	氏名	職能	勤務先
山形支部	2	千場弘美	看護師	至誠堂総合ケアセンター
山形支部	1	中川ひろみ	看護師	在宅リハビリ看護ステーションつばさ
最北支部	4	長岡由美	看護師	町立金山診療所
最北支部	2	井澤照美	看護師	舟形徳洲苑
庄内支部	3	齋藤知子	看護師	特別養護老人ホーム寿康園
置賜支部				

令和6年度常任・学会・認定委員名簿

	委員会名	氏名	歴年数	職能別	勤務先	氏名	歴年数	職能別	勤務先	
常 任 委 員 会	1 教育委員会	東海林 明子	3	看	東北中央病院	庄 司 千 恵	3	看	北村山公立病院	
		岡 崎 雅 則	2	看	山形済生病院	渡 部 美穂子	3	看	国立病院機構山形病院	
		清 野 文 恵	1	看	白鷹町立病院	兼 子 奈津子	1	看	山形県立中央病院	
		(7) 欠 員								
	2 広報委員会	村 山 弥 生	4	看	寒河江市立病院	加 藤 優 子	3	看	日本海酒田リハビリテーション病院	
		齊 藤 千 鶴	2	看	国立病院機構山形病院	赤 間 美奈子	3	看	国立病院機構米沢病院	
		(5) 佐々木 麻 樹	1	看	篠田総合病院					
	3 医療・看護安全 対策委員会	児 玉 良 太	3	看	公立置賜総合病院	阿 部 敦 子	4	看	山形県立新庄病院	
		(4) 鈴 木 里 美	1	看	山形県立中央病院	後 藤 美 輪	3	看	三友堂病院	
	4 災害・健康危機 対策委員会	中 村 春 美	3	看	至誠堂総合病院	高 橋 瀬 津	3	看	山形県立中央病院	
		伊 藤 陽 子	3	看	鶴岡協立病院	渡 會 輝 美	5	看	新庄徳洲会病院	
		(5) 木 村 晃 一	1	看	鶴岡市立荘内病院					
	5 いのちの教育 推進委員会	鈴 木 和 絵	3	看	米沢市立病院	槌 谷 由美子	6	看	山形県立保健医療大学	
		半 澤 恵 子	3	助	山形県立河北病院	城 戸 友香李	3	助	日本海総合病院	
		(5) 工 藤 朋 子	2	看	東北中央病院					
	6 勤務環境改善 推進委員会	小 松 奈津子	3	看	順仁堂遊佐病院	鎌 田 裕 子	3	看	千歳篠田病院	
		細 谷 由 紀	1	看	みゆき会病院	阿 部 さゆり	3	看	山形県立中央病院	
		(5) 神 田 美由紀	1	看	米沢市立病院					
	学 会 委 員 会	1 山形県看護研究 学会委員会	後 藤 慶	4	看	北村山公立病院	武 田 洋 子	3	看	山形大学医学部看護学科
			高 谷 新	1	看	山形県立保健医療大学	佐 藤 牧 子	3	看	山形市立病院済生館
(5) 上 田 真 子		1	看	公立置賜総合病院						
認 定 委 員 会	1 認定看護管理者 教育課程教育運 営委員会	中 嶋 恵 子	1	看	米沢市立病院	菅 井 憲 子	4	看	山形県立中央病院	
		伊 藤 淑 子	1	看	鶴岡市立荘内病院	今 野 浩 之	2	保	山形県立保健医療大学	
		後 藤 道 子		助	山形県看護協会	丸 山 孝		看	山形県看護協会	
		(7) 柳 沼 明 美		看	山形県看護協会					

令和6年度山形県看護協会支部役員及び支部役員候補者名簿

山形支部役員				
役職名	歴年数	氏名	職能	勤務先
支部長	2	保立美枝子	看護師	寒河江市立病院
副支部長	2	高橋真理子	看護師	山形市立病院済生館
副支部長	1	難波夕子	看護師	至誠堂総合病院
役員(書記担当)	3	後藤順子	看護師	東北中央病院
役員(書記担当)	2	鈴木希	保健師	中山町役場
役員(会計担当)	2	藤田由樹	看護師	西川町立病院
役員(会計担当)	1	飯野千夏	看護師	訪問看護ステーションやまがた

庄内支部役員				
役職名	歴年数	氏名	職能	勤務先
支部長	3	中村美穂	看護師	酒田市立酒田看護専門学校
副支部長	2	奥井麻里	看護師	鶴岡市立荘内病院
副支部長	1	齋藤由紀	看護師	本間病院
役員(書記担当)	2	久保田律	看護師	日本海酒田リハビリテーション病院
役員(書記担当)	1	小野寺麻友	看護師	庄内余目病院
役員(会計担当)	2	阿蘇静子	看護師	順仁堂遊佐病院
役員(会計担当)	1	鈴木恵	看護師	鶴岡市立湯田川温泉リハビリテーション病院

最北支部役員				
役職名	歴年数	氏名	職能	勤務先
支部長	1	阿相由美	看護師	北村山公立病院
副支部長	2	田中麗理子	看護師	山形県立新庄病院
副支部長	1	芳賀真紀子	看護師	山形県立新庄病院
役員(書記担当)	2	前田由香	看護師	山形ロイヤル病院
役員(書記担当)	1	斉藤千宗	保健師	真室川町役場
役員(会計担当)	2	花輪みちる	看護師	北村山公立病院
役員(会計担当)	1	吉田美里	保健師	戸沢村役場

置賜支部役員				
役職名	歴年数	氏名	職能	勤務先
支部長	1	岩崎清美	看護師	公立置賜長井病院
副支部長	2	大河原智恵子	看護師	公立高島病院
副支部長	1	副田恵美	看護師	白鷹町立病院
役員(書記担当)	2	舟山さゆ子	看護師	おぐに訪問看護ステーション
役員(書記担当)	1	船山久美	看護師	公立置賜総合病院
役員(会計担当)	2	鈴木美紀	看護師	公立置賜南陽病院
役員(会計担当)	1	佐藤千穂	看護師	米沢市立病院

令和6年度山形県看護協会支部委員名簿

山形支部委員				
委員会名	歴年数	氏名	職能	勤務先
教育委員会	2	杉沼妙子	看護師	みゆき会病院
	2	宮林陽子	看護師	山形県立中央病院
	1	鈴木絵美	看護師	山形県立河北病院
	1	三浦文子	看護師	国立病院機構山形病院
「まちの保健室」運営委員会	4	武田好史	看護師	山形徳洲会病院
	1	遠藤恵子	看護師	朝日町立病院

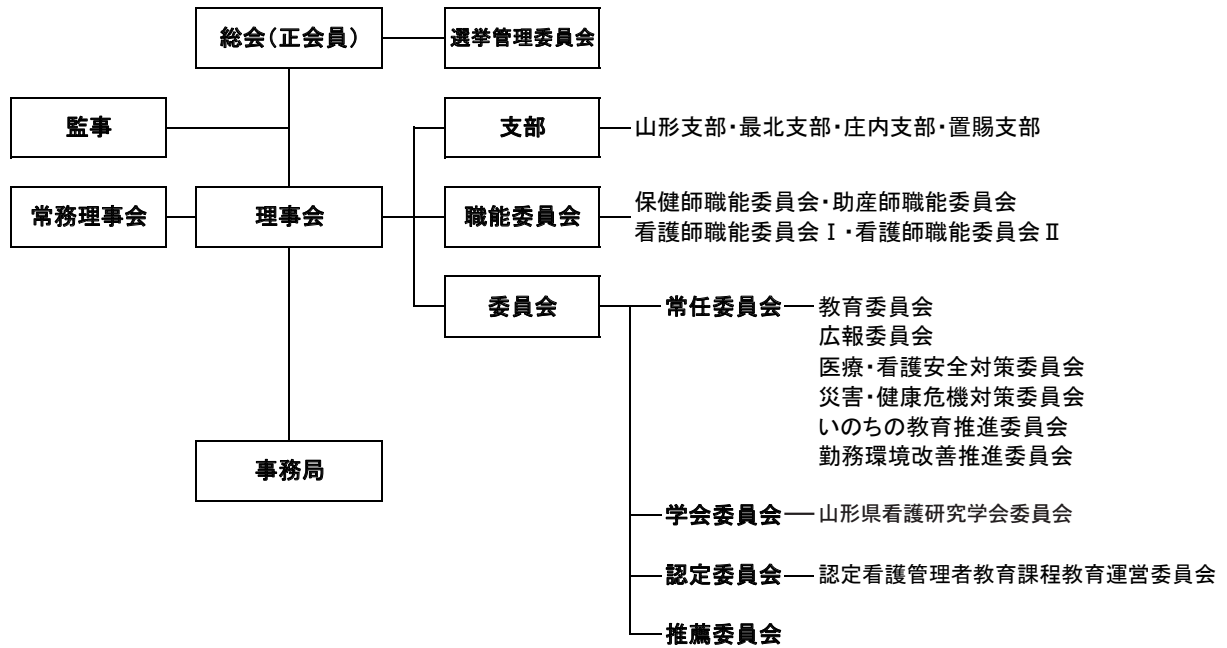
庄内支部委員				
委員会名	歴年数	氏名	職能	勤務先
教育委員会	2	中山紘子	看護師	日本海総合病院
	2	齋藤教子	看護師	山形県立こころの医療センター
	1	工藤夕子	看護師	訪問看護ステーションスワン
	1	小林美紗	看護師	鶴岡協立病院
	2	村井佐保子	看護師	鶴岡協立リハビリテーション病院
「まちの保健室」運営委員会	1	大谷喜恵	保健師	酒田市役所

最北支部委員				
委員会名	歴年数	氏名	職能	勤務先
教育委員会	2	齊藤美奈子	看護師	山形県立新庄病院
	2	高山富美子	看護師	新庄徳洲会病院
	1	高橋香緒里	看護師	訪問看護ステーションむらやま
	1	新関佳子	看護師	北村山公立病院
「まちの保健室」運営委員会	2	結城俊祐	保健師	尾花沢市役所
	1	東海林かおり	保健師	舟形町役場

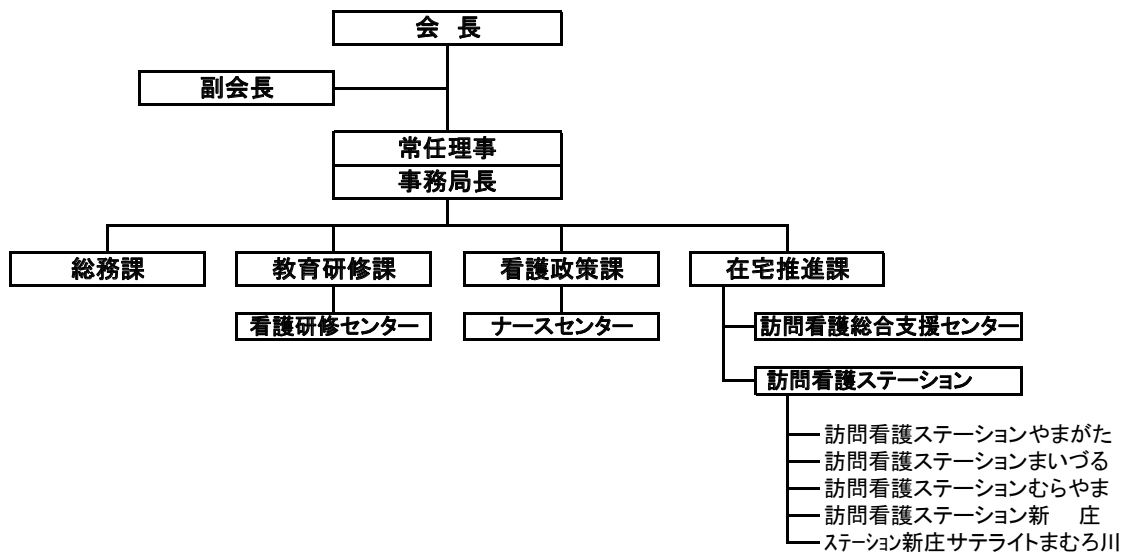
置賜支部委員				
委員会名	歴年数	氏名	職能	勤務先
教育委員会	2	鈴木清美	看護師	三友堂病院
	2	渡部惇史	看護師	米沢市立病院
	1	四釜寛恵	看護師	公立置賜総合病院
	1	鈴木弘美	看護師	国立病院機構米沢病院
	2	高成田悦子	看護師	舟山病院
「まちの保健室」運営委員会	1	荒木真紀	看護師	三友堂病院

山形県看護協会 組織図

【決議機関及び執行機関】



【執行機関及び事務局組織】



事務局役職員名簿

会長	若月 裕子	総務課 総務係長	佐々木由加里
常任理事 兼ナースセンター長	田瀬 裕子	教育研修課 課長補佐	大関 千香
常任理事 兼看護研修センター長	後藤 道子	教育研修課 教育研修係長	多田 愛子
常任理事 兼訪問看護総合支援センター長	菅野 弘美	看護政策課 課長補佐	田邊 智絵
事務局長 兼総務課長	伊藤 義一	看護政策課 ナースセンター係長	堀 恵美
総務課 課長補佐	早坂 朗子	看護政策課 業務推進係長	島田由美子
総務課 課長補佐	高橋美樹子	在宅推進課 課長補佐	佐藤 美香

日本看護協会綱領

- 1 会員としての職業倫理の実践につとめ社会の福祉に貢献いたします。
- 2 会員の教育水準の高揚をはかり専門教育の重要性を認識し、相互の協力のもとに、その責任を果たすよう努力いたします。
- 3 会員の業務の研究ならびに勤務条件の改善向上につとめます。
- 4 本会の強化発展のために会員の増加と福祉に努力いたします。
- 5 国際看護師協会正会員としての自覚を高め、世界の看護業務に従事する者の地位の向上につとめます。

光 求めて

作詞：山本 敏子 補作詞・作曲：小椋 佳

1. お お ぞ らの も とれ ひ か
 2. さ お ざ な の に ゆ れ ひ か
 3. そ よ か せ に の り ひ か

り もとめ て - か ん ご の
 り もとめ て - か ん ご の
 り もとめ て - か ん ご の

こ こ ろ む ね ふ かつ く -
 の が い む ね あ き よ く -
 の り む ね き よ く -

りょ う て に か さ て す - あ い
 つ な く そ の に つ - か よ
 ま く ら そ に た つ - は な

の ほ む ら は - し ず - か に も え
 う ち お は - し や - か に と け
 の か お り は - ほ の - か に お

る - や さ - し く も え る - い
 る - や さ - し く と け る - た
 う - や さ - し く に お う - たい

ま こ の と き - そ し て あ し た き
 だ ひ と す き - ま た し て あ し た
 こ の と き - そ し て あ し た

に - に - い ま こ の と
 に - に - い ま こ の と

き - そ し て あ し た に -

日本看護協会歌

光 求めて

作詞：山本 敏子
 補作詞・作曲：小椋 佳

一 大空のもと 光求めて

看護の心 胸深く

両手にかざす 愛のほむらは

静かに燃える 優しく燃える

今 この時 そして明日に

二 さざなみに揺れ 光求めて

看護の願い 胸熱く

つなぐその手に 通う血潮は

さやかにとける 優しくとける

ただ ひとすじ またひたむきに

三 そよ風に乗れ 光求めて

看護の祈り 胸清く

枕べにたつ 花の香りは

ほのかに匂う 優しく匂う

今 この時 そして明日に

今 この時 そして明日に

メモ



不要な羽毛ふとんは ありませんか？

東洋羽毛が**無料**でお引取りします

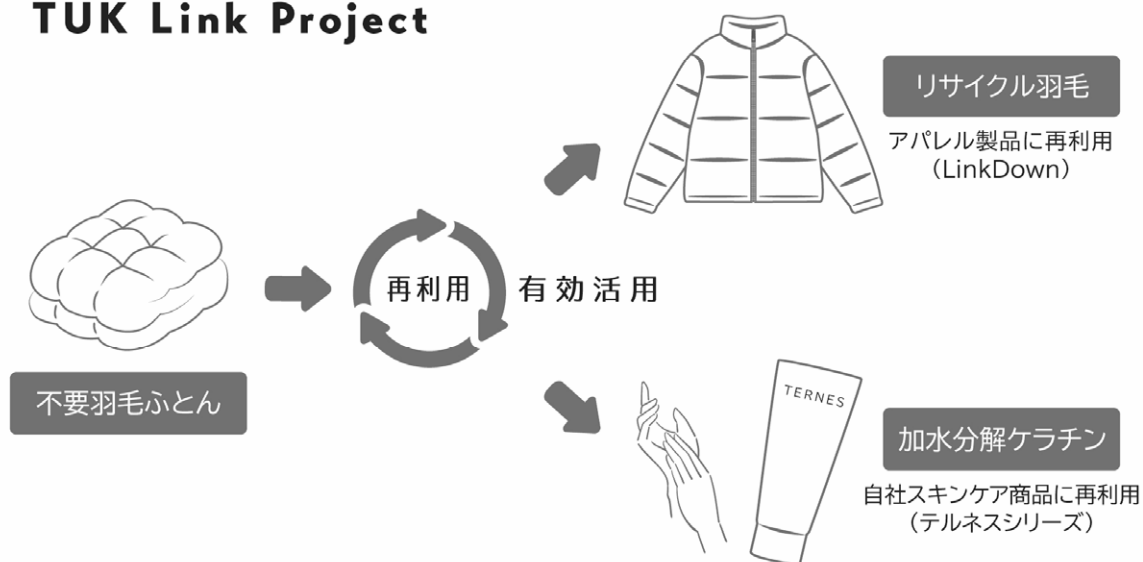
東洋羽毛は、不要羽毛ふとんの引取りを通じて、SDGs(持続可能な開発目標)の活動に取り組んでいます。



引取り詳細▲

- お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。
- 引取り可能なふとんの種類は「羽毛ふとん」です。掛けふとん・敷きふとん・まくら等の羽毛製品のみです。
- ダウンジャケット等、リサイクル羽毛として活用できないものや羽毛ふとん以外は引取りできません。
- 東洋羽毛以外の羽毛ふとんも引取り可能です。

TUK Link Project




 **TUK**東洋羽毛

東洋羽毛北部販売株式会社 福島営業所



0120-332748



かんごちゃん 
「看護の日」キャラクター



公益社団法人 山形県看護協会

〒990-2473

山形市松栄一丁目5番45号

TEL 023 (685) 8033

FAX 023 (646) 8868

<https://www.nurse-yamagata.or.jp>